

一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルート合同調査

第11回
「高校生と保護者の進路に関する意識調査」
2023年
報告書

コロナ禍を経てもなお、グローバル化や技術革新・AIの活用、環境問題など、急激で予測しづらい社会の変化がさらに促進している今、教育においても、学習指導要領の改訂や入学者選抜改革など、戦後最大ともいわれる大きな変化の時を迎えています。このような状況の中で、高校生の進路観の育成、進路先の決定における保護者の関わりはますます重要になっています。行政、学校教育はむろんですが、高校生にとって最も身近な大人である「保護者」ができることは何でしょうか。

高校生と保護者の進路をめぐる意識と行動の実態を調べ、両者のよりよい意思疎通のあり方を研究するとともにその成果を広く社会に提言することを目的に、一般社団法人全国高等学校PTA連合会と株式会社リクルートは、全国の高校生をもつ保護者とその子どもに対して、コミュニケーションの実態と様々な進路観に関するアンケート調査を2003年より隔年で実施してまいりました。その11回目となる調査の分析結果をまとめましたので、ここにご報告申し上げます。

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
会長 山田博章
進路対策委員長 村井為敦

株式会社リクルート
販促領域プロダクトマネジメント室（まなび）
室長 池田 脩太郎

▼本調査や「キャリアガイダンス」に関するお問い合わせ▼

(株) リクルート リクルート進学総研「キャリアガイダンス」編集部
<http://souken.shingakunet.com/>

※ この調査結果については、キャリア教育専門誌『キャリアガイダンス』 Vol.450(リクルート)にも掲載しています。

※出版・印刷物、WEBサイトなどへデータを転載する際には、“「高校生と保護者の進路に関する意識調査2023」リクルート『キャリアガイダンス』調べ”と明記ください。

調査トピックス

▶ I. 進路選択における親子コミュニケーションの実態

■ **高校生の83%、保護者の89%が進路について「話す」。高校生・保護者のいずれからみても、「自分のやりたいことをやりなさい」と声をかける保護者が増加。**

- 高校生では83%、保護者では89%が、進路について「話す」。高校生・保護者とも前回からは大きい変化はない。
- 高校生からみて、進路の話をするとき保護者がよく使う言葉は「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が突出。保護者自身の認識でも、進路について高校生と話す際によく使う言葉は「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が最も多い。また、高校生・保護者ともにこの言葉を使う割合の上昇傾向が続いた。
- 進路に関して保護者の81%がアドバイスを「している」と回答したが、保護者の73%が進路選択について子どもへのアドバイスを「難しい」と感じている。困難を感じる理由は、「入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから」がトップ。コロナ禍での“先行き不安”は解消されつつあるが、「子どもにアドバイスできるほど、自分の生き方・考え方に自信がないから」など、親として子供の人生に関与すること自体の難しさを理由とする人が増えている。
- 高校生からみて、進路に関する保護者の行動や態度は、「私の考えを尊重する」「あたたかく見守っている」「相談ののってくれる」が70%前後で拮抗。時系列では高校生の考えを尊重し、ちょうどいい距離感で見守る姿勢の保護者が増加している。

▶ II 進路検討行動

■ **進路検討に必要な情報は「現在の入試制度のしくみ」がトップ。奨学金制度の認知・利用意向はさらに高まった。**

- 子どもの進学を希望する保護者にとって、進学先検討のために重要な情報のトップは「現在の入試制度のしくみ」。時系列でみると上位項目ではスコアが低下したものが多く、「進学費用（学費・生活費など）」がわずかに増加した。逆に、“入試”に関する情報への関心がわずかではあるが薄まっている。
- 子どもの進学を希望する保護者のうち、9割近くが奨学金には給付型・貸与型があることを認知。時系列でみると、「2020年から高等教育の修学支援新制度が始まり、授業料・入学金の減免制度が創設されたこと」については、2019年（21%）から2021年（63%）にかけて大幅に上昇したが、今回はさらに上昇し70%が認知している。また、子どもの進学を希望する保護者の半数強が、「高等教育の修学支援制度」の利用意向あり。時系列でみると、いずれの制度も利用意向者が増加している。

▶ III 進路・将来にまつわる期待と不安

■ **自分の進路に対しては「不安」、将来について気がかりが「ある」高校生が70%前後。**

- 高校生が進路を考えるときの気持ちは、「楽しい」が28%、「不安」が67%。時系列ではほとんど変化がないが、明確な「不安な気持ち」を表明する割合は減少傾向。
- また、高校生の71%、保護者の67%が、高校生の将来について気がかりなことが「ある」と回答。高校生自身、保護者ともに将来について気がかりに思っていることのトップは「就きたい職業に就けるか」。
- 就きたい職業について具体的に尋ねると、高校生の55%が就きたい職業が「ある」と回答。時系列ではほぼ横ばい。就きたい職業を具体的に尋ねたところ、時系列では「エンジニア・プログラマー・IT関連」が初めて5位以内に入った。

▶ IV 将来展望

■ **成年年齢が近づくことについては、高校生は期待と不安が拮抗。保護者では7割以上が不安。**

■ **ただし、将来の選択肢の幅・数は「広がる」「増える」と考える高校生・保護者が6割近くを占める。**

- 成年年齢（18歳）が近づくことについて、高校生では「期待・計」「不安・計」が共に5割程度で拮抗。保護者では「期待・計」が24%にとどまり、7割以上が不安に思っている。
- 将来的な選択肢の“幅”については、高校生、保護者ともに、合計では3人に2人が「広がる」と回答。また、選択肢の“数”については、高校生・保護者共に過半数が「増える」と回答。いずれの場合も、AIなどの技術革新や社会のグローバル化を背景に、価値観の多様化や生活の質の向上、新しい職業の創出を期待する意見が多い。
- “グローバル化”が将来に影響することがあるかどうかを尋ねたところ、高校生の55%、保護者の63%が影響が「ある」と回答。また、高校生の59%がグローバル社会で通用する人材に「なりたい」、保護者では63%が「なつてほしい」と回答。いずれも、保護者では割合が増加しており、グローバル化が進むことを見越し、子どもがうまく対応できることを期待する気持ちが強い。
- また、“AIなどの技術革新”についての考えを尋ねたところ、高校生の61%、保護者の53%が期待していると回答した。

▶ V 教育改革の評価と高校での対応状況

■ **教育改革への対応を行っていると感じる割合が増加。特に「探究学習」への取り組みが保護者にも浸透しつつある。**

- 高校生の39%、保護者の29%が、通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じている。コロナ禍の2021年と比較して「感じている」が大幅に増加。特に保護者で高校における対応の実感が増している。
- 通っている高校での教育改革の取り組み内容の上位は、「探究学習」や「生徒が主体的に考え学びあう授業」への転換。探究学習について保護者に尋ねると、子どもの通う高校が「探究学習」に取り組んでいると感じているが31%を占めた。

▶ VI 教育活動へのICTの活用状況

■ **高校でのICT教育は組織的な活用が進み、探究学習などでの利用が広がった。**

- 高校生の91%、保護者の78%が、高校でICTが活用されていると回答。時系列では「学校全体で組織的に活用を推進している」が大幅に増加。
- 高校生にとってICT活用で良かった点を時系列でみると、「共同作業やディスカッションがしやすくなった」「探究活動など、自身の興味ある学びを深めることができた」「ICTスキルが上がった」「オンラインを通して活動の幅が広がった」などが上昇し、一方向の連絡や授業への利用だけではない活用が広がっている。保護者でも、「オンラインで宿題などの自宅学習が進められた」「子どものITスキルが上がった」「探究活動など、子どもが興味ある学びを深められた」が10ポイント前後上昇。保護者においても、幅広い学習への活用が進みさらに利用によって子どものスキルが向上していることが認識されている。

▶ VII 家庭と高校の役割

■ **高校生、保護者とも“子どもの意見が尊重されている”認識。ただし、スコアは保護者の方が高く、ややギャップがみられる。**

- 高校生、保護者共に、日常のコミュニケーションや行動の上位は「子どもの意見が尊重されている／している」「『子ども自身で選択し、それに責任を持つ』ことが大切だと言われている／言っている」「子どもが悩んでいた、うまくいっていないときに励ましてくれる／励ます」が上位。上位の顔ぶれは高校生、保護者で共通しているが、スコアは保護者のほうが高く、高校生の認識とのギャップがみられる。

目次

• 調査概要・回答者プロフィール	4
▶ I. 進路選択における親子コミュニケーションの実態	
• 1. 進路について話す頻度	5
• 2. 進路について話す内容	6
• 3. 進路について話さない理由	7
• 4. 保護者がよく使う言葉／その言葉をどう感じるか	8
• 5. 希望進路・進路の悩みや不安の共有度	10
• 6. 保護者からのアドバイス／アドバイスしてほしい内容・理由	12
• 7. 保護者がアドバイスすることの困難	13
• 8. 進路選択についての相談相手	15
• 9. 目指している・あこがれている人	17
• 10. 進路選択について保護者が取る態度	19
• 11. 進路選択についての保護者の行動・態度	20
• 12. 保護者にしてほしい行動・態度	21
• 13. 保護者にやめてほしい行動・態度	22
• 14. 保護者の進路選択行動	23
▶ II 進路検討行動	
• 15. 高校卒業後の希望進路	26
• 16. 進学先検討で重要な情報	27
• 17. 進学先検討の重視点	28
• 18. 家庭の経済事情の進路決定への影響	30
• 19. 進学に関する経済支援の認知と利用意向	31
▶ III 進路・将来にまつわる期待と不安	
• 20. 進路意識	33
• 21. 進路を考えるとときの気持ち	34
• 22. 進路選択についての気がかり	35
• 23. 将来についての気がかり	36
• 24. 将来就きたい・就いてほしい職業／その理由	39
• 25. 就業エリアに関する希望	42
▶ IV 将来展望	
• 26. 社会人基礎力：将来必要とされる能力と現在もっている能力	43
• 27. 社会人基礎力：必要な能力を身につけるために有効な活動	49
• 28. 成年年齢の引き下げに関する期待	50
• 29. 仕事や生き方など人生における選択肢の「幅」と「数」への展望	52
• 30. 「グローバル社会」への適応	56
• 31. 技術革新の普及・発達についての期待感	59
• 32. 未来社会への認識：これからの社会は好ましいか／そう思う理由	62
▶ V 教育改革の評価と高校での対応状況	
• 33. 教育改革への期待と不安	64
• 34. 高校での教育改革への対応状況	69
• 35. 「探究学習」への取り組み状況	72
▶ VI 教育活動へのICTの活用状況	
• 36. 通っている高校でのICT活用状況	76
• 37. ICTの導入について良かった点・悪かった点	77
• 38. 学校や自宅での今後のICT活用	81
▶ VII 家庭と高校の役割	
• 39. 日常のコミュニケーションや行動と教育改革を踏まえて特に心がけたいこと	85
• 40. 家庭と学校の役割に関する認識	88
• 41. 進路指導への要望	89

調査概要・回答者プロフィール

▶ 調査概要

● 調査実施者

- 一般社団法人全国高等学校PTA連合会 / 株式会社リクルート

● 調査対象

- 全国の高校2年生とその保護者
 - 全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県、各3校ずつ計27校の公立高校（2年生2クラス分の高校生と保護者）に発送し、協力を得た

● 調査期間

- 2023年9月15日(金)～2023年10月13日(金)回収終了

● 調査方法

- 学校を通じた質問紙による自記式調査 / またはWeb画面からの回答
 - ①高校生：ホームルームにてアンケートを配布
 - ②保護者：高校生から保護者へアンケートを手渡し
 - ③紙調査票に回答、または記載の二次元バーコードからWeb調査画面にアクセスして回答
 - ④紙調査票、またはWebへの回答完了証を、学級担任が高校生と保護者分を取りまとめ、その後学校責任者が学校分として返送

● 有効回答数

- 高校生1,752人 / 保護者1,457人

▶ 回答者プロフィール

		【高校生】		【保護者】	
		n=1752	n=1457	n=1752	n=1457
続柄	父親	*	14.4		
	母親	*	81.7		
	その他	*	0.9		
	無回答	*	3.0		
性別 (子どもの性別)	男子	49.5	48.9		
	女子	45.1	48.1		
	その他	1.7	0.1		
	無回答	3.8	2.9		
所属学科	普通科	80.1	79.8		
	専門学科	18.5	18.6		
	総合科	1.4	1.6		
地域分布	北海道	11.9	8.8		
	秋田県	9.7	10.5		
	群馬県	12.6	13.7		
	東京都	9.8	8.8		
	福井県	12.8	13.7		
	静岡県	11.2	12.8		
	奈良県	10.0	9.6		
	徳島県	9.5	10.8		
	宮崎県	12.6	11.3		
	高校卒業後の希望進路 (子どもの希望進路)	大学	69.7	54.8	
短大	1.9	1.1			
専門職大学	0.6	1.4			
専門職短大	0.2	0.5			
専門学校	13.2	7.4			
海外の大学等	0.2	0.3			
就職	12.4	7.8			
その他	1.0	0.4			
子どもが希望する進路なら何でもよい	*	25.5			
無回答	0.6	0.9			

▶ 本報告書に記載のデータに関する注意点

● 過去調査の概要は以下のとおり

「高校生・保護者調査」各回調査の調査概要

	調査期間	調査対象・回収数		備考
		高校生	保護者	
第9回	2019年9～10月	2年生 (n=1,997)	(n=1,759)	1校で異なる調査票が配布されたため、全質問のうち2問については該当校を省いて集計 (n=1,722)
第10回	2021年9～10月	2年生 (n=1,815)	(n=1,529)	
第11回	2023年9～10月	2年生 (n=1,752)	(n=1,457)	今回調査

● 報告書内の表記について

- グラフの数値は、小数点第2位以下を四捨五入して表示している
- 本文の数値は、グラフ中の数値の小数点第1位を四捨五入して記載している
- <フリーコメント>末尾カッコ内は以下の属性を表す
 - 高校生：[都道府県/性別/希望進路]
 - 保護者：[都道府県/続柄/子どもの性別/子どもの希望進路]

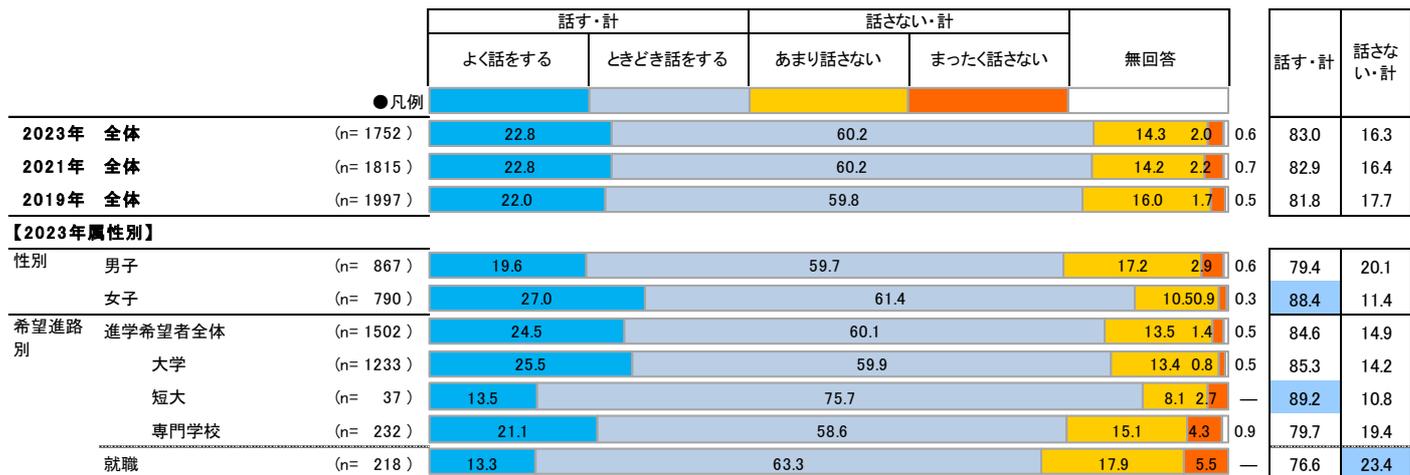
1. 進路選択における親子コミュニケーションの実態

1. 進路について話す頻度

- ▶ 高校生では83%、保護者では89%が、進路について「話す」。
- ▶ 時系列で見ると、高校生の「話す・計」の割合は前回から変わらず高いスコアで安定。
- ▶ 保護者では「よく話をする」が微減。
 - 高校2年生の段階で、卒業後の進路について高校生、保護者間で話をしているかを尋ねたところ、高校生では「よく話をする」が23%、「ときどき話をする」が60%を占め、合計では83%が「話す」と回答した。
 - 時系列で見ると、前回まで「よく話をする」の増加傾向が続いていたが今回は横ばい。しかし「話す・計」の割合が過去最も高くなった2021年と同スコアとなっており、高めで安定している。
 - 性別にみると、男子（79%）より女子（88%）で「話す・計」の割合が高い。
 - 希望進路別にみると、就職希望者（77%）より進学希望者全体（85%）で「話す・計」の割合が高い。
- 保護者では、「よく話をする」が24%、「ときどき話をする」が66%で、合計では89%が「話す」と回答。合計で見ると時系列で変化はないが、「よく話をする」が微減した。
- 続柄別にみると、「話す・計」の割合は父親（84%）より母親（91%）で高い。
- 子どもの性別にみると、「話す・計」の割合は男子（85%）より女子（95%）で高い。特に「よく話をする」は、女子が男子を10ポイント程度上回っている。

【高校生】 進路についての話を保護者としているか（全体／単一回答）

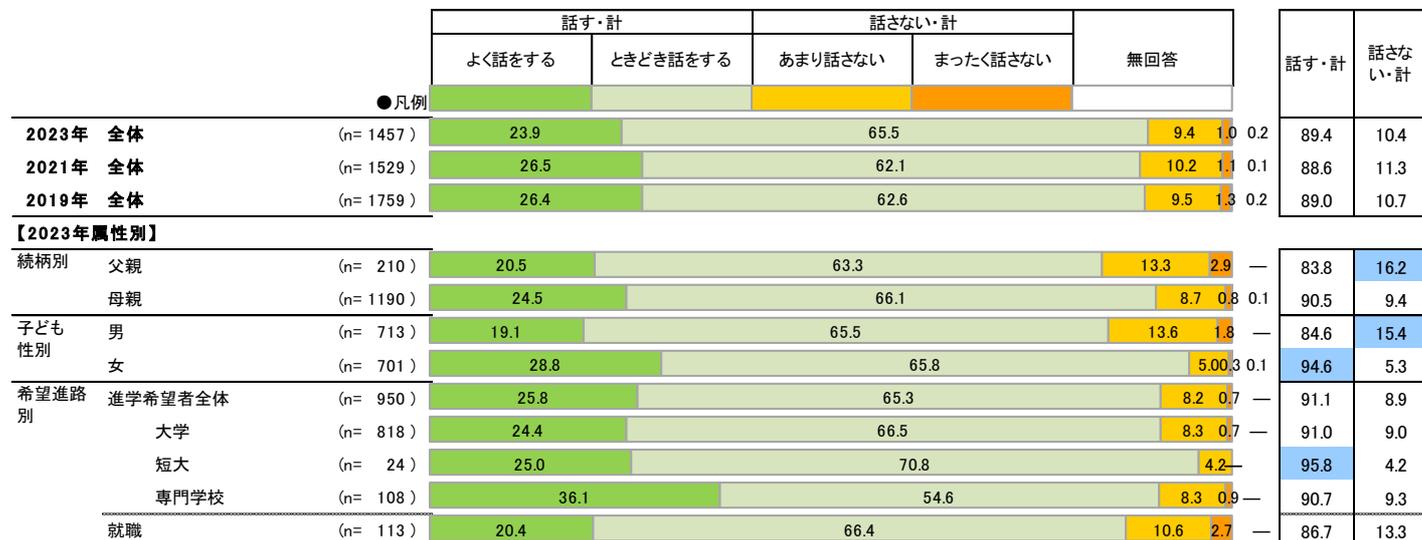
(%)



※「2023年全体」より ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い K_Q1

【保護者】 進路についての話を子どもとしているか（全体／単一回答）

(%)



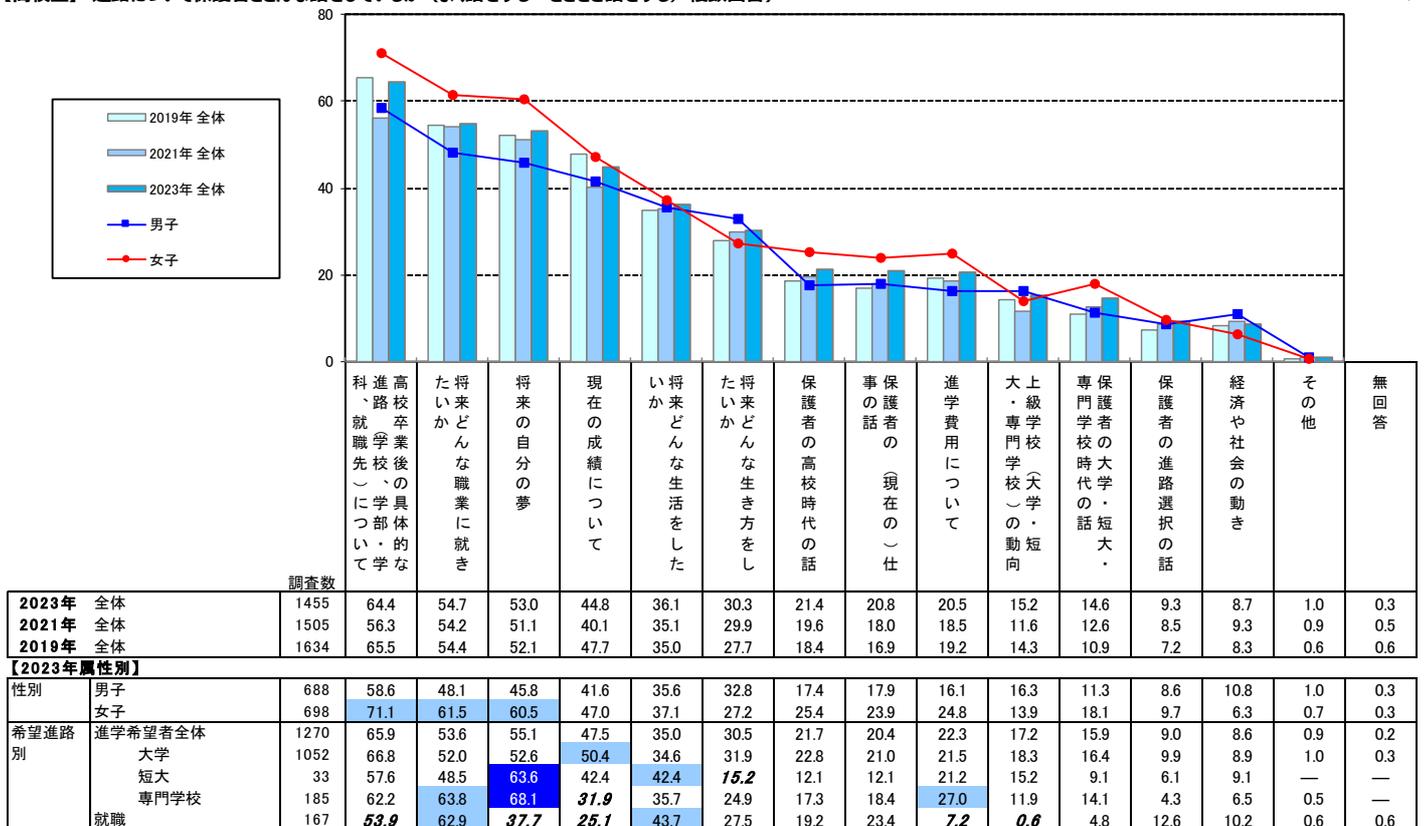
※「2023年全体」より ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い H_Q1

2. 進路について話す内容

- ▶進路について話す内容は「高校卒業後の具体的な進路」が60%以上でトップ。
- ▶時系列では「将来どんな生き方をしたいか」や保護者自身の学生時代や進路選択、仕事の話など、幅広く全体的に増加。
- 保護者と進路について「よく話をする」「ときどき話をする」と回答した高校生に、どのような話をしていのかを尋ねたところ、「高校卒業後の具体的な進路（学校、学部・学科、就職先）について」（64%）がトップで、以下「将来どんな職業に就きたいか」（55%）、「将来の自分の夢」（53%）が50%以上で上位となった。
- 時系列でみると、トップの「高校卒業後の具体的な進路について」「現在の成績について」は前回やや低下していたが、今回は再び増加。“将来”よりももう少し近い未来の進路や成績についての会話が前回よりも増加している。また、それ以外の項目も全体的に増加しており、会話内容が多岐にわたっている。
- 性別にみると、全体的に女子のスコアが高いものが目立ち、特に上位3項目は10ポイント以上の差がある。一方、「将来どんな生活をしたか」は男女とも35%程度、「将来どんな生き方をしたいか」は男子のほうがスコアが高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体では「高校卒業後の具体的な進路について」「将来どんな職業に就きたいか」、就職希望者では「将来どんな職業に就きたいか」が上位となっている。

【高校生】進路について保護者とどんな話をしているか（よく話をする～ときどき話をする／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※2005年は進路について「まったく話さない」人を除くベース

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

K.Q1-1

3. 進路について話さない理由

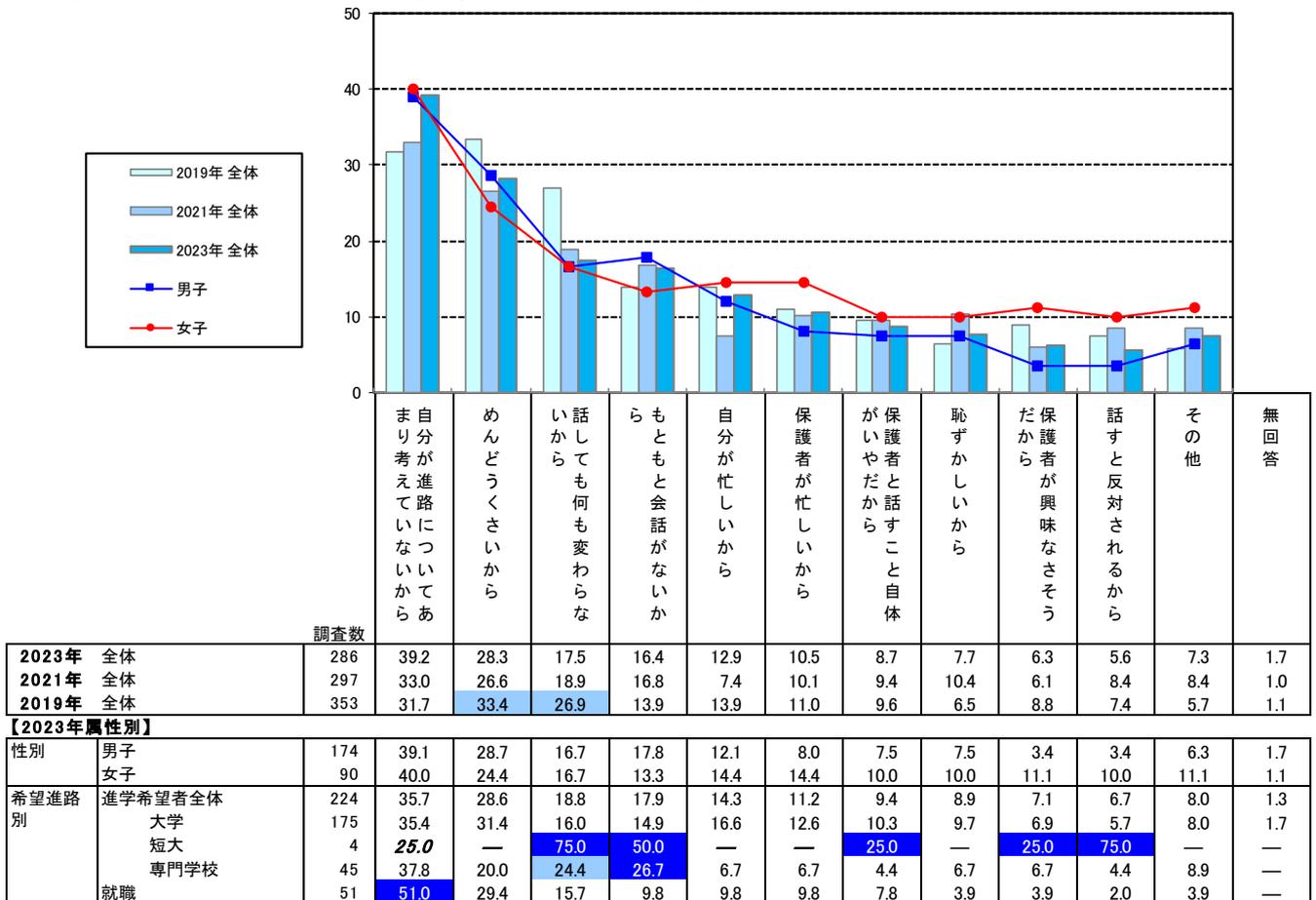
▶ 進路について話さない理由のトップは「自分が進路についてあまり考えていないから」。

▶ 「話しても何も変わらないから」は前回に引き続き減少。

- 保護者と進路について「あまり話さない」「まったく話さない」と回答した高校生に対して、話をしない理由を尋ねたところ、「自分が進路についてあまり考えていないから」（39%）が最も高く、「めんどくさいから」（28%）が続く。
- 時系列でみると、「自分が進路についてあまり考えていないから」が前回より6ポイント増加。逆に「話しても何も変わらないから」が前回に引き続きやや減少した。保護者に理由があるというよりも、“自分自身”を要因と考える高校生が増加したことがわかる。

【高校生】 進路について保護者と話さない理由（あまり話さない～まったく話さない／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

K_Q1-2

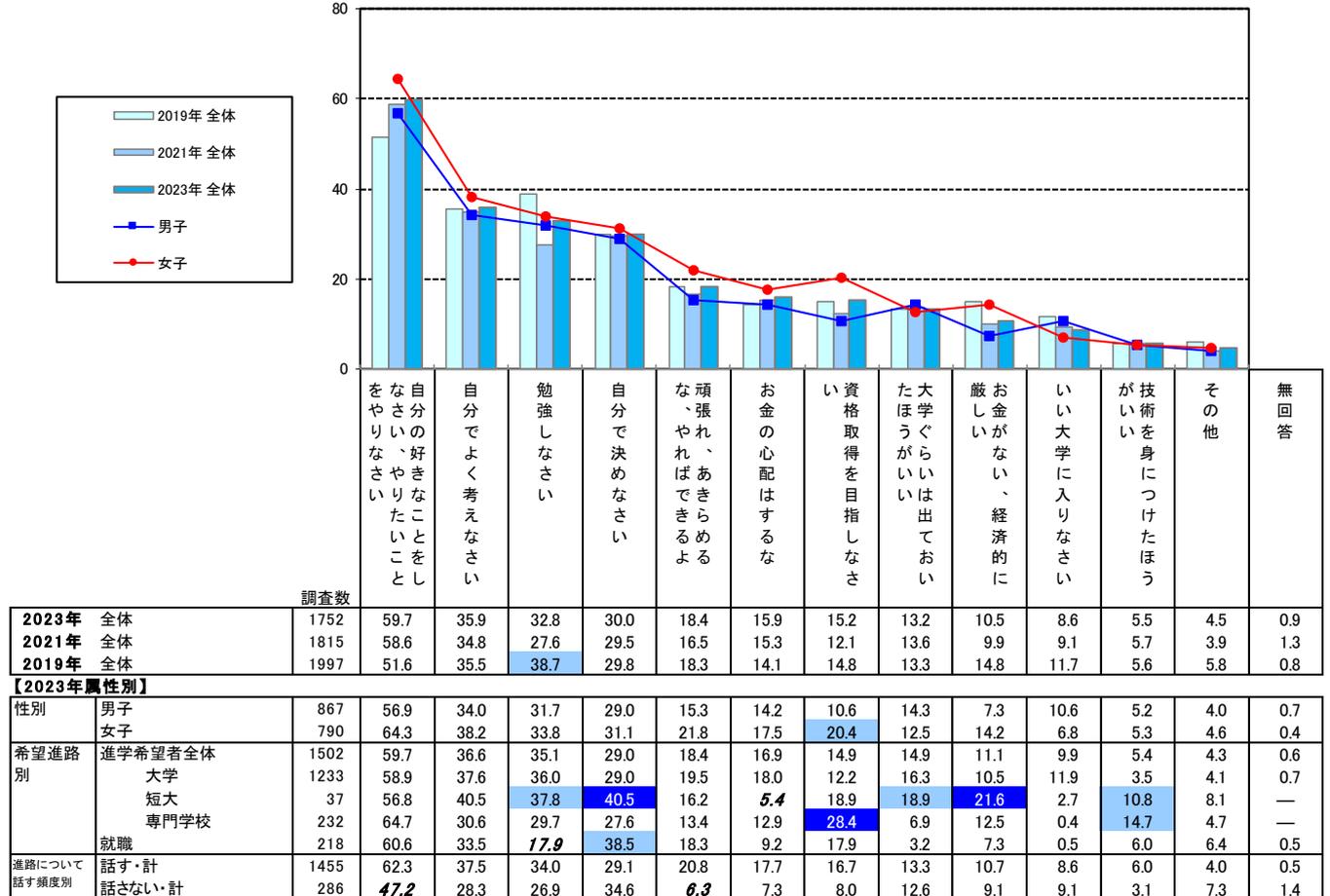
4. 保護者がよく使う言葉／その言葉をどう感じるか

▶高校生からみて、進路の話をするとき保護者がよく使う言葉は「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が突出。次いで「自分でよく考えなさい」「勉強しなさい」。

- 高校生に対して、進路の話をするときに保護者がよく使う言葉について尋ねたところ、「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」（60%）が突出して高く、以下「自分でよく考えなさい」「勉強しなさい」「自分で決めなさい」などが続く。
- 時系列でみると、「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が連続で上昇した。

【高校生】 進路の話をするときに保護者がよく使う言葉（全体／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

K_Q2

▶＜フリーコメント＞ 最も使われる言葉と、それを言われたときどう感じるか【高校生】

- 「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」
 - 応援してもらえることはすごくうれしいし、少しでも応援してよかったと思えるようにしたい。[群馬県/女/大学]
 - 嬉しく思いつつ本当に自由にしていいの心配になる。[秋田県/女/大学]
 - やりたいことがはっきりしていないからどうしたらいいかわからない。[奈良県/女/大学]
- 「自分でよく考えなさい」
 - うまく形にならないような、違和感や恐怖、焦燥感を感じる。[福井県/男/大学]
 - 自分でもよく考えてるのに毎回しつこい。[北海道/女/大学]
 - 自分なりに調べたりしているが、あまり良く思われていない。[奈良県/女/就職]
- 「自分で決めなさい」
 - 早いうちに自分で志望校を決めて、目標をもって勉強していかないといけないと思う。[奈良県/女/大学]
 - 決め方もわからないのにそんなこと言わないでほしい。[奈良県/女/就職]
- 「勉強しなさい」
 - 高校生だからとりあえず勉強しておけというのはイマイチ納得がいかない。[群馬県/男/大学]
 - なんのために頑張る必要があるのかわからなくなる。[徳島県/女/大学]
 - 勉強はしないと社会に出て困るので必要なのはわかるけど、勉強の取り組み方がうまくいかず困っている。[徳島県/無回答/大学]

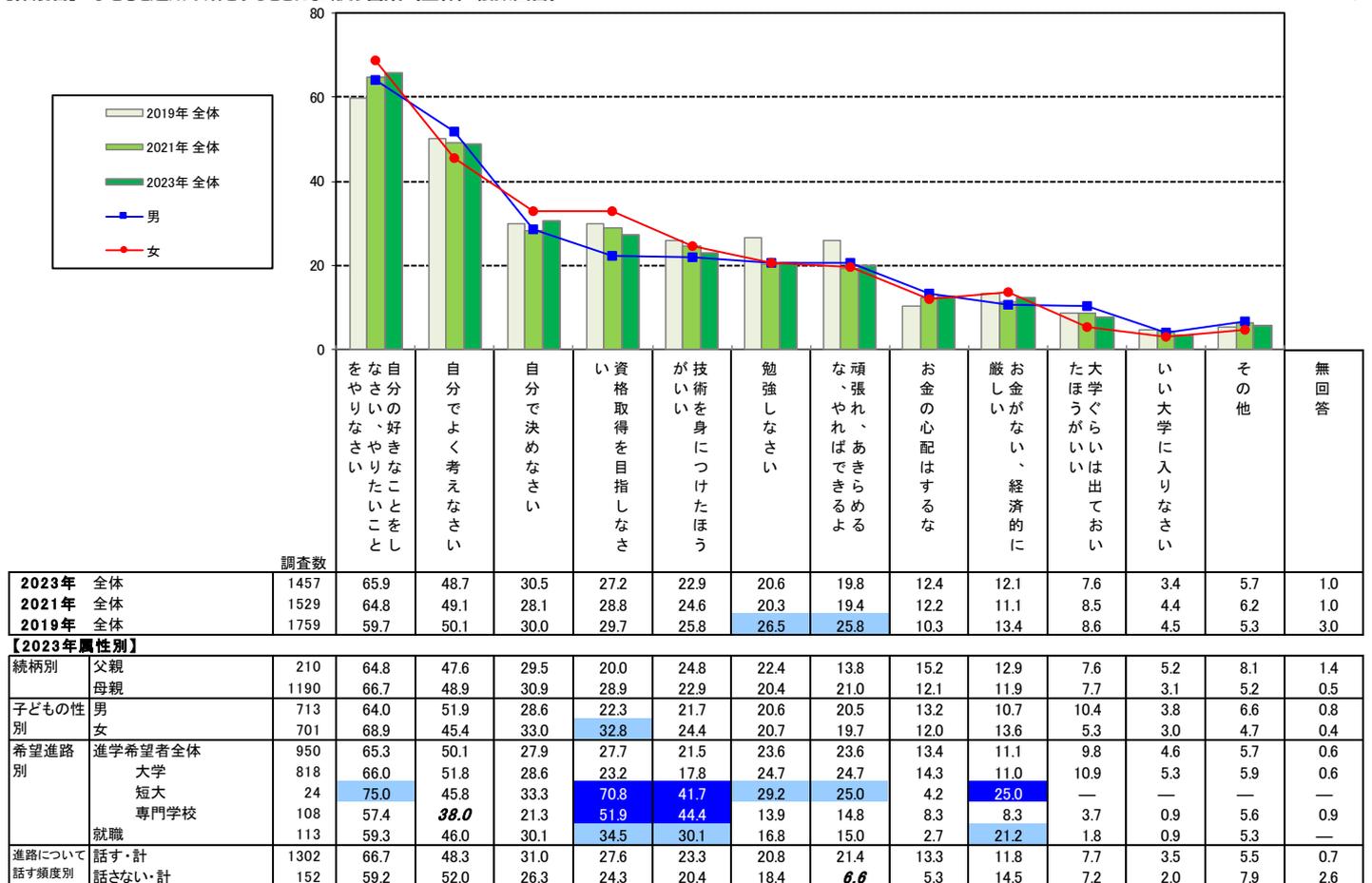
▶保護者自身の認識でも、進路について高校生と話す際によく使う言葉は「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が最も多い。

▶高校生と同様「自分の好きなことを～」が上昇傾向。一方「資格取得を目指しなさい」は低下。

- 保護者にも同様に高校生と進路の話をする際にどのような言葉を使うかを尋ねたところ、高校生と同様「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」（66%）が突出して高い。次いで「自分でよく考えなさい」「自分で決めなさい」などが高い。
- 時系列でみると、高校生と同様に「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が上昇。逆にそれ以外の項目は横ばいまたは低下したものが多く、特に「資格取得を目指しなさい」「技術を身につけたほうがいい」「勉強しなさい」など中位の項目で低下または横ばいが続いている。「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」にスコアが集中する傾向となっている。

【保護者】子どもと進路の話をするときによく使う言葉（全体／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H_Q7

5. 希望進路・進路の悩みや不安の共有度

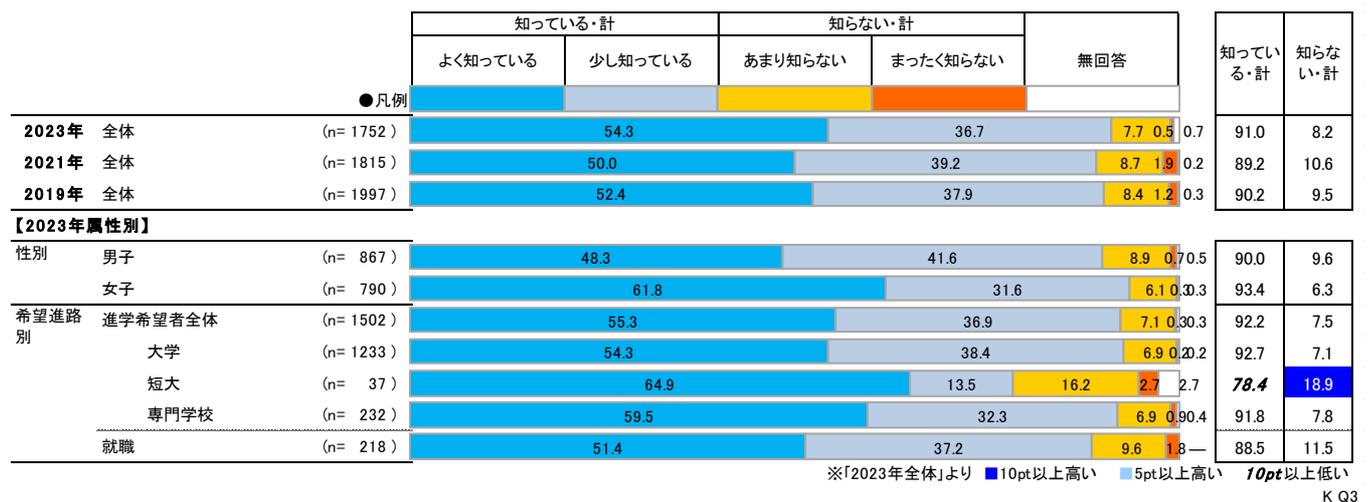
1) 希望進路の共有度

▶ 高校生の91%、保護者の92%が、希望進路や進路に対する考えを「知っている」。

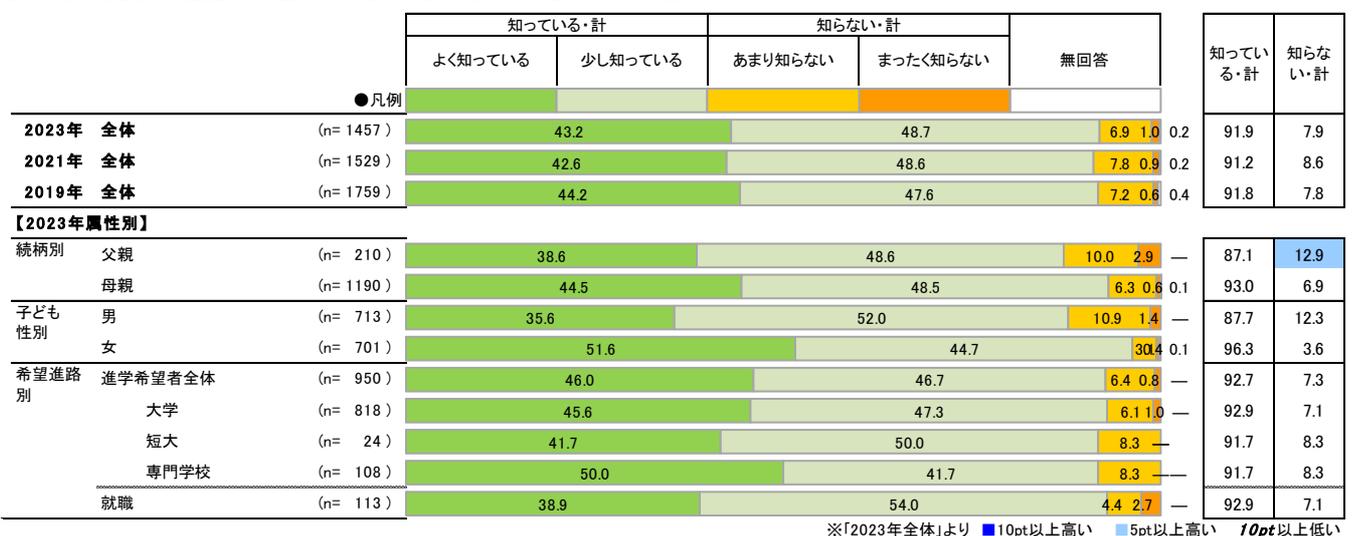
▶ 「よく知っている」割合は、高校生では増加、保護者ではほぼ横ばい。

- 希望進路や進路に対する考えを保護者は知っているかどうか尋ねたところ、高校生の54%が「よく知っている」と回答、「少し知っている」まで合わせると、合計で91%が「知っている」と回答した。
- 時系列でみると、「よく知っている」割合が増加した。
- 性別にみると、男女とも「知っている・計」が90%以上。
- 希望進路別にみると、就職希望者（89%）より進学希望者全体（92%）で「知っている・計」の割合がわずかに高いが、いずれの層でも9割前後を占めた。
- 保護者にも同様に、子どもの希望進路や進路に対する考えを知っているかを尋ねたところ、「よく知っている」が43%を占め、「少し知っている」まで合わせると、合計で92%が「知っている」と回答した。
- 時系列では、この3回では大きい変化はなく、「知っている・計」が90%を超えている。
- 続柄別にみると、「知っている・計」の割合は、父親（87%）より母親（93%）が高い。
- 子どもの性別にみると、「知っている・計」の割合は男子（88%）より女子（96%）が高く、高校生の傾向と一致している。

【高校生】 希望進路や、進路に対する考えを保護者は知っているか（全体／単一回答）



【保護者】 子どもの希望進路や、進路に対する考えを知っているか（全体／単一回答）



2) 進路の悩みや不安の共有度

▶保護者のうち合計70%が、子どもの進路に関する悩みや不安について「知っている」と回答。

▶悩み・不安の共有度はほぼ横ばい。

- 保護者に対して、子どもの進路に関するの悩みや不安について知っているかどうかを尋ねたところ、「よく知っている」が22%を占め、「少し知っている」まで含めると合計で70%が「知っている」と回答した。
- 時系列で見ると、「よく知っている」の割合は前回（26%）から4ポイント減少した。
- 続柄別にみると、「知っている・計」は母親（72%）の方が父親（62%）より高く、特に「よく知っている」割合の差が大きい。

【保護者】子どもの進路に関する悩みや不安を知っているか（全体／単一回答）

(%)

	●凡例	知っている・計		知らない・計		無回答		知っている・計	知らない・計
		よく知っている	少し知っている	あまり知らない	まったく知らない				
2023年 全体	(n= 1457)	22.2	48.0	26.2	3.4	0.3	70.1	29.6	
2021年 全体	(n= 1529)	26.0	45.1	25.8	2.8	0.3	71.1	28.6	
2019年 全体	(n= 1759)	21.9	48.8	26.6	2.3	0.3	70.7	28.9	
【2023年属性別】									
続柄別	父親	(n= 210)	15.2	47.1	32.9	4.8	—	62.4	37.6
	母親	(n= 1190)	23.4	48.2	25.1	3.0	0.2	71.7	28.2
子ども性別	男	(n= 713)	15.6	44.5	34.8	5.2	—	60.0	40.0
	女	(n= 701)	29.0	51.9	17.5	1.3	0.3	80.9	18.8
希望進路別	進学希望者全体	(n= 950)	23.1	49.1	25.1	2.7	0.1	72.1	27.8
	大学	(n= 818)	22.5	49.1	25.4	2.8	0.1	71.6	28.2
	短大	(n= 24)	20.8	54.2	25.0	—	—	75.0	25.0
	専門学校	(n= 108)	27.8	47.2	22.2	2.8	—	75.0	25.0
	就職	(n= 113)	24.8	37.2	31.9	6.2	—	61.9	38.1

※「2023年全体」より ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

H_Q3

6. 保護者からのアドバイス／アドバイスしてほしい内容・理由

▶ 高校生の68%が、保護者からアドバイスを「してほしい」。時系列では前回よりやや減少。

▶ 保護者の81%がアドバイスを「している」。合計の割合は増加傾向が続いた。

- 高校生に対して、保護者に進路選択についてのアドバイスをしてほしいか尋ねたところ、「たくさんアドバイスしてほしい」が13%、「ある程度アドバイスしてほしい」が55%と、合計68%が「してほしい」と回答した。時系列ではこの割合が前回よりやや減少している。
- 保護者に対して、高校生の進路に関する悩みや不安について相談に乗ったりアドバイスしているかを尋ねたところ、「よくしている」が26%を占め、「少ししている」まで含めると合計81%が「している」と回答。

【高校生】 進路選択について保護者にアドバイスしてほしいか（全体／単一回答）

(%)



※「2023年全体」より ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

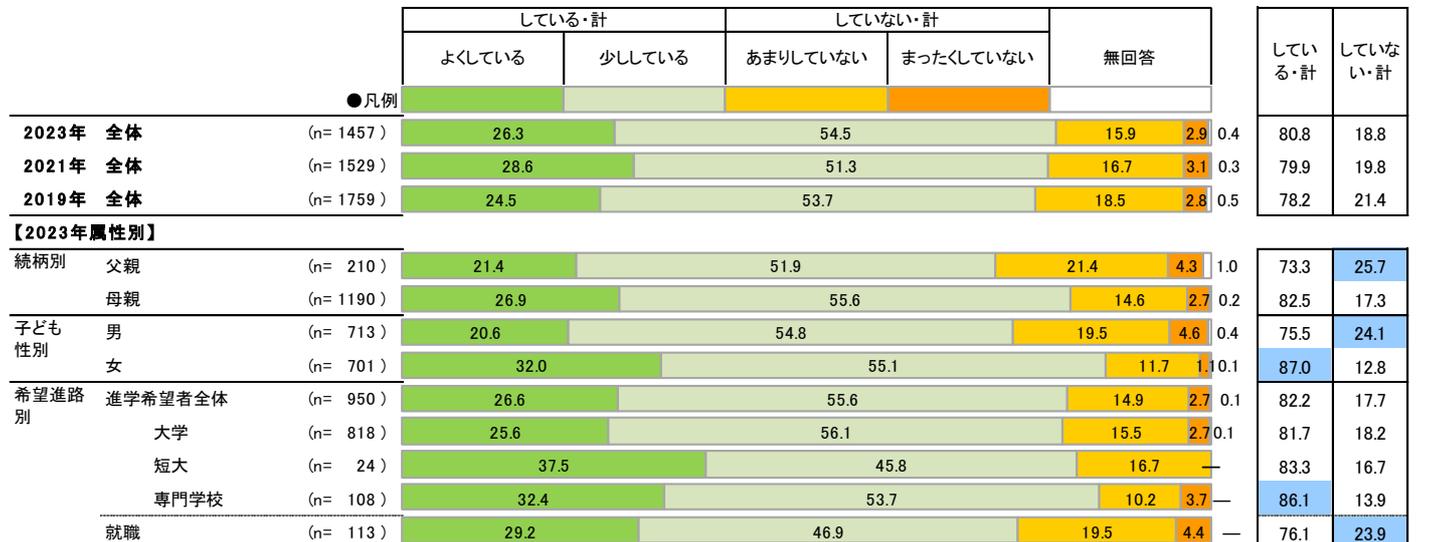
K_Q9

▶ <フリーコメント> 保護者にアドバイスしてほしい内容や理由【高校生】

- たくさんアドバイスしてほしい～ある程度アドバイスしてほしい
 - 自分のことだけ自分だけのことではないし、いろいろな意見を聞きたい。[奈良県/男/大学]
 - アドバイスしてもらおうほうが自分のことを知れたり選択の参考になるから。[福井県/女/専門学校]
 - 試験の手続きなどでわからないところがあると思うから。[北海道/男/大学]
- あまりアドバイスしてほしくない～アドバイスはいらない
 - 何をしても応援してくれるとわかっているから、しっかり自分で決め責任を持ちたいから。[静岡県/女/大学]
 - あまり参考にならない、固い意見が出てくるから。[福井県/女/大学]
 - その職が今後必要とされるかなど今は自身がやりたいかどうかで考えたいため。[群馬県/男/大学]

【保護者】 子どもの進路に関する悩みや不安について、相談に乗ったりアドバイスしているか（全体／単一回答）

(%)



※「2023年全体」より ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

H_Q4

7. 保護者がアドバイスすることの困難

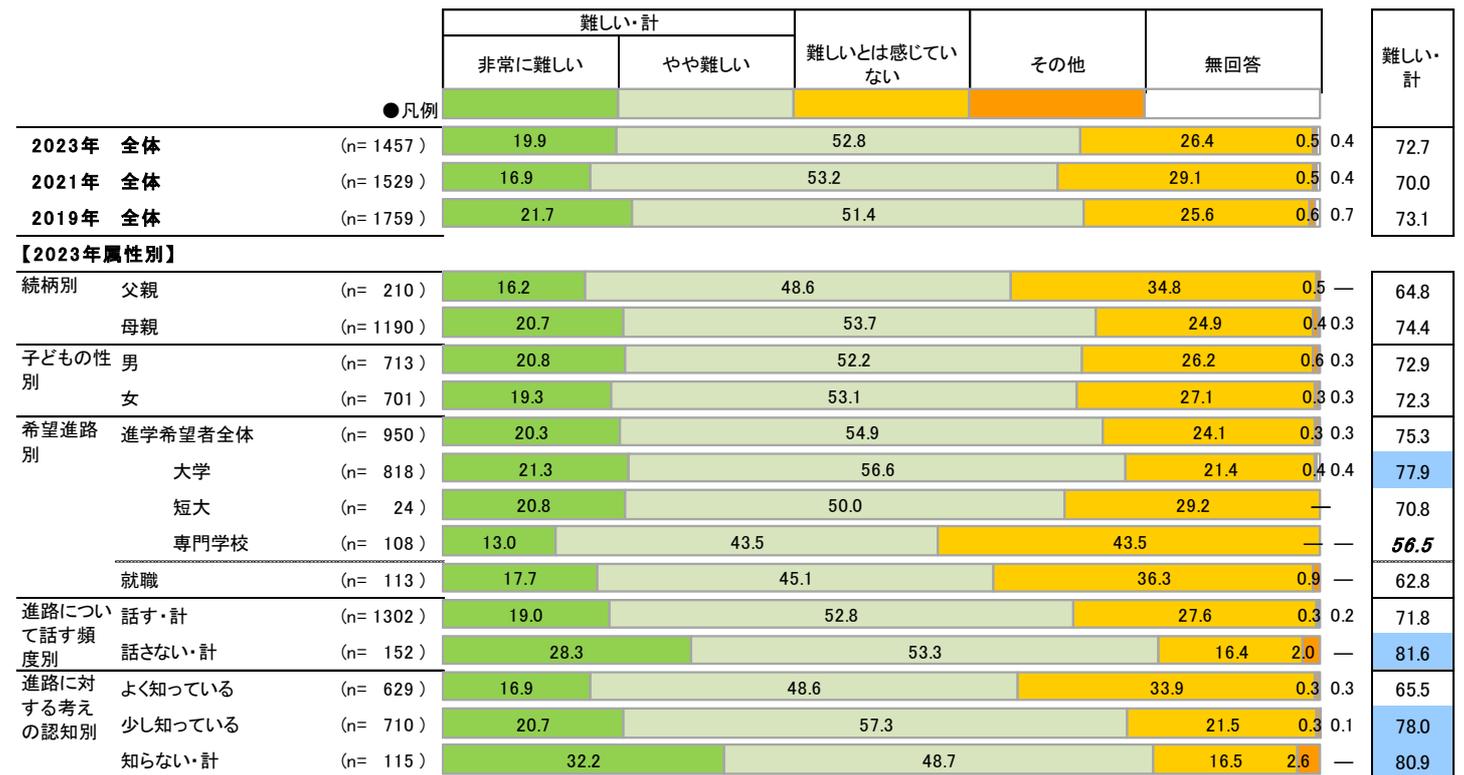
1) 子どもの進路選択についてアドバイスすることは難しいか

▶保護者の73%が進路選択について子どもにアドバイスすることは「難しい」と感じている。

- 進路選択について子どもにアドバイスすることの難しさについてどのように感じているかを尋ねたところ、「非常に難しい」が20%を占め、「やや難しい」を含めると合計で73%が「難しい」と回答した。
- 時系列でみると、2021年と比較して「非常に難しい」がやや増加した。
- 続柄別にみると、「難しい・計」の割合は、母親(74%)が父親(65%)を上回った。
- 希望進路別にみると、「難しい・計」の割合は、進学希望者全体(75%)の方が就職希望者(63%)より高い。
- 子どもとの進路に関する対話頻度別にみると、話すとは回答した層に比べて話さない層の方が「難しい・計」の割合が高く、82%を占める。
- 進路に対する考えの認知別にみると、考えを共有していない層ほど「難しい・計」の割合が高い。子どもの進路について知らないとは回答した層では、とりわけ「非常に難しい」割合が高くなっている。

【保護者】 進路選択について子どもにアドバイスすることは難しいか（全体／単一回答）

(%)



※「2023年全体」より ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H.Q5

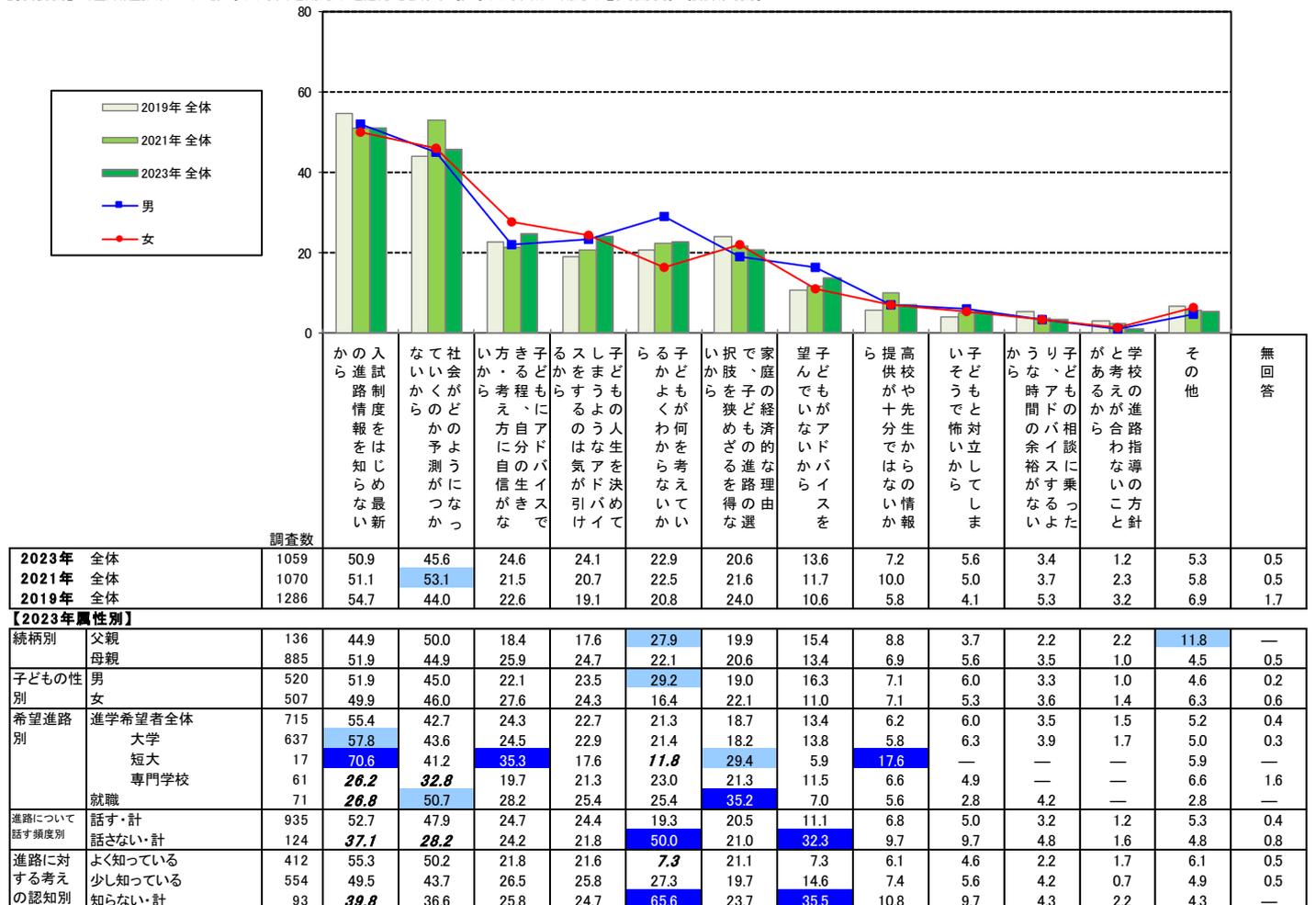
2) 子どもの進路選択についてアドバイスすることが難しい理由

▶ アドバイスに困難を感じる理由は、「入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから」がトップ。

- アドバイスが「難しい」と感じている保護者にその要因を尋ねたところ、「入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから」が51%でトップ。次いで「社会がどのように変わっていくのか予測がつかないから」が46%で高い。
- 時系列でみると、「社会がどのように変わっていくのか予測がつかないから」は、前回（53%）より8ポイント低下し、コロナ禍での“先行き不安”は解消されつつあると考えられる。逆に「子どもにアドバイスできる程、自分の生き方・考え方に自信がないから」「子どもの人生を決めてしまうようなアドバイスをするのは気が引けるから」など、親として子どもの人生に関与すること自体の難しさを理由とする人が増えている。

【保護者】 進路選択についてアドバイスを難しいと感じる要因（アドバイスが「難しい」回答者／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以下低い

H.Q5.1

▶ <フリーコメント> 子どもの進路について心配なことや気がかり【保護者】

- どのような選択が子どもにとって一番良い選択になるか、どこまで親が口出ししてよいのか迷っている。[宮崎県/母親/子の希望なら何でも]
- 希望の大学についてもっといろいろ情報提供してほしい。いろいろな選択肢の中から選んでほしいし大学卒業後の就職状況の良い大学なども教えてほしい。大学に行かずとも就職する選択肢もあるのか？[群馬県/母親/大学]
- 4年制大学の進学者が増えてますが、大学で学んだことをその先の進路で生かしている人がどのくらいいるのだろうか。進学する意味目的を考えてしまいます。？[奈良県/母親/子の希望なら何でも]
- アドバイスに左右されやすいところがあるからうかつに言えない。[東京都/母親/大学]
- どんな進路がどのような職業につながるか幅広く知るすべがない。[秋田県/母親/子の希望なら何でも]
- 希望してる大学には学力が足りない。なのに、普段の勉強や、その大学にあった勉強ができていない。[群馬県/無回答/大学]
- 大学進学するならその先を見据えることができるのか、また、その後の就職にも不安がある。[奈良県/母親/子の希望なら何でも]
- 本人が自分の人生の選択をしななければいけない場面であることをどこまで理解しているのか？将来よりいまだに今のことを優先してしまっている。強い意志をいつもてるのか？不安です。[静岡県/父親/大学]

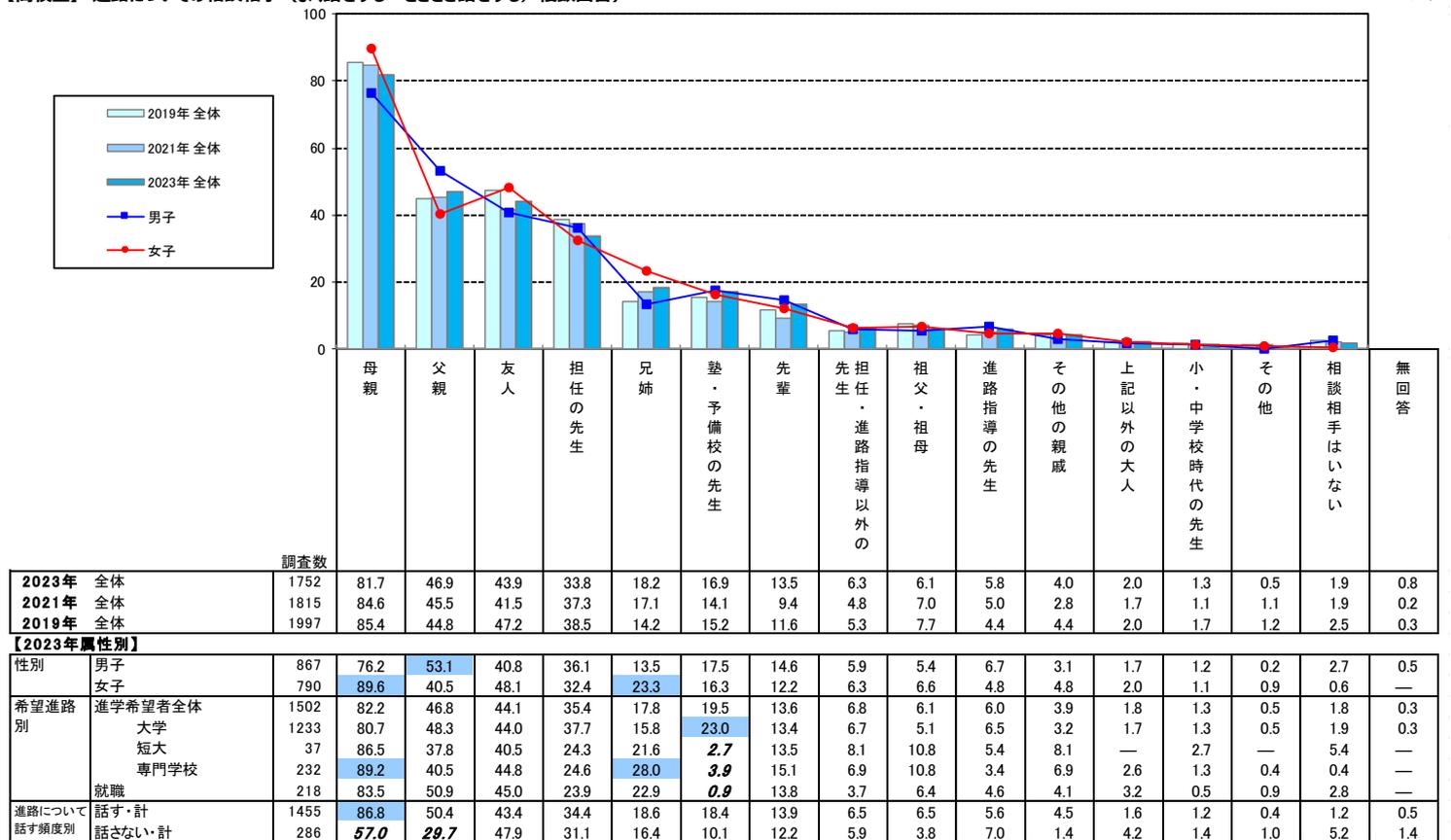
8. 進路選択についての相談相手

- ▶ 高校生が進路を考えるうえで相談する相手としては、「母親」が突出して高い。
- ▶ 時系列では「父親」の増加傾向が続く。

- 高校生に対して進路を考えるうえで誰と相談するかを尋ねたところ、「母親」(82%)が突出して高く、以下「父親」「友人」「担任の先生」などが30%以上で続く。
- 時系列でみると、「母親」は80%以上を維持しているが、2019年以降徐々に低下している。逆に「父親」(47%)は徐々に上昇。このほか「兄弟」も漸増しており、近親者への相談が連続して増加した。
- 性別にみると、男女とも第1位は「母親」となっているが、第2位は男子では「父親」、女子では「友人」が続いている。
- 最もよく相談する相手について、その理由を自由回答で尋ねたところ、突出して多い「母親」については、日常からよく会話をしており、安心して話せる理解者として認識されていることがわかる。

【高校生】 進路についての相談相手（よく話をする〜ときどき話をする／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

K.Q10

▶<フリーコメント> 進路選択について一番の相談相手、その理由【高校生】

・相談相手：母親

- ・安心して話せる。[宮崎県/男/大学]
- ・一番話しやすく、応援をしてもらえることが多い。相談後に一番やる気が出る。[北海道/男/大学]
- ・いろいろとアドバイスをしてくれるから。[宮崎県/女/専門学校]
- ・1番心を開いている人だから。[北海道/その他/専門学校]
- ・いろいろな進学先を紹介して進路について話してくれるから。[北海道/無回答/大学]
- ・よく私の癖を(良い点悪い点含め)わかってくれているから。[東京都/男/大学]
- ・自分が志望する学部と同じ学部に行っていたから。[福井県/女/大学]
- ・塾の送迎のときよく話すから。[群馬県/男/大学]
- ・ママが看護師で自分も同じ道に進みたいから参考になる。[福井県/女/専門学校]

・相談相手：父親

- ・家族の中で最も勉強ができる人だから。[群馬県/女/大学]
- ・自分の判断を尊重してくれる。[静岡県/男/大学]
- ・自分の目指す夢に一番近い人だから。[群馬県/男/大学]
- ・いい進路にすすんでいて手本になる人だから。[静岡県/男/大学]
- ・前向きなアドバイスをしてくれるから。[北海道/男/大学]
- ・いつもたくさん話していて、話しやすいから。[福井県/女/大学]
- ・言葉選びがいてねいで内容が理解しやすいから。[福井県/女/大学]
- ・学費などを出してくれるから。[奈良県/男/専門学校]

・相談相手：友人

- ・話しやすい。同じ目線で調べているから。[東京都/女/大学]
- ・話しやすい。境遇が近いので、考えを理解してもらいやすい。[東京都/男/大学]
- ・自分のことのように考えてくれて、否定もせず、やさしい言葉をくれるから。[福井県/女/大学]
- ・お互いの情報交換にも役立つから。[奈良県/男/大学]
- ・母親より話す時間がある。[奈良県/その他/専門学校]
- ・友達に言えば、肯定も否定もしてくれて客観的にみってくれる。[北海道/女/大学]
- ・お互いに同じ立ち場で話せるから。[宮崎県/女/大学]

・相談相手：担任の先生

- ・どのくらい学力が必要か教えてくださる。[宮崎県/男/大学]
- ・わからないことはすぐ教えてくれそうだから。[奈良県/男/大学]
- ・詳しくて、的確にアドバイスをくれるから。[北海道/女/専門学校]
- ・多くの生徒を見ているため、情報が豊富であるから。[群馬県/男/大学]
- ・面談の時、たくさんアドバイスをもらっているから。[福井県/女/大学]
- ・自分の学力とか一番知ってると思うから。[北海道/男/大学]
- ・進学について一番よく理解している人だから。[北海道/男/大学]
- ・話す機会が多く、進路について情報をしっかりもっていそうだから。[奈良県/男/大学]
- ・一番自分を勉強面で見てくれているから。[北海道/男/大学]
- ・ほかにそんなにいないから。[北海道/男/大学]

・相談相手：兄姉

- ・人生の先輩として親しみが深く、歳も近いから。[北海道/女/専門学校]
- ・私になりたい職業に就いているため。[福井県/女/大学]
- ・いい兄だから。少しばかり母親と同じようなことを言うが自分の考えも尊重してくれるから。[群馬県/男/大学]
- ・姉と同じ仕事に就きたいから一番知っている姉に聞いている。[秋田県/女/就職]
- ・経験者の言葉は参考になる。[秋田県/女/大学]
- ・双子で同じ立場にたっているから。[群馬県/女/大学]
- ・一番プレッシャーフリーの状態ですら話しやすいから。[静岡県/女/大学]
- ・一番歳が近くなんでも言えるし、お互い、勉強で悩みがあるから。[群馬県/女/大学]
- ・進路についてよく知っている。気楽に相談できるから。[北海道/女/大学]
- ・現在大学に通っていて、その話を聞けるから。[群馬県/男/大学]

9. 目指している・あこがれている人

1) 目指している人・あこがれている人の有無と具体像

▶ 高校生の24%が、自分の将来を考えると、目指している人やあこがれている人が「いる」。

- 高校生に対して、自分の将来を考えると、目指している人やあこがれている人がいるかどうかを尋ねたところ、24%が「いる」と回答した。
- 時系列でみると、2021年と比較して「いる」割合が増加した。
- 目指している人・あこがれている人について、「いる」と回答した高校生に、具体的な対象を自由回答で尋ねたところ、21%が何らかの「有名人」の名前をあげた。次いで「先生・恩師・部活顧問」「特定の職業従事者」が15%前後。
- 「先生・恩師・部活顧問」や「特定の職業従事者」に関する意見からは、自分や親族が「お世話になった」など、これまでに接した経験を通じてあこがれを持っている様子が読み取れる。

【高校生】 目指している人やあこがれている人はいるか (全体/単一回答)

(%)

		いる	いない	無回答
●凡例				
2023年 全体	(n= 1752)	24.1	74.5	1.3
2021年 全体	(n= 1815)	18.7	80.8	0.5
2019年 全体	(n= 1997)	28.6	70.3	1.1
【2023年属性別】				
性別	男子 (n= 867)	22.1	77.3	0.6
	女子 (n= 790)	26.5	73.4	0.1
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1502)	24.9	74.3	0.8
	大学 (n= 1233)	25.7	73.5	0.8
	短大 (n= 37)	21.6	78.4	—
	専門学校 (n= 232)	21.1	78.0	0.9
	就職 (n= 218)	19.7	79.8	0.5
進路選択の意識別	考えている・計 (n= 1426)	27.1	72.2	0.7
	考えていない・計 (n= 311)	11.3	87.8	1.0

K_Q14

【高校生】 目指している・あこがれている人の具体像 (目指している人が「いる」かつ自由回答で記入あり/自由回答)

(%)

(n= 350)

< 具体的な記入内容 >

有名人	21.1	Mrs. GREEN APPLEの若井さん(ギタリストに憧れてる) 東リベ実写の監督(映像関係に興味がある) / 大谷翔平/新海誠さん/イロンマスク/鋭いけど、やさしい言葉を使う人 QKの志賀さんなど/たくさんのダンサーさん(特にriehataさん)/隈研吾さん
先生・恩師・部活顧問	16.6	目標としている園の園長先生のような人になりたい / 周りをよく見ていて、生徒のことを気にかけてくれる担任の先生/中学の時の先生 自分の理想の先生
特定の職業従事者	13.4	自分のかかりつけ医の先生は、自分の持病のことについて長年寄り添ってくれている/中学生の時に知ったエッセイストの自由な生き方に憧れているので、その人のように生きたい。
母	12.9	調理師である母親/中学校のときの保体の先生、お母さん/母・英語の塾の先生/お母さんみたいな人
父	12.6	
兄弟・祖父母など血縁者	11.4	兄です。東京に出て1人でものすごくがんばっているから。/兄のように自分で会社を建てて楽に暮らしたい
先輩・友人	5.7	自分の軸を持っている友人 考えをはっきりとさせている友人/簿記部を卒業して、公認会計士になった先輩/世論と対峙する強いメンタルを持ちながら、自分の好きなことを職にしている俳優・女優。
これまで出会ったその他の社会人	1.1	
その他	16.3	人間として大事なことをしっかり把握し、行動にできるとともに、自分の生活を最大限に楽しんでいる。/楽な道を惜しまず、自分のしたいことには全力だけど早とちりしない人/自分の好きなことを仕事にしている人達

2) 将来像に向けての行動開始状況と具体的な内容

▶ 高校生の20%が、将来像に向けて行動を開始している。

- 高校生に対して、自分の将来像に向けて何か行動を起こすなど始めていることがあるかどうかを尋ねたところ、20%が「ある」と回答。また、「始めたいがまだやっていない」が46%を占め、合計では7割近くが将来像に向けての行動を始めているか始めたいと思っていることがわかる。
- 性別にみると、行動を開始していることが「ある」割合は、男子（18%）より女子（22%）のほうがわずかながら高い。
- 希望進路別にみると、「ある」割合は、進学希望者全体で21%、就職希望者で14%となっている。
- 進路選択の意識別にみると、高校2年生の時点で進路を考えていると回答した層では、将来像に向けて開始している行動が「ある」割合が24%を占めており、考えていない層（5%）を大幅に上回っている。
- 将来像に向けての行動の具体的な内容としては、受験に向けた勉強をするという意見が最も多いが、進学先や就職先に関する情報収集や、関連した技術習得資格を取得するための行動を開始したり、プログラミング言語を学んでいるという意見も多くみられた。

【高校生】 自分の将来像に向けての行動を開始しているか（全体／単一回答）

(%)

			ある	始めたいがまだやっていない	ない	無回答
●凡例						
2023年	全体	(n= 1752)	20.1	46.2	32.3	1.4
2021年	全体	(n= 1815)	19.0	49.4	30.5	1.2
【2023年属性別】						
性別	男子	(n= 867)	18.2	47.4	33.6	0.8
	女子	(n= 790)	22.2	45.9	31.9	—
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1502)	21.1	47.0	31.0	0.9
	大学	(n= 1233)	20.6	47.0	31.3	1.1
	短大	(n= 37)	13.5	51.4	35.1	—
	専門学校	(n= 232)	25.0	46.1	28.9	—
	就職	(n= 218)	14.2	44.5	40.8	0.5
進路選択の意識別	考えている・計	(n= 1426)	23.5	48.7	27.1	0.6
	考えていない・計	(n= 311)	4.5	37.0	57.2	1.3

K.Q14_1

▶ <フリーコメント> 「将来像に向けての行動」の具体的な内容【高校生】

・受験勉強や将来のための勉強・学習

- ・スマホからゲームとYouTubeを消して、触る時間をへらした。空いている時間は単語を覚えている。[徳島県/男/大学]
- ・韓国に留学したいので韓国語を勉強している。[宮崎県/女/大学]
- ・社会や経済のことを知るために毎日必ずニュースを見ている。自主的な勉強を怠らず、努力し続けることを意識している。[徳島県/その他/大学]
- ・大学受験に必要な科目の強化。[秋田県/女/大学]

・大学や入試、職業に関する情報収集

- ・学部情報集め。[福井県/男/大学]
- ・就きたい職業をみに行ったり、じっさいにしたりしている。[宮崎県/無回答/専門学校]
- ・オープンキャンパスや説明会に参加していること。[奈良県/男/専門学校]
- ・学校のインターンシップに参加する。[北海道/女/大学]
- ・どの大学に行けば自分がなりたいものの資格がとれるのか、勉強ができるのかの情報を集めている。[奈良県/女/大学]

・技術習得や資格取得

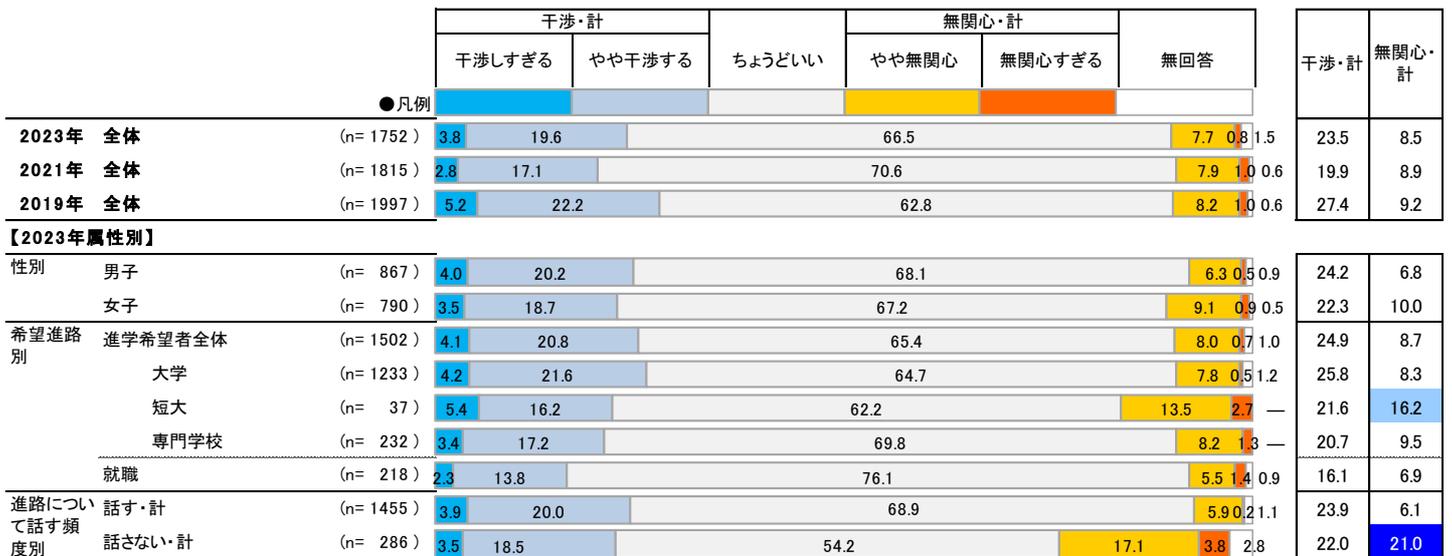
- ・イラストを描く。[東京都/女/専門学校]
- ・英検の獲得。[北海道/女/大学]
- ・月に1回手話の教室に行っている。[秋田県/女/専門学校]
- ・絵に関する職をしたいため、毎日絵を描いたり、動画やほかの人の絵を見て学んでいる。[奈良県/女/大学]
- ・プログラミングを学んだりそれに関連する資格も取ろうとしている。[群馬県/男/大学]
- ・パソコンでのタッチタイピング練習。[徳島県/男/専門学校]
- ・C#を習っている。[静岡県/男/大学]

10. 進路選択について保護者が取る態度

- ▶ 進路選択に関する保護者の態度について、高校生の67%が「ちょうどいい」。2021年と比較してやや減少した。
- ▶ 「干渉」と感じるのは24%で、前回よりやや増加。
 - 高校生に、進路選択に関する保護者の態度について尋ねたところ、67%が「ちょうどいい」と回答した。一方、「干渉・計」は24%、「無関心・計」は9%となっている。
 - 時系列でみると、「干渉・計」は2021年（20%）よりやや増加した。
 - 性別にみると、「ちょうどいい」割合は男女とも70%弱を占める。
 - 希望進路別にみると、「ちょうどいい」割合は、進学希望者全体（65%）より就職希望者（76%）で高い。
 - 保護者との進路に関する会話頻度別にみると、進路について話す層では「ちょうどいい」が69%を占めているが、話さない層では54%と低く、「無関心・計」が21%を占める。

【高校生】 進路選択に関する保護者の態度（全体／単一回答）

(%)



※「2023年全体」より ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い
K.Q13

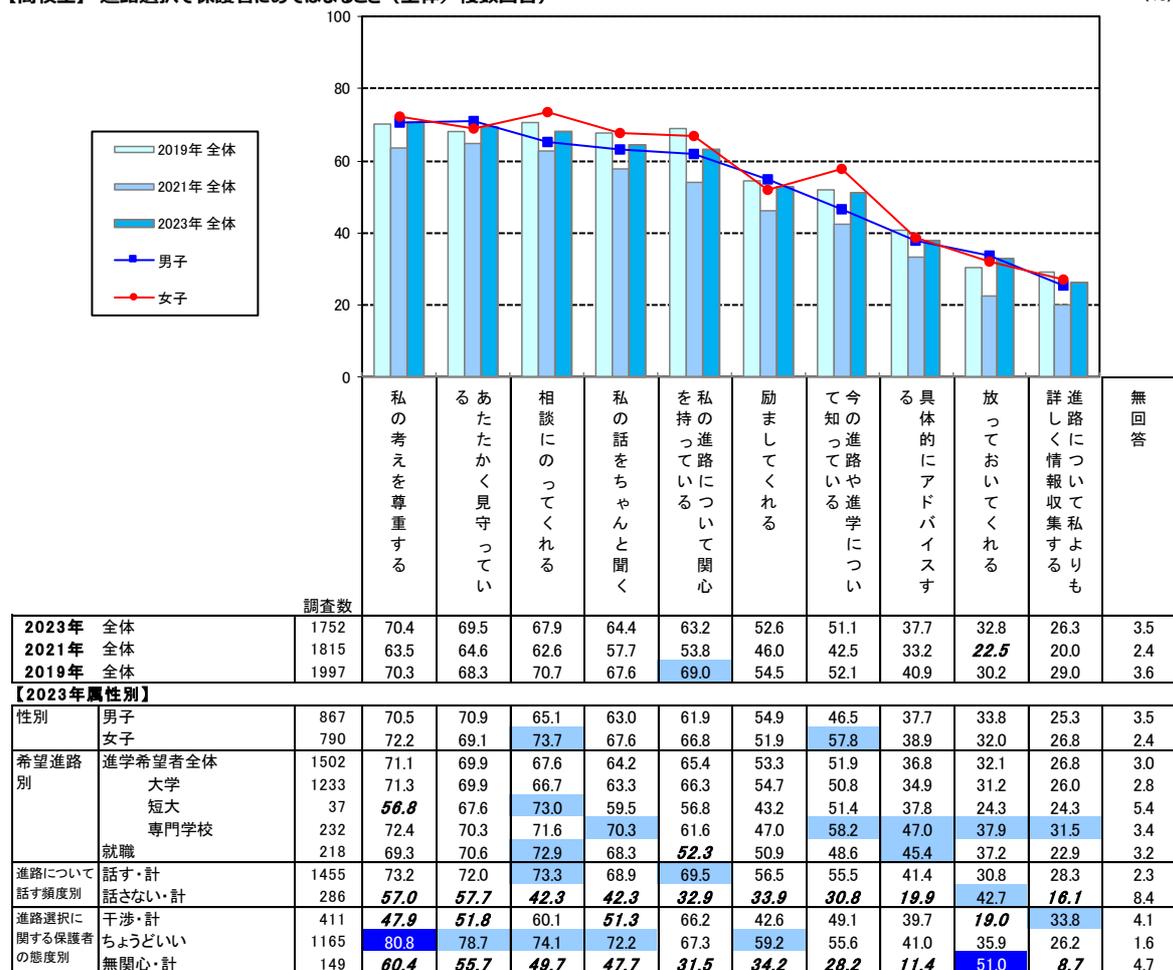
11. 進路選択についての保護者の行動・態度

▶進路選択に関する保護者の行動や態度は、「私の考えを尊重する」「あたたかく見守っている」「相談にのってくれる」が70%前後で拮抗。

- 高校生に対して、進路選択に関する保護者の行動や態度としてあてはまるものを尋ねたところ、「私の考えを尊重する」（70%）、「あたたかく見守っている」（70%）、「相談にのってくれる」（68%）が上位。
- 時系列でみると、ほとんどの項目は2021年よりスコアが上昇した。
- 性別にみると、男子では全体と同様の項目が上位となっているが、女子では「相談にのってくれる」が第1位となっている。
- 進路選択に関する保護者の態度別にみると、ちょうどいいと回答した層ではほかの層より全体的にスコアが高く、特に「私の考えを尊重する」は80%以上にのぼる。

【高校生】 進路選択で保護者にあてはまること（全体／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以下低い

K_Q11_1

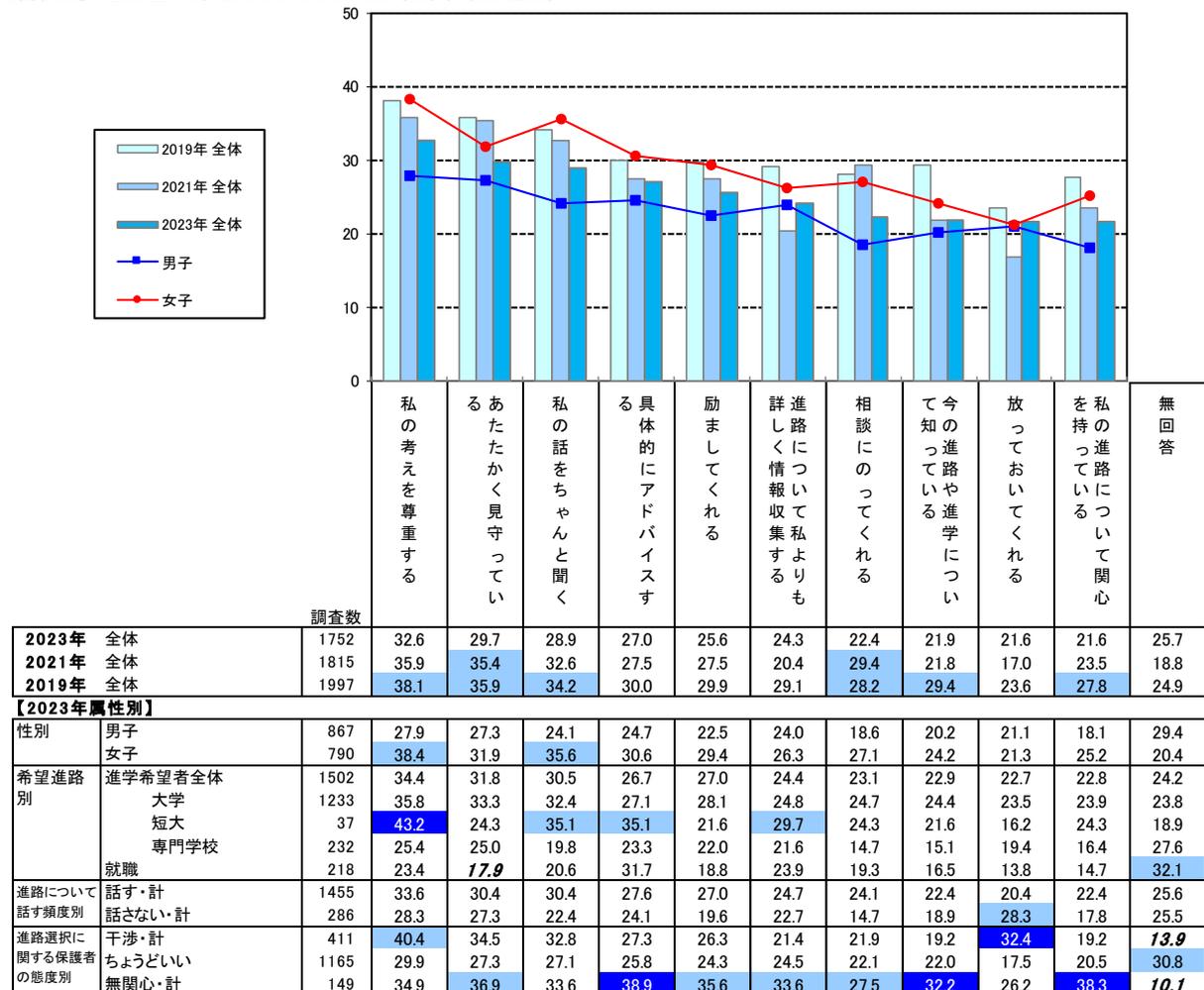
12. 保護者にしてほしい行動・態度

▶ 高校生が進路選択で保護者に望む行動・態度は、「私の考えを尊重する」「あたたかく見守っている」。

- 高校生に、進路選択に関する行動や態度として、保護者に「してほしい」ということを尋ねたところ、「私の考えを尊重する」「あたたかく見守っている」が3割前後。僅差で「私の話をちゃんと聞く」が続く。
- 時系列でみると、全体的にスコアが低下した項目が多いが、「進路について私よりも詳しく情報収集する」「放っておいてくれる」がいずれも2021年よりやや増加した。
- 性別にみると、ほぼすべての項目で男子より女子でスコアが高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体では「私の考えを尊重する」、就職希望者では「具体的にアドバイスする」がそれぞれ第1位。
- 進路選択に関する保護者の態度別にみると、保護者が干渉すると感じている層では「放っておいてくれる」が全体と比較して10ポイント以上高い。一方、無関心と感じている層では「具体的にアドバイスする」「今の進路や進学について知っている」「私の進路について関心を持っている」のスコアが全体と比較して10ポイント以上高く、保護者の態度として、詳細な情報収集や具体的なアドバイスが求められていることがわかる。

【高校生】 進路選択で保護者にしてほしいこと（全体／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

K.Q11.2

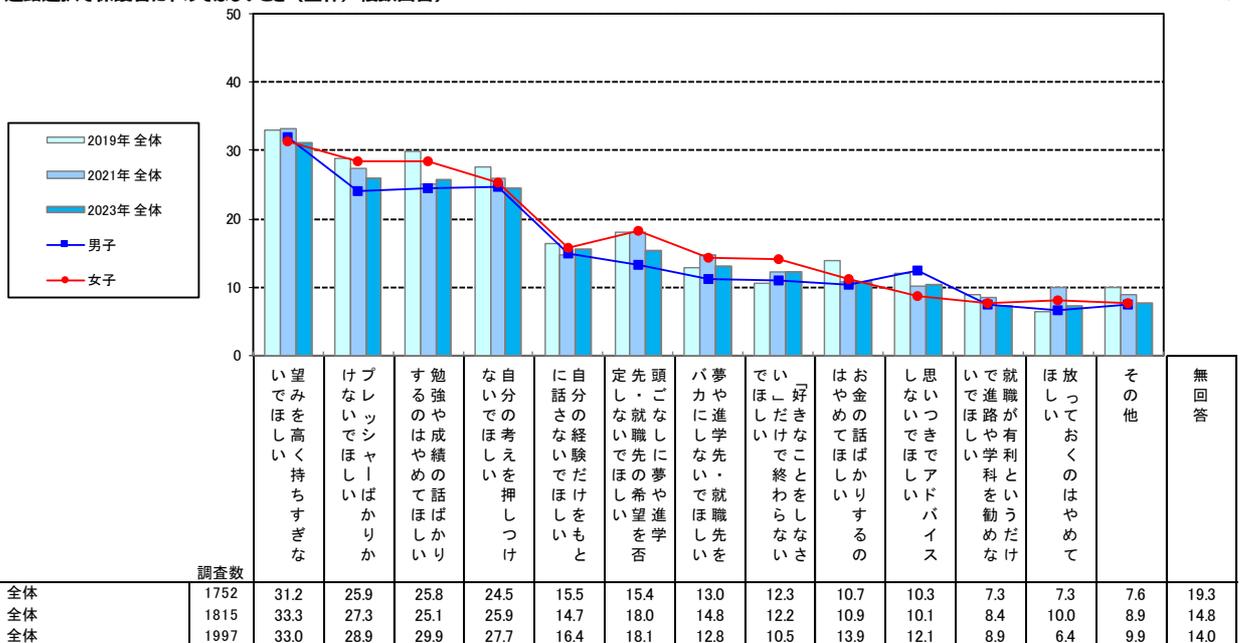
13. 保護者にやめてほしい行動・態度

- ▶進路を考えるうえで保護者にやめてほしい行動・態度は、「望みを高く持ちすぎないでほしい」。
- ▶時系列ではほとんどの項目でスコアが低下。

- 高校生に対して、進路を考えるうえで保護者にやめてほしい行動や態度を尋ねたところ、「望みを高く持ちすぎないでほしい」(31%)が最も高く、以下「プレッシャーばかりかけないでほしい」「勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい」「自分の考えを押しつけないでほしい」が25%前後で続く。
- 時系列でみると、ほとんどの項目が前回より低下。ただし、上位項目では「勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい」、中位の項目では「『好きなことをしなさい』だけで終わらないでほしい」がやや上昇した。
- 性別にみると、男女とも上位の顔ぶれは変わらず、特に「望みを高くもちすぎないでほしい」はスコアの男女差も小さく、性別によらず共通した意向として読み取れる。
- 進路選択に関する保護者の態度別にみると、保護者が干渉すると感じている層では、「望みを高くもちすぎないでほしい」「プレッシャーばかりかけないでほしい」など上位6項目がすべて全体より10ポイント以上高く、高望みやプレッシャー、偏った情報による考えの押し付けをやめてほしいと感じる高校生が多いことがわかる。また、保護者が無関心だと感じている層では、「『好きなことをしなさい』だけで終わらないでほしい」「お金の話ばかりするのはやめてほしい」などが全体と比較して10ポイント以上高い。

【高校生】進路選択で保護者にやめてほしいこと(全体/複数回答)

(%)



【2023年属性別】

属性	調査数	望みを高く持ちすぎないでほしい	プレッシャーばかりかけないでほしい	勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい	自分の考えを押しつけないでほしい	自分の経験だけをいってほしい	先・就活に夢や進路を定めないでほしい	頭ごなしに夢や進路を押しつけてほしい	夢や進路に先・就活を押しつけてほしい	『好きなことをしなさい』だけで終わらないでほしい	お金の話ばかりするのはやめてほしい	思いつきでアドバイスしないでほしい	進路が有利な学科を勧めないでほしい	放っておくのはやめてほしい	その他	無回答
性別																
男子	867	31.9	24.1	24.5	24.7	15.0	13.3	11.2	11.0	10.3	12.3	7.4	6.7	7.5	20.1	
女子	790	31.4	28.4	28.4	25.3	15.7	18.2	14.3	14.1	11.3	8.6	7.6	8.1	7.7	17.0	
希望進路別																
進学希望者全体	1502	32.0	26.6	27.2	26.0	16.2	16.0	13.6	12.3	10.9	11.1	8.1	7.1	7.5	18.4	
大学	1233	32.9	26.8	27.4	26.2	16.0	16.5	13.7	12.9	10.5	11.7	8.9	7.0	7.2	17.9	
短大	37	29.7	24.3	24.3	24.3	21.6	24.3	21.6	10.8	16.2	8.1	10.8	10.8	5.4	24.3	
専門学校	232	27.2	25.9	26.7	25.4	16.4	12.5	12.1	9.5	12.1	8.2	3.0	7.3	9.1	19.8	
就職	218	30.3	21.6	17.4	16.5	11.9	12.8	9.6	11.9	10.6	6.4	2.8	9.2	7.8	22.9	
進路について話す頻度別																
話す・計	1455	31.3	25.6	25.6	24.1	14.6	15.2	12.7	12.0	10.1	10.2	7.1	7.4	7.8	18.9	
話さない・計	286	31.5	28.0	27.3	27.3	20.3	17.1	14.3	14.0	14.0	11.2	8.0	7.3	6.3	20.6	
進路選択に関する保護者の態度別																
干渉・計	411	47.9	38.2	40.9	44.0	27.5	25.8	19.2	8.0	14.4	13.9	11.4	4.6	3.9	8.0	
ちょうどいい	1165	26.6	21.7	20.5	17.5	10.1	11.0	9.5	12.1	8.2	8.4	5.6	7.1	9.6	23.7	
無関心・計	149	23.5	26.8	28.2	28.2	25.5	22.8	23.5	26.8	20.8	16.8	8.7	17.4	3.4	6.7	

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

K_Q12

14. 保護者の進路選択行動

1) 子どもの進路選択行動への関与状況

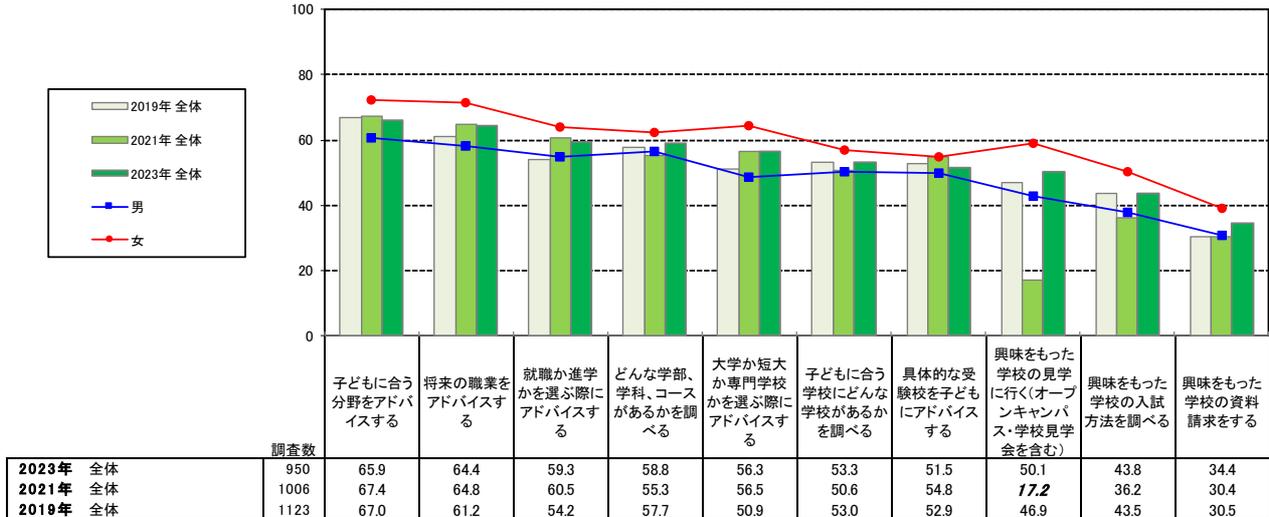
- ▶ 「行ったことがある」行動は、進路選択、職業、分野に関する“アドバイス”が多い。
- ▶ 「今後行いたい」行動としては、子どもが興味を持った進学先に関する情報収集が上位。
- 子どもの進学を希望する保護者に対して、子どもが高校2年生の時点で、保護者として進路選択行動にどのようにかかわっているかを尋ねた。「行ったことがある」行動としては、【子どもに合う分野をアドバイスする】（66%）、【将来の職業をアドバイスする】（64%）が60%以上で拮抗。
- 一方、「行ったことはないが、今後行いたい」行動としては、【興味を持った学校の入試方法を調べる】（46%）、【興味を持った学校の資料請求をする】（45%）が40%以上で上位。
- 時系列でみると、コロナ禍の2021年では実施が難しかった【興味を持った学校の見学に行く】を実際に行ったことがある割合は、17%→50%と大幅に増加した。

【保護者】進路選択行動の関わり方（進学希望者／各単一回答）

	2023年 n=950 2021年 n=1006 2019年 n=1123	経験意向・計 (%)				経験意向・計
		行ったことがある	行ったことはないが、今後行いたい	行ったことはなく、今後行うつもりはない	無回答	
●凡例						
子どもに合う分野をアドバイスする	2023年	65.9	20.8	12.2	1.1	86.7
	2021年	67.4	21.6	9.7	1.3	89.0
	2019年	67.0	17.4	10.8	4.9	84.3
就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする	2023年	59.3	12.9	26.1	1.7	72.2
	2021年	60.5	15.2	23.4	0.9	75.7
	2019年	54.2	12.7	27.3	5.7	67.0
大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする	2023年	56.3	14.9	27.3	1.5	71.3
	2021年	56.5	17.2	25.4	0.9	73.7
	2019年	50.9	16.5	27.2	5.4	67.4
将来の職業をアドバイスする	2023年	64.4	18.8	14.9	1.8	83.3
	2021年	64.8	21.9	12.3	1.0	86.7
	2019年	61.2	18.4	16.0	4.4	79.6
具体的な受験校を子どもにアドバイスする	2023年	51.5	26.9	19.8	1.8	78.4
	2021年	54.8	28.3	15.9	1.0	83.1
	2019年	52.9	25.0	17.4	4.7	77.9
子どもに合う学校にどんな学校があるかを調べる	2023年	53.3	34.1	11.4	1.3	87.4
	2021年	50.6	36.5	11.6	1.3	87.1
	2019年	53.0	30.5	12.2	4.4	83.4
どんな学部、学科、コースがあるかを調べる	2023年	58.8	30.4	9.4	1.4	89.3
	2021年	55.3	33.3	10.4	1.0	88.6
	2019年	57.7	27.4	10.9	4.0	85.1
興味をもった学校の資料請求をする	2023年	34.4	44.5	19.8	1.3	78.9
	2021年	30.4	48.5	20.2	0.9	78.9
	2019年	30.5	42.2	22.4	4.9	72.7
興味をもった学校の見学に行く(オープンキャンパス・学校見学会を含む)	2023年	50.1	38.1	10.7	1.1	88.2
	2021年	17.2	68.3	13.5	1.0	85.5
	2019年	46.9	33.5	15.9	3.7	80.4
興味をもった学校の入試方法を調べる	2023年	43.8	46.3	8.6	1.3	90.1
	2021年	36.2	53.3	9.8	0.7	89.5
	2019年	43.5	41.8	10.4	4.4	85.2

【保護者】 進路選択行動の関わり方：「行ったことがある」の割合（進学希望者／各単一回答）

(%)



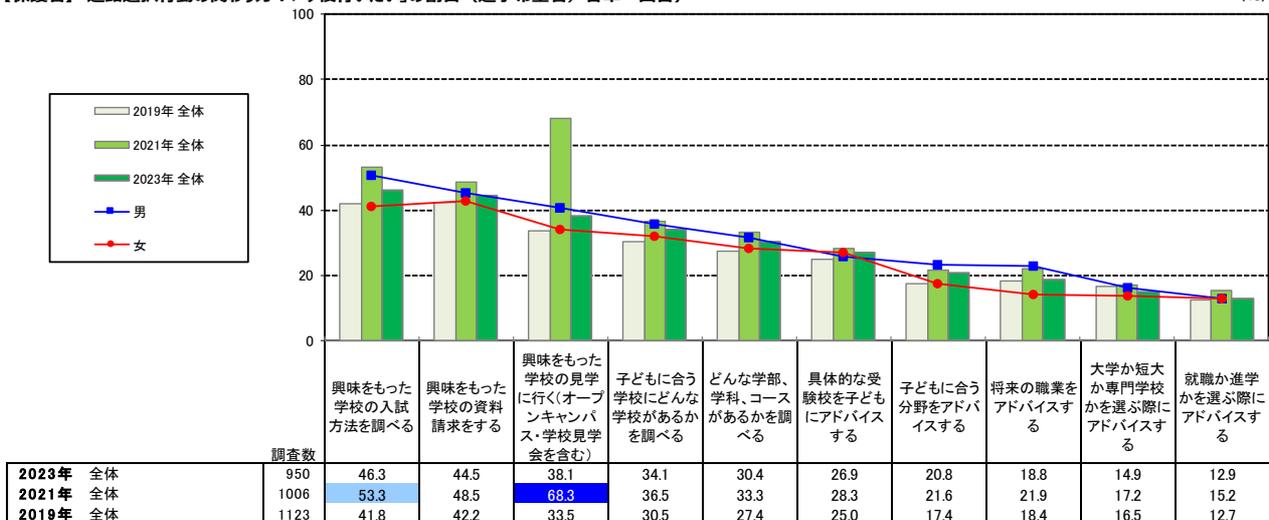
2023年属性別		調査数	2019年全体	2021年全体	2023年全体	男	女
続柄別	父親	140	63.6	60.7	56.4	63.6	60.7
	母親	780	67.1	65.4	59.6	67.1	65.4
子どもの性別	男	479	60.5	58.0	54.7	60.5	58.0
	女	450	72.2	71.6	63.8	72.2	71.6
希望進路別	進学希望者全体	950	65.9	64.4	59.3	65.9	64.4
	大学	818	64.5	62.7	56.8	64.5	62.7
	短大	24	70.8	75.0	75.0	70.8	75.0
	専門学校	108	75.0	75.0	74.1	75.0	74.1
就職	0	—	—	—	—	—	

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以下低い

H.Q8TOP1

【保護者】 進路選択行動の関わり方：「今後行いたい」の割合（進学希望者／各単一回答）

(%)



2023年属性別		調査数	2019年全体	2021年全体	2023年全体	男	女
続柄別	父親	140	41.4	49.3	36.4	41.4	49.3
	母親	780	46.2	42.7	37.2	46.2	42.7
子どもの性別	男	479	50.5	45.3	40.7	50.5	45.3
	女	450	41.1	42.7	34.0	41.1	42.7
希望進路別	進学希望者全体	950	46.3	44.5	38.1	46.3	44.5
	大学	818	46.3	45.0	36.3	46.3	45.0
	短大	24	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5
	専門学校	108	48.1	42.6	51.9	48.1	42.6
就職	0	—	—	—	—	—	

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以下低い

H.Q8TOP2

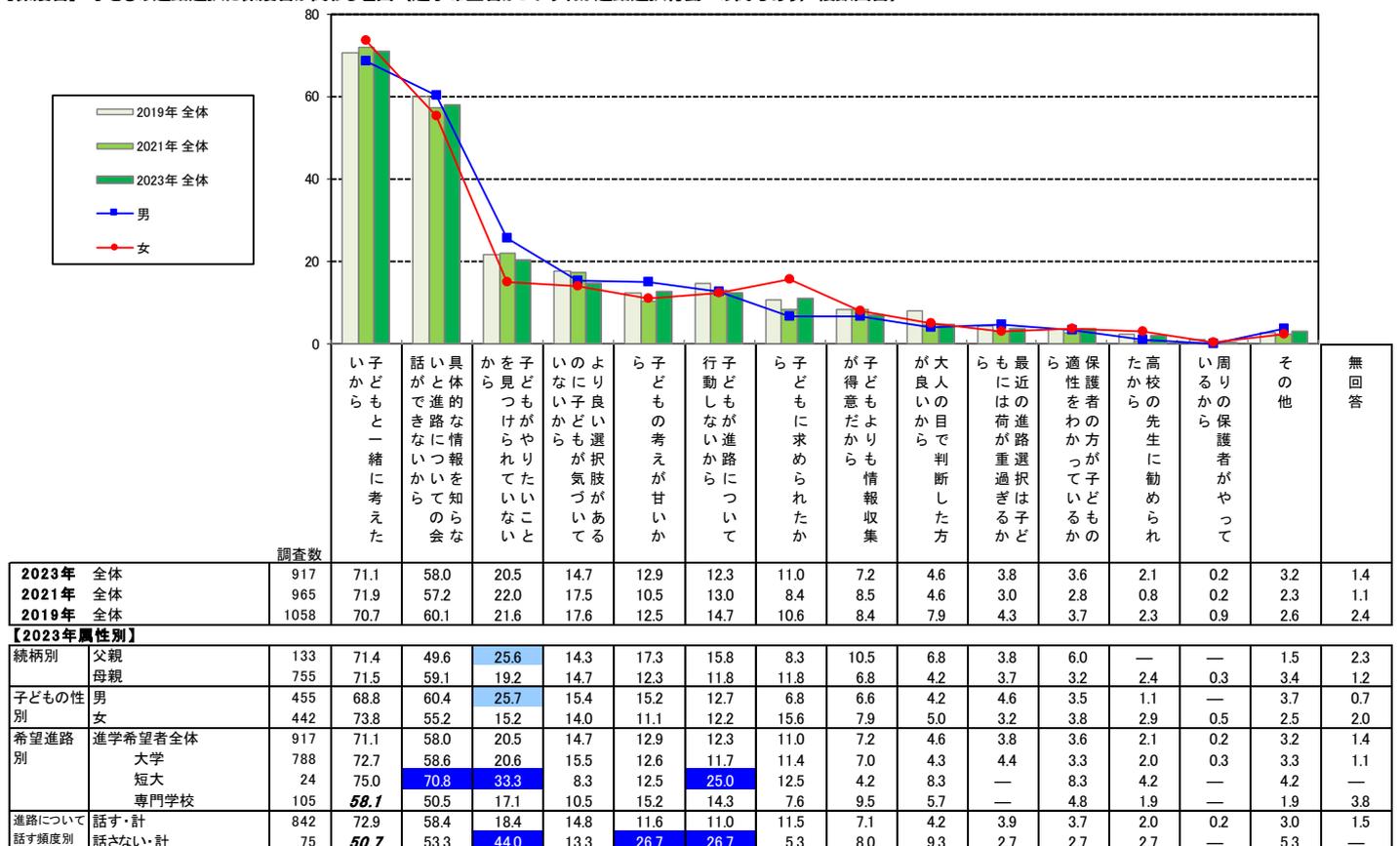
2) 子どもの進路選択行動に具体的にかかわる理由

▶保護者が子どもの進路選択に関与する理由のトップは、「子どもと一緒に考えたいから」。

- 進路選択に関するさまざまな行動について、1つでも「行ったことがある」「行ったことはないが、今後行いたい」と回答した保護者に対して、具体的に行動する理由を尋ねたところ、「子どもと一緒に考えたいから」(71%)が最も高く、次いで「具体的な情報を知らないで進路についての会話ができないから」が高い。
- 時系列でみると、ほとんどの項目で横ばい。
- 続柄別にみると、父親・母親のいずれでも順位はほぼ同様であるものの、父親では「子どもがやりたいことを見つけられていないから」、母親では「具体的な情報を知らないで進路についての会話ができないから」がそれぞれスコアが高い。
- 進路についての会話頻度別にみると、「具体的な情報を知らないで進路についての会話ができないから」は、話す／話さないにかかわらず55%前後で大きい差はない。それ以外の項目は差が大きく、“話す”層では「子どもと一緒に考えたいから」、「話さない」層では「子どもがやりたいことを見つけられていないから」「子どもの考えが甘いから」「子どもが進路について行動しないから」など子どもの行動に対する不満を理由とする割合が高い。

【保護者】子どもの進路選択に保護者が関わる理由（進学希望者がいずれか進路選択行動への関与あり／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以下低い

H.Q8.1

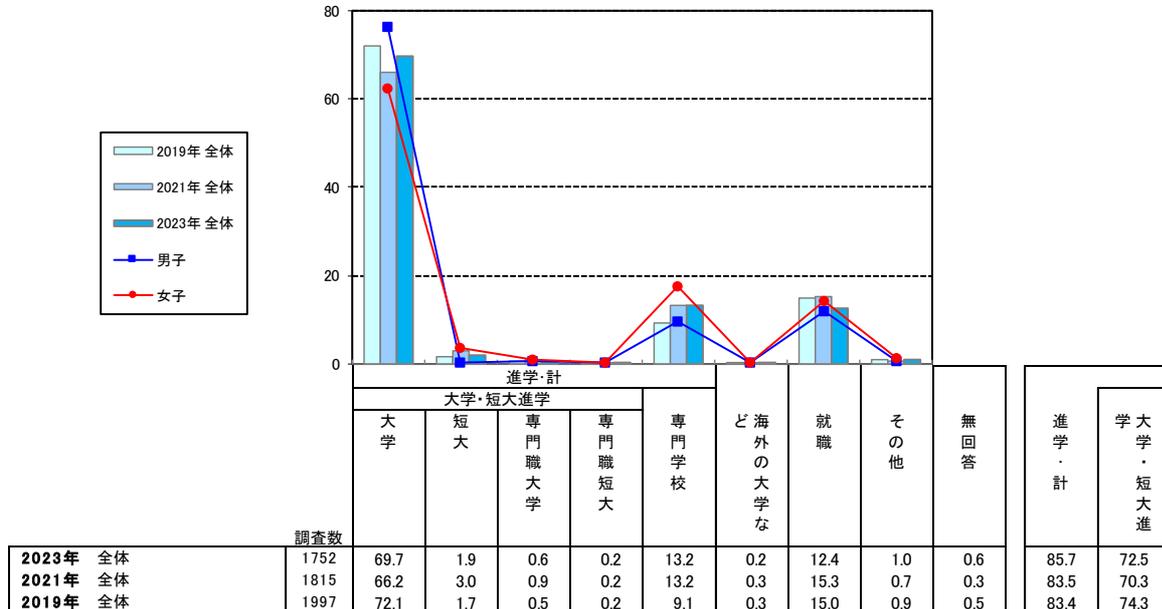
II 進路検討行動

15. 高校卒業後の希望進路

- ▶ 高校生のうち「大学」進学希望者が70%。短大や専門学校も含めると合計で86%が進学を希望。
- ▶ 保護者では「大学」進学希望者が55%。合計では65%が進学を希望しているが、「子どもが希望する進路なら何でもいい」も26%。

【高校生】 高校卒業後の希望進路 (全体/単一回答)

(%)



【2023年属性別】

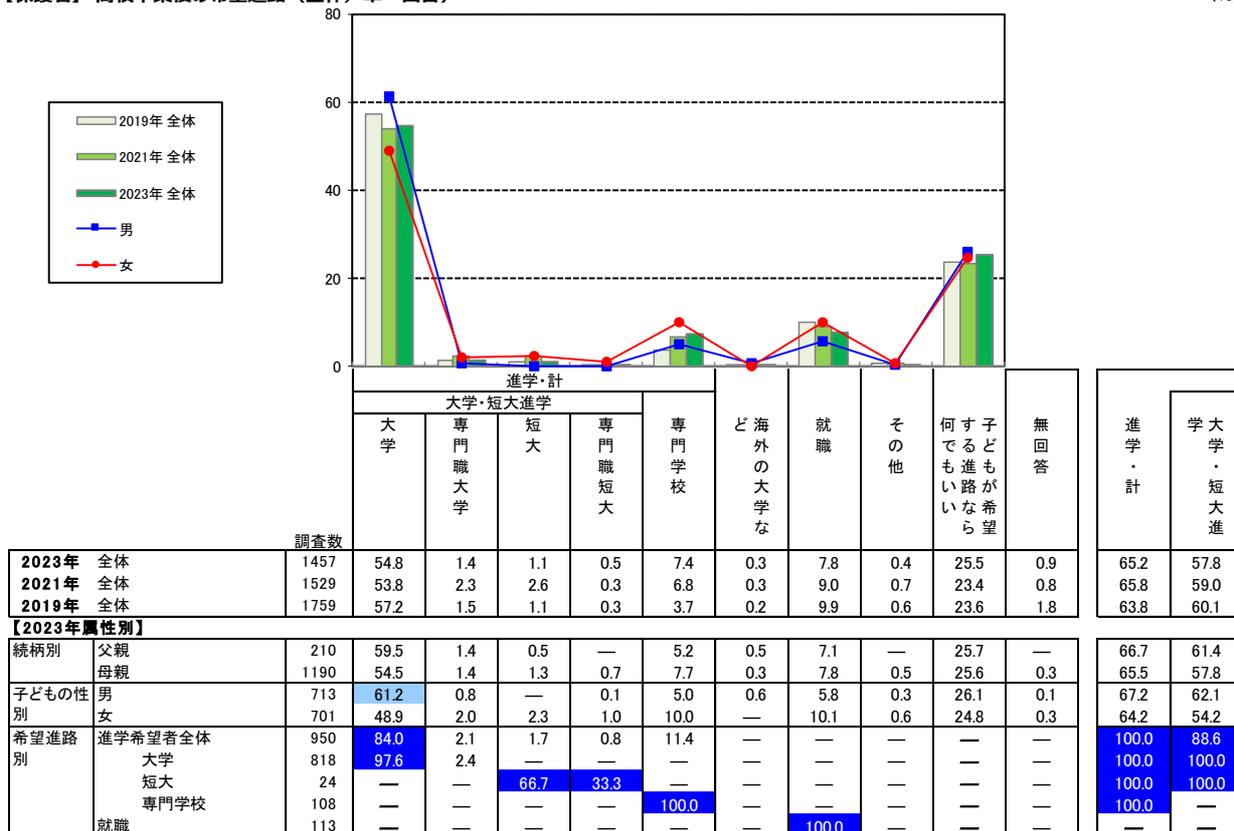
性別	男子	867	76.5	0.3	0.5	0.1	9.6	0.1	11.8	0.7	0.5	87.0	77.4
	女子	790	62.3	3.4	0.9	0.4	17.6	0.3	14.1	1.1	—	84.6	67.0
希望進路別	進学希望者全体	1502	81.4	2.2	0.7	0.3	15.4	—	—	—	—	100.0	84.6
	大学	1233	99.1	—	0.9	—	—	—	—	—	—	100.0	100.0
	短大	37	—	89.2	—	10.8	—	—	—	—	—	100.0	100.0
	専門学校	232	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	100.0	—
	就職	218	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
進路選択の意識別	考えている・計	1426	72.4	1.9	0.7	0.1	13.4	0.1	10.8	0.6	0.1	88.4	75.0
	考えていない・計	311	59.8	1.9	0.3	1.0	13.2	0.3	20.3	2.9	0.3	76.2	63.0

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

K_Q5

【保護者】 高校卒業後の希望進路 (全体/単一回答)

(%)



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

H_Q10

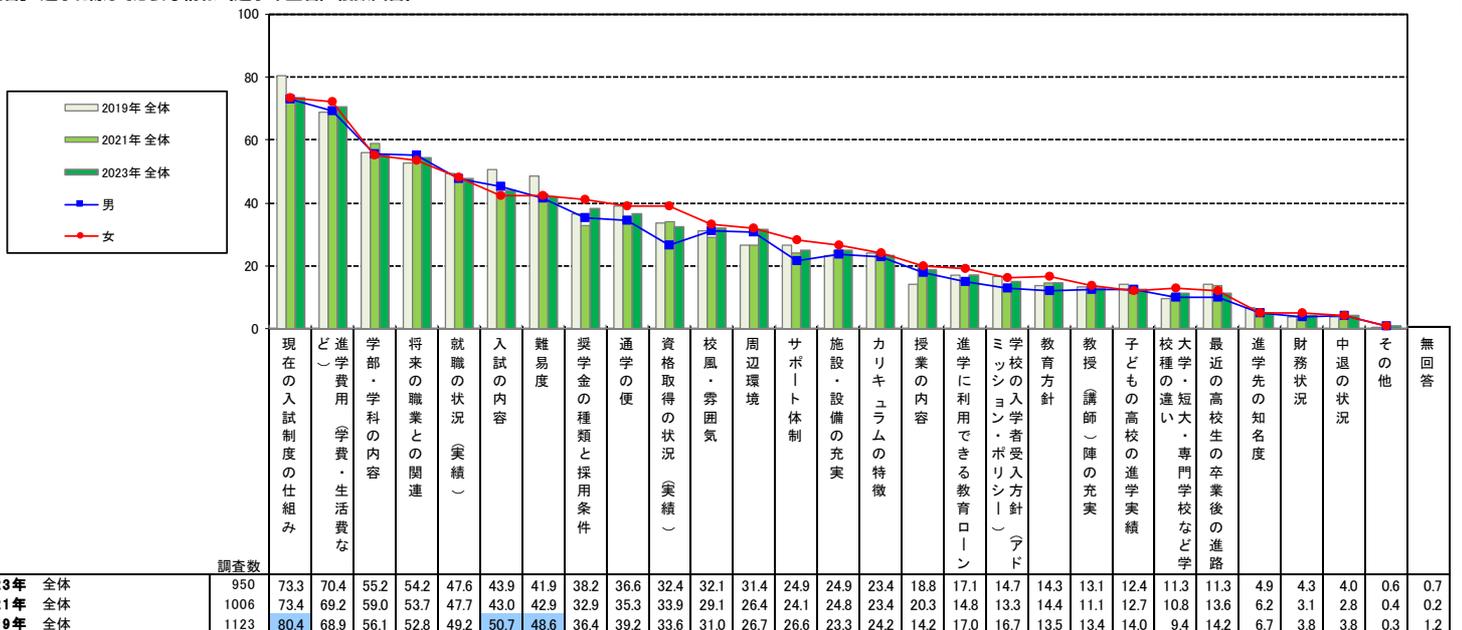
16. 進学先検討で重要な情報

▶子どもの進学を希望する保護者にとって、進学先検討のために重要な情報のトップは「現在の入試制度の仕組み」。

- 子どもに大学・短大・専門学校への進学を希望している保護者に対して、進学先を検討するにあたってどのような情報が重要だと思うかを尋ねたところ、「現在の入試制度の仕組み」（73%）が最も高く、以下「進学費用（学費・生活費など）」（70%）が70%以上、「学部・学科の内容」（55%）、「将来の職業との関連」（54%）などが続く。
- 時系列でみると、上位項目ではスコアが低下したものが多いが、上位項目の中では「進学費用（学費・生活費など）」がわずかに増加した。逆に、「現在の入試制度の仕組み」「入試の内容」「難易度」などに関しては連続してスコアが低下しており、“入試”に関する情報への関心がわずかではあるが薄まっている。

【保護者】 進学に際して必要な情報（進学希望者／複数回答）

(%)



【2023年属性別】

続柄別	調査数	現在の入試制度の仕組み	進学費用（学費・生活費など）	学部・学科の内容	将来の職業との関連	就職の状況（実績）	入試の内容	難易度	奨学金の種類と採用条件	通学の便	資格取得の状況（実績）	校風・雰囲気	周辺環境	サポート体制	施設・設備の充実	カリキュラムの特徴	授業の内容	進学に利用できる教育ローン	ミッショントーク・ポリシー	学校の入学受入方針（テド）	教育方針	教授（講師）陣の充実	子どもの高校の進学実績	校種の違い	大学・短大・専門学校など学	最近の高校生の卒業後の進路	進学先の知名度	財務状況	中退の状況	その他	無回答
父親	140	73.6	61.4	50.0	50.7	40.0	39.3	42.9	33.6	31.4	27.1	27.9	27.1	20.0	26.4	18.6	20.0	16.4	14.3	17.1	13.6	12.1	10.0	8.6	3.6	4.3	4.3	2.9	2.1		
母親	780	73.3	72.1	56.5	55.0	49.5	44.6	41.5	38.5	37.6	34.0	32.9	32.1	25.9	25.0	24.6	18.8	17.2	14.5	13.8	12.8	12.3	11.7	11.3	5.4	4.4	4.0	0.3	0.3		
子どもの性別																															
男	479	73.1	69.3	55.5	55.3	47.8	45.3	41.3	35.1	34.4	26.7	31.1	30.7	21.5	23.8	22.8	17.7	14.8	12.9	12.1	12.5	12.5	10.0	10.0	5.0	3.5	4.0	0.6	0.2		
女	450	73.6	72.0	55.1	53.3	48.2	42.4	42.4	41.1	39.1	39.1	33.1	32.0	28.2	26.7	24.2	20.0	19.1	16.0	16.7	13.6	12.0	12.9	12.2	5.1	5.1	4.0	0.7	0.9		
希望進路別																															
進学希望者全体	950	73.3	70.4	55.2	54.2	47.6	43.9	41.9	38.2	36.6	32.4	32.1	31.4	24.9	24.9	23.4	18.8	17.1	14.7	14.3	13.1	12.4	11.3	11.3	4.9	4.3	4.0	0.6	0.7		
大学	818	76.9	69.7	58.4	54.6	48.0	45.2	43.4	36.4	36.7	30.6	32.9	32.5	23.5	25.3	24.3	18.6	14.9	15.8	15.0	13.6	12.5	8.9	10.3	5.1	4.2	4.0	0.6	0.5		
短大	24	83.3	83.3	37.5	58.3	50.0	54.2	62.5	58.3	41.7	50.0	41.7	33.3	50.0	29.2	25.0	20.8	45.8	20.8	12.5	8.3	29.2	37.5	25.0	8.3	4.2	4.2	—	4.2		
専門学校	108	43.5	73.1	34.3	50.0	43.5	31.5	25.9	47.2	35.2	42.6	24.1	22.2	30.6	21.3	15.7	20.4	26.9	5.6	9.3	10.2	8.3	23.1	15.7	2.8	5.6	3.7	0.9	1.9		
就職	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H.Q12

17. 進学先検討の重視点

- ▶ 子どもの進学を希望する保護者が進学先を検討するにあたって重視することは、【教育内容・制度】【卒業後】に関することがらが上位。

子どもの進学を希望する保護者が進学先を検討するにあたって重視すること			
1位	【教育内容・制度】	子どもの学びたい学部・学科・コースがある	84%
2位	【教育内容・制度】	子どもの興味や可能性が上げられる	51%
3位	【卒業後】	卒業後に社会で活躍できる	47%
4位	【教育内容・制度】	社会で役立つ力が身につく	46%
5位	【卒業後】	就職に有利である	45%
6位	【卒業後】	将来の選択肢が増える	41%
7位	【学生生活】	学生生活が楽しめる	39%
	【ブランド性】	校風や雰囲気が良い	39%
9位	【教育内容・制度】	資格取得に有利である	38%
10位	【教育内容・制度】	教育方針・カリキュラムが魅力的である	37%

- 子どもの進学を希望する保護者に対して、進学先を検討するにあたってどのようなことを重視するかを尋ねたところ、上記の項目のスコアが高く、【教育内容・制度】に関する項目や、【卒業後】の就職に関する項目が上位となっている。特に「子どもの学びたい学部・学科・コースがある」が突出して高く、「子どもの興味や可能性が上げられる」も含め、子ども自身の希望に沿った教育を受けられることを重視する保護者が多いことがわかる。
- 時系列でみると、2019年から2021年にかけてスコアが低下した項目が多かったが、2021年から今回は大きい変化がみられない。ただし、【卒業後】や【立地・環境】に関する項目は引き続き低下傾向となっている。

【保護者】 進学先検討で重視すること(進学希望者/複数回答)

(%)

		(順位) ※上位 10位	2023年 全体 (n=950)	2021年 全体 (n=1006)	2019年 全体 (n=1123)	【2023年属性別】								
						続柄別		子どもの性別		希望進路別				
						2023年 全体 (n=950)	父親 (n=140)	母親 (n=780)	男 (n=479)	女 (n=450)	進学希 望者全 体 (n=950)	希望進路別		
												大学 (n=818)	短大 (n=24)	専門学 校 (n=108)
教育内容・制度	子どもの学びたい学部・学科・コースがある	(1位)	83.5	86.1	81.4	83.5	74.3	85.6	83.7	83.8	83.5	85.1	95.8	68.5
	子どもの興味や可能性が上げられる	(2位)	50.8	52.3	60.5	50.8	49.3	51.7	55.3	46.7	50.8	52.2	50.0	40.7
	社会で役立つ力が身につく	(4位)	45.9	46.6	42.7	45.9	45.0	46.5	47.0	45.6	45.9	45.7	58.3	44.4
	資格取得に有利である	(9位)	38.3	38.7	39.4	38.3	32.1	39.6	31.3	46.2	38.3	34.7	66.7	59.3
	教育方針・カリキュラムが魅力的である	(10位)	36.7	36.1	35.4	36.7	29.3	38.1	33.8	39.8	36.7	38.3	41.7	24.1
	専門分野を深く学べる		30.4	28.9	31.9	30.4	25.7	31.7	28.4	33.1	30.4	27.9	33.3	49.1
	教育内容のレベルが高い		24.2	25.2	25.5	24.2	25.7	24.4	25.9	23.1	24.2	26.7	16.7	7.4
	教養が身につく		16.7	19.0	18.8	16.7	15.7	17.4	15.4	18.7	16.7	17.2	33.3	9.3
	国際的なセンスが身につく		11.9	12.1	13.2	11.9	13.6	11.7	10.2	14.0	11.9	13.1	12.5	2.8
	ICT活用が進んでいる		8.5	6.2	*	8.5	10.7	8.2	8.1	8.9	8.5	9.3	4.2	3.7
構成要員	学生の面倒見が良い		18.5	18.5	25.9	18.5	12.1	20.1	15.2	22.7	18.5	18.8	33.3	13.0
	教授・講師陣が魅力的である		17.3	14.9	19.1	17.3	15.0	17.9	15.7	19.6	17.3	17.7	20.8	13.0
	学生の学力が高い		12.6	12.3	15.4	12.6	11.4	12.8	11.1	14.4	12.6	14.1	4.2	3.7
	先輩・卒業生が魅力的である		9.6	7.6	9.6	9.6	7.9	10.0	8.6	10.7	9.6	9.9	12.5	6.5
学生生活	学生生活が楽しめる	(7位)	38.6	37.5	43.2	38.6	29.3	40.8	36.5	41.8	38.6	39.4	50.0	30.6
	学習設備や環境が整っている		29.6	28.3	28.2	29.6	22.1	30.9	28.8	30.7	29.6	30.7	29.2	21.3
	寮や奨学金などが充実している		19.2	17.3	19.2	19.2	15.7	19.6	17.7	21.1	19.2	18.7	29.2	20.4
	キャンパスがきれいである		11.6	10.7	13.3	11.6	10.7	11.8	8.4	15.3	11.6	11.5	25.0	9.3
	クラブ・サークル活動が盛んである		7.7	8.5	9.3	7.7	7.9	7.7	7.7	7.6	7.7	7.9	8.3	5.6
立地・環境	勉強するのに良い環境である		33.7	34.8	36.4	33.7	26.4	35.5	35.1	33.1	33.7	35.5	33.3	20.4
	交通の便が良い		26.9	29.7	33.8	26.9	14.3	29.6	22.5	32.0	26.9	26.5	29.2	29.6
	自宅から通える		19.3	25.9	25.6	19.3	14.3	20.0	13.8	24.7	19.3	17.6	29.2	29.6
	生活に便利な立地である		18.7	17.6	19.1	18.7	15.0	19.5	17.1	21.1	18.7	19.2	16.7	15.7
入試難易度	学費が低い		36.0	36.7	45.9	36.0	30.7	37.3	34.7	38.0	36.0	35.1	41.7	41.7
	偏差値が子どもに合っている		19.7	18.5	24.3	19.7	16.4	20.4	21.1	18.4	19.7	20.8	25.0	10.2
	入試方法が子どもに合っている		16.2	13.4	18.2	16.2	15.0	16.3	17.1	15.3	16.2	16.6	29.2	10.2
卒業後	卒業後に社会で活躍できる	(3位)	46.7	49.4	47.2	46.7	41.4	48.2	48.6	45.6	46.7	46.2	45.8	50.9
	就職に有利である	(5位)	44.8	48.9	53.5	44.8	38.6	45.4	44.7	44.7	44.8	42.9	58.3	56.5
	将来の選択肢が増える	(6位)	40.7	42.8	47.0	40.7	38.6	41.2	43.6	37.8	40.7	42.3	25.0	32.4
ブランド性	校風や雰囲気が良い	(7位)	38.6	38.4	38.6	38.6	30.0	40.5	36.5	41.3	38.6	39.1	45.8	33.3
	活気がある感じがする		24.2	23.3	25.4	24.2	20.7	25.0	22.8	26.0	24.2	24.8	29.2	18.5
	伝統や実績がある		20.5	19.2	25.6	20.5	22.1	20.4	19.6	21.8	20.5	21.5	25.0	12.0
	周囲の人からの評判が良い		13.3	12.1	17.5	13.3	9.3	14.2	13.2	13.8	13.3	13.6	12.5	11.1
	学校が発展していく可能性がある		11.5	10.5	12.7	11.5	13.6	10.8	11.7	10.9	11.5	11.9	8.3	9.3
	有名である		7.1	6.8	10.6	7.1	10.7	6.7	6.7	7.8	7.1	7.9	—	1.9
	規模が大きい		1.9	1.6	3.5	1.9	2.9	1.8	1.5	2.4	1.9	2.2	—	—
その他		—	0.4	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
無回答		0.7	0.6	0.9	0.7	1.4	0.4	0.2	0.9	0.7	0.4	4.2	2.8	

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

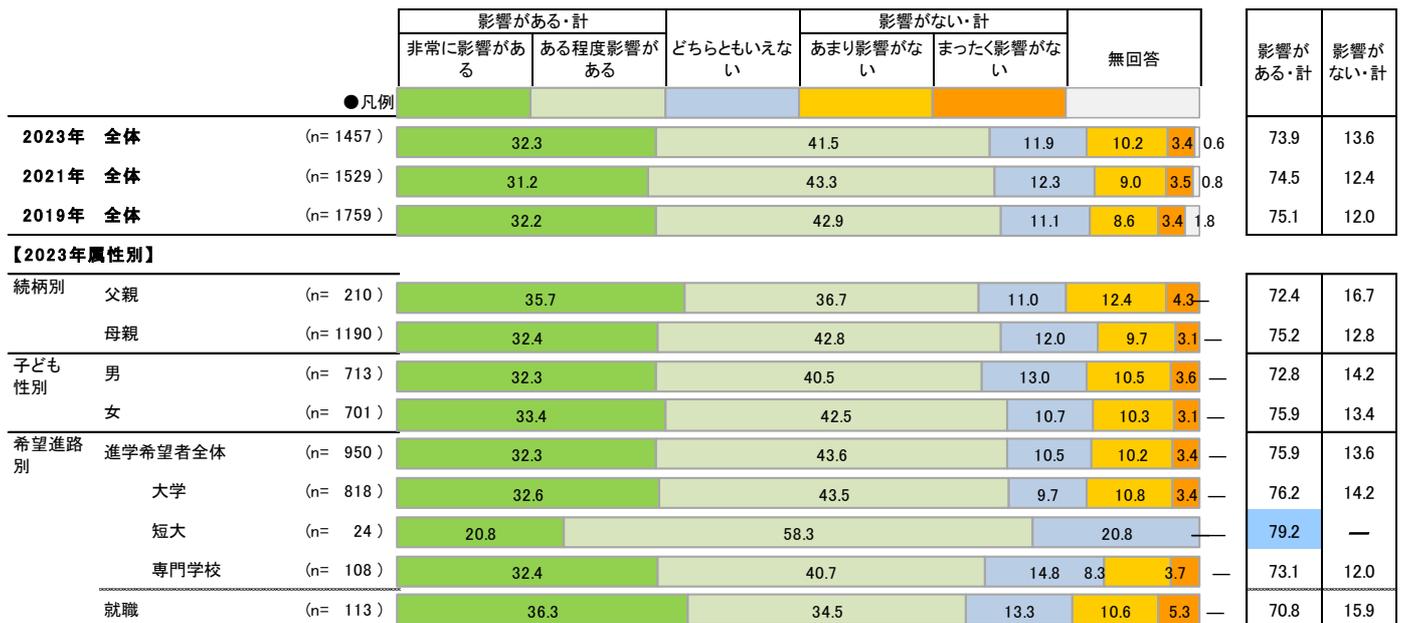
18. 家庭の経済事情の進路決定への影響

▶保護者の74%が、家庭の経済事情が子どもの進路決定に「影響がある」と回答。

- 保護者に対して、家庭の経済事情が子どもの進路決定にどの程度影響があるかを尋ねたところ、「非常に影響がある」が32%、「ある程度影響がある」が42%を占め、合計では74%が影響があると回答した。
- 時系列では大きい変化はみられず、ほぼ横ばいとなっている。
- 続柄別にみると、父親（72%）より母親（75%）で「影響がある・計」の割合がわずかに高い。
- 希望進路別にみると、「影響がある・計」の割合は進学希望者全体（76%）のほうが、就職希望者（71%）より高いが、「非常に影響がある」割合は就職希望者では36%と、進学希望者全体（32%）をやや上回った。

【保護者】 家庭の経済事情の進路決定への影響（全体／単一回答）

(%)



※「2023年全体」より ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

H_Q9

19. 進学に関する経済支援の認知と利用意向

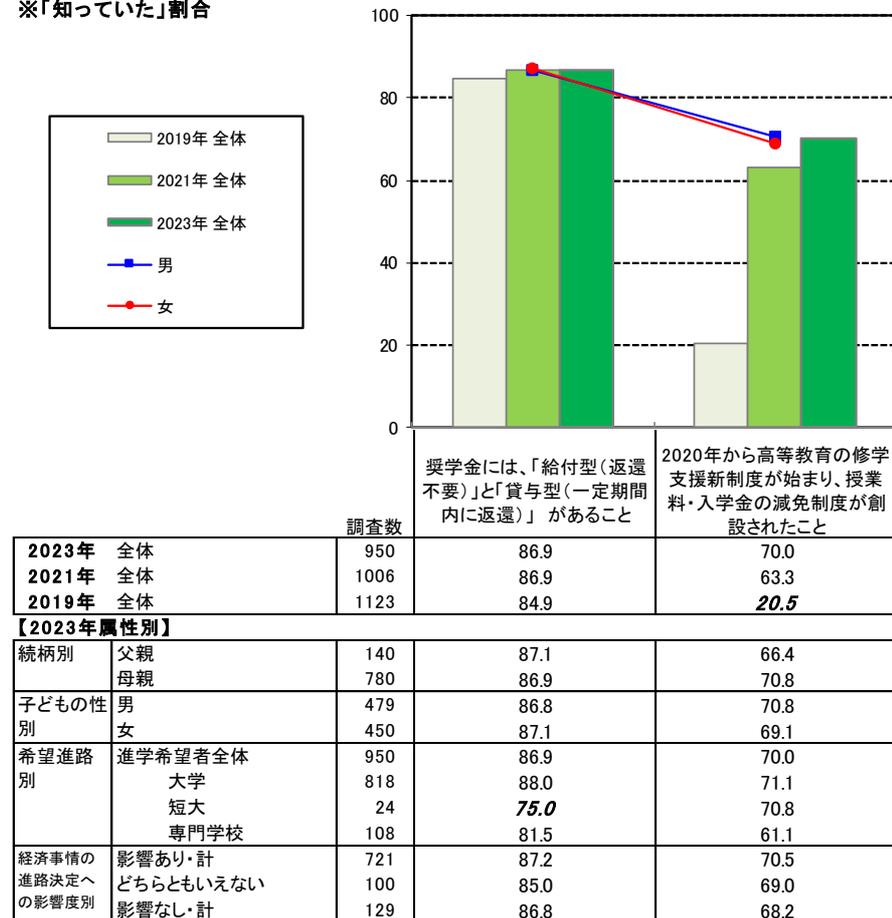
1) 経済支援制度の認知

▶ 子どもの進学を希望する保護者のうち、9割近くが奨学金には給付型・貸与型があることを認知。

▶ 「2020年から高等教育の修学支援新制度が始まり、授業料・入学金の減免制度が創設されたこと」の認知は2021年（63%）より7ポイント上昇し70%。

- 子どもの進学を希望する保護者に対して、進学に関する経済支援の2点について知っていたかどうかを尋ねたところ、「奨学金には、『給付型（返還不要）』と『貸与型（一定期間内に返還）』があること」は87%、「2020年から高等教育の修学支援新制度が始まり、授業料・入学金の減免制度が創設されたこと」は70%が、それぞれ「知っている」と回答した。
- 時系列で見ると、「2020年から高等教育の修学支援新制度が始まり、授業料・入学金の減免制度が創設されたこと」については、2019年（21%）から2021年（63%）にかけて大幅に上昇したが、今回はさらに上昇し70%が認知している。
- 希望進路別にみると、いずれの項目も大学進学意向者の認知率が最も高い。
- 家庭の経済事情の進路決定への影響度別にみると、経済事情による影響の有無によらずどの層でも認知率は同程度となっている。

【保護者】 進学に関する経済支援の認知（進学希望者／各単一回答） (%)
※「知っていた」割合



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H.Q11

2) 経済支援制度の利用意向

▶子どもの進学を希望する保護者の半数強が、「高等教育の修学支援新制度」の利用意向あり。

- 子どもの進学を希望する保護者に対して経済支援制度の利用意向を尋ねたところ、「貸与型（一定期間内に返還）の奨学金」は、「ぜひ利用したい」が20%を占め、5人に1人が強い意向を示した。「できれば利用したい」まで含めると、進学希望者全体の43%が利用したいと回答している。
- また「『高等教育の修学支援制度』について」も、合計で58%が利用したいと回答した。
- 時系列でみると、いずれの制度も利用意向者が増加している。
- 希望進路別にみると、短大、専門学校進学希望者で制度の利用意向が高い。
- 家庭の経済状況の進路への影響度別にみると、影響があると回答した層では、「『高等教育の修学支援新制度』について」は64%、「貸与型（一定期間内に返還）の奨学金」は48%が利用意向ありと回答しており、他の層と比較して利用意向が高い。

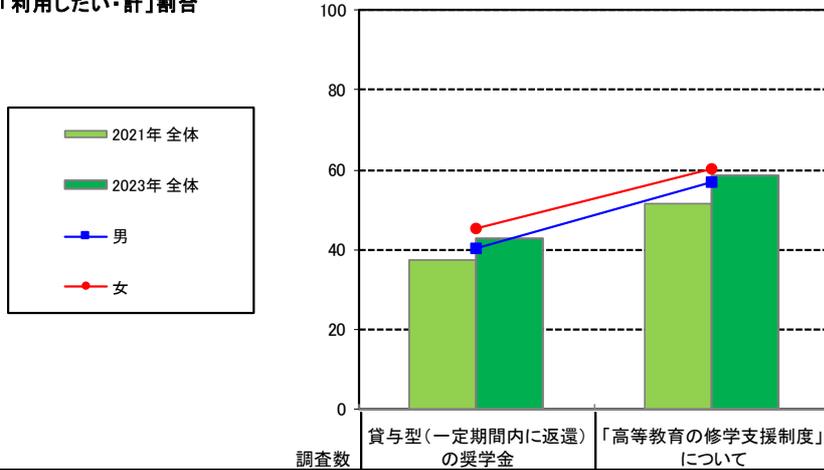
【保護者】 経済支援制度の利用意向（進学希望者／各単一回答）

	利用したい計		利用したくない計		考えたことがないのでわからない	無回答	利用したい計	利用したくない計
	ぜひ利用したい	できれば利用したい	あまり利用したくない	まったく利用したくない				
(n= 950)	●凡例							
貸与型（一定期間内に返還）の奨学金	20.4	22.2	30.4	12.0	13.6	42.6	42.4	
「高等教育の修学支援制度」について	31.6	26.8	8.3	5.8	25.1	58.4	14.1	

H.Q11.1マトリクス

【保護者】 経済支援制度の利用意向（進学希望者／各単一回答）

※「利用したい・計」割合



【2023年属性別】

続柄別	父親	140	43.6	61.4
	母親	780	42.4	57.9
子どもの性別	男	479	40.3	56.8
	女	450	45.3	60.2
希望進路別	進学希望者全体	950	42.6	58.4
	大学	818	39.9	56.6
	短大	24	70.8	79.2
	専門学校	108	57.4	67.6
	就職	0	—	—
経済事情の進路決定への影響度別	影響あり・計	721	48.0	63.9
	どちらともいえない	100	35.0	44.0
	影響なし・計	129	18.6	38.8

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

H.Q11.1

III 進路・将来にまつわる期待と不安

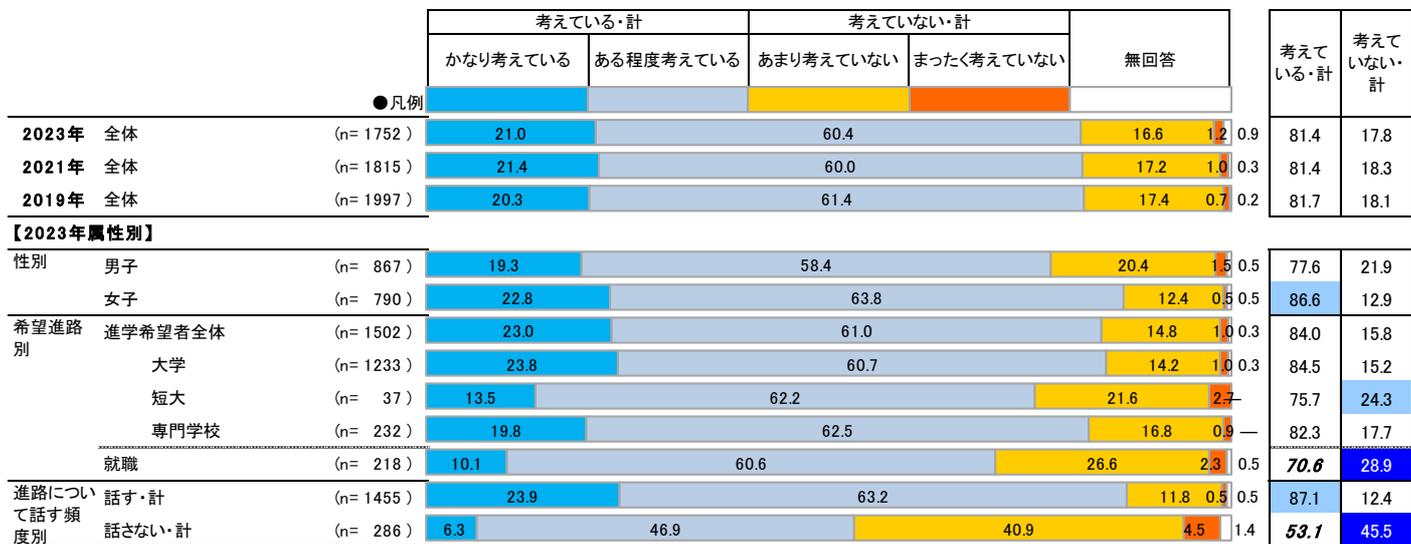
20. 進路意識

▶ **高校生の81%が、高校2年生の段階で進路について「考えている」。**

- 高校生に対して、高校2年生の時点で、進路選択についてどの程度考えているか尋ねたところ、「かなり考えている」が21%、「ある程度考えている」が60%を占め、合計では81%が考えていると回答した。
- 時系列で見ると、「考えている・計」にはほとんど変化がみられない。
- 性別にみると、男子（19%）より女子（23%）で「かなり考えている」割合が高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体では「考えている・計」が84%を占めるが、就職希望者では71%と低い。
- 保護者との進路に関する会話頻度別にみると、進路について話す層では、進路について「考えている・計」が87%と高い。一方で話さない層では「考えていない・計」が46%を占めた。

【高校生】 自分の進路選択についてどの程度考えているか（全体／単一回答）

(%)



※「2023年全体」より ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

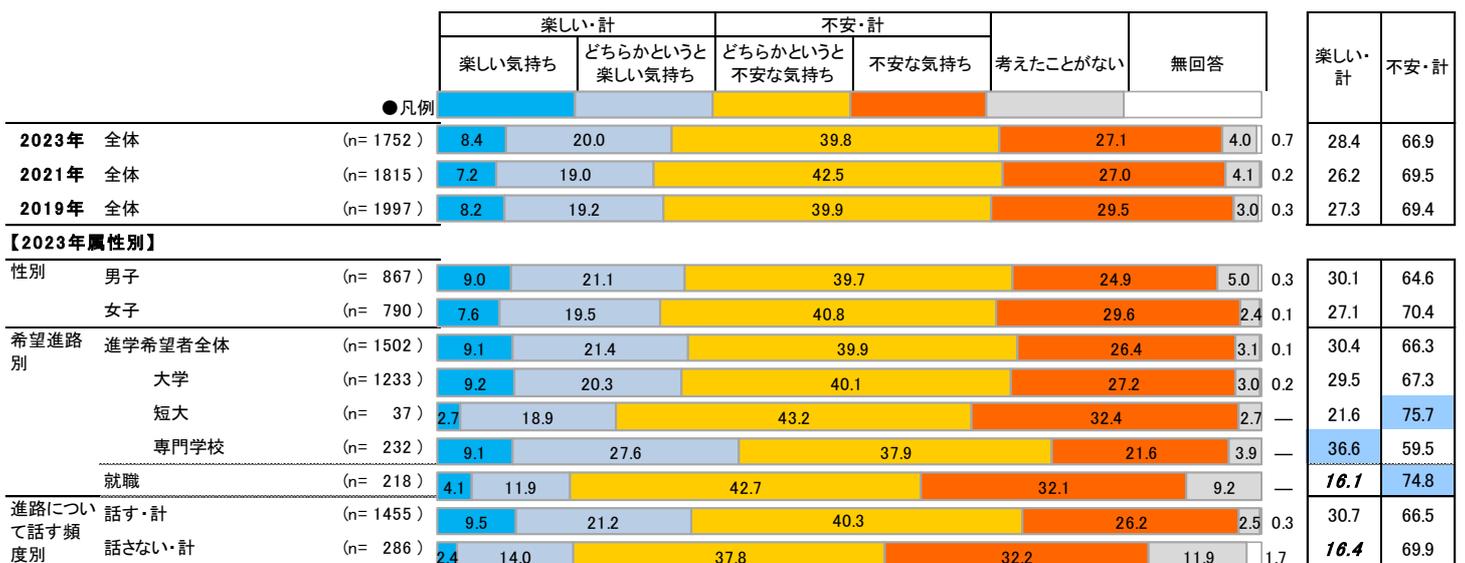
K_Q4

21. 進路を考えたときの気持ち

- ▶ 高校生が進路を考えたときの気持ちは、「楽しい」が28%、「不安」が67%。
- ▶ 時系列ではほとんど変化がないが、明確な「不安な気持ち」を表明する割合は減少傾向。
 - 高校生に対して、進路を考えたときにどのような気持ちになるかを尋ねたところ、「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい気持ち」が合計で28%を占めた。一方、「不安な気持ち」「どちらかという不安な気持ち」は合計で67%を占めており、不安を感じる高校生が圧倒的に多い。
 - 時系列で見ると、「楽しい・計」がやや増加する一方、「不安・計」は2021年（70%）より3ポイント減少。
 - 性別にみると、「楽しい・計」の割合は男子（30%）のほうが女子（27%）よりわずかに高い。
 - 希望進路別にみると、進学希望者全体では「楽しい・計」が30%、就職希望者では16%と、進学希望者のほうが高い。
 - 保護者との進路に関する会話頻度別にみると、進路について話す層では「楽しい・計」が31%であるのに対し、話さない層では16%にとどまっている。

【高校生】 進路を考える時、高校生はどんな気持ちになるか（全体／単一回答）

(%)



※「2023年全体」より ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

K_Q6

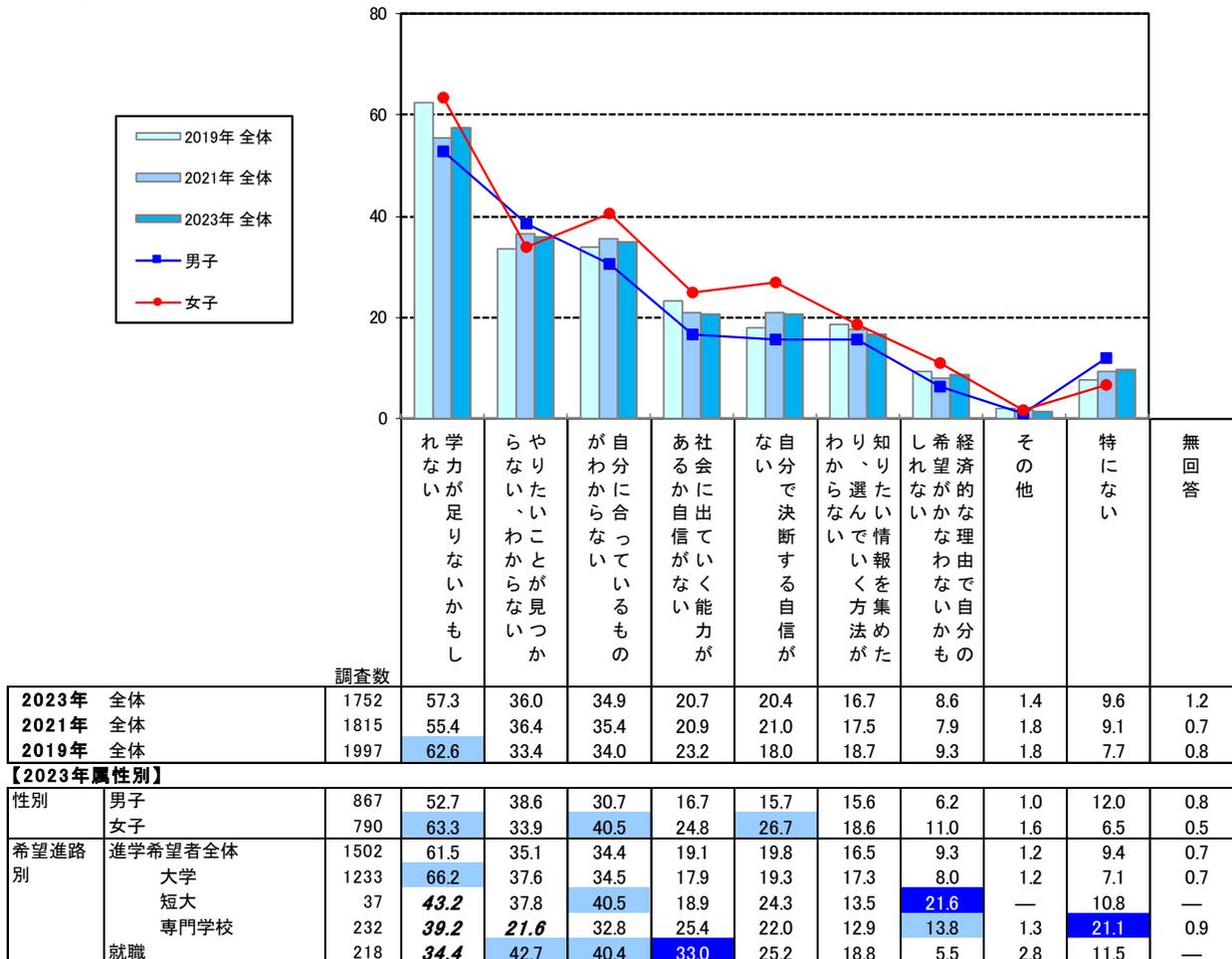
22. 進路選択についての気付き

- ▶ 高校生にとって進路選択について気付きなことは、「学力が足りないかもしれない」が突出。
- ▶ 次いで「やりたいことが見つからない、わからない」「自分に合っているものがわからない」など進路の見つけ方そのものについての不安。

- 高校生に対して、進路選択について気付きなことがあるかを尋ねたところ、「学力が足りないかもしれない」(57%)が突出して高く、次いで「やりたいことが見つからない、わからない」(36%)、「自分に合っているものがわからない」(35%)が高い。
- 時系列でみると、前回からはあまり変化がみられないが、中位以下の「社会に出ていく能力があるか自信がない」「知りたい情報を集めたり、選んでいく方法がわからない」は徐々に減少している。
- 性別にみると、男子より女子でスコアの高い項目が多く、特に「学力が足りないかもしれない」「自分に合っているものがわからない」「自分で決断する自信がない」が顕著に高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者ではいずれも「学力が足りないかもしれない」が最も高いが、特に大学進学希望者では66%と高い。短大進学希望者では「自分に合っているものがわからない」「経済的な理由で自分の希望がかなわないかもしれない」、専門学校進学希望者では「経済的な理由で自分の希望がかなわないかもしれない」がそれぞれ全体値を5~10ポイント以上上回る。
- 就職希望者では、「やりたいことが見つからない、わからない」(43%)が最も高く、「自分に合っているものがわからない」(40%)も40%を超えているほか、「社会に出ていく能力があるか自信がない」(33%)も全体と比較して高い。

【高校生】進路選択についての気付き(全体/複数回答)

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

K_Q7

23. 将来についての気付き

1) 高校生の将来について気付きはあるか

▶ 高校生の71%、保護者の67%が、高校生の将来について気付きなことが「ある」と回答。

▶ 時系列では、保護者で「ある」割合が漸減傾向。

- 高校生に対して、自分の将来について気付きなことがあるかどうかを尋ねたところ、71%が「ある」と回答した。時系列で見ると、2021年（70%）よりもわずかに増加したが、2019年（77%）と比べると低めで安定している。
- 性別にみると、男子（65%）より女子（79%）で「ある」割合が高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体では「ある」が73%を占め、就職希望者（64%）を9ポイント上回る。
- 保護者にも同様に、子どもの将来について気付きなことがあるかどうかを尋ねたところ、67%が「ある」と回答。時系列で見ると、「ある」割合は徐々に減少している。
- 子どもの性別で見ると、子どもの性別が男である場合のほうが「ある」割合が高い。

【高校生】 将来について気付きなことはあるか（全体／単一回答）

(%)

		ある	ない	将来について考えたことがない	無回答
●凡例					
2023年	全体 (n= 1752)	71.1	24.3	3.0	1.7
2021年	全体 (n= 1815)	69.6	24.0	5.3	1.0
2019年	全体 (n= 1997)	77.1	18.1	3.3	1.5
【2023年属性別】					
性別	男子 (n= 867)	65.2	29.8	4.5	0.6
	女子 (n= 790)	79.4	18.9	1.0	1.5
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1502)	72.7	23.2	2.9	1.3
	大学 (n= 1233)	74.4	21.7	2.7	1.3
	短大 (n= 37)	70.3	27.0	2.7	—
	専門学校 (n= 232)	64.2	30.6	3.9	1.3
	就職 (n= 218)	64.2	31.2	4.0	0.5

【保護者】 子どもの将来について気付きなことはあるか（全体／単一回答）

K.Q15

(%)

		ある	ない	子どもの将来についてまだ考えたことがない	無回答
●凡例					
2023年	全体 (n= 1457)	67.1	26.6	4.3	2.0
2021年	全体 (n= 1529)	70.5	24.3	4.0	1.2
2019年	全体 (n= 1759)	73.5	19.6	2.8	4.2
【2023年属性別】					
続柄別	父親 (n= 210)	65.2	27.1	6.2	1.4
	母親 (n= 1190)	68.4	26.6	3.9	1.1
子ども性別	男 (n= 713)	70.3	23.3	5.3	1.1
	女 (n= 701)	65.5	30.2	3.1	1.1
希望進路別	進学希望者全体 (n= 950)	69.5	25.6	4.3	0.6
	大学 (n= 818)	70.5	24.0	4.8	0.7
	短大 (n= 24)	62.5	37.5	—	—
	専門学校 (n= 108)	63.0	35.2	1.9	—
	就職 (n= 113)	64.6	23.9	4.4	7.1

H.Q14

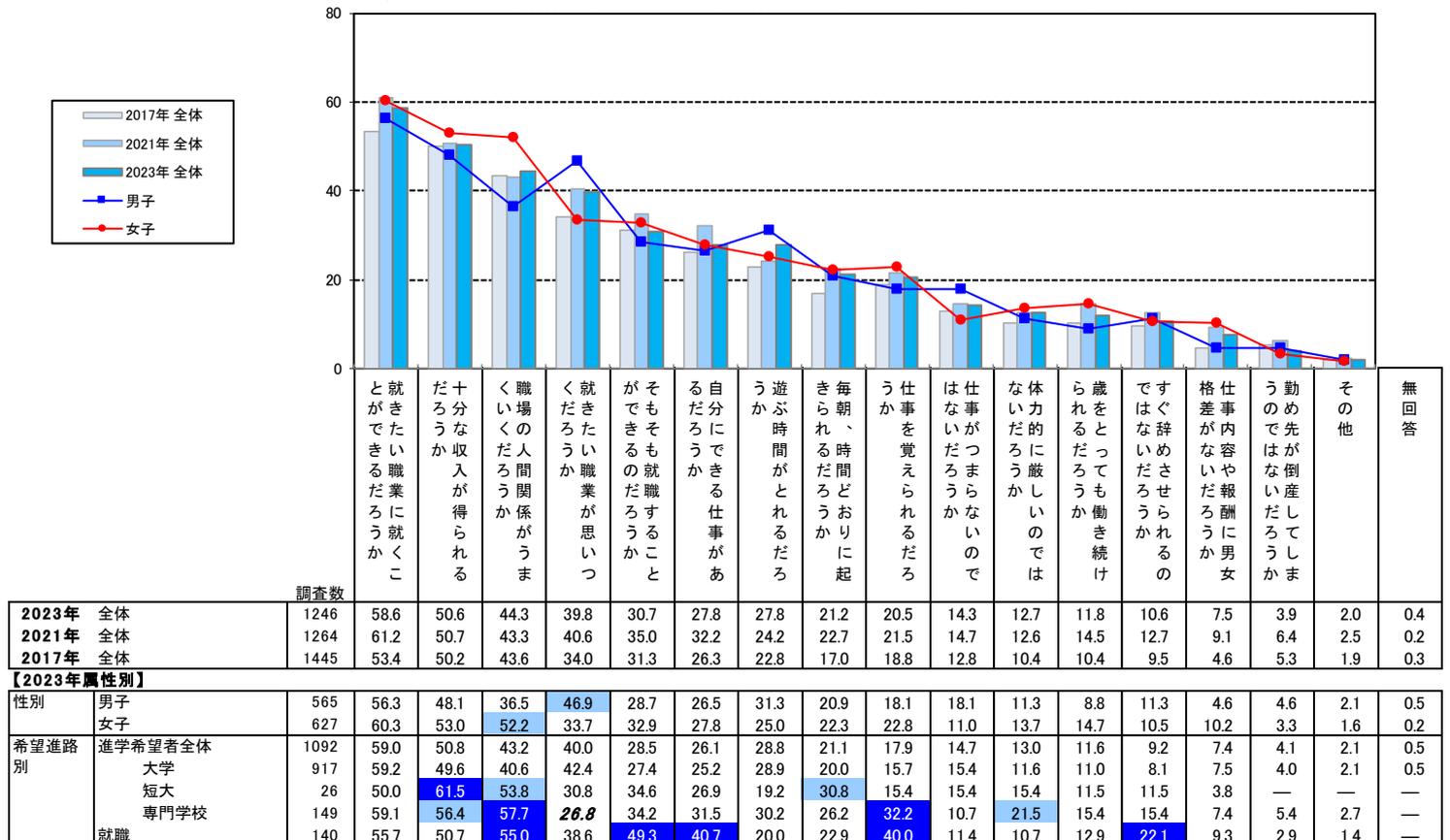
2) 将来について気がかりなこと

▶ 高校生自身が将来について気がかりに思っていることのトップは「就きたい職業に就けるか」。

- 将来について気がかりなことが「ある」と回答した高校生に対して、気がかりなこととして当てはまることを尋ねたところ、「就きたい職業に就くことができるだろうか」(59%)が最も高く、以下「十分な収入が得られるだろうか」(51%)、「職場の人間関係がうまくいだろうか」(44%)、「就きたい職業が思いつくだろうか」(40%)などが続く。
- 時系列でみると、前回からは横ばいか減少した項目が多いが、中位の「遊ぶ時間がとれるだろうか」のスコアは連続して上昇した。
- 性別にみると、特に上位項目では男子よりも女子でスコアの高い項目が多く、特に「職場の人間関係がうまくいだろうか」で差が大きい。しかし、「就きたい職業が思いつくだろうか」では男子のほうが高い。

【高校生】 将来について気がかりなこと (気がかりが「ある」/複数回答)

(%)



※2019年は選択肢が異なるため比較していません

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い 10pt以上低い

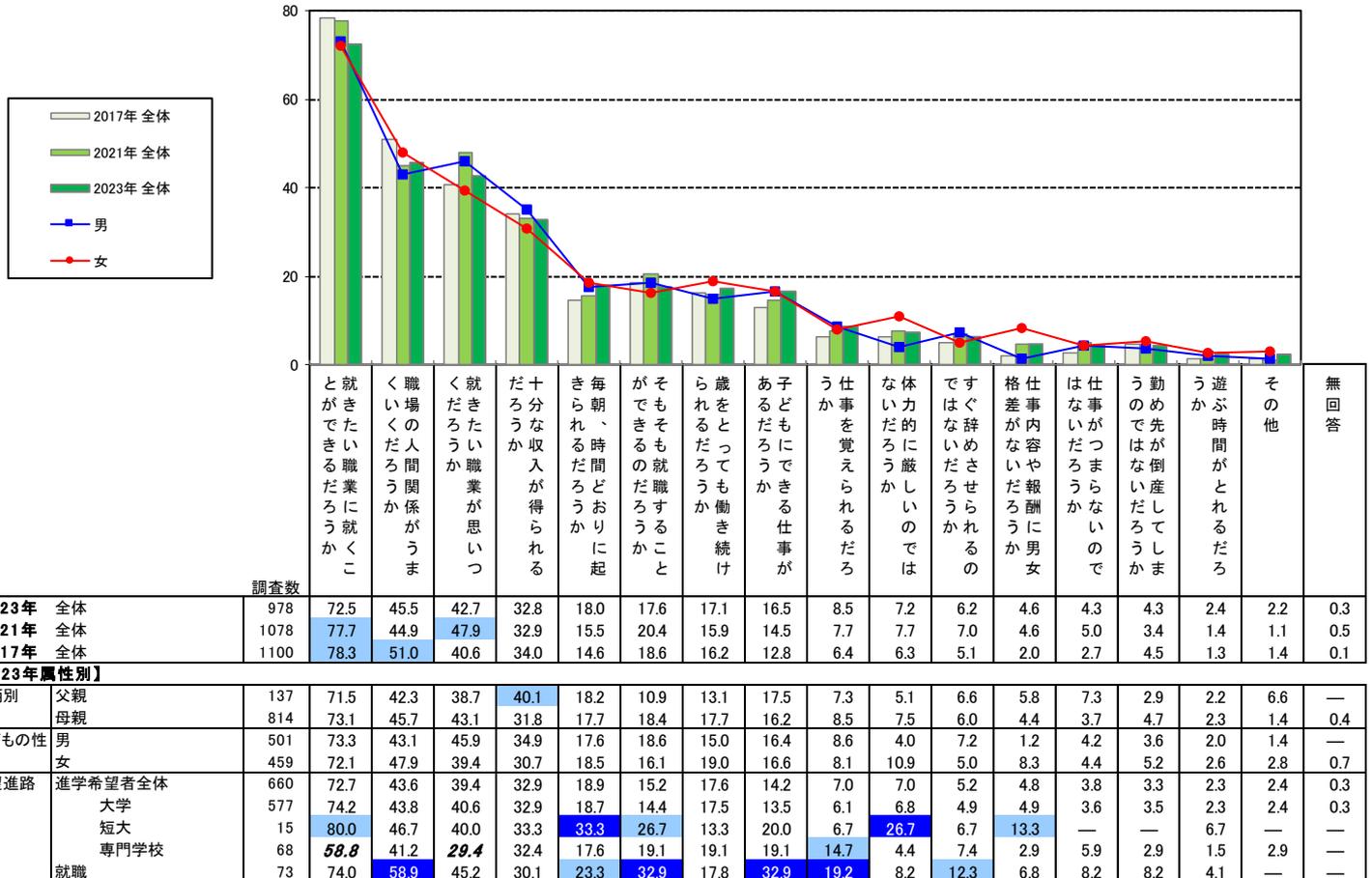
K_Q15-1

▶保護者が子どもの将来について気がかりに思っていることのトップも「就きたい職業に就けるか」。

- 子どもの将来について気がかりなことが「ある」と回答した保護者に対して、気がかりなこととして当てはまることを尋ねたところ、「就きたい職業に就くことができるだろうか」(73%)が最も高く、以下「職場の人間関係がうまくいくだろうか」(46%)、「就きたい職業が思いつくだろうか」(43%)、「十分な収入が得られるだろうか」(33%)などが続く。
- トップの項目は高校生と同じだが、第1位の項目はよりスコアが高く突出している。

【保護者】子どもの将来について気がかりなこと（気がかりが「ある」/複数回答）

(%)



※2019年は選択肢が異なるため比較していません
 ※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

24. 将来就きたい・就いてほしい職業／その理由

1) 高校生が将来就きたい職業

▶ 高校生の55%が、将来就きたい職業が「ある」と回答。

▶ 就きたい職業は、「公務員」「教師」が上位。

- 高校生に対して、将来就きたい職業があるかどうかを尋ねたところ、55%が「ある」と回答した。
- 時系列ではほぼ横ばい。
- 性別にみると、男子（47%）より女子（65%）で「ある」割合が高い。
- 希望進路別にみると、就職希望者（51%）より進学希望者全体（56%）のほうが「ある」割合がやや高い。
進学希望者全体の中でも、短大進学希望者、専門学校進学希望者で「ある」割合が顕著に高い。
- 就きたい職業が「ある」と回答した高校生に対して、就きたい職業を具体的に尋ねたところ、全体では「教師」（10%）、「医師・歯科医師・獣医」（10%）、「看護師」（8%）、「公務員」（7%）、「エンジニア・プログラマー・IT関連」（6%）などが上位となった。時系列でみると、「エンジニア・プログラマー・IT関連」が初めて5位以内に入った。
- 教師、医療関係職、公務員などについては、安定性を評価する意見のほか、人の役に立ちたい・地域に貢献したいなどの理由があがっている。また、エンジニア・プログラマー・IT関連については、現在学んでいて楽しいと感じていることや、現時点でも将来的にも「必要とされる職業」であることが魅力に映るようだ。

【高校生】 将来、就きたい職業があるか（全体／単一回答）

(%)

		ある	ない	考えたことがない	無回答
●凡例					
2023年 全体	(n= 1752)	55.2		36.2	6.7 1.9
2021年 全体	(n= 1815)	55.2		36.4	8.2 0.2
2019年 全体	(n= 1997)	56.7		34.8	7.1 1.4
【2023年属性別】					
性別	男子	47.1		43.5	8.7 0.8
	女子	65.1		30.0	4.6 0.4
希望進路別	進学希望者全体	56.4		36.2	5.9 1.5
	大学	53.5		38.8	6.1 1.5
	短大	62.2		35.1	2.7
	専門学校	70.7		22.0	5.6 1.7
	就職	50.5		38.5	10.6 0.5
進路について話す頻度別	話す・計	59.4		34.2	4.9 1.5
	話さない・計	34.6		46.9	15.7 2.8

【高校生】就きたい職業（就きたい職業が「ある」かつ職業の回答者／自由回答）

(件/%)

K_Q16

全体 (n=919)		男子 (n=385)	
1 教師	94 10.2	1 医師・歯科医師・獣医	51 13.2
2 医師・歯科医師・獣医	88 9.6	2 教師	38 9.9
3 看護師	70 7.6	公務員	
4 公務員	67 7.3	4 エンジニア・プログラマー・IT関連	31 8.1
5 エンジニア・プログラマー・IT関連	52 5.7	5 会計士・税理士・行政書士	20 5.2
6 会社員	43 4.7	6 技術者・研究者	19 4.9
7 薬剤師	34 3.7	7 製造業(自動車・造船など)	17 4.4
8 会計士・税理士・行政書士	33 3.6	8 プロスポーツ選手・スポーツ関連	14 3.6
9 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	32 3.5	薬剤師	
10 技術者・研究者	31 3.4	10 会社員	13 3.4
11 美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連	28 3	建築士・建築関連	
12 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	25 2.7	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	
14 イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連	24 2.6		
15 放射線技師・臨床検査技師	23 2.5	女子 (n=496)	
16 トリマー・動物関連	21 2.3	1 看護師	61 12.3
17 プロスポーツ選手・スポーツ関連	20 2.2	2 教師	53 10.7
18 製造業(自動車・造船など)	19 2.1	3 医師・歯科医師・獣医	33 6.7
19 医療事務・医療関連	14 1.5	4 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	28 5.6
20 店員・テーマパーク・サービス関連	13 1.4	会社員	
		6 公務員	27 5.4
		7 美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連	22 4.4
		8 薬剤師	20 4
		9 トリマー・動物関連	17 3.4
		10 放射線技師・臨床検査技師	16 3.2

2) 保護者が子どもに将来就いてほしい職業

▶保護者の78%が、「子どもが希望する職業なら何でもよい」。将来就いてほしい職業が「ある」と回答したのは13%

- 保護者に対して、将来就いてほしい職業があるかどうかを尋ねたところ、「子どもの希望する職業なら何でもよい」が78%。一方、13%が「ある」と回答した。
- 時系列では、2021年と比較して「ある」割合がわずかに減少した。
- 就いてほしい職業が「ある」と回答した保護者に対して、就いてほしい職業を具体的に尋ねたところ、「公務員」(23%)が突出して高い。以下「看護師」「医師・歯科医師・獣医」「薬剤師」など、医療に関する職業が上位となっている。
- 「公務員」に就いてほしい理由としては「安定している」ことをあげる意見が多い。また、看護師、医師、医療事務、薬剤師など医療関連の職業については、安定した収入に加えて、キャリアが将来的に中断しても再開・継続できるような資格が取得できることを理由とする意見が多いが、親の希望という以前に、「子どもが目指している」ことが前提として挙げられている。

【保護者】 将来、子どもに就いてほしい職業はあるか (全体/単一回答)

(%)

		ある	子どもが希望する職業なら何でもよい	今まで考えたことがない	特にない	無回答
●凡例						
2023年 全体	(n= 1457)	12.5		78.4		1.5 5.9 1.6
2021年 全体	(n= 1529)	14.2		76.7		1.4 6.5 1.1
2019年 全体	(n= 1759)	11.4		78.5		1.6 5.4 3.1
【2023年属性別】						
続柄別	父親	(n= 210)	13.8	73.8		2.4 9.5 0.5
	母親	(n= 1190)	12.4	80.3		1.2 5.3 0.8
子ども性別	男	(n= 713)	11.1	79.8		2.1 6.5 0.6
	女	(n= 701)	14.3	78.7		0.6 5.4 1.0
希望進路別	進学希望者全体	(n= 950)	15.8	76.8		1.2 5.5 0.7
	大学	(n= 818)	14.7	78.0		1.2 5.4 0.7
	短大	(n= 24)	12.5	87.5		
	専門学校	(n= 108)	25.0	65.7		0.9 7.4 0.9
	就職	(n= 113)	11.5	76.1		1.8 8.8 1.8
進路について話す頻度別	話す・計	(n= 1302)	13.2	78.3		1.3 5.6 1.5
	話さない・計	(n= 152)	6.6	80.3		3.3 8.6 1.3

【保護者】就かせたい職業(就かせたい職業が「ある」かつ職業の回答者/自由回答)

(件/%)

全体 (n=169)		上位	20位	位まで
1	公務員	38	22.5	
2	医師・歯科医師・獣医	36	21.3	
3	看護師	20	11.8	
4	教師	15	8.9	
5	薬剤師	10	5.9	
6	会計士・税理士・行政書士	6	3.6	
7	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	5	3	
9	技術者・研究者	4	2.4	
10	建築士・建築関連 トリマー・動物関連	3	1.8	
13	エンジニア・プログラマー・IT関連 会社員	2	1.2	
17	イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連 放射線技師・臨床検査技師 プロスポーツ選手・スポーツ関連 俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連 音楽関連 臨床心理士・心理カウンセラー・スクールカウンセラー・心理関連 柔道整復師 救急救命士 パイロット 学校職員・塾講師・教育関連 保健師	1	0.6	

子どもの性別: 男 (n=74)		上位	10位	位まで
1	公務員	24	32.4	
2	医師・歯科医師・獣医	18	24.3	
3	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	5	6.8	
4	看護師	4	5.4	
5	教師	3	4.1	
	技術者・研究者 建築士・建築関連			
8	エンジニア・プログラマー・IT関連	2	2.7	
9	会計士・税理士・行政書士 プロスポーツ選手・スポーツ関連 薬剤師 会社員	1	1.4	

子どもの性別: 女 (n=92)		上位	10位	位まで
1	医師・歯科医師・獣医	18	19.6	
2	看護師	15	16.3	
3	公務員	14	15.2	
4	教師	12	13	
5	薬剤師	8	8.7	
6	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	5	5.4	
7	トリマー・動物関連 会計士・税理士・行政書士 社会福祉士・介護福祉士・福祉関連	3	3.3	
10	製造業(自動車・造船など)	2	2.2	

▶ 将来就きたい職業の理由【高校生】

● 教師（希望率10%）

- 将来の世代を育てる場所だから。[北海道/男/大学]
- 未来の世代に良い影響を与えたい。[福井県/男/大学]
- 人とかかわることができるから ・生徒の目標について一緒に考え、成功させたいから。[群馬県/男/大学]
- 子どもたちに勉強の楽しさを少しでも感じてもらいたいから。友達に教えている時、分かってくれた時にやりがいと達成感を感じたから[秋田県/女/大学]
- 小学生の時の先生にあこがれた人があるから。[群馬県/男/大学]
- 人とかかわるのが好きで、また勉強を教えるのも好きだから。[徳島県/女/大学]
- 自分の好きなことを仕事にして、なおかつ公務員であるから[静岡県/女/大学]
- 子どもと接する仕事に就きたいから。[宮崎県/男/大学]
- 小学校の時にすごいと思ったから。[宮崎県/女/短大]

● 医師・歯科医師・獣医（希望率10%）

- 自分の長所はコミュニケーション能力だと考えていて、理系の仕事で直接たくさんの人とかかわれるのは医師であると思ったから。[北海道/男/大学]
- 社会の役に立ちたい。人の命を救いたいから。[北海道/女/大学]
- 自分自身が昔から病気をもっていたから。[群馬県/男/大学]
- 臨床だけでなく研究といった面でも興味があり、多くの人の役に立ちたいから。あこがれている人があるから。[東京都/女/大学]
- 困っている人を助けたいと思ったから。そもそも、自分自身がよく病院に行ったり、家族で病院に通う人が多く、自分は助ける側になりたいから[福井県/女/大学]
- 命を救う仕事がしたいから。病気の人に寄りそうことで、元気になるってほしいから。[徳島県/女/大学]

● 看護師（希望率8%）

- 母親や祖母が働いているのを見てあこがれ、安定した収入を得ることができそうと思ったから[秋田県/男/専門学校]
- 小さいころからずっとなりたいと思っていてから。[静岡県/女/大学]
- 小さいころから世話焼きだったため、困っている人を見ると放っておけない性格から、自分は人にかかわって、人のためになる職業が向いていると思ったから。[北海道/女/専門学校]

● 公務員（希望率7%）

- 就きたいというより安定職なためとりあえずの案。正直やりたいことは決まっていない。[北海道/女/就職]
- 地域をよりよくするため働きたい[秋田県/男/大学]
- 生活水準が高く、収入が安定しているから。[群馬県/男/大学]
- もくもくと仕事をこなすことも好きだから。[奈良県/女/大学]

● エンジニア・プログラマー・IT関連（希望率6%）

- 今の日本に必要なと思うから[秋田県/無回答/大学]
- パソコンを習っているから[奈良県/男/大学]
- 自分が情報系で遊ぶのが楽しいから[福井県/男/その他]
- これからのインフラを担うコンピュータで世界を支えたいから。[徳島県/男/大学]
- 商業高校で資格をとっているから、資格を生かしたいと思ったから。IT業界は人手不足だから。[宮崎県/女/就職]

▶ 将来就いてほしい職業の理由【保護者】

● 公務員（希望率23%）

- 安定している[北海道/母親/男/大学]
- 収入部分での安定[秋田県/母親/男/大学]
- まじめで、きちっとしていて、一定のルーティンの中で仕事ができるので向いていると感じる[宮崎県/母親/男/大学]
- 長く働くことができる、待遇が良い[宮崎県/母親/女/大学]
- 女子なので、結婚や出産で不利になるような民間よりはましかと思うから。[秋田県/父親/女/大学]
- 安定した職業で社会の役に立てるから[秋田県/母親/女/大学]
- 倒産しないから。[静岡県/母親/女/大学]
- 収入の安定性、退職後の生活の充実度[静岡県/母親/男/大学]

● 医師・歯科医師・獣医（希望率21%）

- 国家資格である。[秋田県/母親/男/大学]
- 永遠にどこでも通用する資格であるため、進路について就職先で転職してもまたすぐみつけれられると思う。また、やさしい性格なので真逆の人間と衝突した時に医師という立場は特定な人しかたれないので優越されると思う。[群馬県/母親/男/大学]
- 人を思い救える仕事がすばらしいと思う。大変なことも多いと思うが、やりがいもあり収入的にも安定した利益が得られると思う。[静岡県/母親/男/大学]
- 本人の小さいころからの夢だったため、応援したいと思う[徳島県/母親/男/大学]
- 母親が医師であり身近であるため 本人が希望しているため[徳島県/父親/女/大学]
- 結婚、出産などでキャリアが途絶えることが少ないと考えるから。[徳島県/母親/女/大学]
- やりがい、社会貢献、経済的安定[徳島県/母親/女/大学]

● 看護師（希望率12%）

- 本人の希望だから[宮崎県/父親/女/専門学校]
- 就職先に困らないと思うから[群馬県/父親/女/専門職大学]
- 資格がとれる 歳をとっても安心[静岡県/母親/女/専門学校]
- 本人が看護師が栄養士で悩んでいたが、就職の際の受け口や収入面で考えると看護師のほうが安心。本人の性格的にも看護師のほうが合っている。[東京都/母親/男/専門学校]
- 未長く働けるので[東京都/母親/女/専門学校]
- やりがいのありそうな仕事で、続けられると良い職業だと思うから。[福井県/母親/女/専門学校]

● 教師（希望率9%）

- 適性を生かせる・収入が安定している[秋田県/その他/女/大学]
- 子どもが目指している職業だから[群馬県/母親/女/大学]
- 中学生の時から本人が目指しているから[福井県/母親/男/大学]
- 安定しているから[静岡県/母親/女/大学]
- 本人が目指している職業であること[静岡県/母親/女/大学]
- 本人がやりたがっているから[福井県/父親/女/大学]
- 性格が向いていると思うから。[奈良県/母親/男/専門職大学]
- 元々本人からなりたいと言われていた。[宮崎県/母親/女/大学]

● 薬剤師（希望率6%）

- 長く働くことができる、待遇が良い[宮崎県/母親/女/大学]
- 一旦辞めても再就職しやすい[宮崎県/母親/女/大学]
- 結婚、出産などでキャリアが途絶えることが少ないと考えるから。[徳島県/母親/女/大学]

25. 就業エリアに関する希望

▶ 高校生の37%が「地元ではない都市部で働きたい」。

- 高校生に対して就業エリアの希望を尋ねたところ、「地元ではない都市部で働きたい」（37%）が最も多くを占めた。次いで「地元である都市部で働きたい」「地元である地方で働きたい」が19%。
- 性別でも大きい差は見られない。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体では「地元ではない都市部で働きたい」が40%を占める。一方就職希望者では「地元である地方で働きたい」（34%）が最も多くを占め、「地元である都市部で働きたい」（32%）を合わせると、6割以上が『地元』での就職を希望している。
- 希望の就業エリアの選択理由を自由回答で尋ねたところ、地元・地元以外にかかわらず“都市部”を希望する高校生では、交通などの利便性のほか、職業の選択肢の多さや経済的な優位性をあげる意見が多く見られる。一方、地方を希望する高校生では、のんびり過ごせそうな雰囲気や好む高校生が多い傾向があるが、“地域医療”など地元以外の地域への貢献を目指す意見が散見された。また、海外を希望した高校生では、「世界を見たい」という希望以外に、海外のほうが豊かに過ごせると考えている人も少なくない。

【高校生】希望の就業エリア（全体／単一回答）

(%)

		地元である都市部で働きたい	地元である地方で働きたい	地元ではない都市部で働きたい	地元ではない地方で働きたい	海外で働きたい	その他		無回答	
●凡例										
2023年 全体	(n= 1752)	19.3	19.3	36.6	7.1	4.5	10.0	3.1		
【2023年属性別】										
性別	男子	(n= 867)	19.3	18.5	36.9	6.8	4.0	12.2	2.3	
	女子	(n= 790)	19.1	21.3	37.3	7.7	5.2	7.8	1.5	
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1502)	17.6	17.4	40.1	7.1	4.8	10.2	2.7	
	大学	(n= 1233)	17.0	16.6	41.0	6.7	5.2	10.9	2.6	
	短大	(n= 37)	18.9	32.4	21.6	21.6	2.7	2.7		
	専門学校	(n= 232)	20.7	19.0	38.8	6.9	3.0	7.8	3.9	
	就職	(n= 218)	31.7	34.4	16.1	6.9	0.5	8.3	2.3	
進路選択の意識別	考えている・計	(n= 1426)	19.4	19.5	37.3	6.7	4.8	10.0	2.4	
	考えていない・計	(n= 311)	19.6	19.0	34.7	9.3	2.9	10.3	4.2	

K.Q16s2

▶ 【高校生】就業エリアに関する希望の理由（フリーコメント）

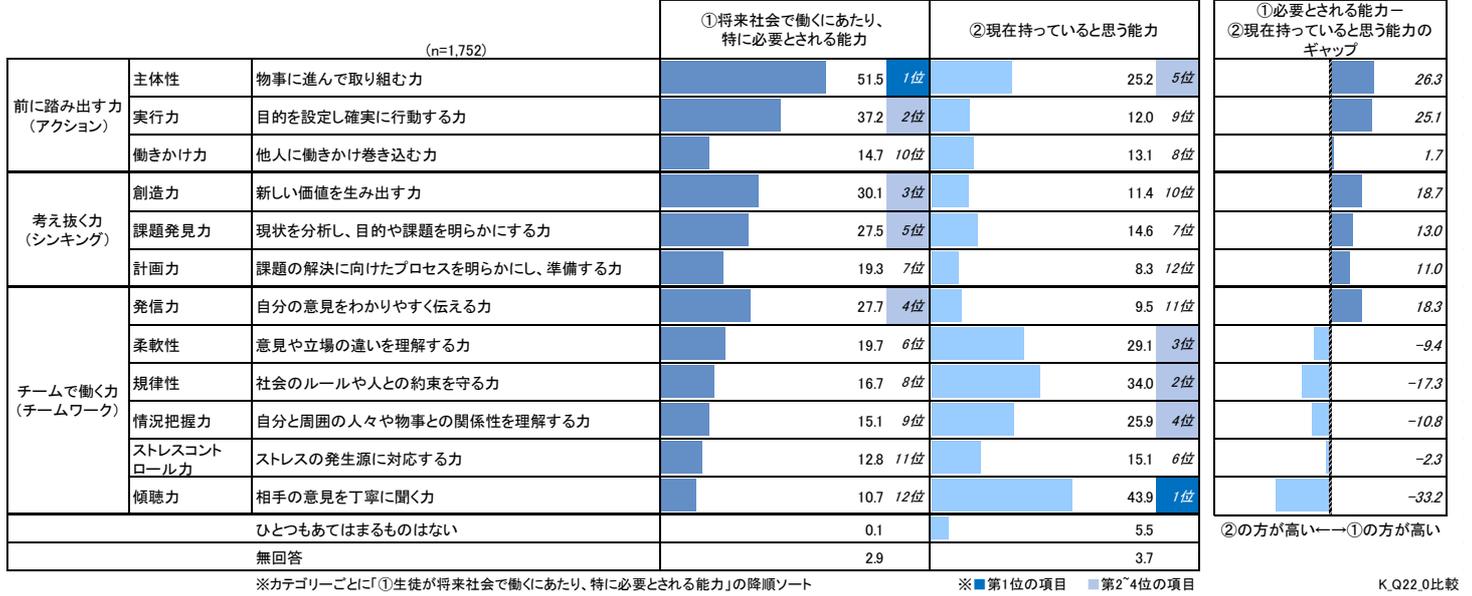
- 地元である都市部
 - 都市部のほうが地方よりも収入が高いと思うから。[宮崎県/女/専門学校]
 - 経済的な支援が受けられる制度があるから。[静岡県/男/大学]
 - 地元か地元でないかはあまり重要では無いが、都市部で育ったので、地方に行くと不便を感じそうで都市部がいい。[東京都/男/大学]
- 地元である地方
 - なじみがあり、ゆっくり過ごせそうだから。[秋田県/女/短大]
 - ホームグラウンドのほうが、知人も多いし、人々と親しみやすい。[静岡県/男/大学]
 - 地元を大切にしたい。[福井県/男/大学]
- 地元ではない都市部
 - 都市にあこがれがあるから。[徳島県/女/大学]
 - 自分のやりたい仕事は地元ではできないから。[北海道/その他/専門学校]
- 地元ではない地方
 - 人が多いところが嫌だから。[福井県/男/大学]
 - 違う土地での生活を送りたいから。また、親元を離れた場所で働きたいと思ったから。[徳島県/女/大学]
 - 自然豊かな場所で、なるべく働きたいから。[静岡県/男/就職]
 - 地域医療に従事したいと考えているから。[北海道/男/大学]
- 海外
 - 日本がこれから成長することは、当分期待できないから。[群馬県/男/大学]
 - 英語が好きで海国に興味があるから。美容師という職業を通して世界を見たい。[徳島県/女/専門学校]

IV 将来展望

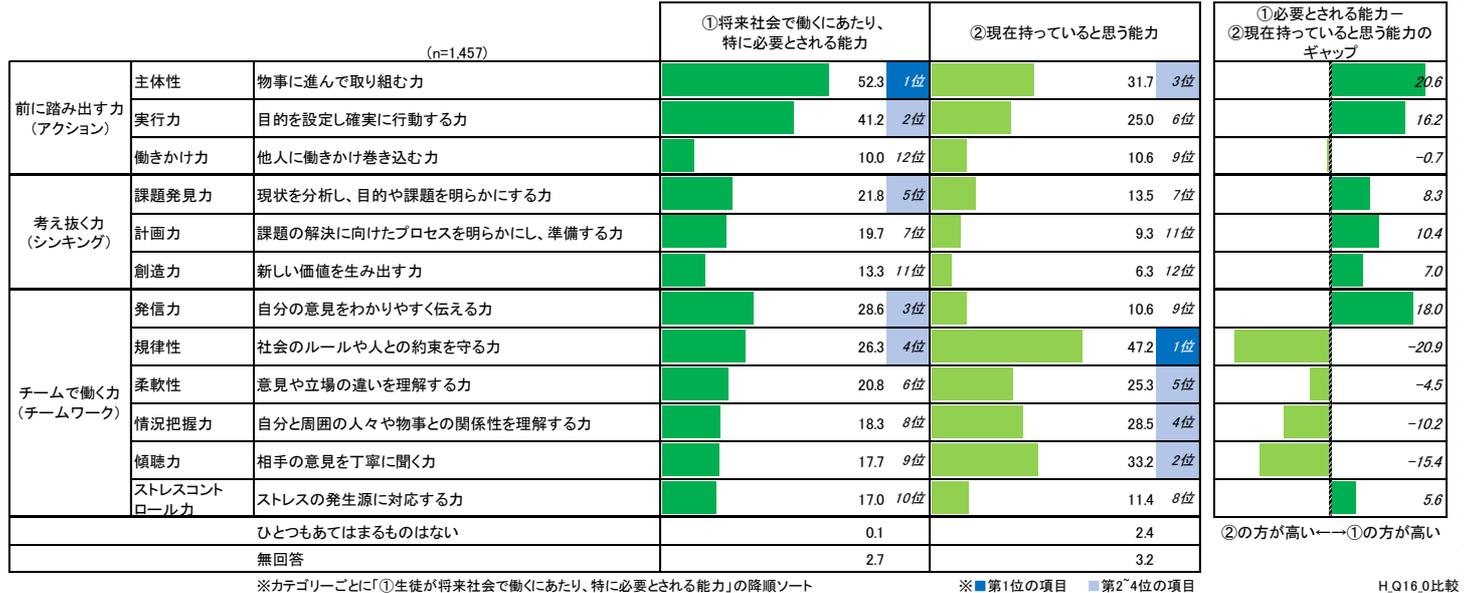
26. 社会人基礎力：将来必要とされる能力と現在持っていると思う能力

- ▶ 高校生が考える“将来必要とされる能力”は、「主体性」(52%)、「実行力」(37%)、「創造力」(30%)。
- ▶ “現在持っていると思う能力”は、「傾聴力」(44%)、「規律性」(34%)、「柔軟性」(29%)。
- ▶ 将来必要とされるが現在の自分に不足している能力は、「主体性」「実行力」「創造力」「発信力」。
 - 経済産業省で定義されている『社会人基礎力』(12の能力要素)のうち、「将来社会で働くにあたり、特に必要とされる能力」と「現在持っている能力」を、それぞれ3つまで高校生に選んでもらった。
 - 高校生が考える<将来必要とされる能力>は、「主体性：物事に進んで取り組む力」(52%)がトップ。以下、「実行力：目的を設定し確実に行動する力」(37%)、「創造力：新しい価値を生み出す力」(30%)、「発信力：自分の意見をわかりやすく伝える力」(28%)、「課題発見力：現状を分析し、目的や課題を明らかにする力」(28%)が続く。
 - 高校生が<現在持っていると思う能力>は、「傾聴力：相手の意見を丁寧に聞く力」(44%)がトップ。以下、「規律性：社会のルールや人との約束を守る力」(34%)、「柔軟性：意見や立場の違いを理解する力」(29%)、「状況把握力：自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力」(26%)、「主体性：物事に進んで取り組む力」(25%)が続く。
 - 高校生が、将来必要とされるが現在の自分に不足している能力は何だと考えているか、<将来必要とされる能力 - 現在持っている能力とのギャップ>をみると、「主体性：物事に進んで取り組む力」が最も高い（必要-現在持っているスコアの差が26ポイント）。以下、「実行力：目的を設定し確実に行動する力」(25ポイント差)「創造力：新しい価値を生み出す力」(19ポイント差)が続く。
- ▶ 保護者が考える、子どもに将来必要な能力は、「主体性」(52%)、「実行力」(41%)、「発信力」(29%)。
- ▶ 子どもが現在持っている能力は、「規律性」(47%)、「傾聴力」(33%)、「主体性」(32%)。
- ▶ 将来必要とされるが、現在の子どもの不足している能力は、「主体性」「発信力」「実行力」。
 - 保護者からも、「将来、社会で働くにあたり特に必要とされる能力」と「子どもが現在持っていると思う能力」をそれぞれ3つまで選んでもらった。
 - 保護者が考える<将来必要とされる能力>は、「主体性：物事に進んで取り組む力」(52%)がトップ。以下、「実行力：目的を設定し確実に行動する力」(41%)、「発信力：自分の意見をわかりやすく伝える力」(29%)、「規律性：社会のルールや人との約束を守る力」(26%)、「課題発見力：現状を分析し、目的や課題を明らかにする力」(22%)が続き、高校生と同様の項目が上位となっている。
 - 保護者からみて子どもが<現在持っていると思う能力>は、「規律性：社会のルールや人との約束を守る力」(47%)がトップ。以下、「傾聴力：相手の意見を丁寧に聞く力」(33%)、「主体性：物事に進んで取り組む力」(32%)、「状況把握力：自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力」(29%)、「柔軟性：意見や立場の違いを理解する力」(25%)が続く。
 - 保護者が、子どもにとって将来必要とされるが現状では不足していると考えている能力について、<将来必要とされる能力 - 現在持っている能力とのギャップ>をみると、「主体性：物事に進んで取り組む力」(必要-現状の差が21ポイント)が最も高く、「発信力：自分の意見をわかりやすく伝える力」(18ポイント差)、「実行力：目的を設定し確実に行動する力」(16ポイント差)が続く。

【高校生】 現在持っていると思う能力と将来必要とされる能力(全体/それぞれ3つまでの複数回答)

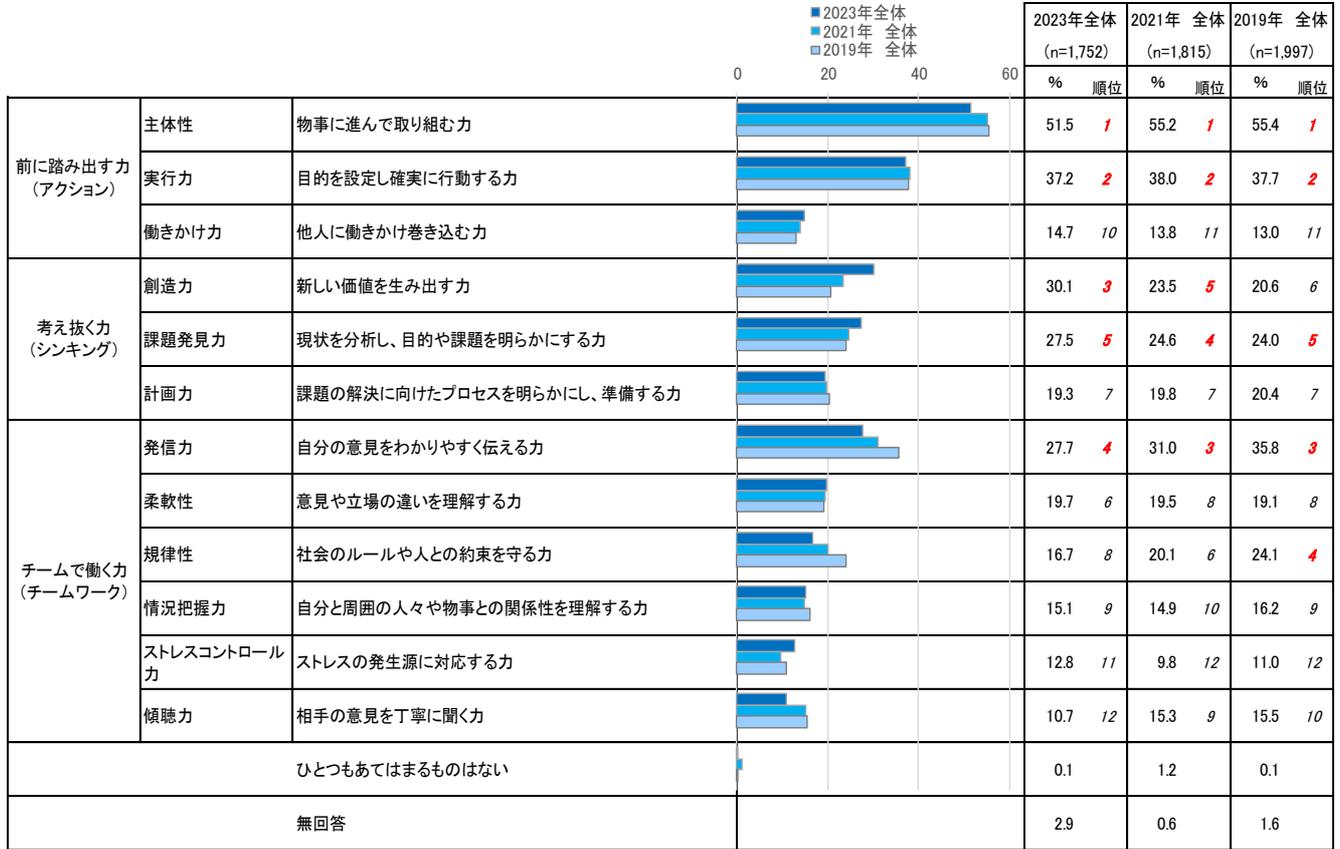


【保護者】 子どもが現在持っていると思う能力と将来必要とされる能力(全体/それぞれ3つまでの複数回答)



【高校生】 将来必要とされる能力(全体/3つまでの複数回答)・時系列

(%)



※カテゴリーごとに全体値の降順ソート

K,Q22-1時系列

【保護者】 子どもが将来必要とされる能力(全体/3つまでの複数回答)・時系列

(%)

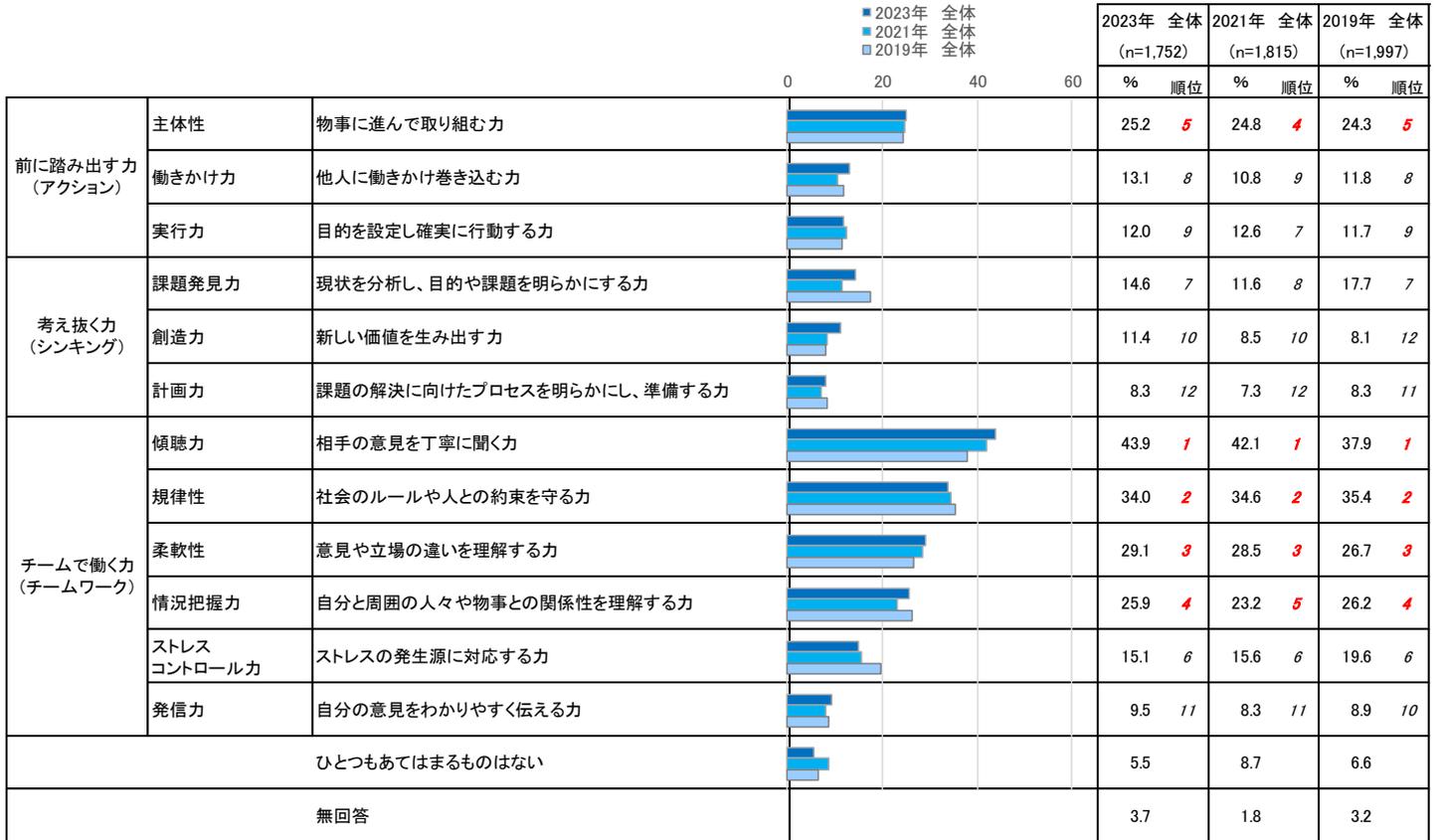


※カテゴリーごとに全体値の降順ソート

H,Q16-1時系列

【高校生】 現在持っていると思う能力(全体/3つまでの複数回答)・時系列

(%)

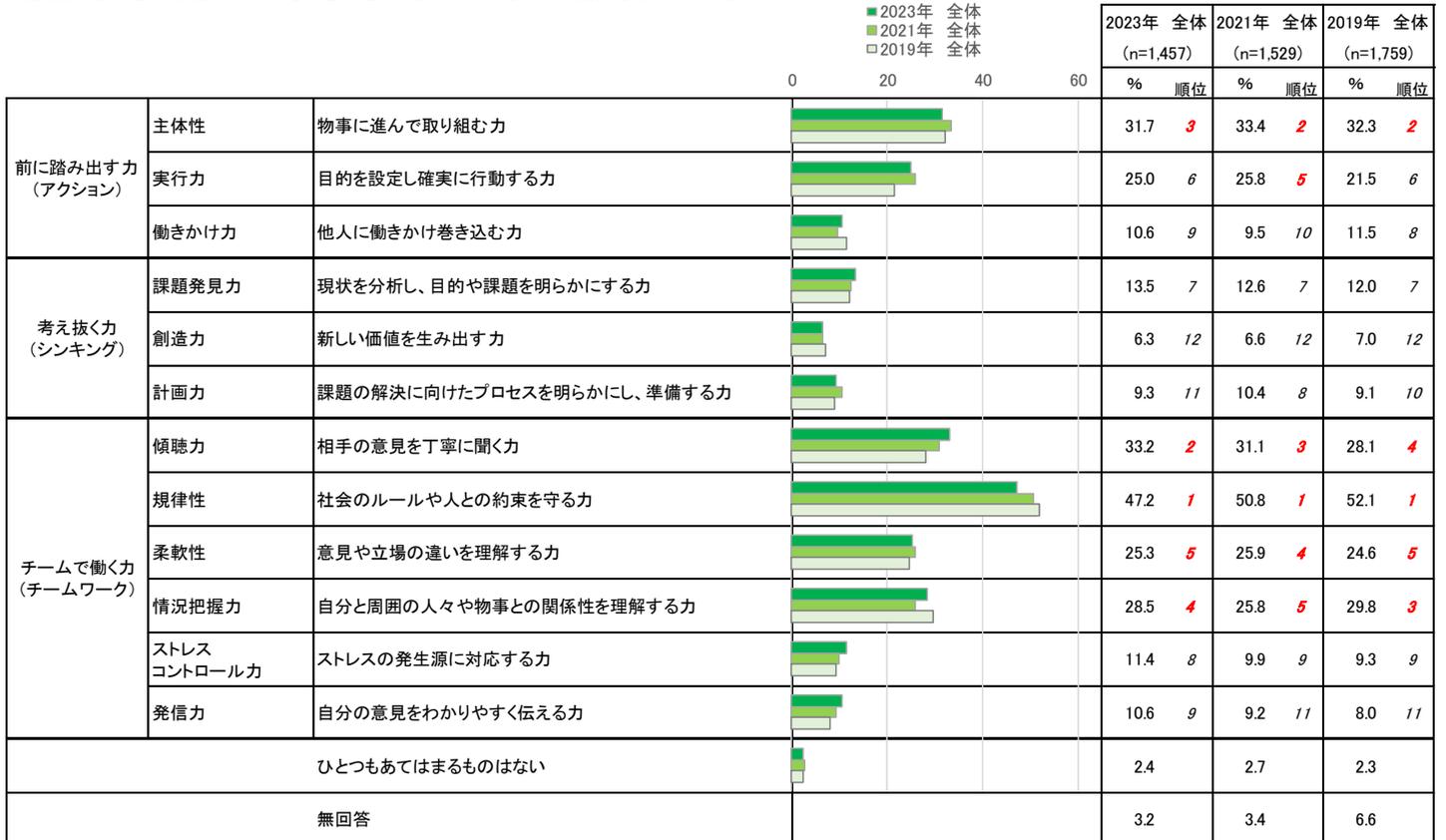


※カテゴリーごとに全体値の降順ソート

K_Q22-2時系列

【保護者】 子どもが現在持っていると思う能力(全体/3つまでの複数回答)・時系列

(%)



※カテゴリーごとに全体値の降順ソート

H_Q16-2時系列

【高校生】 将来必要とされる能力（全体／3つまでの複数回答）

(%)

	調査数	前に踏み出す力 (アクション)			考え抜く力 (シンキング)			チームで働く力 (チームワーク)						の ひ は な い	無 回 答
		力 物 事 (主 体 性 で 取 り 組 む)	む 他 力 人 に (働 き か け か け か き 込 み)	動 目 的 を 設 定 し 確 実 に 行 う (実 行 力)	課 現 状 を 分 析 し 、 目 的 を 明 ら か に す る 力 (課 題 発 見 力)	準 備 を す る 力 (計 画 力)	課 題 を 解 決 す る 力 (計 画 力)	力 新 し い 価 値 を 生 み 出 す (創 造 力)	力 す く 自 分 の 意 見 を わ か り や (発 信 力)	く 相 手 の 意 見 を 丁 寧 に 聞 く (傾 聴 力)	解 意 す る 見 や 立 場 の 違 い を 理 解 す (柔 軟 性)	事 と 周 圍 の 人 々 や 物 事 の 関 係 を 理 解 す (情 況 把 握 力)	自 分 と 周 圍 の 人 々 や 物 事 の 関 係 を 理 解 す (情 況 把 握 力)		
2023年 全体	1752	51.5	14.7	37.2	27.5	19.3	30.1	27.7	10.7	19.7	15.1	16.7	12.8	0.1	2.9
性別															
男子	867	53.5	17.9	38.8	26.4	20.9	32.4	24.6	10.5	18.1	14.6	17.5	11.0	0.1	1.4
女子	790	50.8	11.8	37.0	29.5	18.7	28.7	32.2	11.9	21.6	15.8	16.8	14.8	—	1.5
希望進路別															
進学希望者全体	1502	52.1	15.4	37.0	28.2	19.6	31.8	27.1	10.2	20.7	15.2	15.0	13.1	0.1	2.1
大学	1233	51.5	16.1	37.8	29.5	20.0	32.6	25.5	10.1	20.9	15.4	13.5	12.3	0.1	1.9
短大	37	45.9	10.8	37.8	37.8	27.0	29.7	32.4	8.1	18.9	10.8	13.5	16.2	—	—
専門学校	232	56.0	12.5	32.8	19.4	16.8	28.0	34.5	11.2	19.8	14.7	22.8	16.8	—	3.0
就職	218	48.2	11.0	39.4	24.3	19.3	21.6	32.6	15.1	12.8	15.6	28.4	11.5	0.5	4.1

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

K_Q22_1属性別表

【高校生】 現在持っていると思う能力（全体／3つまでの複数回答）

(%)

	調査数	前に踏み出す力 (アクション)			考え抜く力 (シンキング)			チームで働く力 (チームワーク)						の ひ は な い	無 回 答
		力 物 事 (主 体 性 で 取 り 組 む)	む 他 力 人 に (働 き か け か け か き 込 み)	動 目 的 を 設 定 し 確 実 に 行 う (実 行 力)	課 現 状 を 分 析 し 、 目 的 を 明 ら か に す る 力 (課 題 発 見 力)	準 備 を す る 力 (計 画 力)	課 題 を 解 決 す る 力 (計 画 力)	力 新 し い 価 値 を 生 み 出 す (創 造 力)	力 す く 自 分 の 意 見 を わ か り や (発 信 力)	く 相 手 の 意 見 を 丁 寧 に 聞 く (傾 聴 力)	解 意 す る 見 や 立 場 の 違 い を 理 解 す (柔 軟 性)	事 と 周 圍 の 人 々 や 物 事 の 関 係 を 理 解 す (情 況 把 握 力)	自 分 と 周 圍 の 人 々 や 物 事 の 関 係 を 理 解 す (情 況 把 握 力)		
2023年 全体	1752	25.2	13.1	12.0	14.6	8.3	11.4	9.5	43.9	29.1	25.9	34.0	15.1	5.5	3.7
性別															
男子	867	24.8	15.7	14.4	16.1	7.8	11.6	10.3	40.5	26.8	24.8	30.3	15.9	7.8	2.3
女子	790	26.3	11.0	10.0	13.3	9.1	10.9	8.9	50.1	33.0	27.1	39.6	15.4	3.0	2.0
希望進路別															
進学希望者全体	1502	25.6	13.8	12.0	15.5	9.1	11.8	9.9	44.5	29.5	25.8	33.4	14.3	5.2	2.8
大学	1233	26.3	14.7	13.1	17.0	9.7	11.2	10.2	43.2	28.5	25.8	32.1	14.0	5.1	2.6
短大	37	10.8	10.8	10.8	5.4	2.7	16.2	2.7	51.4	37.8	29.7	40.5	13.5	10.8	—
専門学校	232	24.6	9.9	6.5	9.1	6.5	14.2	9.5	50.0	33.2	25.0	38.8	15.9	4.7	4.3
就職	218	22.9	7.3	11.9	9.2	3.7	10.1	6.9	43.1	30.7	27.5	40.4	21.6	6.9	5.5

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

K_Q22_2属性別表

【保護者】子どもが将来必要とされる能力（全体／3つまでの複数回答）・属性別 (％)

		前に踏み出す力 (アクション)			考え抜く力 (シンキング)			チームで働く力 (チームワーク)							のひ	無
		力物 事 (主 体 性 ん で 取 り 組 む)	動目 的 を 力 設 定 し 実 行 確 力 実 に 行	む他 力人 に (働 き か け 力 巻 き 込	課現 題状 をを 明分 見析 らか し に 、 目 的 的 力や	準口 備セ すの を解 決 ら 向 け た プ	力新 い (創 造 力 値 を 生 み 出 す)	性約 束会 守の ル ル や 人 と の	く相 力手 の 傾 聴 見 を 丁 寧 に 聞	解意 する や 立 場 の 違 い を 理	る事 力と (情 況 把 握 を 人 々 と の 解 決 す 物	自事 分と 周 圍 の 人 々 と の 解 決 す 物	ン応 すト ろロ ール 力カ (ス ス 生 源 に 対 コ 対	力自 く分 の 意 見 を わ か り や	のひ は な い も あ て は ま る も	無 回 答
調査数																
2023年	全体	1457	52.3	41.2	10.0	21.8	19.7	13.3	28.6	26.3	20.8	18.3	17.7	17.0	0.1	2.7
続柄別	父親	210	51.0	41.9	12.9	26.2	19.0	18.1	20.0	23.3	19.5	15.7	21.4	14.3	0.5	3.3
	母親	1190	52.9	41.4	9.7	21.8	20.2	13.0	30.2	27.2	21.4	18.5	17.1	17.8	0.1	1.5
子どもの性別	男	713	53.0	42.5	11.1	23.6	19.6	14.0	29.2	24.5	20.6	19.5	16.7	15.3	0.1	2.1
	女	701	52.6	40.8	9.3	21.0	20.4	13.4	28.1	29.0	21.7	16.5	18.8	19.1	0.1	1.4
希望進路別	進学希望者全体	950	52.5	44.5	10.5	24.7	21.2	14.6	28.3	23.1	19.2	17.7	17.7	16.5	0.1	1.8
	大学	818	51.2	44.9	10.8	25.1	21.3	15.6	28.6	22.0	19.6	18.3	16.7	17.0	0.1	1.7
	短大	24	58.3	29.2	8.3	33.3	25.0	8.3	25.0	41.7	20.8	4.2	20.8	8.3	—	4.2
	専門学校	108	61.1	45.4	9.3	20.4	19.4	8.3	26.9	26.9	15.7	15.7	24.1	14.8	—	1.9
	就職	113	57.5	32.7	5.3	15.9	13.3	8.0	30.1	45.1	20.4	18.6	18.6	14.2	—	4.4

※カテゴリーごとに今回調査の「全体」降順ソート
※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

H.Q16-1属性別表

【保護者】子どもが現在持っていると思う能力（全体／3つまでの複数回答）・属性別 (％)

		前に踏み出す力 (アクション)			考え抜く力 (シンキング)			チームで働く力 (チームワーク)							のひ	無
		力物 事 (主 体 性 ん で 取 り 組 む)	動目 的 を 力 設 定 し 実 行 確 力 実 に 行	む他 力人 に (働 き か け 力 巻 き 込	課現 題状 をを 明分 見析 らか し に 、 目 的 的 力や	準口 備セ すの を解 決 ら 向 け た プ	力新 い (創 造 力 値 を 生 み 出 す)	性約 束会 守の ル ル や 人 と の	く相 力手 の 傾 聴 見 を 丁 寧 に 聞	解意 する や 立 場 の 違 い を 理	る事 力と (情 況 把 握 を 人 々 と の 解 決 す 物	自事 分と 周 圍 の 人 々 と の 解 決 す 物	ン応 すト ろロ ール 力カ (ス ス 生 源 に 対 コ 対	力自 く分 の 意 見 を わ か り や	のひ は な い も あ て は ま る も	無 回 答
調査数																
2023年	全体	1457	31.7	25.0	10.6	13.5	9.3	6.3	47.2	33.2	25.3	28.5	11.4	10.6	2.4	3.2
続柄別	父親	210	34.3	27.6	13.3	11.4	7.6	8.1	41.9	26.2	21.4	25.7	6.7	13.3	7.1	3.8
	母親	1190	31.7	25.0	10.2	13.9	9.5	6.1	48.6	34.8	26.4	29.7	12.3	10.3	1.5	1.9
子どもの性別	男	713	30.2	24.8	11.2	13.9	8.7	6.0	48.7	30.9	27.2	26.6	11.4	11.4	3.1	2.1
	女	701	33.5	25.5	10.0	13.4	9.7	6.7	46.8	36.7	24.0	31.4	11.6	10.4	1.7	2.3
希望進路別	進学希望者全体	950	32.6	27.1	10.9	14.9	10.7	6.6	46.7	32.8	25.9	28.4	11.3	11.7	2.3	2.1
	大学	818	33.6	28.5	11.0	15.8	11.9	6.5	45.8	32.3	25.4	27.9	10.5	12.2	2.1	2.0
	短大	24	20.8	16.7	16.7	8.3	—	—	50.0	50.0	37.5	41.7	12.5	—	4.2	—
	専門学校	108	27.8	18.5	9.3	10.2	4.6	9.3	52.8	33.3	26.9	29.6	16.7	10.2	3.7	3.7
	就職	113	28.3	14.2	11.5	5.3	5.3	7.1	49.6	45.1	16.8	26.5	14.2	10.6	3.5	4.4

※カテゴリーごとに今回調査の「全体」降順ソート
※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

H.Q16-2属性別表

27. 社会人基礎力：必要な能力を身につけるために有効な活動

▶保護者の考える“社会人基礎力を身につけるために有効な活動”は、「部・クラブ活動の時間」「教科の時間」「校外活動」が6割前後で並ぶ。

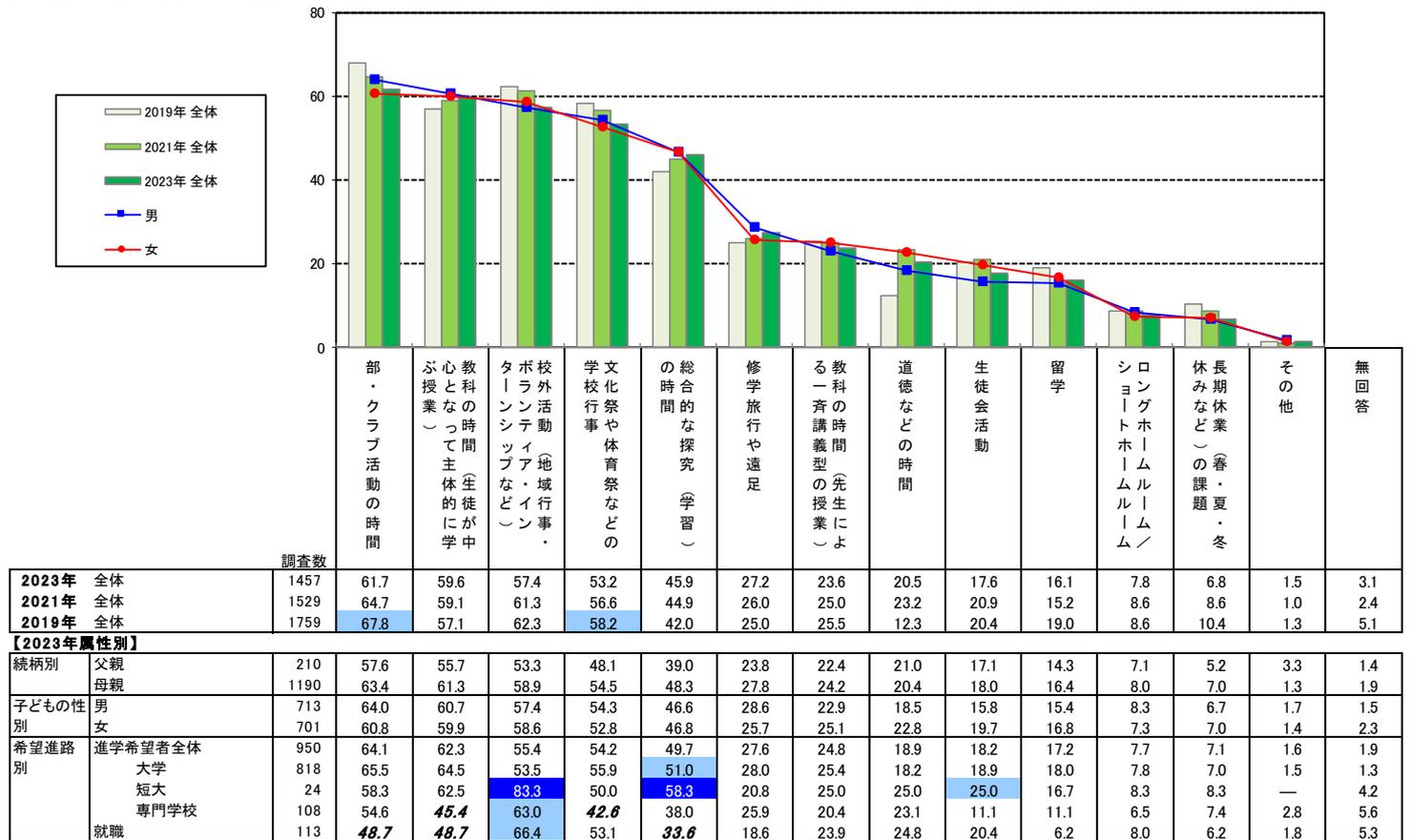
▶時系列では「教科の時間」「総合的な探究（学習）の時間」が上昇傾向。

●保護者に対して、社会人基礎力を身につけるために有効だと思う活動を尋ねたところ、「部・クラブ活動の時間」（62%）が最も高く、次いで「教科の時間（生徒が中心となって主体的に学ぶ授業）」（60%）、「校外活動（地域行事・ボランティア・インターンシップなど）」（57%）、「文化祭や体育祭などの学校行事」（53%）などが50%を超える。

●時系列でみると、「部・クラブ活動の時間」や「校外活動（地域行事・ボランティア・インターンシップなど）」「文化祭や体育祭などの学校行事」は漸減傾向で、逆に「教科の時間（生徒が中心となって主体的に学ぶ授業）」や「総合的な探究（学習）の時間」の上昇が続いている。アクティブ・ラーニングや探究学習などでの学びが、将来社会で役立つ能力を身につけるのに有効だと認識されつつあるといえる。

【保護者】子どもが必要な能力を身につけるのに有効な活動（全体／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

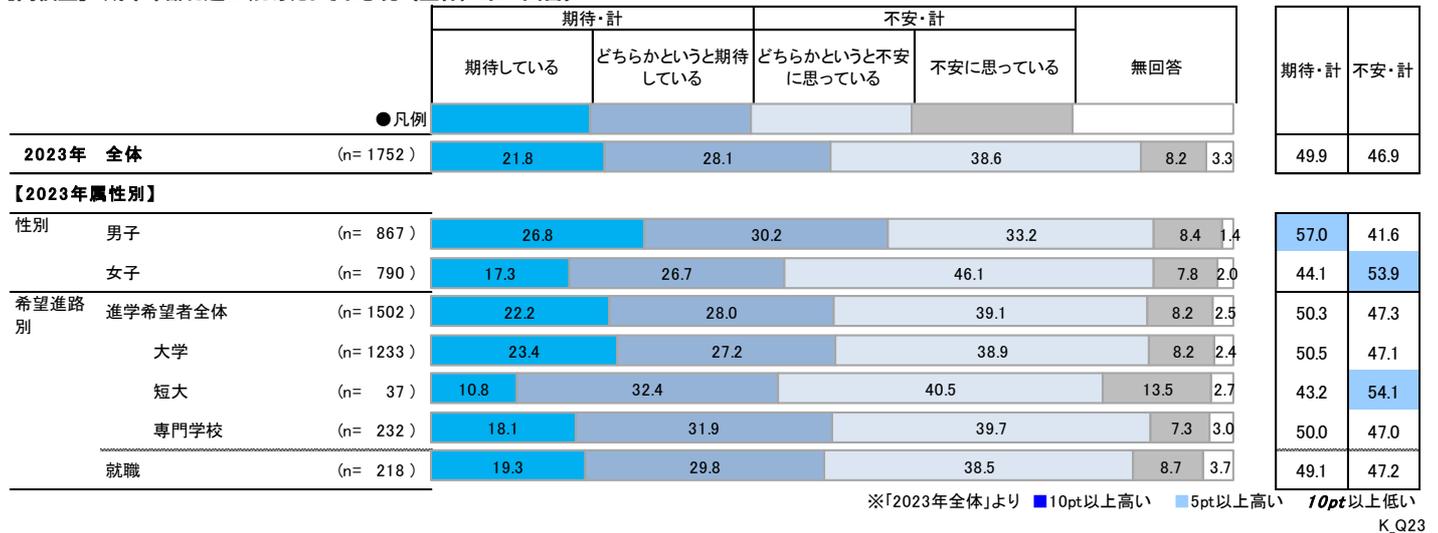
H.Q17

28. 成年年齢の引き下げに関する期待

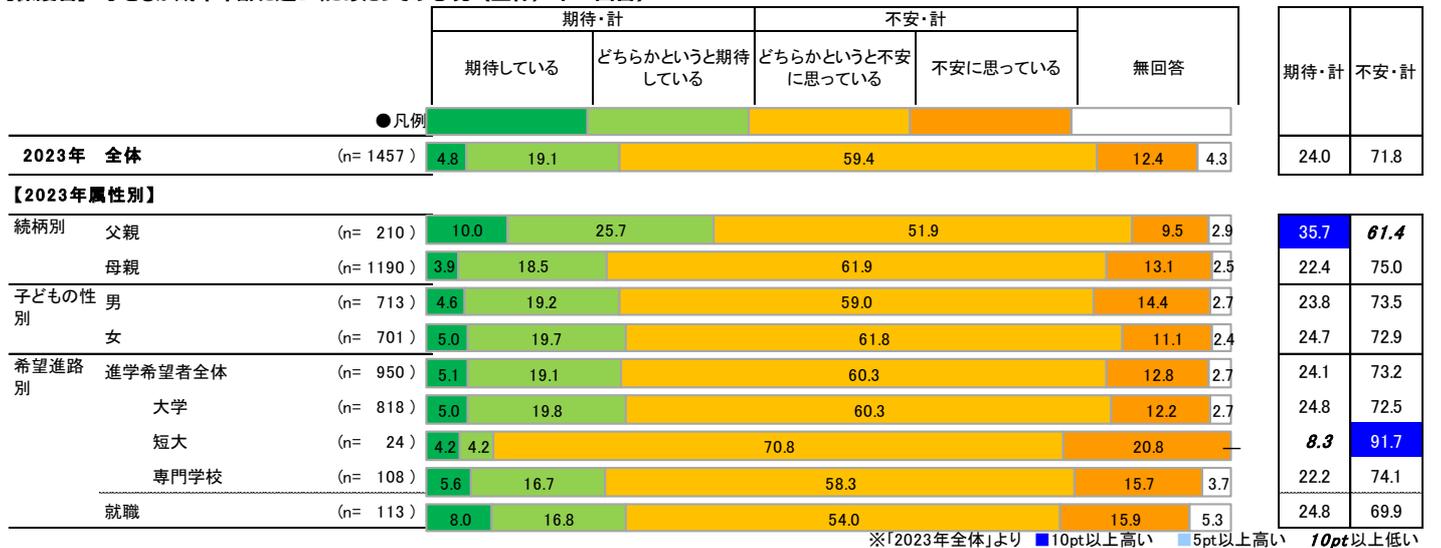
- ▶ 高校生では成年年齢に近づくとあたって「期待・計」「不安・計」が共に5割程度で拮抗。
- ▶ 保護者では「期待・計」が24%にとどまり、7割以上が不安に思っている。

- 高校生に対して、自分自身が成年年齢に近づくとあたってどのような心境かを尋ねたところ、「期待している」が22%を占め、合計では50%が期待していると回答した。不安に思っている人も合計で47%を占めており、拮抗している。
- 性別にみると、男子（57%）の方が、女子（44%）よりも「期待・計」の割合が高い。
- 保護者にも同様に尋ねたところ、「期待・計」が24%、「不安・計」が72%で、不安に思っている保護者が圧倒的に多い。
- 続柄別にみると、父親（36%）の方が母親（22%）よりも「期待・計」の割合が高い。
- 期待する理由としては、高校生では「自分でできることが広がる」、保護者では「十分自立できる年齢」「早く自立してほしい」などの意見が多い。一方、不安に思っている理由としては、高校生では「責任を持ちたくない」「選挙に行く必要があるがよくわからない」など社会に対して果たすべき責任があることについて不安を感じる意見が多くみられる。また、保護者共に「社会の仕組みがよくわからない」といった不安を述べる意見も多い。

【高校生】 成年年齢に近づくとあたっての心境（全体／単一回答）



【保護者】 子どもが成年年齢に近づくとあたっての心境（全体／単一回答）



※この質問では、成年年齢の引き下げについて下記のように説明を加えたうえで心境について聴取しています。

Q.成年年齢が、2022年4月から、20歳から18歳に引き下げられました。これにより、親の同意を得なくても、自分の意志でさまざまな契約などができるようになり、自分の意志で決められるようになることが増えるといわれています。成年年齢が近づくとあたり、あなたの心境はどれに近いですか。

▶【高校生】成年年齢引き下げへの期待と不安

• 期待している・どちらかという期待している

- いろいろなことができるから[東京都/男/大学]
- めんきょが早くとれる[宮崎県/男/専門職大学]
- 責任を自分でとれることで自由の幅が広がるから[群馬県/男/大学]
- 自分のことは自分で管理したい[秋田県/男/大学]
- できることが増え、それに伴う責任を負うことも自分に必要なことだと思うから[秋田県/男/大学]
- 成人になるといろいろなことの規制が緩むから。[秋田県/男/就職]
- 危険もあるが自由度がアップするから。[群馬県/男/大学]
- 自分のみでの行動の幅が広がるから。[北海道/女/専門学校]
- 自立することは大切だから[奈良県/男/大学]
- 成人することが楽しみだから。[静岡県/女/海外の大学など]
- 自分のやりたいこと何でもできるから[群馬県/男/大学]
- 選挙行ける[北海道/女/大学]
- 若い人達が自由に活躍できるようになると思う。[東京都/男/大学]
- 自分で決定する力は大切になってくると思うから[徳島県/女/専門学校]
- 政治に関心をもつ人が増えればいいから。[秋田県/男/大学]
- いちいち親に頼らなくて済むから[秋田県/男/就職]
- 親の同意がないというのは不安だが不安ならば親の同意を求めればよし、可能性が広がってよいと思う[群馬県/男/大学]
- 自分の意思で決められるようになるから。[静岡県/女/大学]
- 今まで親から沢山のアドバイスをもらったから、それを行動で見せたらいいと思うから[静岡県/女/就職]

• 不安に思っている・どちらかという不安

- 正しい判断ができるか不安だから[秋田県/女/大学]
- 幼稚な人がトラブルを起こす可能性も増えてしまうから。→ 普通の人もトラブルに巻き込まれる。[静岡県/男/大学]
- できることが増えて、楽しいことも増えると思うけど、自分一人で物事を判断したり、今みたいに親や先生に頼ることができなくなると思うから[福井県/女/短大]
- 詐欺などに巻き込まれやすくなるから[群馬県/男/大学]
- 自分一人で判断して責任をとらなくてはいけなくなるから[徳島県/無回答/大学]
- 税金を払わないといられなくなるから[東京都/男/専門学校]
- 2年間法で守られる期間が短くなってしまったから。[北海道/無回答/大学]
- 選挙わからん[東京都/女/専門学校]
- 自分で責任が取れるか不安[東京都/女/専門学校]
- 選挙権を得たことで参加しなくてはならないというプレッシャーがあるから。また、さまざまな詐欺に遭いやすくなるから。[北海道/男/大学]
- 何も知らない、説明もない状態で社会に出ないといけないから[北海道/女/大学]
- 責任が重くなるから。(自己の)[秋田県/女/大学]
- 自分の意思で動き始めなければいけない時期が早まったから[奈良県/男/就職]
- 社会経験の少ない子どもを成人に適用するのは税金の回収のためとしか思えない。また、詐欺に対応する能力はまだ低い[群馬県/男/大学]

▶【保護者】成年年齢引き下げへの期待と不安

• 期待している・どちらかという期待している

- 自分で決め実行してほしいから。[奈良県/母親/女/子の希望なら何でも]
- 18歳で十分自立できる年齢だから。[秋田県/母親/男/大学]
- 現在の子供は十分自ら考え判断する能力があるため。[北海道/父親/男/子の希望なら何でも]
- 子どもが選択できることが増えるから[宮崎県/父親/男/大学]
- 自己責任能力が養われるから[静岡県/父親/女/大学]
- 失敗は早いほうが良い。親が過保護すぎる今、自分の決定の結果がどうなるか知ることは大事[奈良県/母親/女/就職]
- 選挙などにも積極的に行き、自らの意志で行動してほしい[群馬県/母親/男/大学]
- 選挙に行ってほしい[宮崎県/母親/男/大学]
- 早く自立してほしい。早く責任感をもってほしい。[静岡県/母親/女/大学]
- 年功序列でなく、若い力ある者が、より良い社会を作れる[群馬県/父親/男/大学]
- いつかは一人で生きていくので、早く自立心が育つので良いと思うから。[群馬県/母親/男/大学]
- ケイタイの料金が高いので自分で契約して自分で払ってほしいと思っている。[東京都/母親/男/大学]
- 20歳に成人しても同じ気持ちです。自分の人生をどのようにしていくのか楽しみです。[北海道/母親/男/大学]
- これまでは18～20歳までの間は大人でも子どもでもないどちらでもなかったのが、18歳で成人となったので、自覚を持って、しっかり生きてほしいので[北海道/母親/女/大学]
- そもそも20歳に根拠があったとは思えない[福井県/父親/男/大学]

• 不安に思っている・どちらかという不安

- 社会の仕組みをよく理解できていないため(税金や社会保障なども)[宮崎県/無回答/無回答/子の希望なら何でも]
- 18～20歳、たった2年だが高校卒業後の2年で、自分は成長を感じたので20歳で成年でいいのではないかと思っている[群馬県/母親/男/大学]
- 18歳だから色々な経験を積んでいないため色々なことに興味をもち誤った方向に行くのではないかと心配[宮崎県/母親/女/大学]
- 18歳で仕事に就く人もいると思うが学生になる人も多く、高校までの生活からの切りかわりが複雑な時期で、判断するにはまだ未熟と考えるため[福井県/母親/女/大学]
- 18歳でさまざまな契約ができたり、選挙に参加できるのは良いと思うが、子どもの精進年齢がそれに追いついていないのは疑問。[群馬県/母親/女/専門職大学]
- 18歳から20歳の2年間の社会経験の差は大きいと思う。18歳はまだ親や周りの大人のサポートが必要だと思う。[宮崎県/母親/女/専門学校]
- 18歳では何かあった時の責任が取れないから(ローンなど)[静岡県/母親/男/大学]
- 2022年4月までにすべきだった教育が間に合っているとは思わない。[福井県/母親/女/就職]
- お金を稼いだこともないのに権利だけあっても。リスクを含めた考えを含んで行動できないと思うから[福井県/母親/男/大学]
- カードローンで借金の大変さを知るのは早い気がする[群馬県/母親/男/大学]

29. 仕事や生き方など人生における選択肢の「幅」と「数」への展望

1) 選択肢の「幅」がどのように変化していくと思うか

▶ 高校生、保護者共に、合計では3人に2人が選択肢の幅が広がると回答。

▶ 高校生では希望進路による差がみられないが、保護者では進学希望者で「広がる・計」の割合が高い。

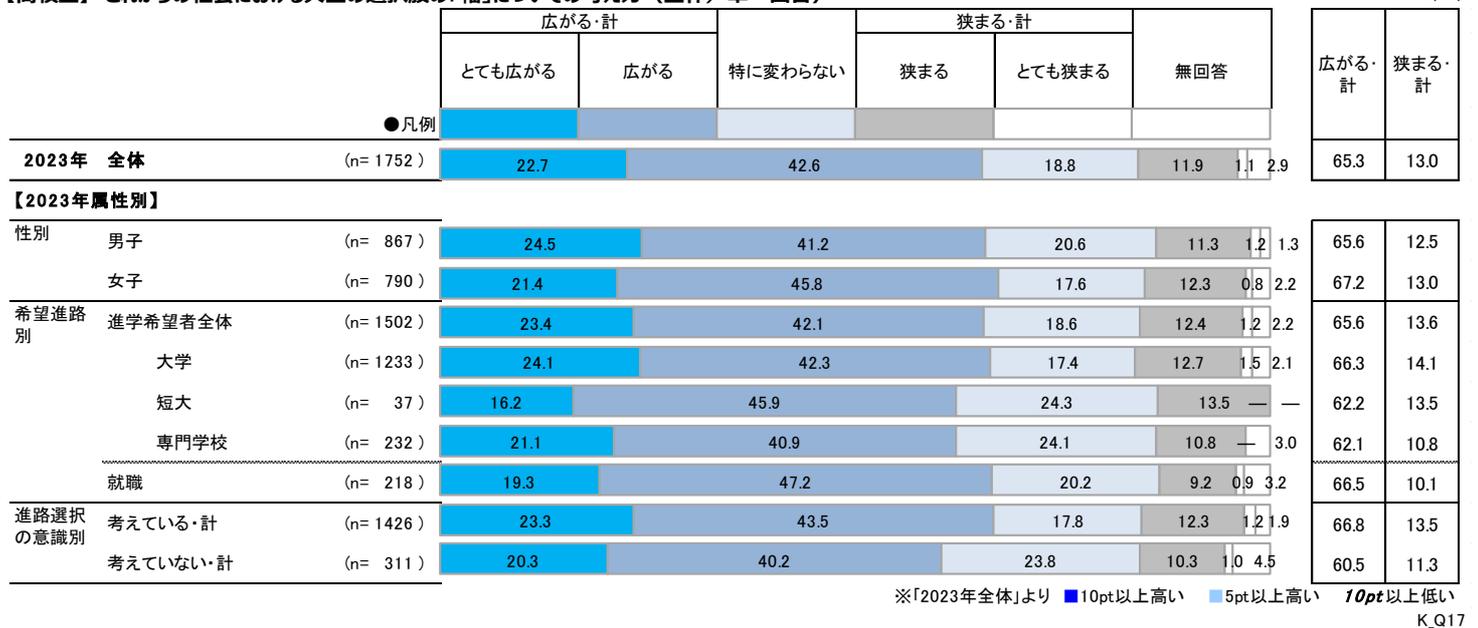
● これからの社会で、仕事や生き方をはじめとした人生における選択肢の「幅」が、今後の変化を受けてどのように変化すると思うかを高校生に尋ねたところ、「とても広がる」が23%を占め、合計では65%が広がると回答した。

● 性別や希望進路別でも、「広がる・計」の割合はおおむね62~67%程度であり差がない。

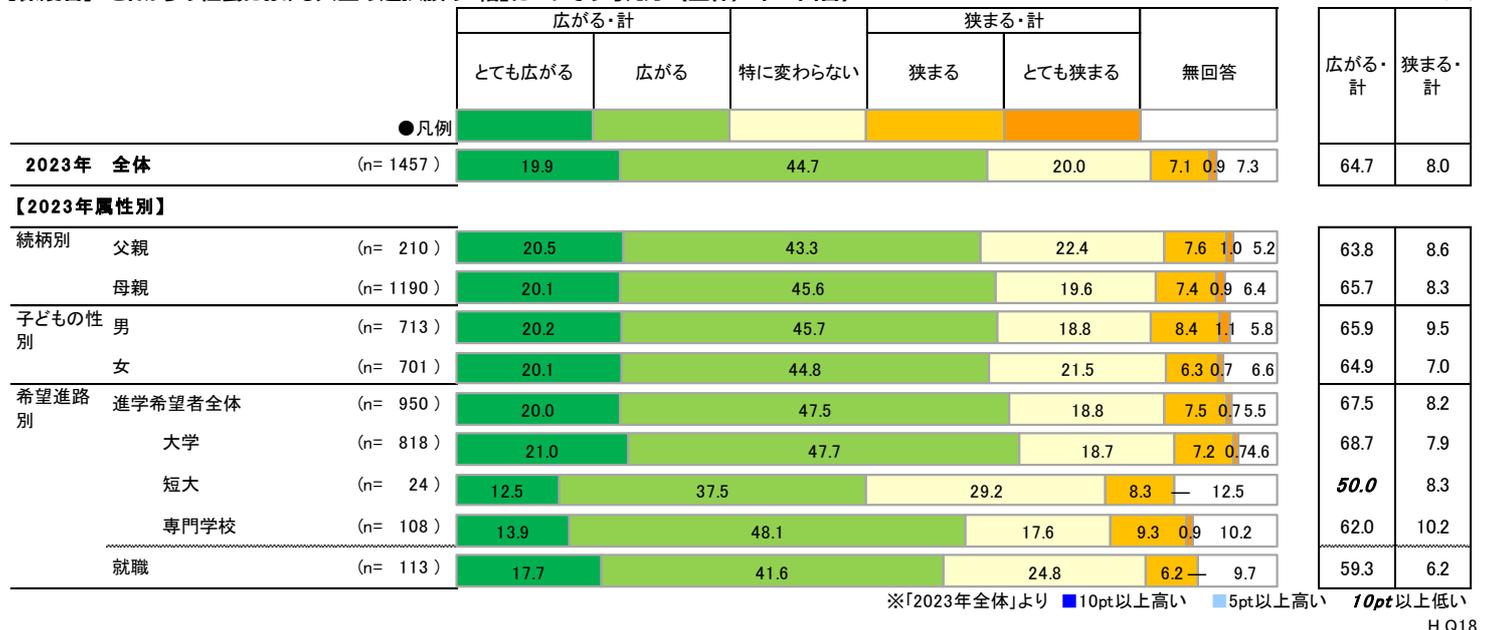
● 保護者に対しても同様に尋ねたところ、「とても広がる」が20%、合計では65%が広がると回答し、高校生とほぼ同様の結果となった。

● 続柄別や子どもの性別では、「広がる・計」の割合にあまり大きな差はみられないが、希望進路別にみると、進学希望者全体（68%）の方が、就職希望者（59%）よりも「広がる・計」の割合が高い。

【高校生】 これからの社会における人生の選択肢の「幅」についての考え方（全体／単一回答）



【保護者】 これからの社会における人生の選択肢の「幅」についての考え方（全体／単一回答）



▶【高校生】選択肢の「幅」についての考え方

●とても広がる・広がる

<AIなどの技術普及による新たな機会・職業の創出>

- ・今ある仕事の49%がAIに取って代わられるといわれています。逆に言えば、AIにできない新しい仕事を創造していくチャンスだとも言えると思うので、広がると思いました。[秋田県/女/大学]
- ・いろいろな技術が発展を受けて、なくなる仕事もあると思うが、新しい仕事や働き方も増えると思うし、生き方をより自由に選べるようになると思うから。[徳島県/無回答/大学]

<インターネットの普及による情報化社会>

- ・インターネットがあることで、語学やニュース等気軽に知れる[宮崎県/女/大学]
- ・インターネットの普及によりさまざまな情報を手に入れられるようになったから。[奈良県/女/大学]

<価値観の多様化>

- ・いろいろな考え方、価値観がうけいられると思うから[静岡県/男/大学]
- ・さまざまな面で格差が是正されてきているから[静岡県/女/大学]

<グローバル化>

- ・グローバル化が進み、人種やジェンダーの差別が今よりもっと少なくなると思うから[宮崎県/女/大学]
- ・グローバル化が進んできていて、技術も多様に発展しているから。[北海道/男/大学]

<人との出会いや経験による自分自身の成長>

- ・これから生きていくうえでさまざまな性格、価値感をもっている人とかかわり、違う考え方をするようになるかもしれないから[秋田県/男/専門学校]
- ・いろいろな性格や生き方をしている人がいる社会に出るから。[秋田県/女/就職]
- ・さまざまなことを学べるから。感じ方、考え方が豊かになる。[福井県/女/専門学校]
- ・したいと思ったらすぐに行動できる世の中だから[宮崎県/男/大学]

●特に変わらない

- ・そんなにかんたんには変わらないと思うから。[奈良県/女/大学]
- ・万一変わったとしても自分では気づけない。[北海道/女/大学]
- ・やりたいことが決まっているからその目標にむかっていくだけだから[静岡県/男/専門学校]
- ・何をすることもお金が必要だから。[北海道/女/専門学校]

●とても狭まる・狭まる

<AIの普及による仕事の減少>

- ・税金の増加やAIの普及で、仕事がどんどん減っていくと考えるから。[群馬県/男/大学]
- ・情報の可能性が大きくなっている。その分情報系の仕事が多くなり、ほかの仕事が少なくなり、狭くなる[奈良県/男/大学]
- ・AIなどの台頭[北海道/女/大学]

<家庭環境や経済状況による制限>

- ・親ガチャのように、家庭環境によって選択肢がある程度決まってしまうと考えるから。[群馬県/男/大学]
- ・お金がない限り、幅が広がることはないと思うから。[秋田県/女/短大]

<自身の進路選択による絞り込み>

- ・具体的に進路や生き方を考えていくと、選択肢は狭まってしまうような気がするから[徳島県/その他/大学]
- ・入った学科や学部でしぼられると思うから。[群馬県/男/大学]

▶【保護者】選択肢の「幅」についての考え方

●とても広がる・広がる

<AIなどの技術普及による新たな機会・職業の創出>

- ・AIなどネットの社会が進化し、新しい技術やシステムができ、人間の生活が急速に変化すると思うから。選択肢も増えると思う。[徳島県/母親/女/子の希望なら何でも]

<働き方の変化>

- ・これまでのような職業による社会的ヒエラルキーが崩壊し、多くの職業に金銭的、社会的格差が減少し、先入観による職業選択に縛られなくなるように推測する。また、複数の職業を兼業するようになったり、職業を時系列で変えてゆくようになるかと推測する。[宮崎県/母親/男/大学]

- ・これからの社会では終身雇用というより転職してステップUPしていくことができると思うので挑戦をどんどんしてほしい。そうすればとても広がると思う[東京都/母親/女/大学]

<価値観の多様化>

- ・今後どのような変化をしていくかわかりませんが、現在でも、ジェンダーや在宅ワーク、ワーケーションなどさまざまな昔はなかったものが増えてきたので選択肢の幅は広がっていくと思う。[福井県/母親/男/大学]

- ・価値観の多様化が進んでいるので、選択の自由が広がると思う[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]

<教育・学びの質的变化>

- ・若年層の情報活用能力が向上していることと、主体性を重視した教育が進んでいることから、広い視野でさまざまなことを選べるようになってきているからだと考えます。[北海道/父親/女/子の希望なら何でも]

<本人の可能性>

- ・いい人、いい本、いい言葉、いい環境に出会えば人生が豊かだと思う。[宮崎県/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・いつの時代もどんな人にも可能性はあると思うから。[北海道/母親/女/大学]

●特に変わらない

- ・いくら社会が変わっても、本人次第だと思う[宮崎県/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・家庭の経済力や環境で狭まったり広がったりすると思うから。[徳島県/母親/女/大学]

●とても狭まる・狭まる

<AIの普及による仕事の減少>

- ・AIが発達することにより現在ある職業や仕事部分で人間が働ける部分が減ると思うため。[群馬県/母親/男/大学]

<格差の拡大>

- ・格差社会の拡大[徳島県/父親/女/大学]
- ・国力の低下、少子化、老人人口の増加[群馬県/父親/男/子の希望なら何でも]

<情報化、管理社会による悪影響>

- ・メディアやネット情報に頼りすぎ、自分の考えや思考が影響されやすい世の中で、本物を見抜く力が失われているから。[群馬県/母親/男/大学]
- ・上辺は幅が広いが見せかけで選べる能力がないため[秋田県/母親/女/大学]

<国としての地位の低下>

- ・日本経済の下落が進み世界からとり残されていくのでは。[東京都/母親/男/子の希望なら何でも]

<地域格差がある>

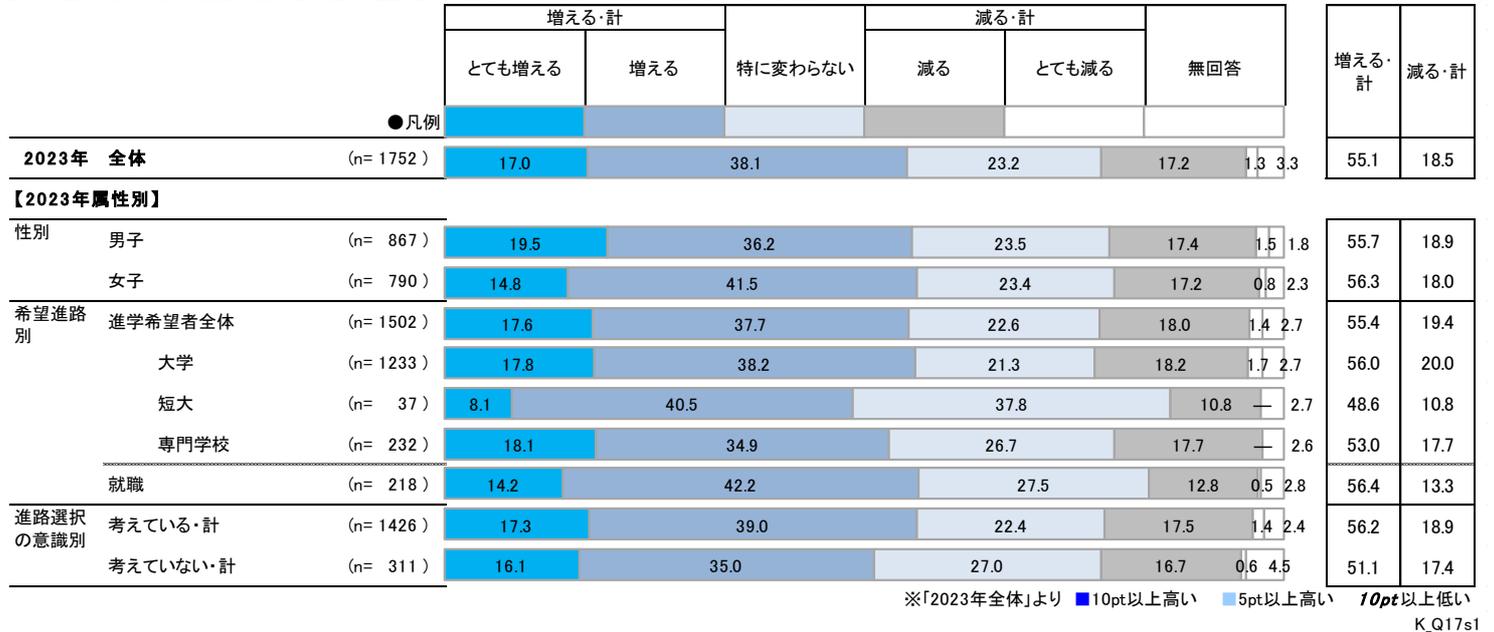
- ・都会では変わらないかもしれないが、宮崎では人手不足と高齢者割合の増加から、企業の倒産が田舎から始まっていく。業者の減少から仕事がなかなか回らなくなるのではと心配している。田舎では仕事の幅が狭まり必要最小限の仕事だけが残るのでは？子どもたちは少しでも都会に暮らしたほうが仕事の幅を持てるのでは？[宮崎県/父親/男/子の希望なら何でも]

2) 選択肢の「数」がどのように変化していくと思うか

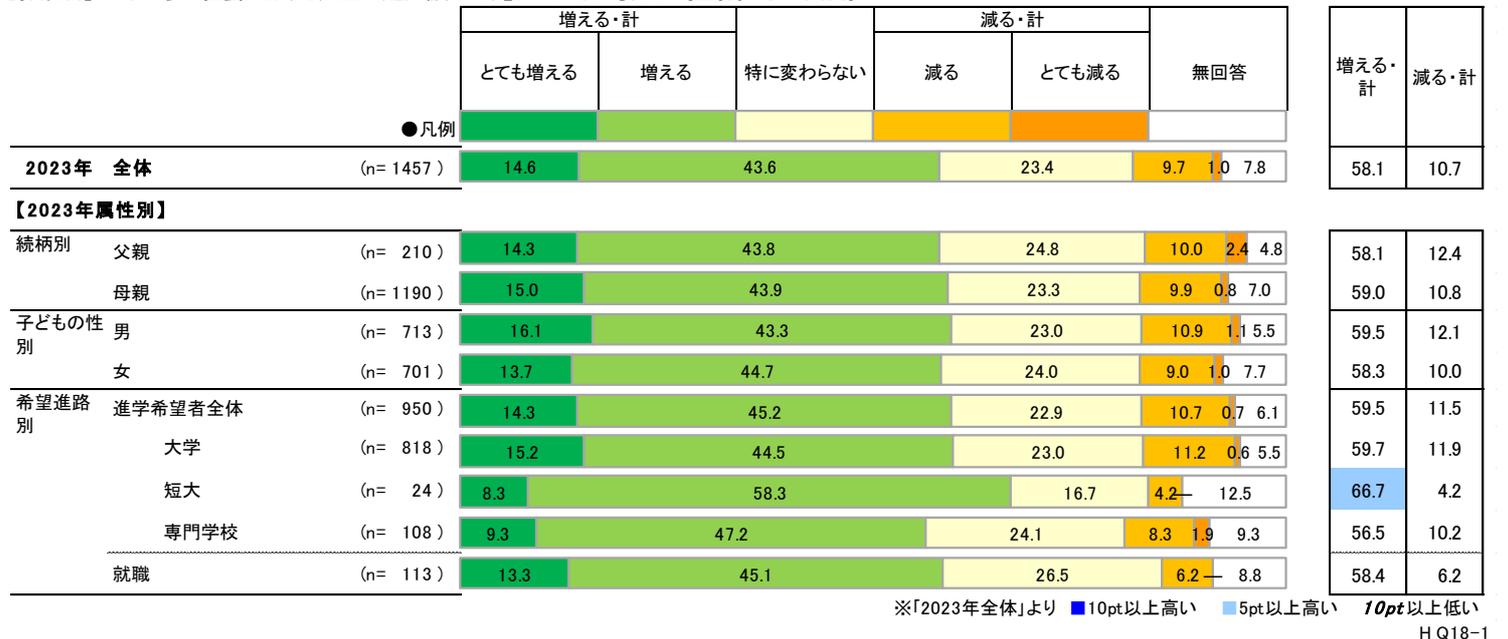
▶ 高校生では合計で55%、保護者では58%が、将来の選択肢の数が増えると回答。

- これからの社会で、仕事や生き方をはじめとした人生における選択肢の「数」が、今後の変化を受けてどのように変化していくと思うかを高校生に尋ねたところ、「とても増える」が17%を占め、合計では55%が増えると回答した。
- 性別や希望進路別では、短大進学希望者でやや「増える・計」の割合が低いものの、それ以外ではおおむね55%程度であり差がない。
- 保護者に対しても同様に尋ねたところ、「とても増える」が15%、合計では58%が広がると回答し、高校生とほぼ同様の結果となった。
- 続柄別や子どもの性別では、「増える・計」の割合にあまり大きな差はみられない。
- 希望進路別にみると、短大進学希望者で「増える・計」の割合が高い。

【高校生】 これからの社会における人生の選択肢の「数」についての考え方 (全体/単一回答)



【保護者】 これからの社会における人生の選択肢の「数」についての考え方 (全体/単一回答)



▶【高校生】選択肢の「数」についての考え方

• とても広がる・広がる

<AIなどの技術普及による新たな機会・職業の創出>

- AI、新たな科学技術の普及[東京都/男/大学]
- これからの社会でたくさんの仕事内容が増えると予想している。すべては技術進歩次第だと思う。[静岡県/男/就職]
- 技術の発展や多様化などで新たな思想や考えなどが認められる時代だから[奈良県/男/大学]
- AIによりなくなる職業もあるが、そのぶん新しい職業ができると思うから。[宮崎県/男/大学]

<情報化社会>

- インターネット上で活動している人が増えているから。[福井県/女/専門学校]

<価値観の多様化>

- 個人の尊重が特にうたわれてきているのでいろいろな選択肢があっていいから。[北海道/男/大学]
- 多文化多様生の社会が進んでいるのでいろいろな生き方が増えると思うから。[群馬県/男/大学]

<働き方や社会環境の変化>

- 1つのことだけではなく、いくつかを掛けもちしている人や、今はまだ存在していない仕事がふえていくと思うから[宮崎県/女/海外の大学など]
- ベンチャー企業など新しいことを始める企業がたくさんあるから。[徳島県/女/大学]

<社会の複雑性>

- 一つの仕事のなかにも分かれ道が生じ始めているため、選択肢の数は数えきれないほどに多くなっていくのではないかなと思った[群馬県/男/大学]

<社会のグローバル化>

- グローバル社会が進んでいるから。[静岡県/女/大学]

<自身の決定による選択肢の変化>

- そもそも子ども→大人によって選択はすべて自分にゆだねられる。[北海道/男/大学]
- やりたいことを頑張ればできるから[宮崎県/男/専門学校]
- 学生と違って社会は自分が知らない道もあると思うから。[宮崎県/女/就職]
- 自分で選択しなければならぬ機会が多くなるから。[静岡県/女/大学]

• 特に変わらない

- インターネットやAIによって増えたり減ったりして結果的にあまり変わらない[奈良県/男/大学]
- これから自分が未来を見ずえて頑張るかどうかだと思ふ[奈良県/男/大学]
- になりたい職業は変わらないから[群馬県/男/大学]

• とても狭まる・狭まる

<AIなどの技術の普及による仕事の減少>

- AIが発達した影響で人間がやらなくてもいいことがどんどん増えると思うから。[群馬県/女/就職]
- ロボットのできる範囲が広がると思ったから。[静岡県/女/就職]

<社会環境や経済状況による制限>

- 現在の日本の政治スタイルでは将来は有限なものになると思うから[北海道/無回答/大学]
- 人口が減少しているので物理的に減る以外ない。[東京都/男/大学]

<自身の進路選択による絞り込み>

- 一つ選択をしたら次の選択肢は少なくなってしまうから。[静岡県/女/大学]
- 入った学科や学部でしぼられると思うから。[群馬県/男/大学]

▶【保護者】選択肢の「数」についての考え方

• とても広がる・広がる

<AIなどの技術普及による新たな機会・職業の創出>

- 世界を移動する時間が短縮している、インターネットやAIの発展で遠距離が障害でなくなってくるため[群馬県/母親/男/大学]
- ITの進歩により、過去になかった新しい職種が増えていると思う。(それが安定性があるかどうかは別として)また、さまざまな生き方を認めようとする流れもあるため。[静岡県/母親/男/子の希望なら何でも]

<価値観の多様化>

- 価値観の多様化で『社会的成功=幸せ』ではなくなっているから[東京都/母親/女/子の希望なら何でも]
- 多様性の時代に合わせて個性を生かせる世の中になりつつある。答えが1つではなく、たくさんある。[東京都/母親/男/子の希望なら何でも]
- 多様性が認められる世の中が当たり前になり、自分だけの考えや価値感を隠す必要がなくなるだろうと思われるから。[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]

<働き方や社会環境の変化>

- かつてあったが現在は消えた職業があるように、現在は存在していても将来は消える職業もあり、現在はまったく思いつかないような職業も現れるはずである。将来は日本だけではなく、世界を対象とした仕事も増えることを考えると、数は増えるのではないか。[静岡県/母親/女/大学]

- 自分で起業することが簡単になると思う。[静岡県/母親/女/大学]

<本人の可能性>

- まだまだ知らないことがたくさんあり、仕事などで学ぶことが多くなり、選択肢なども増えてくるので。[福井県/母親/男/子の希望なら何でも]
- 自ら、探究心をもって専門分野を学び、一生学ぶ力があれば、人生における選択肢の数は、増やすことができると思う。[北海道/母親/女/大学]

• 特に変わらない

- これから増えていく新しいアイデアをもとにした仕事もあるかと思うがこれまで当たり前にあった仕事人が人でなくてもこなせるようになればなくなっていく業種もあると思うため[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]
- ネットなどで情報を検索できる環境はもっと発達するとは思いますが、そもそも興味を示さないと意味がないという意味で[秋田県/母親/女/大学]
- 本人が思い描いている夢や目標としている分野においては、大きな変化はないと考えている[静岡県/母親/女/大学]

• とても狭まる・狭まる

<AIなどの技術の普及による仕事の減少>

- AIが担うであろう仕事が増えると考えたら、選択肢の数は今よりは減るのではないかと思う。[静岡県/母親/女/大学]
- インターネット、AI、ロボットなどの進化で人間がする仕事の種類は減っていくと思うから[秋田県/父親/男/大学]

<格差の拡大>

- 日本経済の変化による賃金格差、IT化による労働環境の変化、国際社会との関係性の変化[群馬県/母親/男/大学]

<情報化社会の弊害>

- 対人関係が希薄になり、情報の入手先が限られる可能性があるから[秋田県/母親/女/大学]

<国力の低下>

- 少子高齢化に伴う労働力の減少により、日本人として社会に貢献していく形は変化すると考えられる。学力などの個人のもつ力により、その幅は狭まり、ある程度限定的なものになるのではないかと思うため。[静岡県/母親/女/大学]

30. 「グローバル社会」への適応

1) 社会や経済のグローバル化が自分の将来に与える影響

▶ 高校生の55%が、自分の将来にグローバル化の影響が「ある」。2019年に比べると減少。

▶ 保護者の63%が子どもの将来への影響が「ある」。2017年と比較すると15ポイント増。

- 自分の将来に、社会や経済のグローバル化の影響があると思うかを尋ねたところ、高校生では「ある」が55%を占めた。
- 時系列で見ると、2019年（61%）と比較して「ある」が6ポイント低下したが、2017年とはほぼ同水準。
- 性別にみると、男子（58%）のほうが女子（52%）よりやや「ある」と考える割合が高い。
- 希望進路別にみると、大学進学希望者では「ある」が62%と、他と比較して突出して高い。
- 保護者にも同様に尋ねたところ、63%が影響が「ある」と回答。
- 時系列で見ると、「ある」割合が年々増加しており、2017年と比較すると15ポイント増加した。
- 希望進路別にみると、高校生と同様に大学進学希望者で「ある」が71%と、他と比較して突出して高い。

【高校生】 自分の将来に対して社会や経済のグローバル化の影響があると思うか（全体／単一回答）

(%)

			ある	ない	わからない	無回答
●凡例						
2023年 全体	(n= 1752)		54.7	9.3	32.9	3.1
2019年 全体	(n= 1997)		60.7	9.1	26.9	3.4
2017年 全体	(n= 1987)		54.9	11.0	32.5	1.7
【2023年属性別】						
性別	男子	(n= 867)	57.8	11.0	29.1	2.2
	女子	(n= 790)	52.2	7.8	38.5	1.5
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1502)	57.8	9.6	30.1	2.5
	大学	(n= 1233)	62.4	8.6	26.5	2.4
	短大	(n= 37)	37.8	21.6	37.8	2.7
	専門学校	(n= 232)	36.2	12.9	47.8	3.0
	就職	(n= 218)	39.0	7.8	50.9	2.3

K_Q18

【保護者】 保護者は子どもの将来に社会・経済のグローバル化は影響があると思うか（全体／単一回答）

(%)

			ある	ない	わからない	無回答
●凡例						
2023年 全体	(n= 1457)		62.7	4.0	29.2	4.0
2019年 全体	(n= 1759)		57.1	1.9	36.2	4.8
2017年 全体	(n= 1722)		47.9	4.2	43.8	4.1
【2023年属性別】						
続柄別	父親	(n= 210)	71.0	6.2	19.5	3.3
	母親	(n= 1190)	62.4	3.6	31.4	2.6
子ども性別	男	(n= 713)	66.5	2.8	28.8	2.0
	女	(n= 701)	60.9	5.3	30.4	3.4
希望進路別	進学希望者全体	(n= 950)	68.2	3.9	24.8	3.1
	大学	(n= 818)	71.4	3.8	22.4	2.4
	短大	(n= 24)	50.0	—	41.7	8.3
	専門学校	(n= 108)	48.1	5.6	39.8	6.5
	就職	(n= 113)	43.4	7.1	45.1	4.4

H_Q19

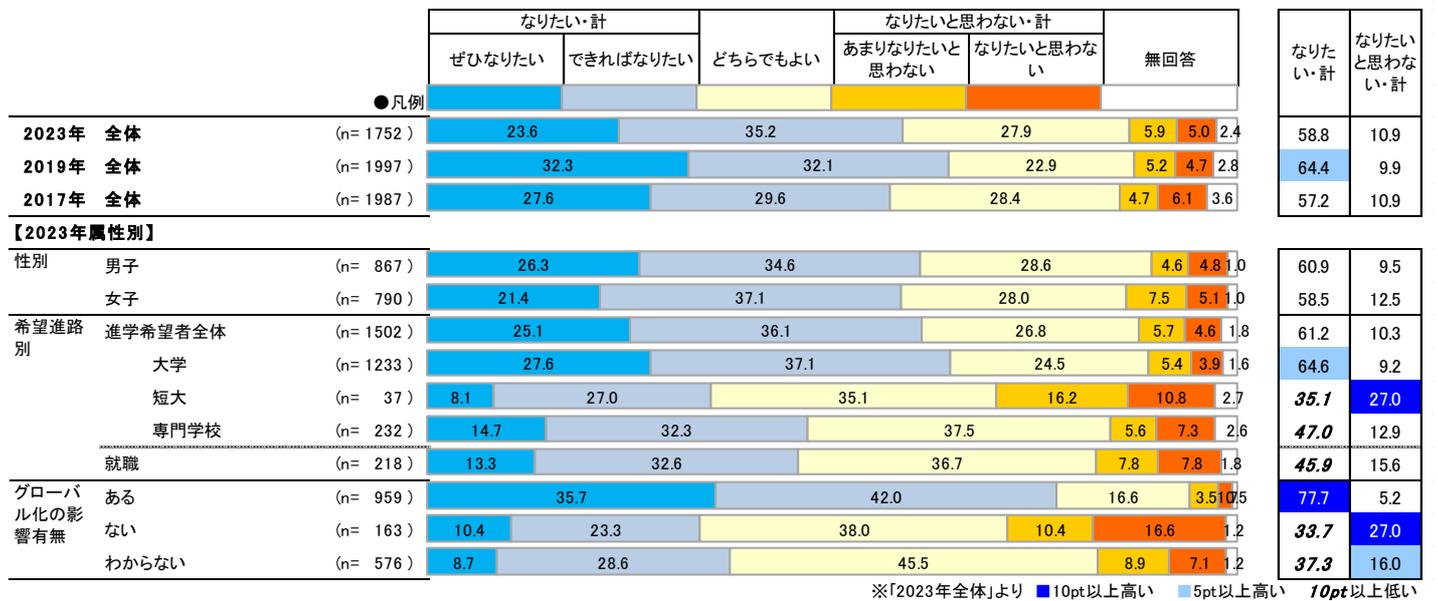
▶2) 将来グローバル社会で通用する人材になりたいか

▶高校生の59%がグローバル社会で通用する人材に“なりたい”。保護者では63%が“なっ”てほしい”。

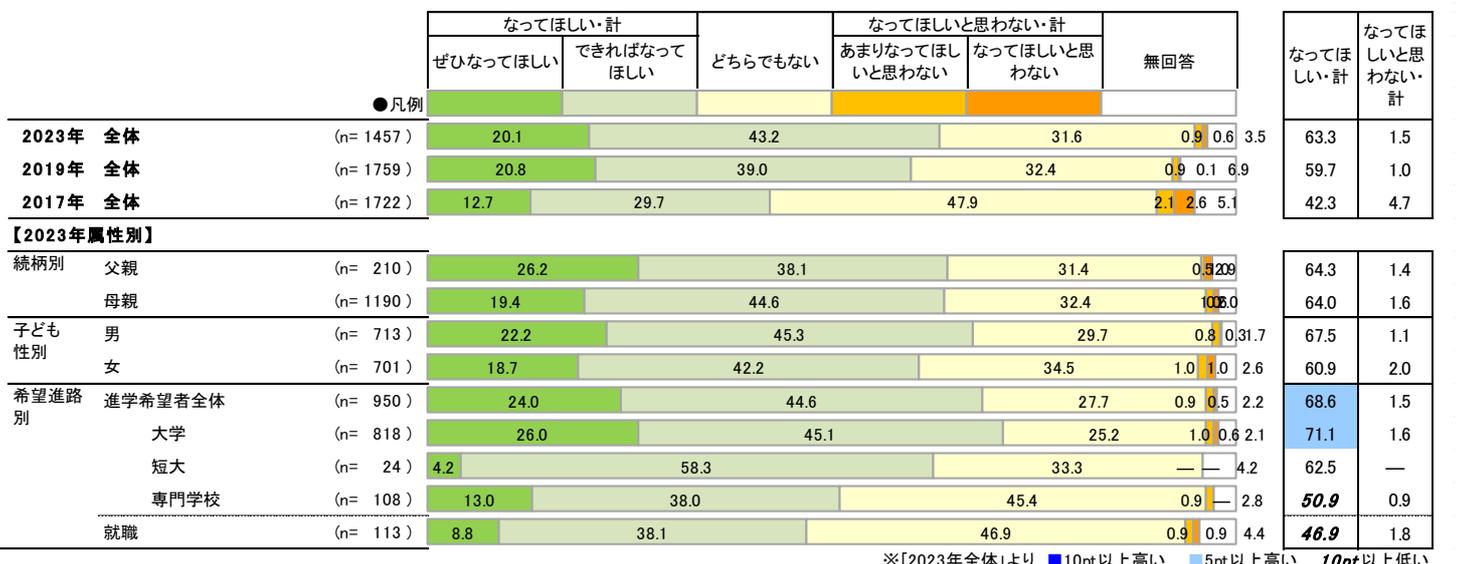
▶保護者では「なっ”てほしい・計」が2017年より20ポイント以上増加。

- 高校生に対して、将来グローバル社会で通用する人材になりたいと思うか尋ねたところ、「ぜひなりたい」が24%を占め、「できればなりたい」を含めると合計で59%がなりたいと回答した。
- 時系列で見ると、「なりたい・計」は2019年より6ポイント減少したが、2017年（57%）とほぼ同水準。ただし、「ぜひなりたい」割合は2017年以降で最も低い。
- 希望進路別にみると、大学進学希望者では「なりたい・計」が65%を占め、他と比較して突出して高い。
- 自分の将来にグローバル化の影響が“ある”と考えている層では、「なりたい・計」が78%を占める。
- 保護者にも、子どもに対してグローバル社会で通用する人材になっ”てほしい”と思うかを尋ねたところ、「ぜひなっ”てほしい”」が20%、合計では63%がなっ”てほしい”と回答した。
- 時系列で見ると「なっ”てほしい・計」の割合が増加傾向で、2017年と比較すると21ポイント増加している。

【高校生】 将来グローバル社会で通用する人材になりたいと思うか（全体／単一回答）



【保護者】 保護者は子どもに将来グローバル社会で通用する人材になっ”てほしい”と思うか（全体／単一回答）



▶ **【高校生】グローバル人材になりたい・なりたくないと思わない理由**• **ぜひになりたい・できればやりたい**

▼社会の変化への適応

- グローバル化が進んでいるから。[秋田県/男/大学]
- 次の時代はそのような人しか求めていると思うから。[秋田県/男/大学]
- グローバル社会で通用する人を求められると思うから。[徳島県/女/大学]
- グローバル社会で通用する人になればどんどん進歩している社会でさまざまな職業に適応できると思うから[秋田県/男/専門学校]
- ならないより、なったほうが良いと思ったから。[北海道/女/専門学校]
- グローバルに対応できたほうがお金を稼ぐのに楽[福井県/男/大学]

▼コミュニケーションの重要性

- 今年の夏NYCに留学したとき、世界の広さを知り、たくさんの人と出会うことの楽しさを覚えたから[静岡県/男/海外の大学など]
- いろいろな人とのコミュニケーションが大事だから[宮崎県/女/大学]

▼目指す職業に必要

- CAの夢を叶えるうえで、語学はもちろん、人と接する上で社会に適応できる能力が必要だから。[宮崎県/女/大学]
- プログラマーになるためにはそういった社会に通用できるようにならなければならないと思ったから[群馬県/男/大学]
- 海外でも活躍できる医者になりたいから。[静岡県/女/海外の大学など]

▼視野・可能性の拡大

- たくさんの人とコミュニケーションをとって、自分の世界を広げていきたいから。自分の能力に限界はないと思うから。[群馬県/女/大学]
- もっと広い世界を知りたいから。[徳島県/女/大学]
- 海外の人と一緒に仕事をしてみたいから[群馬県/男/大学]
- いろいろな価値感の人と話していきたいから[東京都/男/大学]

▼社会貢献のため

- 社会に貢献したい[奈良県/無回答/大学]

• **どちらでもよい**

- 看護師にそれが求められるのかわからないから[北海道/女/専門学校]
- 海外に興味がないから。小説にかかわればどうでもいいから。[群馬県/男/大学]
- 必要に応じて判断するから[群馬県/女/大学]

• **なりたくないと思わない・あまりなりたくないと思わない**

- グローバルをあまり知らないから[奈良県/男/専門学校]
- あまり得意な方面ではないから[徳島県/女/専門学校]
- 考えたことないから。[群馬県/男/大学]
- 自分なりに役立てればそれで良い。[群馬県/女/大学]

▶ **【保護者】グローバル人材になってほしい・なってほしいと思わない理由**• **ぜひなってほしい・できればなってほしい**

▼社会の変化への対応

- いろいろな国の人たちが日本に入ってきているので、どんな人でもコミュニケーションとれるほうが良いと思う[宮崎県/母親/女/専門学校]
- インターネットの普及により、世界が身近になっているため、時代に遅れてほしくない。[奈良県/父親/女/大学]
- 日本に住んで、日本国内で事業を展開していても、顧客はSNSでつながる、全世界のSNSユーザーであると認識している。[宮崎県/母親/男/大学]
- グローバル社会に通用しなければ今後、取り残されていく[奈良県/父親/男/大学]
- これからもどんどんグローバル化が進むから。少子高齢化により、外国人労働者が増えている。国内経済が衰退しないよう、より良い日本になる様、子どもたちに期待しています[福井県/母親/男/大学]
- ネットワークが発達し、言語のコミュニケーションもAIの発展により今より容易になることを考えると、日本だけでなく市場で通用しないと生き残れないと思うから。[奈良県/母親/男/大学]

▼コミュニケーションの重要性

- グローバルとの本当の意味は他者理解だと思うので[北海道/母親/女/大学]
- いくらITが発達しても人とのかかわりはとても重要だと思うため[徳島県/母親/男/子の希望なら何でも]
- そういう場面があったときに対応できればいいと思うから[静岡県/母親/女/大学]

▼子どもの目指す方向・職業に必要

- 外国の文化に関心があるようなのでその気持ちを持ってやりたいことをやってほしいので[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]
- 子ども本人がグローバル社会で生活することは望んでいそうなので。[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]
- 海外に興味があり留学したい、将来も国際的な仕事に就きたいと、本人が希望しているから[東京都/母親/女/大学]

• **どちらでもない**

- 子供に興味をもつのであれば、なってほしいが、興味がなければならなくてよい。[奈良県/母親/男/子の希望なら何でも]
- ドメスティックもグローバルと同じくらい重要と思うため[奈良県/父親/女/子の希望なら何でも]
- 田舎すぎて想像がつかない[福井県/母親/男/大学]

• **なってほしいと思わない・あまりなってほしいと思わない**

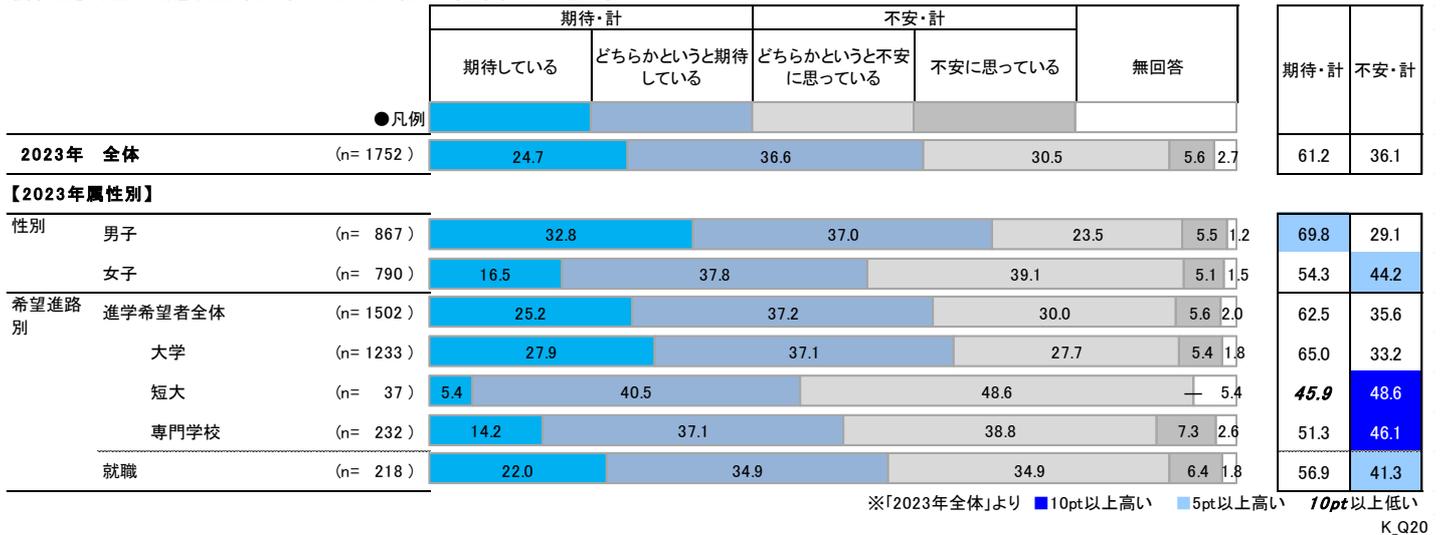
- どのような場を選ぶのか、望むのかは、本人が考えれば良いと思う。それを応援すれば良いと思うため。[静岡県/母親/女/大学]
- そういうことをやれる人がやれば良いと思うから。やりたい、やれるならやれば良いのでは。[東京都/母親/女/専門学校]
- 必ずしもグローバル化が良いわけではなく、本人の希望次第と思っている。[北海道/母親/男/子の希望なら何でも]

31. 技術革新の普及・発達についての期待感

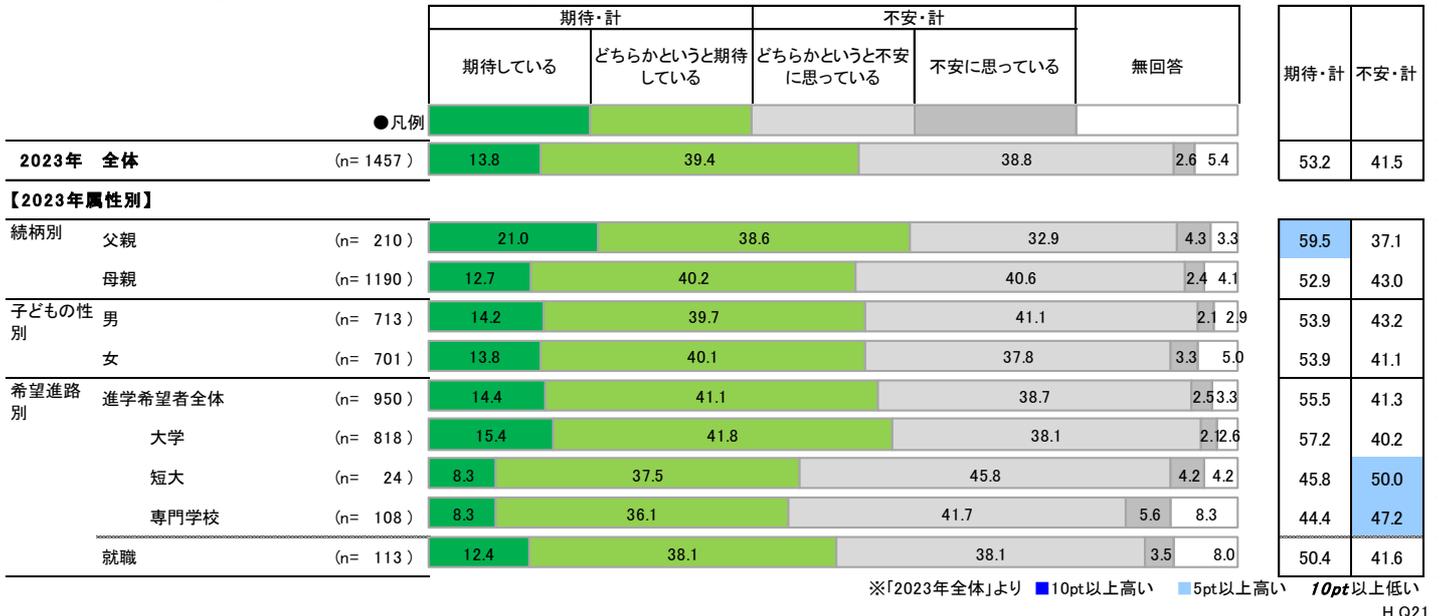
▶ 高校生の61%、保護者の53%が、技術革新に期待。

- 高校生に、AI（人工知能）の発達などの技術革新の普及・発達について、どのように考えているかを尋ねたところ、「期待している」が25%を占め、「どちらかというと期待している」を含めると、合計で61%が期待していると回答した。
- 性別にみると、男子（70%）の方が女子（54%）より「期待・計」の割合が高い。
- 希望進路別にみると、大学進学希望者では「期待・計」が65%と高く、次いで就職希望者（57%）で高い。
- 保護者にも同様に尋ねたところ、「期待している」が14%、合計では53%が期待していると回答。高校生に比べると期待する割合が低く、「不安・計」も4割以上を占めている。
- 続柄別にみると、父親（60%）の方が母親（53%）よりも「期待・計」の割合が高く、特に「期待している」割合が高い。
- 希望進路別では高校生と同様の傾向で、大学進学希望者、就職希望者で「期待・計」の割合が高い。
- フリーコメントで回答の理由を尋ねたところ、期待する理由としては、業務効率化によって生活の質が向上することや技術革新をうまく取り入れることで社会・経済の発展が期待できる点あげられた。また特に保護者では、少子高齢化による労働力減少をうまくカバーできることを期待する意見が多くみられる。
- 一方、不安に思う理由としては、技術革新によってAIに仕事を取って代わられる懸念や、人と人とのコミュニケーションが希薄になることを懸念する意見がほとんどを占めた。

【高校生】 AIの発達など技術革新に対する期待感（全体／単一回答）



【保護者】 AIの発達など技術革新に対する期待感（全体／単一回答）



▶【高校生】技術革新に対する期待の理由

●期待している・どちらかという期待

▼仕事の効率化による生活の質の向上

- AIが発達すれば人間のやる仕事が減り、休めるから[秋田県/女/就職]
- AIにより過労死といった問題がなくなると思うから。[北海道/男/大学]
- もっと便利に効率的になるのは利用されるべきだと思う[奈良県/女/大学]
- AIなどは現在よりもっと使いやすくなり、生活の質が向上することを期待しているため。[秋田県/無回答/大学]

▼技術革新による社会・経済環境の向上

- AIが発達して未来を美しい環境にしてほしい。[福井県/男/就職]
- AIとの共同により、まだ解明されていないものを解明したり、イノベーションをおこす可能性があるから。[奈良県/女/大学]
- AIの発展によって、人間のできることが広がりより進んだ社会になっていくと思うから。[奈良県/女/大学]
- 少子高齢化や環境保全と経済発展の両立など、世界的に解決が難しいことをAIがシミュレートで解決策をだしてくれたりするから[静岡県/男/大学]
- 人だけではできないより良い教育が生徒にできるようになると思うから。仕事の幾つかを任せられそうでその分授業に集中できそうだから[徳島県/その他/大学]

▼自身の目指す方向には干渉しない

- 教職はなくならないと思うので不安はない。仕事が楽になるかもしれないので期待している[群馬県/男/大学]
- 自分が目指している職業はAIに取って代わられる可能性は低いと思うから[奈良県/女/大学]

●不安に思っている・どちらかという不安

▼就業環境の悪化

- 効率化や性能の高度化に対しては大きな期待がある一方、自分たちの仕事がなくなってしまうのではないかと不安があるから。[群馬県/男/大学]
- 今後の日本では、仕事がAIにうばわれると聞いたことがあり、人間の仕事がなくなるのではないかと思ったから。[静岡県/女/就職]
- 自分は人とかわかる職業を目指しているが、AIの発達によって、選択できる職業が減るから。[秋田県/女/短大]
- 就職に失敗したときの保険となる単純労働が減ってしまう上に、AIについて勉強しないと社会についていけなくなるので面倒だから。[群馬県/男/大学]
- 放射線は機械なので、すべて自動という形になってしまうかと思うから。[徳島県/無回答/専門学校]

▼技術革新の弊害への懸念

- 技術の発展には期待できるが、多くの人はスマホのようにAIに依存して自分で考えたりしなくなってしまう気がする。[群馬県/男/大学]
- 娯楽が狭まり思考が浅くなりそうだから。[静岡県/女/大学]
- 芸術分野のAIの侵入が懸念されるから。[福井県/男/大学]
- 職種が減り、より一層、職業や、人生の画一化が進むと考えているから。また、戦争にも利用されて、安全が脅かされるのではないかと考えているから。[北海道/男/大学]

▶【保護者】技術革新に対する期待の理由

●期待している・どちらかという期待

▼業務効率化による生活の質の向上

- AIが担う仕事が増えることと、人間でなくてはだめな仕事が明確になり、やりがいにつながると思います。[静岡県/母親/女/大学]
- AIが発達することで仕事が正確に時短になるのは良いことだと思う。そのうえで人間にしかできない相手の気持を考えて行動する(仕事をする) AIとの共存が望ましい[静岡県/母親/女/大学]

▼技術革新による社会・経済環境の向上

- AIでは、対応できないより高度な職業が生まれ、より豊かな社会になると思うから[秋田県/父親/男/大学]
- AI技術の発達により、雇用等に与える影響として考えられる、一つは人口減少、高齢化社会による人出不足を解消することができることに期待している。[北海道/母親/女/大学]

▼社会の変化への適応

- これからの時代、少子化で働ける人数も限られてくるのでAIと協同でやるしかない[静岡県/母親/男/就職]
- 一般的に、子どもは大人に比べて、抵抗なく、進歩し続ける技術を取り入れる力があると思うから。[福井県/母親/男/大学]
- 技術革新を止める選択はないのでうまく共存しつつ、より良い社会が作られるのであれば十分に期待できると思う。[群馬県/母親/男/大学]

- 私には難しいので、せめてこれから生きていく(未来を生きる)世代の人たちは十分に理解し適応してほしい。[秋田県/母親/男/大学]

▼子どもの目指す方向との一致

- ずっと小さいころから、最適化について希望や夢を抱いていたから。[静岡県/父親/男/子の希望なら何でも]

●不安に思っている・どちらかという不安

▼就業環境の悪化

- 職業によっては、人材が必要なくなってしまうから。[群馬県/母親/男/大学]
- すべて機械化されたら人員は要らなくなるのではないかと不安に思う[奈良県/母親/女/専門学校]
- 人工知能の可能性は無限(予測不可能)に思い、人間世界が乗っ取られる不安があるから。[奈良県/母親/男/子の希望なら何でも]

▼子どもが適応できるか心配

- 時代についていけず孤立してしまいそう。[東京都/母親/男/大学]
- 社会の変化に対応できるように本人が能力をつけていけるのか心配。[徳島県/母親/男/大学]
- 子どもの将来にどのような影響があるのか心配。[北海道/母親/男/大学]

▼技術革新の弊害への懸念

- 自分で課題をみつけたり、解決したりする力が欠如していく可能性があるから。[群馬県/母親/男/大学]
- 人と人とのコミュニケーションが希薄になってしまう気がする[北海道/母親/女/大学]
- 人と対面することによって生まれるさまざまな事柄を大切にする職業に就いてほしいと思うから[東京都/母親/男/子の希望なら何でも]

▼未知の領域への漠然とした不安

- 自分のこれまでの体験では測り知れないのでどうなるかわからないという意味で不安はある。[福井県/母親/女/子の希望なら何でも]
- 自分が理解できるものかわからない[群馬県/母親/女/大学]

▶ **【高校生】AIが普及する時代に必要な力**• **自分で考え行動する力・対応力**

- 自分で考える、意志をもってその心を大事にする。[静岡県/女/大学]
- 対応していく力が必要だと思う。今の時代には、どんな変化があっても臨機応変に対応していく力が求められるし必要だと思う[宮崎県/女/大学]
- 頼りすぎない・自分でやりとげる力[宮崎県/女/大学]
- 一つでも自分に自信をもてることをみつける[宮崎県/男/大学]
- AIができないこと（思考・判断能力）を身につける力[徳島県/男/大学]
- AIがやること、人間がやることの区別をしっかりとつけてAIに頼らないこと[群馬県/女/大学]
- リーダーのように人をまとめる力、創造力[群馬県/女/大学]
- 何かを創造する力 人を思いやる力[北海道/女/大学]
- 考える力・柔軟な行動や発想・広い視野で物事を見る力・学び、「良い方向に」それを関連づける力（備考 共通点・今のAIにはない力）[福井県/男/大学]
- 正しい情報を読み解く力・さまざまな情報をまとめる力[秋田県/無回答/大学]
- メディアリテラシー・うそと本物を見分けられる力。[群馬県/女/大学]
- 発想力、開発するための柔軟な考えが必要だと思う。[奈良県/女/大学]
- 発想力、生きる理由を自分に価値づける力[福井県/女/専門学校]

• **AIを理解し使いこなすリテラシー**

- 考えずに、AIなどの情報に躍らされるのではなく、自ら積極的に物事に取り組み、むしろAIは利用するものとして扱える力。[静岡県/男/大学]
- AIができることの限界を知ること。[奈良県/女/大学]
- AIを作る技術やAIの誤作動を直せる力 ・ AIをこえる発想力[群馬県/女/大学]
- 適応力・機械に強い[宮崎県/男/大学]
- プログラミングスキル[徳島県/女/大学]
- まず新しいものを取り入れられる適応力や取り入れた上でそれを活用できる応用力などが必要だと思う。[群馬県/女/大学]

• **コミュニケーション力**

- プレゼンテーション力、コミュニケーション力[群馬県/男/大学]
- 感情表現能力、あいまいなものを言語化する力。（コミュニケーション）→結局これが一番大事だと思う。何にでも通用する。[奈良県/男/大学]
- 対人のコミュニケーション力や、さまざまな知識を組み合わせるような複雑な思考力。[北海道/男/大学]

• **人への思いやり・想像力**

- 人を思いやる力、人の気持ちをわかろうとする力、が必要だと思う[福井県/女/大学]
- 人間力、読解力[群馬県/男/大学]
- 想像力、コミュニケーション能力、人としての思いやりや気遣いができる力[北海道/男/大学]
- 創造する力 人の気持ちを考える力[宮崎県/女/大学]

• **倫理観・モラル**

- モラル的な部分や、さまざまなデバイス（媒体）を使うスキル[宮崎県/女/大学]

▶ **【保護者】AIが普及する時代に必要な力**• **自分で考え行動する力・対応力**

- 自分自身で考え、自分なりの答えを出す力[福井県/父親/男/専門職大学]
- 物事に対して、自分でアイデアを生み出すといった主体性。[宮崎県/母親/男/大学]
- AIができないといわれていること、感覚的なものを磨くこと 新しいもの（こと）を作り出す力 AIを使い共存していく力[群馬県/母親/男/大学]
- 自ら発見、発信、維持しながら進化すること[宮崎県/母親/女/専門学校]
- 自分、他者への愛。豊かな人間性。想像力。創造力。[宮崎県/母親/男/大学]
- 向上心[宮崎県/無回答/無回答/子の希望なら何でも]
- 積極的に人とかかわりをもとうとする力 ・ 物事が簡単に楽にできるようになっていくなかで、挫折を乗り越えたり、下積み之苦に耐えられる力、強く生きていく力が必要だと思います。[秋田県/母親/男/大学]
- AIが対応できない状況把握能力や、柔軟な考え方など技術以外で適応できる力が必要だと思います[群馬県/母親/男/大学]
- 柔軟な考え方や発想力[宮崎県/母親/男/大学]

• **AIを理解し使いこなすリテラシー**

- AIを理解し、どのように使うか、判断する力[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]
- AIに「知」を教えるための力、すなわちAIを超える人間の能力[静岡県/父親/男/大学]
- AIは技術の進歩で発達し、便利になっていく。そのためにそれを使える力が欲しい。[静岡県/父親/男/大学]
- AIをツールとして使いこなすことのできる処理能力、技術、専門性が必要と感じる[秋田県/母親/男/大学]

• **コミュニケーション力**

- コミュニケーション能力 ・ 自分の状況を俯瞰できる力[徳島県/父親/男/大学]
- AIが普及・発達しても、それを作って、操作しているのは「人」。人と人のかかわりが大切だとコミュニケーション能力がますます必要だと思う。[福井県/母親/男/大学]

• **人への思いやり・想像力**

- AIでは難しい、繊細な部分。人間にしかできない心で考える力や思いやりのある行動等。大切になっていくと思う。[福井県/母親/男/就職]
- AIでは測り知れない人間同士のつながりを重んじる力、相手を思いやる心[奈良県/母親/女/大学]
- AIを使いこなす力、AIに入力する問いかけを自分の頭で考える力、AIが得意な分野の力、人間らしさ、人間味、人を思いやる想像力[徳島県/母親/男/大学]

• **倫理観・モラル**

- 自分だけが得するのではなくほかの人、世の中のために必要とされたいと欲求をもつこと[福井県/母親/男/大学]
- 視野狭窄で経済的なことにとらわれることのない、どうしたら世界中の人が少しでも人生を豊かに楽しむことができるようになるかという大きな目標をもつ力。人を押しつけて賢く生きてゆくような人間を見極める力。それに対応してゆく力。[東京都/父親/男/大学]

• **生きる力・IT技術以外の力**

- （あえて）第一次産業での仕事がしっかりできる力[北海道/母親/女/大学]

32. 未来社会への認識：これからの社会は好ましいか／そう思う理由

▶ 高校生の63%、保護者の50%が、これからの社会は高校生にとって「好ましい」と回答。

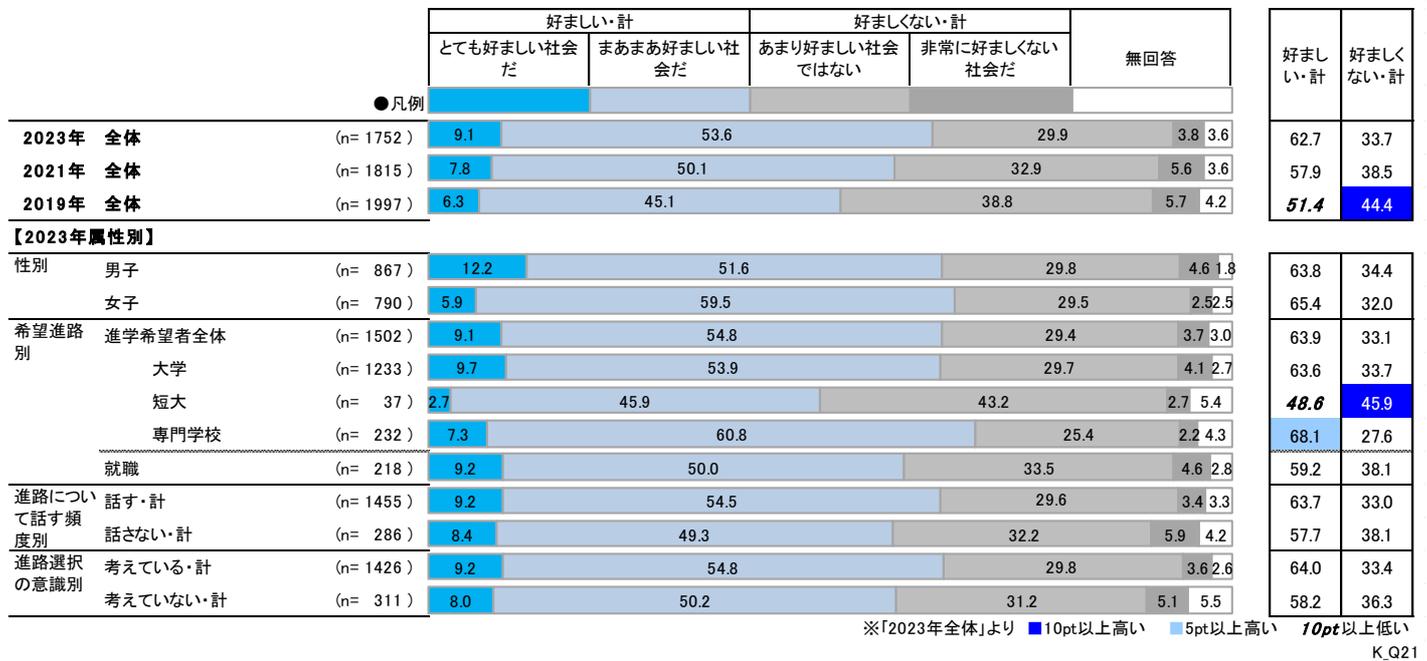
- 高校生に対し、これからの社会が自分にとって好ましい社会だと思うかを尋ねたところ、「とても好ましい社会だ」が9%、「まあまあ好ましい社会だ」が54%を占め、合計では63%が好ましいと回答した。
- 時系列でみると「好ましい・計」が増加しており、2021年と比較して5ポイント増加した。

- 保護者では「好ましい・計」が50%と高校生よりも低いものの、時系列では漸増傾向にあり、2021年と比べると11ポイント増加した。

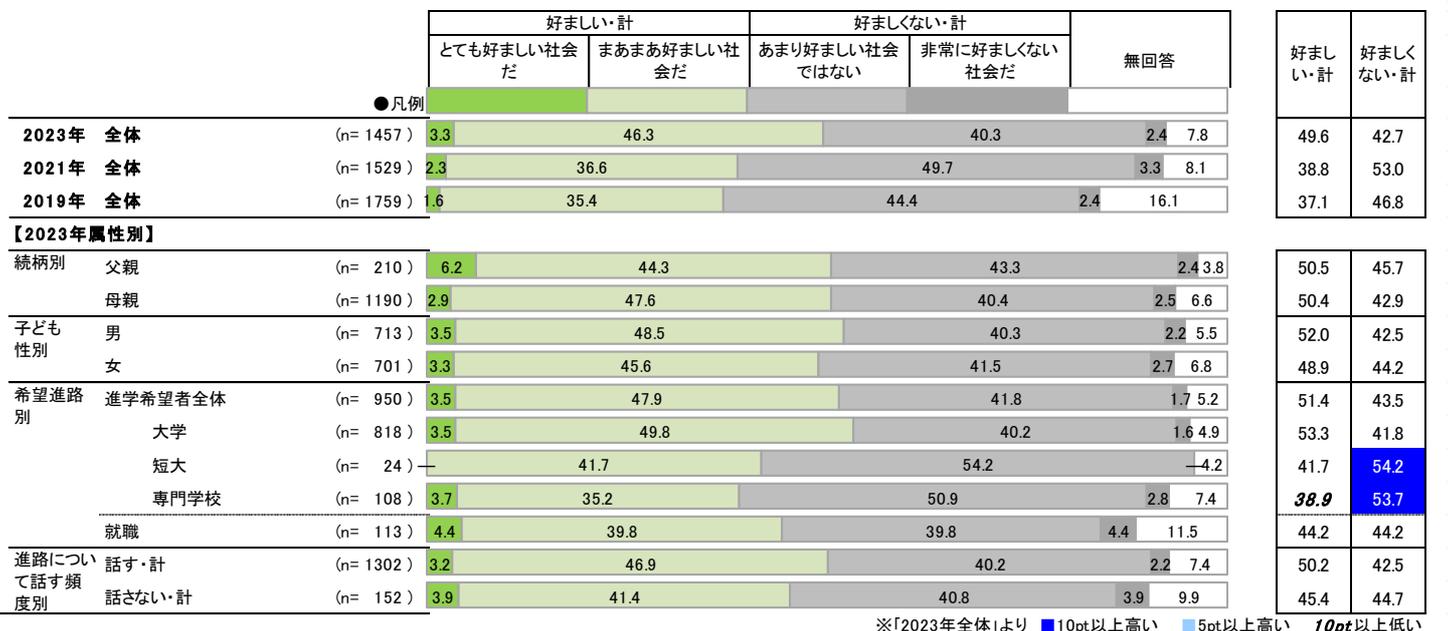
- そう考える理由をフリーコメントで尋ねたところ、高校生・保護者とも、“好ましい”と回答した人では将来に関して「もっと豊かになる」という意見が比較的多い。また、技術革新などの変化によって、将来の選択肢が増えると予測する人も少なくない。

- 一方、“好ましくない”と考える人では、逆に技術革新によって人間の可能性が狭まることを心配する意見や、物価高などの社会情勢が良くない状況であることを理由とする意見がみられる。

【高校生】 高校生にとって、これからの社会は好ましいか（全体／単一回答）



【保護者】 子どもにとって、これからの社会は好ましいか（全体／単一回答）



▶<フリーコメント> これからの社会への認識の理由【高校生】

- とても好ましい
 - 今も昔も毎日生きて良かったと思うから。[北海道/女/大学]
 - AIと、人と、共同社会で、人手不足などを解決できるから。[北海道/女/専門学校]
 - 簡単に世界と繋がるから。[北海道/男/大学]
 - 差別だったり、LGBTだったり違う考えの人の意見が年々平等になっているからです。[秋田県/女/就職]
 - 自分の好きなことをやれる環境が整っているから。[群馬県/男/大学]
 - 日々新しい技術が出てくるのは楽しく、可能性をはらんでいるから。[徳島県/男/就職]
- まあまあ好ましい
 - いろいろな機械やものが進化しおもしろくなりそうだから。[秋田県/男/大学]
 - スマートフォンなど電子マネーを使えるのはとても良い。[秋田県/女/短大]
 - テクノロジーは発展するし、自分のようなマイノリティーも受け入れられつつあるから。[群馬県/その他/大学]
 - より良い社会になっていると期待しているから。[群馬県/女/大学]
 - 正直どうなるかまったく想像がつかないが、AIが活用されることで進歩すると思うから。[群馬県/無回答/大学]
 - グローバル化も進み、世界とかかわれる機会が増えた。自分の人生の幅が広がった。[群馬県/女/大学]
 - AIによって人間らしい生活がうばわれるのではないかと思う気持ちもあるが、生活がより良いものになるだろうという期待もあるから。[徳島県/その他/大学]
 - 2次元最高。[徳島県/男/大学]
 - 何となく思った。[宮崎県/男/大学]
- あまり好ましくない
 - 政府に対して良いイメージがないから。[宮崎県/男/専門学校]
 - コンピューター系が得意ではない。[奈良県/男/大学]
 - あわただしすぎる ストレスが多すぎる。[静岡県/男/大学]
 - 税金が高く、犯罪が多い。[福井県/女/大学]
 - ネットに左右されている気がするから。[福井県/女/専門学校]
 - いろいろなことに気を使わなければならなくなっているから。[東京都/女/専門学校]
 - AIによって誰でもある程度ができるようになると、違いが生まれず、つまらない社会になってしまう気がするから。[群馬県/男/大学]
 - 技術の発達で社会が便利になっていくのはうれしいが、自分はその変化に対応しうまく生きていけるとは思わないから。[北海道/女/大学]
- 非常に好ましくない
 - 自然が失われていく気がするから。[徳島県/男/大学]
 - 社会で働く人々は皆とても疲れているように見える[群馬県/男/大学]
 - 学歴や協調性がかりが求められて、やっていけなさそう。[静岡県/男/大学]
 - より教育が画一化されてつまらない。[北海道/男/大学]
 - 物価高など国民が過ごしやすくない。[宮崎県/男/大学]
 - 政治があまりに適当だから。[群馬県/男/大学]

▶<フリーコメント> これからの社会への認識の理由【保護者】

- とても好ましい
 - 今よりももっと豊かになると考える。逆にそれだからこそ、今ある問題をうまく解決していける世の中にしてほしい。どっちみち努力は必要。[福井県/母親/男/大学]
 - 知識の習得が自分次第で簡単にできるから。[東京都/母親/男/大学]
 - いろいろ選択肢があり、趣味を大事にしながらも工夫して生計を立てていけそうだから。[東京都/母親/男/大学]
 - 多様性の時代だから今は、自分の価値は自分で納得して生活できるような気がする。[宮崎県/母親/女/専門学校]
 - ネット環境がととのっていること SNSでどここの地域や国の人もつながりをもつことができること。[秋田県/母親/女/大学]
- まあまあ好ましい
 - これからの社会が予測不可能で、好ましいか否か判断しきれないから。[群馬県/母親/男/子の希望なら何でも]
 - そうあってほしいという希望。[奈良県/母親/女/大学]
 - 携帯を手放さないから。[宮崎県/母親/女/子の希望なら何でも]
 - アイデア、想いを遂げるに、幅広い道程がある時代。[群馬県/父親/男/大学]
 - AIが普及したとしても、人間力に優るものはないと思う。[群馬県/母親/男/大学]
 - DX化が進み、便利になるから。[静岡県/父親/男/大学]
- あまり好ましくない
 - 忙しさでストレス発散が難しい社会。[北海道/母親/女/大学]
 - 世代の溝が埋まらないから。若い人の考えを聞き入れない。昔の考え方がそのまま変わらない。[秋田県/母親/女/就職]
 - 物価ばかり上がってお給料の上がらない社会ツライと思う。[東京都/母親/男/大学]
 - 有名な大学に入ることを目的にしている子どもたちがたくさんいて、大人もそのことを人生の成功者と考えてから→子ども自身の心に従い、人生を選択してほしい。[東京都/母親/男/大学]
 - 情報があふれてて、簡単に入ってくるからか努力せず面倒くさいことから逃げてなんとかかなんかと思ってる。[福井県/母親/男/大学]
 - 便利になっていく社会がすべて良い事とは考えられない。[福井県/母親/女/専門学校]
 - 世界情勢が不安だから。[徳島県/母親/女/子の希望なら何でも]
- 非常に好ましくない
 - 国が腐ってる(国会議員等の政治家などが、国・国民を優先に考えていない)。[秋田県/母親/男/子の希望なら何でも]
 - 高齢化により、若い世代への負担が測り知れないから。[群馬県/母親/男/子の希望なら何でも]
 - 国のトップの考えが、とても国民を大切にしていると思えない。生活していくのが精一杯で、未来を考えて生きることが難しいから。[福井県/母親/女/就職]
 - 今の大人がきちんと道徳心をもてていない。[徳島県/父親/男/大学]
 - 通信機器が発展しすぎている。[徳島県/母親/男/大学]
 - 親から見れば。[宮崎県/母親/女/大学]
 - 考えが浅いため、AIに淘汰されることが危惧されるため。[秋田県/父親/男/大学]

V 教育改革の評価と高校での対応状況

33. 教育改革への期待と不安

- ▶ 高校生からみて期待度が高い“教育改革”内容は、【高校の教育】や【大学の教育】に関するもの。
- ▶ 特に高大接続や大学・専門学校と社会・企業との連携に対しては80%近くが期待を寄せ、期待が不安を大きく上回っている。
- ▶ 一方で【入学者選抜】の不安度が高い。英語の「聞く」技能、「思考力・判断力」、「主体性」などは、期待と不安が拮抗している。

- 高校生に対して、教育改革の内容についてどのように感じているかを尋ねた。
 - ▶ なお【高校の教育】に関しては高校生全員、【入学者選抜】【大学の教育】に関しては専門職大学・短大を含む大学・短大進学希望者に尋ねた。
 - ▶ 「期待・計」=期待できる+不安はあるが期待が大きい
 - ▶ 「不安・計」=不安である+期待はあるが不安が大きい
- 【高校の教育】については、すべての項目で「期待・計」のスコアが60%を超える。とりわけ「ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる」(75%)は4人中3人が期待できると評価。
- また、【大学の教育】に関しても期待度が高く、大学・短大進学希望者の78%が「大学や専門学校における入学後の学びが、社会や企業との連携を深めていく」、77%が「高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがより繋がっていく」ことに期待できると回答しており、高校から大学、さらには社会・企業との連携が深まることに対する期待が大きい。
- 一方、【入学者選抜】については、「調査書が変わり、『学力の3要素』すべての評価が記載される」(58%)、「総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(推薦入試)でも、学力評価が必須となる」(57%)では「期待・計」が60%近くを占めるものの、それ以外では「不安・計」の割合が45%前後を占め、「期待・計」と拮抗している。
- 教育改革の内容について、期待すること、不安なことをフリーコメントで尋ねたところ、期待することとしては、ICTの利用や探究学習によって主体的な学習が深まることや、高校で学んだことが大学でもより発展して学べるようになること、さらには社会や企業とも連携することを期待する意見が多くみられる。
- 期待する意見が一方で、不安なこととしては、高大接続により大学進学が一部の人にだけ有利になるのではないかという不安や、思考力や判断力を入試の合格基準としてどのように測定し適用されるのかといった、大きく変化する入試制度や評価基準に対応しなければならない不安感が反映された意見が多い。
 - ▶ フリーコメントは68ページに掲載

【高校生】教育改革の内容への期待と不安 (【高校の教育】全体、【入学者選抜】【大学の教育】大学・短大進学希望者/各単一回答)

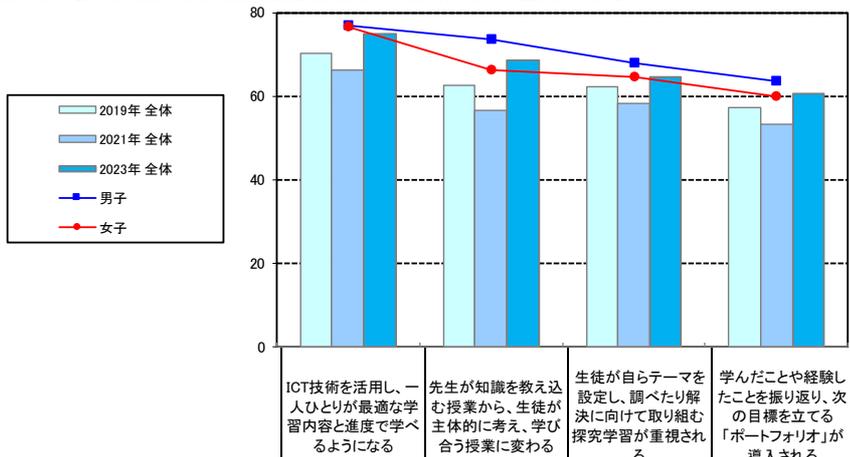
【高校の教育】(n=1752) 【入学者選抜】【大学の教育】(n=1270)	期待・計		不安・計		わからない	無回答	期待・計	不安・計	期待・計-不安・計の差			
	期待できる	不安はあるが期待が大きい	期待はあるが不安が大きい	不安である								
●凡例												
高校の教育												
B ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる	46.1		29.0		11.2	4.9	6.6	2.3	75.1	16.0	59.1	
A 先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる	37.0		31.6		15.1	6.3	7.8	2.2	68.6	21.4	47.2	
C 生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される	35.9		28.8		17.0	7.7	8.3	2.3	64.7	24.7	40.0	
D 学んだことや経験したことを振り返り、次の目標を立てる「ポートフォリオ」が導入される	32.0		28.5		14.7	6.1	16.2	2.5	60.5	20.8	39.7	
入学者選抜												
I 調査書が変わり、『学力の3要素』すべての評価が記載される	30.6		27.2		16.7	13.4	10.0	2.2	57.7	30.1	27.6	
H 総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(推薦入試)でも、学力評価が必須となる	32.5		24.3		17.6	13.6	9.8	2.1	56.9	31.3	25.6	
F 英語はリーディング(100点)とリスニング(100点)の出題となり、これまでより「聞く」技能が重視される	26.5		20.9		19.4		26.5	4.6	2.1	47.4	45.9	1.5
E 「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に変わり、より「思考力・判断力」が必要なテストになる	25.3		22.1		21.8		22.9	5.7	2.1	47.4	44.7	2.7
G 各大学の個別入試では、筆記試験に加えて小論文や面接、ポートフォリオなどで主体性が評価される	23.1		22.0		20.3		24.5	8.0	2.0	45.1	44.8	0.3
大学の教育												
L 大学や専門学校における入学後の学びが、社会や企業との連携を深めていく	53.5		24.6		9.4	2.6	7.5	2.3	78.2	12.0	66.1	
K 高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがより繋がっていく	49.9		27.0		9.5	3.4	7.7	2.4	76.9	12.9	64.0	
J 大学が、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)などを策定・公表し、それに基づいた入学者選抜が実施される	36.2		27.8		13.3	6.4	13.8	2.5	64.0	19.7	44.3	

※カテゴリごと「期待・計」降順ソート

K_Q24マトリクス (96)

- ▼ 以下を提示したうえで教育改革の内容に対する気持ちを尋ねた。
 - ・ 予測困難なこれからの時代の中を生きていくのに必要な力を身につけるために、現在、「高校教育」「大学教育」そしてその間をつなぐ「入学者選抜」を一体的に変える教育改革が進められています。これからの教育は、以下の3点で構成される新しい「学力の3要素」を育成し、それを「入学者選抜」ではかり、進学した先でさらにそれを伸ばすことが重視されるようになります。
 - 新しい「学力の3要素」→ ①知識・技能、②思考力・判断力・表現力 ③主体性・多様性・協働性

【高校生】教育改革の内容への期待と不安【高校の教育】（全体／各単一回答「期待・計」） (%)



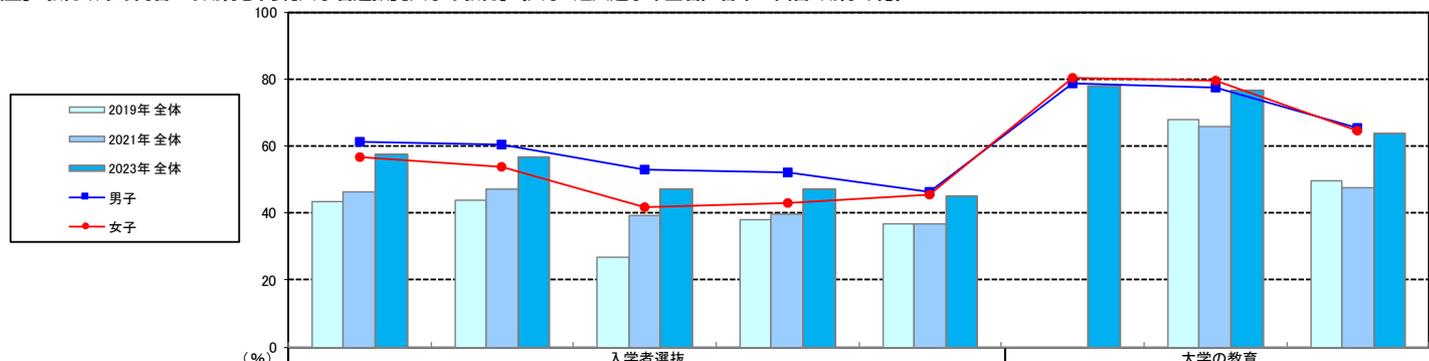
調査数	ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる	先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる	生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される	学んだことや経験したことを振り返り、次の目標を立てる「ポートフォリオ」が導入される	
2023年 全体	1752	75.1	68.6	64.7	60.5
2021年 全体	1815	66.4	56.7	58.5	53.3
2019年 全体	1938	70.2	62.8	62.2	57.4

【2023年属性別】

性別	男子	77.0	73.5	67.8	63.8	
女子	790	76.5	66.5	64.6	59.9	
希望進路別	進学希望者全体	1502	76.4	69.8	65.9	61.1
	大学	1233	77.0	71.4	66.8	62.0
	短大	37	67.6	62.2	62.2	54.1
	専門学校	232	74.6	62.9	61.6	56.9
	就職	218	70.6	62.4	59.6	60.6
進路について話す頻度別	話す・計	1455	76.6	69.8	66.6	63.7
	話さない・計	286	68.2	62.2	55.2	45.1
高校での教育改革対応の実感有無別	感じている	681	82.8	77.1	73.1	71.4
	まだ感じていない	480	76.3	68.5	65.8	58.3
	わからない	541	68.9	62.3	56.9	52.7
高校のICT活用状況別	活用・計	1586	77.5	70.7	66.6	62.9
	未活用	103	66.0	60.2	60.2	48.5

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い K.Q24.1

【高校生】教育改革の内容への期待と不安【入学者選抜】【大学の教育】（大学・短大進学希望者／各単一回答「期待・計」） (%)



調査数	調査書が変わり、「学力の3要素」すべての評価が記載される	総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(推薦入試)でも、学力評価が必須となる	「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に変わり、より「思考力・判断力」が必要なテストになる	英語はリーディング(100点)とリスニング(100点)の2題となり、これまでより「聞く」技能が重視される	各大学の個別入試では、筆記試験に加えて小論文や面接、ポートフォリオなどで主体性が評価される	大学や専門学校における入学後の学びが、社会や企業との連携を深めていく	高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがより繋がっていく	大学が、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)などを策定・公表し、それに基づいた入学者選抜が実施される
2023年 全体	1270	57.7	56.9	47.4	47.4	45.1	78.2	64.0
2021年 全体	1276	46.2	47.0	39.3	39.8	36.9	*	65.9
2019年 全体	1464	43.3	44.1	26.8	38.0	37.0	*	49.9

【2023年属性別】

性別	男子	61.4	60.7	52.9	52.0	46.5	79.0	65.6
女子	529	56.9	53.9	41.8	42.9	45.6	80.7	64.8
希望進路別	進学希望者全体	1270	57.7	56.9	47.4	47.4	45.1	64.0
	大学	1233	58.2	57.0	47.4	47.9	45.2	64.7
	短大	37	43.2	51.4	48.6	32.4	56.8	40.5
進路について話す頻度別	話す・計	1085	59.2	57.9	47.9	49.2	46.9	66.2
	話さない・計	179	48.6	50.3	43.0	36.9	72.1	50.3
高校での教育改革対応の実感有無別	感じている	552	64.1	62.3	51.1	51.4	52.2	77.0
	まだ感じていない	359	54.9	55.7	46.8	46.0	40.1	56.0
	わからない	329	54.1	52.0	45.0	44.7	41.3	54.7
高校のICT活用状況別	活用・計	1173	59.2	58.5	48.3	48.5	46.4	65.8
	未活用	59	52.5	45.8	49.2	47.5	64.4	59.3

※「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に変わり、より「思考力・判断力」が必要なテストになる ⇒2019年選抜は「現在の「大学入試センター試験」が、記述式問題も出題される「大学入学共通テスト」に変わる」
 ※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い K.Q24.2

- ▶保護者からみて期待度が高い“教育改革”内容は、【高校の教育】や【大学の教育】に関するもの。
- ▶高校生同様、高大接続や大学・専門学校と社会・企業との連携に対しては80%前後が期待を寄せ、期待が不安を大きく上回っている。

▶一方で【入学者選抜】の不安度が高い。

●保護者に対しても、教育改革の内容についてどのように感じているかを尋ねた。

- ▶なお【高校の教育】に関しては保護者全員、【入学者選抜】【大学の教育】に関しては、子どもの大学・短大への進学を希望する者（専門職大学・短大を含む）に尋ねた。
- ▶「期待・計」＝期待できる＋不安はあるが期待が大きい
- ▶「不安・計」＝不安である＋期待はあるが不安が大きい

- 【高校の教育】については、すべての項目で「期待・計」のスコアが60%を超える。最も高いのは「生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される」（72%）で、高校生（65%）と比べても期待度が高い。
- また、【大学の教育】に関しても期待度が高く、大学・短大進学希望者の80%が「大学や専門学校における入学後の学びが、社会や企業との連携を深めていく」、76%が「高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがより繋がっていく」ことに期待すると回答した。
- 一方、【入学者選抜】については、「総合型選抜（AO入試）、学校推薦型選抜（推薦入試）でも、学力評価が必須となる」（57%）、「英語はリーディング（100点）とリスニング（100点）の出題となり、これまでより『聞く』技術が重視される」（50%）、「調査書が変わり、『学力の3要素』すべての評価が記載される」（50%）では「期待・計」が「不安・計」を上回るものの、それ以外では「不安・計」と「期待・計」が拮抗している。
- 教育改革の内容について、期待すること、不安なことをフリーコメントで尋ねたところ、期待することとしては、主体性を伸ばし、思考力や判断力を身につけることができる点や、新たな能力を獲得できる可能性、多様性に適応した教育について期待する意見が多くみられる。
- 一方で、不安なこととしては、“主体性”や“発信力”が不足している子どもが、学習や入試に適応していけるかを不安視する意見がみられた。また、高校生と同様に、私立の付属高校からの大学進学が増えることによって、公立高校からの進学の枠が小さくなることへの懸念がみられた。

－フリーコメントは68ページに掲載

【保護者】教育改革の内容への期待と不安（【高校の教育】全体、【入学者選抜】【大学の教育】大学・短大進学希望者／各単一回答）

(%)

	期待・計		不安・計		わからない	無回答	期待・計	不安・計	期待・計-不安・計の差	
	期待できる	不安はあるが期待が大きい	期待はあるが不安が大きい	不安である						
【高校の教育】 (n=1457)										
【入学者選抜】【大学の教育】 (n=842)										
●凡例										
高校の教育	C 生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される	34.5	37.3	15.2	4.2	5.2	3.6	71.8	19.4	52.4
	B ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる	29.6	41.7	15.3	3.6	6.2	3.6	71.2	18.9	52.4
	D 学んだことや経験したことを振り返り、次の目標を立てる「ポートフォリオ」が導入される	33.2	34.5	12.4	3.0	13.0	3.9	67.7	15.3	52.4
	A 先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる	24.2	42.0	19.2	4.3	6.9	3.4	66.2	23.5	42.6
入学者選抜	H 総合型選抜（AO入試）、学校推薦型選抜（推薦入試）でも、学力評価が必須となる	21.7	35.2	20.7	10.6	8.9	3.0	56.9	31.2	25.7
	F 英語はリーディング（100点）とリスニング（100点）の出題となり、これまでより「聞く」技能が重視される	17.7	32.3	23.5	19.6	4.0	2.9	50.0	43.1	6.9
	I 調査書が変わり、「学力の3要素」すべての評価が記載される	17.0	32.8	23.6	11.9	11.2	3.6	49.8	35.5	14.3
	G 各大学の個別入試では、筆記試験に加えて小論文や面接、ポートフォリオなどで主体性が評価される	14.1	32.5	26.1	19.0	5.3	2.9	46.7	45.1	1.6
	E 「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に変わり、より「思考力・判断力」が必要なテストになる	12.5	33.5	29.1	15.9	6.1	3.0	46.0	45.0	1.0
大学の教育	L 大学や専門学校における入学後の学びが、社会や企業との連携を深めていく	43.3	37.1	8.0	2.1	6.3	3.2	80.4	10.1	70.3
	K 高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがより繋がっていく	37.4	38.6	9.7	2.7	8.4	3.1	76.0	12.5	63.5
	J 大学が、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）などを策定・公表し、それに基づいた入学者選抜が実施される	20.8	35.6	20.4	8.1	12.0	3.1	56.4	28.5	27.9

※カテゴリーごと「期待・計」降順ソート

H.Q24マトリクス

▼以下を提示したうえで教育改革の内容に対する気持ちを尋ねた。

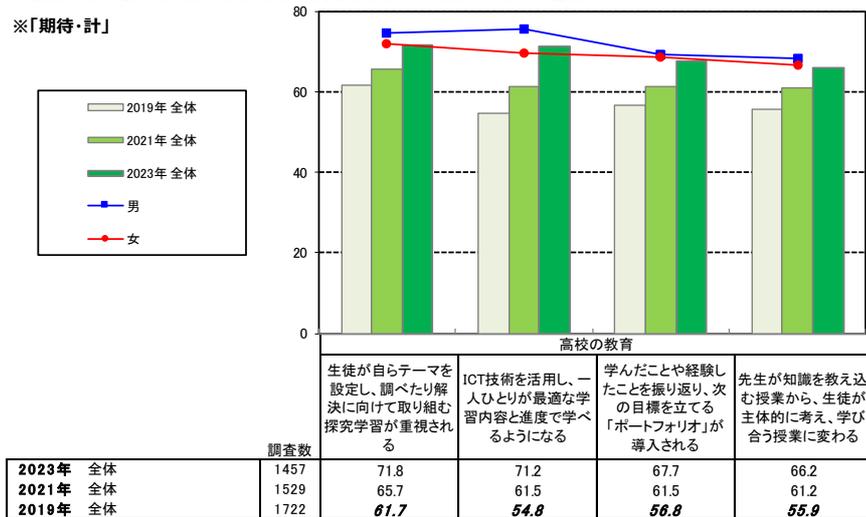
・予測困難なこれからの時代の中を生きていくのに必要な力を身につけるために、現在、「高校教育」「大学教育」そしてその間をつなぐ「入学者選抜」を一体的に変える教育改革が進められています。これからの教育は、以下の3点で構成される新しい「学力の3要素」を育成し、それを「入学者選抜」ではかり、進学した先でさらにそれを伸ばすことが重視されるようになります。

新しい「学力の3要素」→ ①知識・技能、②思考力・判断力・表現力 ③主体性・多様性・協働性

【保護者】教育改革の内容への期待と不安【高校の教育】（全体／各単一回答）

(%)

※「期待・計」



【2023年属性別】

続柄別	父親	母親	子どもの性別	男	女	希望進路別	進学希望者全体	大学	短大	専門学校	就職	高校での教育改革対応の実感	無感	まだ感じていない	わからない	高校でのICT活用状況別	活用・計	未活用
父親	210	71.0	71.0	64.3	62.4	進学希望者全体	950	75.5	74.9	71.1	69.6	無感	420	86.0	84.8	79.0	78.6	
母親	1190	73.8	73.0	70.3	68.6	大学	818	76.7	76.9	72.2	70.9	まだ感じていない	450	72.0	73.6	71.3	65.8	
男	713	74.6	75.6	69.6	68.4	短大	24	75.0	75.0	66.7	66.7	わからない	538	66.2	64.3	61.0	62.1	
女	701	72.0	69.9	68.6	66.8	専門学校	108	66.7	60.2	61.1	60.2	活用・計	1129	76.4	76.2	72.2	70.6	
進学希望者全体	950	75.5	74.9	71.1	69.6	就職	113	62.8	63.7	61.1	58.4	未活用	137	65.0	64.2	59.9	59.9	
大学	818	76.7	76.9	72.2	70.9	高校での教育	420	86.0	84.8	79.0	78.6	改革対応の実感	450	72.0	73.6	71.3	65.8	
短大	24	75.0	75.0	66.7	66.7	無感	538	66.2	64.3	61.0	62.1	まだ感じていない	450	72.0	73.6	71.3	65.8	
専門学校	108	66.7	60.2	61.1	60.2	わからない	538	66.2	64.3	61.0	62.1	わからない	538	66.2	64.3	61.0	62.1	
就職	113	62.8	63.7	61.1	58.4	活用・計	1129	76.4	76.2	72.2	70.6	未活用	137	65.0	64.2	59.9	59.9	

※今回調査の「全体」の降順ソート

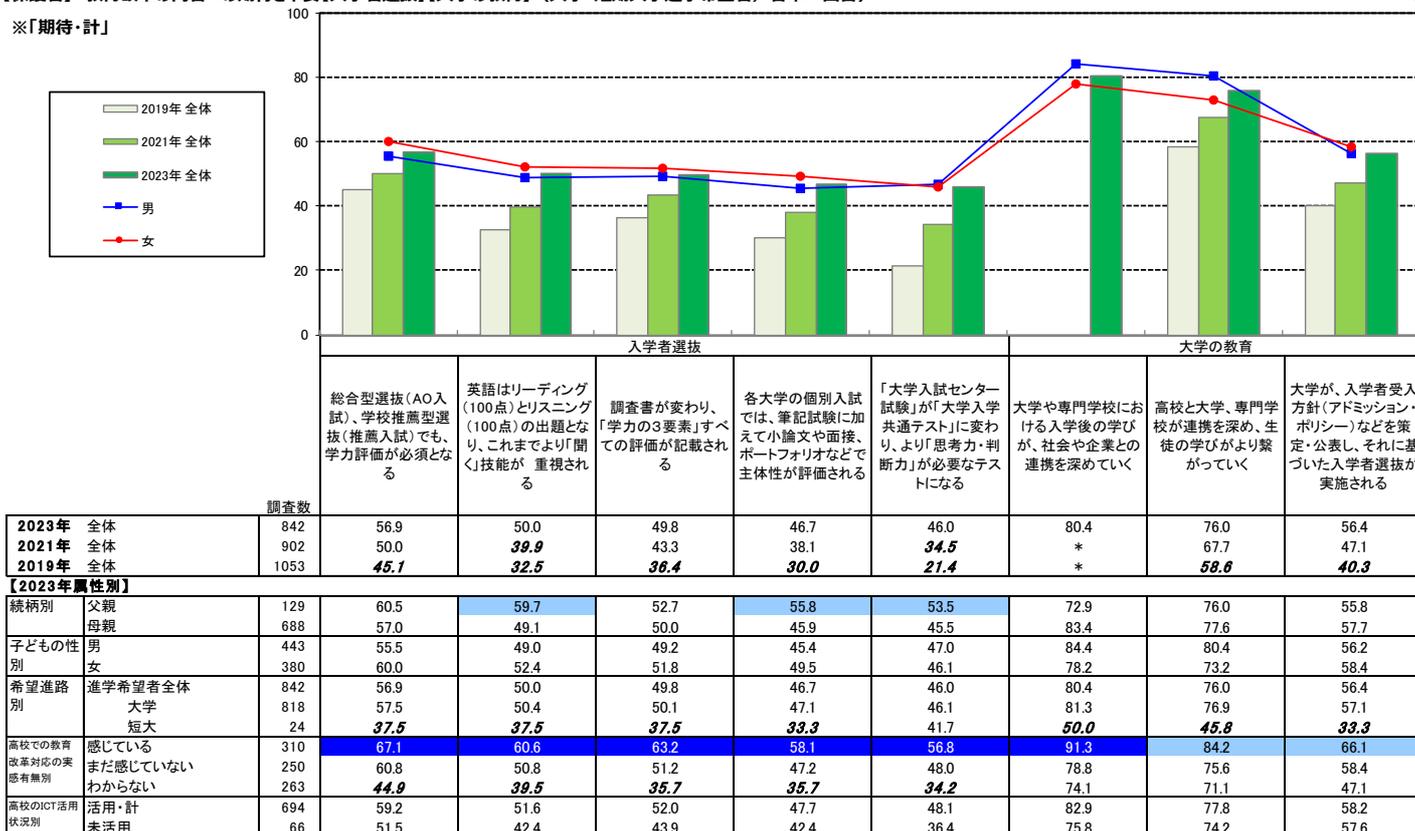
※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

H_Q24_1

【保護者】教育改革の内容への期待と不安【入学者選抜】【大学の教育】（大学・短期大学進学希望者／各単一回答）

(%)

※「期待・計」



※「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に変わり、より「思考力・判断力」が必要なテストになる = 2019年選抜は「現在の「大学入試センター試験」が、記述式問題も出題される「大学入学共通テスト」に変わる」

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

H_Q24_2

▶<フリーコメント> 教育改革について期待すること／不安なこと【高校生】

●期待すること

▼高校の教育について

- 大学の情報がスムーズに高校でも手に入れることができること。[群馬県/男/大学]
- 校則の見直し。[宮崎県/男/大学]
- 高校のうちから大学での講義内容をあらかじめ知ることができる。[徳島県/男/大学]
- ICTを使い生徒自身が考えて実行する力が身につくこと。[群馬県/男/大学]
- 高校の教育において、主体性が高まること。[北海道/男/大学]
- 探究学習が重視されるようになることで、学力とは違った能力が培われる。[宮崎県/女/大学]
- 生徒にとって、より自身が成長できるような教育を受けられること。[徳島県/その他/大学]
- 生徒と先生の差が縮まる。[静岡県/無回答/その他]
- 文理関係なく教科を学べる。[北海道/男/大学]
- 生徒同士で教え合うことで、いろいろな考えが知れること。[北海道/女/大学]

▼入学者選抜について

- 筆記試験だけでなく人間性を見る受験。[宮崎県/女/短大]
- ボランティア面などが評価されるので良い。[宮崎県/男/専門学校]
- 英語は聞く技能が重視されること。[秋田県/女/大学]
- (AO入試)、(推薦入試)でも学力評価が必要になる。[秋田県/男/大学]
- 学力をより評価してくれて、その上努力面も見てもらえること。[北海道/女/大学]

▼大学の教育について

- 高校で学んだことの発展した内容を大学で学べること。[東京都/女/大学]
- 高校と結びつくことで、より継続的に充実した学習が行えること。[群馬県/無回答/大学]
- 大学での学びが社会や企業との連携につながる。[宮崎県/女/大学]

●不安なこと

▼高校の教育について

- 改革についていけるかわからない。[北海道/女/大学]
- 一つひとつの授業で、使う体力が多すぎて、部活や趣味が雑になりそう。[秋田県/男/就職]
- どれだけ指導側が生徒の主体性を引き出せるか。[東京都/男/大学]
- ICT技術を使いこなせる先生がいるかどうか。[奈良県/女/大学]
- 教師が忙しすぎて生徒に手がまわらないこと。[徳島県/女/大学]

▼入学者選抜について

- 学力だけではわからない人間性がしっかり見られるか不安。[秋田県/女/短大]
- 面接の評価が大きくなると得意不得意があるので不安。[群馬県/女/大学]
- 力量に関係なくスライド式で大学に上られる人に対する不安。[群馬県/男/大学]
- 入試制度が毎年のように変わることが不安。[東京都/男/大学]
- 大学が身近な高校の生徒を優先して入学させる可能性。[福井県/男/大学]
- それぞれの大学のレベルが上がるかもしれない。[静岡県/男/専門学校]
- 共通テストは、配点や問題数が変わり、情報も加わるため、不安である。[徳島県/男/大学]
- 小論文などが増えるのは少し怖い。[宮崎県/男/大学]

▶<フリーコメント> 教育改革について期待すること／不安なこと【保護者】

●期待すること

▼高校の教育について

- 教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業。[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]
- 先生方の授業のわかりやすさ、スキル [秋田県/母親/女/大学]
- 子ども(生徒)のことを知っている先生からの的確なアドバイスがもらえる。[群馬県/母親/男/大学]
- 高校でもハイレベルな大学の専門的な教育を受けられること。[群馬県/母親/女/大学]
- 生徒の気持ちが大きく反映される形式になる。[群馬県/父親/男/子の希望なら何でも]
- 大学～社会に必要な力を高校で身につけてほしい。[東京都/母親/女/大学]
- 高校の授業がおもしろくなる。[静岡県/母親/男/大学]
- 高校生の時に大学でどんなことを学べるかを知ることは、進路の選択の際の参考になると思う。[徳島県/母親/女/大学]

▼入学者選抜について

- 受験の負担軽減。[群馬県/母親/男/子の希望なら何でも]
- 当日の点数だけに左右されない、積み重ねる努力ができる。[東京都/母親/男/大学]
- 入試(大学)の心配がない。[福井県/母親/女/大学]
- 入学者選抜は平等であってほしい。私立・公立・おのおのの学校で統一して欲しい。[静岡県/母親/女/大学]

▼大学の教育について

- 学生自らの能力を発揮できる環境が整えられる。[北海道/母親/女/大学]
- さあさまざまな力をもつ学生が入学できるようになる(机上の勉強にとどまらない)。[静岡県/母親/女/大学]
- 学生の内から社会に通じる体験・知識・情報・思考を学べること。[静岡県/母親/女/専門学校]
- 戸惑うことが少なく、スムーズに大学生活に移行できるようになる。[奈良県/母親/男/大学]
- 高校と大学の7年間で、興味のあることや学んだことを深めることができる。[東京都/父親/女/大学]

●不安なこと

▼高校の教育について

- 経済的な格差で、学びに遅れをとったり、あきらめなければならぬような状況にならないでほしい [徳島県/母親/女/専門学校]
- 教育改革にそった指導者の養成。[静岡県/父親/女/子の希望なら何でも]
- できる子とできない子の差が開きそう。評価方法の不透明さがありそう。[東京都/母親/男/大学]
- 苦手な分野でどうしていいかわからないなどの状況を、そのままにされる人が出てくるのではないか。[秋田県/母親/男/子の希望なら何でも]

- コミュニケーションが消極的な子は生徒主体の学習のなかで、思うように考えを伝えることができないことも増えたり、ストレスに感じることもありそう。[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]

▼入学者選抜について

- 安易に試験が難かしくなるだけではないかと思う。[宮崎県/母親/男/大学]
- 私立高校からの高大接続が増え、公立高校の一般入試の枠がせまくなること。[奈良県/母親/女/大学]
- 改革がはじまった所かと思うので、子どもたちが入試・受験なども変わりしっかり対応できるか不安に思います。[静岡県/母親/男/大学]
- それぞれの人間の要素を判断する側が的確に判別できるのか疑問。[福井県/母親/女/子の希望なら何でも]
- 共通テストにおける、「思考力・判断力」の判断基準。[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]

34. 高校での教育改革への対応状況

1) 高校での教育改革への対応

- ▶ 高校生の39%、保護者の29%が、通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じている。
- ▶ コロナ禍の2021年と比較して「感じている」割合が大幅に増加し、2019年の水準以上に回復。
- ▶ 特に保護者では2019年時点よりも「感じている」が増加し、高校における対応の実感が増している。
 - 通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じるかどうかと尋ねたところ、高校生の39%が「感じている」と回答した。
 - 時系列でみると、コロナ禍であった2021年より「感じている」が14ポイント増加し、2019年（38%）と同程度まで回復した。
 - 希望進路別にみると、進学希望者全体は就職希望者に比べて「感じている」が高い。
- 同様に保護者にも、子どもが通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じるかどうかと尋ねたところ、29%が「感じている」と回答。
- 時系列でみると、高校生と同様、2021年より11ポイント増加し、2019年（24%）をも上回るスコアとなった。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は就職希望者に比べて「感じている」が高い。

【高校生】 通っている高校は教育改革への対応を行っていると感じているか（全体／単一回答） (%)

			感じている	まだ感じていない	わからない	無回答
●凡例						
2023年	全体	(n= 1752)	38.9	27.4	30.9	2.9
2021年	全体	(n= 1815)	24.6	41.5	33.3	0.6
2019年	全体	(n= 1997)	38.1	25.9	33.4	2.7
【2023年属性別】						
性別	男子	(n= 867)	39.1	28.8	31.0	1.0
	女子	(n= 790)	40.8	25.8	32.0	1.4
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1502)	40.8	27.6	29.0	2.5
	大学	(n= 1233)	43.8	28.3	25.5	2.4
	短大	(n= 37)	32.4	27.0	37.8	2.7
	専門学校	(n= 232)	26.3	24.1	46.1	3.4
	就職	(n= 218)	27.1	28.0	43.6	1.4

K.Q25

【保護者】 子どもが通っている高校は教育改革への対応を行っていると感じているか（全体／単一回答） (%)

			感じている	まだ感じていない	わからない	無回答
●凡例						
2023年	全体	(n= 1457)	28.8	30.9	36.9	3.4
2021年	全体	(n= 1529)	17.5	43.0	38.1	1.4
2019年	全体	(n= 1759)	23.9	29.2	41.0	6.0
【2023年属性別】						
続柄別	父親	(n= 210)	27.6	37.1	34.8	0.5
	母親	(n= 1190)	30.0	30.7	37.9	1.4
子ども性別	男	(n= 713)	30.4	30.7	37.9	1.0
	女	(n= 701)	28.7	32.4	37.4	1.6
希望進路別	進学希望者全体	(n= 950)	34.6	30.3	32.4	2.6
	大学	(n= 818)	37.2	29.3	31.2	2.3
	短大	(n= 24)	25.0	41.7	33.3	—
	専門学校	(n= 108)	17.6	35.2	41.7	5.6
	就職	(n= 113)	13.3	31.9	53.1	1.8

H.Q25

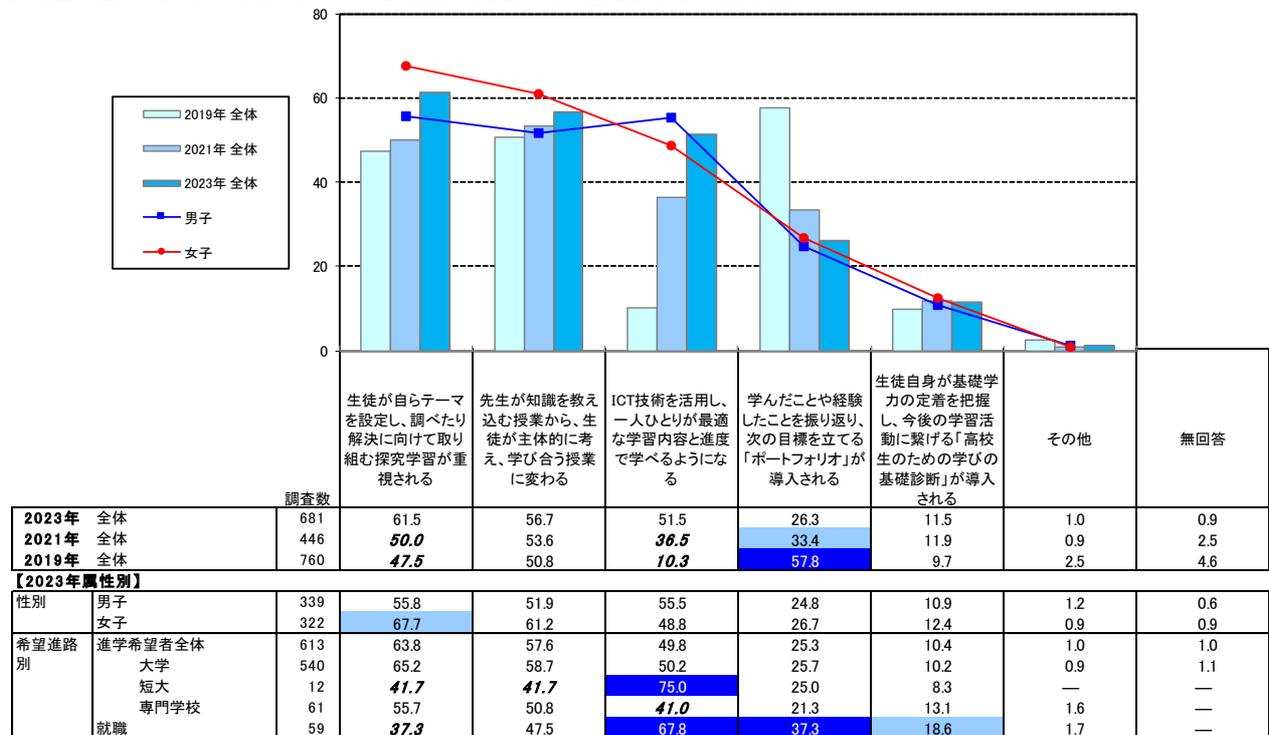
2) 通っている高校での教育改革への取り組み内容

▶通っている高校での教育改革の取り組み内容の上位は、「探究学習」や「生徒が主体的に考え学びあう授業」への転換。

- 通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じている高校生に、その取り組み内容を尋ねたところ、「生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される」(62%)、「先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる」(57%)、「ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる」(52%)が50%を超えている。
- 時系列でみると、上位3項目はいずれも連続で上昇しており、特に「ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる」が大幅に上昇した。
- 性別にみると、女子は男子に比べて「探究学習」「生徒が主体的に考え学び合う授業」が高く、逆に「ICT技術を活用し一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べる」は男子のほうが高い。

【高校生】通っている高校での教育改革への取り組み内容（対応を行っていると感じている）／複数回答

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

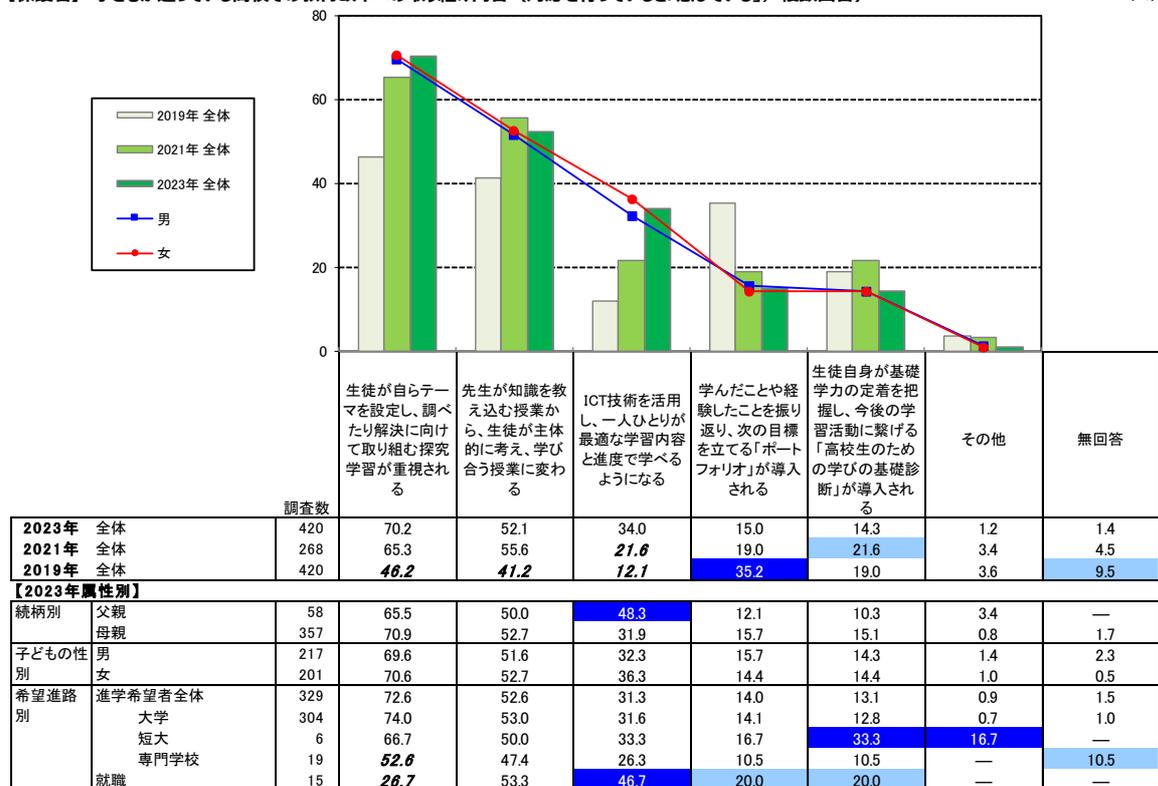
K_Q25-1

▶子どもが通っている高校での教育改革の取り組み内容の上位は、「探究学習」や「生徒が主体的に考え、学び合う授業」への転換

- 子どもが通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じている保護者に、その取り組み内容を尋ねたところ、「生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される」(70%)「先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる」(52%)が50%を超えた。
- 時系列でみると、2021年と比較して「生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される」は5ポイント、「ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進捗で学べるようになる」は12ポイント近くスコアが上昇した。また、高校生ほどの水準ではないが、「ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進捗で学べるようになる」は、3人に1人があげている。

【保護者】子どもが通っている高校での教育改革への取り組み内容（対応を行っていると感じている）／複数回答

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

H.Q25.1

35. 「探究学習」への取り組み状況

▶ 1) 保護者からみた高校における「探究学習」への取り組みと期待

- 保護者に対して、子どもの通う高校が「探究学習」に取り組んでいると感じているかを尋ねたところ、「感じている」が31%を占めた。「まだ感じていない」「わからない」もそれぞれ3割程度を占めており、認識は分かれている。
- 続柄別、子どもの性別でも同様の状況。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体では38%が「感じている」と回答しており、全体と比較して割合が高い。特に大学進学希望者、短大進学希望者で「感じている」割合が高い。

【保護者】子どもが通う高校は、「探究学習」に取り組んでいると感じるか（全体／単一回答）

			(%)			
			感じている	まだ感じていない	わからない	無回答
●凡例						
2023年 全体		(n= 1457)	31.2	29.4	36.0	3.4
【2023年属性別】						
続柄別	父親	(n= 210)	26.7	37.6	35.2	0.5
	母親	(n= 1190)	32.9	28.8	36.7	1.5
子どもの性別	男	(n= 713)	31.8	28.6	38.4	1.1
	女	(n= 701)	32.1	31.4	35.0	1.6
希望進路別	進学希望者全体	(n= 950)	37.6	28.6	31.3	2.5
	大学	(n= 818)	40.7	26.7	30.3	2.3
	短大	(n= 24)	37.5	29.2	33.3	—
	専門学校	(n= 108)	13.9	43.5	38.0	4.6
	就職	(n= 113)	12.4	30.1	54.9	2.7

H.Q26

▼以下を提示したうえで、子どもの通う高校での探究学習への取り組みについて尋ねた。

・「総合的な探究の時間（探究学習）」とは、特定の強化の枠にとらわれず、生徒たち自身が主体的に課題を設定し、成果や研究結果を発表することを狙いとした、強化や科目の枠を越えた横断的・総合的な学びの時間を指します。

▶【保護者】認知している「探究学習」の取り組み内容

●学校活動

- 数字に関すること。[東京都/母親/男/大学]
- 古典、和歌。[静岡県/母親/女/子の希望なら何でも]
- 地理のレポート。[秋田県/母親/男/大学]
- 文化祭での新聞作り e t c。[秋田県/母親/女/大学]
- 放課後、学生が自習などに利用できるスペースをもっと増やしていきたいという取り組み。[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]

●地域活動・地域研究

- 温泉水を利用した水鉄砲ゲーム。えびの市の魅力をもっと発信していける。[宮崎県/母親/男/大学]
- わが国の伝承や信仰についての探究活動。[静岡県/父親/女/大学]
- 子ども食堂、LGBTQ。[宮崎県/母親/女/子の希望なら何でも]
- 市内の観光に関して。[群馬県/その他/男/大学]
- 全国の方言について。[福井県/母親/女/大学]

●科学・技術研究

- グループで重力加速度のことをまとめていた。[奈良県/母親/女/大学]
- だんご虫 交替性転向反応。[秋田県/父親/男/子の希望なら何でも]
- バスケットのシュート確率を上げる方法。[群馬県/母親/男/大学]
- マイクロプラスチックによる環境破壊とその対策について。[静岡県/母親/女/大学]
- 原子力発電の安全性について調査しているようである。[徳島県/父親/男/大学]
- 航空機の翼に対する空気抵抗の軽減について。[東京都/母親/男/大学]
- 生物の生態についての調査、研究。（実際に“ヌマエビ”を飼育しての研究）[群馬県/母親/男/子の希望なら何でも]
- 農具を調べている。[徳島県/母親/男/大学]
- 物理分野の物体の軌跡を身近なもので測定。ストロボ撮影をスマートフォンでできないか相談を受けた。[奈良県/父親/女/子の希望なら何でも]
- 米ぬかなどを使った発酵熱の研究。[東京都/母親/女/大学]

●健康・生活習慣

- ねむりについて。[福井県/母親/女/大学]
- ペットが生活に与える影響。[秋田県/父親/女/大学]
- メロディと体力向上の関係について調査している。[宮崎県/母親/女/子の希望なら何でも]
- 音楽がもたらす健康療法について。[東京都/母親/女/大学]
- 洗剤について。[東京都/母親/女/大学]

●企業訪問・インターンシップ

- ジョブシャドウイングや仕事図鑑作り。[宮崎県/父親/女/専門職大学]
- 企業と自然保護について。[北海道/母親/男/大学]
- 地元企業へのインターンシップ。[福井県/母親/男/大学]

●社会課題

- ヤングケアラーの世の中への浸透具合と、現状と課題について。[宮崎県/母親/女/大学]
- SDGs に沿って文化祭を行った。[静岡県/母親/女/大学]
- スマート林業。[徳島県/母親/男/子の希望なら何でも]
- 食品ロス。[静岡県/母親/女/大学]
- 人口減少について。[福井県/無回答/無回答/子の希望なら何でも]

2) 「探究学習」による変化・効果についての期待と実際

- 「探究学習」を通じて、自己の在り方や生き方、興味関心への理解を深めてほしいと思うかを、保護者に対して尋ねたところ、70%が「思う」と回答。「探究学習」への期待が高いことがわかる。
- 続柄別ではほとんど差がみられないが、子どもの性別にみると、子どもが男の場合に「思う」割合がやや高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者で「思う」割合が高い。
- また、高校生に対して、実際に自己の在り方や興味関心への理解が深まったかを尋ねたところ、深まったと「感じている」は26%で、「まだ感じていない」(36%)、「わからない」(34%)が拮抗している。
- 希望進路別にみると、進学希望者では「感じている」割合も全体と比較してやや高いものの、「まだ感じていない」も高く、自己への理解を深めることに役立つかどうか、すでに判断している人が多い。

【保護者】「探究学習」を通じて、自己のあり方や生き方、興味関心への理解を深めてほしいと思うか（全体／単一回答）

		(%)			
		思う	思わない	わからない	無回答
●凡例					
2023年 全体	(n= 1457)	69.6	3.0	21.8	5.7
【2023年属性別】					
続柄別	父親 (n= 210)	71.4	5.2	21.0	2.4
	母親 (n= 1190)	71.3	2.7	22.2	3.8
子どもの性別	男 (n= 713)	73.2	3.4	19.6	3.8
	女 (n= 701)	69.0	2.7	24.8	3.4
希望進路別	進学希望者全体 (n= 950)	73.3	2.6	19.6	4.5
	大学 (n= 818)	74.7	2.2	18.7	4.4
	短大 (n= 24)	70.8		25.0	4.2
	専門学校 (n= 108)	63.0	6.5	25.0	5.6
	就職 (n= 113)	61.1	2.7	32.7	3.5

H.Q26-2

【高校生】「総合的な探究の時間」を通じて自己のあり方や生き方、興味関心への理解が深まったか（全体／単一回答）

		(%)			
		感じている	まだ感じていない	わからない	無回答
●凡例					
2023年 全体	(n= 1752)	25.9	35.8	34.0	4.4
【2023年属性別】					
性別	男子 (n= 867)	24.0	40.0	33.9	2.1
	女子 (n= 790)	29.2	32.3	35.8	2.7
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1502)	27.6	37.6	31.1	3.7
	大学 (n= 1233)	29.0	39.5	27.7	3.7
	短大 (n= 37)	24.3	29.7	43.2	2.7
	専門学校 (n= 232)	20.3	28.9	47.0	3.9
	就職 (n= 218)	15.1	25.2	54.6	5.0

K.Q26

▶【保護者】深めてほしいと思う／思わない／わからない理由 自由回答

●深めてほしいと思う

- ネットで調べるとすぐに出てくる時代。そのなかでもほかの調べる方法など、関心をもってほしい。[秋田県/母親/女/子の希望なら何でも]
- いろいろなことを調べて、わからなかったことや、知っていることでも追求することによって、いろいろな考えができるようになったりするから。[東京都/母親/男/大学]
- 世の中の結びつきについて気づいてほしい。[東京都/母親/女/大学]
- 学習を通して経験した、探究方法、道筋の立て方などを、必要な場面が来たときに生かしてほしい。[福井県/母親/男/大学]
- 自分が知らないことを発見する楽しさがあると思うから。[奈良県/母親/男/大学]
- サポートは必要なものの、自分で考えて行動する力はしっかり今のうちに身につけてほしいと思っています。[奈良県/母親/男/大学]
- 自分の生き方に自信をもってほしいから。[宮崎県/母親/男/大学]
- 考え方や視野を広げてほしい。[福井県/父親/女/就職]

●思わない

- 探究が、どのように必要になっていくか不明。本来の目的を理解したい。[群馬県/父親/男/大学]
- カリキュラムになってしまうと夏休みの自由研究と同じでやらないといけないからやるという興味関心への理解とはかけ離れた課題となるのではないか。[宮崎県/母親/女/大学]
- そもそも正しい探究学習が行われているのか、わからないから。[奈良県/母親/男/就職]

●わからない

- 高校が取り組んでいるかわからないのに、答えられない。－政府が決めただけで、その準備もできていない。[奈良県/母親/女/就職]
- そんなことで生き方や人生のあり方に対する理解が深められるのが疑問であるため。[群馬県/父親/女/子の希望なら何でも]
- 探究のテーマが、興味のあるものばかりかわからないので。[東京都/母親/女/大学]
- 興味関心を1つに絞ることができず、継続して同じテーマを扱うことが負担になっているため。[徳島県/母親/女/子の希望なら何でも]

▶【高校生】深まったと感じた学習内容 自由回答

●自己探究・自己理解

- 外部の人との交流の中で、一人ひとりの考えや生き方を聞くことで選択の幅が広がった。[宮崎県/男/就職]
- 自分が興味をもっていることをテーマに資料を集めたりアンケートを取ったりして研究していく学習。[秋田県/女/大学]
- 実験の計画作りの段階における時間管理のしかたなど。[東京都/男/大学]
- 将来の夢に対応した課題を発見すること。[宮崎県/男/大学]
- 探究活動についてプレゼンテーションを行ったのだが、その場面の発表で、自身がプレゼン資料を作るのを得意としていることを実感した。[宮崎県/女/大学]

●学問・研究活動

- ホウネンエビという普段見向きもしないような謎の生物の調査。[東京都/女/大学]
- 建築の歴史について。[福井県/男/大学]
- 研究の授業での洋画を通じた女性像の変化についての探究。[福井県/女/大学]
- 修学旅行先の地域の研究。[群馬県/男/大学]

●社会問題の理解

- SDGsで水の問題について考えたとき、自分には何ができるのかや、世界の深刻な状況を知ることができた。[秋田県/女/専門学校]
- ゲーミフィケーションを通して、国際化やグローバル化への理解が深まった。[秋田県/男/就職]
- 観光でどのような問題があるかを調べて、グローバル化について理解が深まったから。[秋田県/女/専門学校]
- カモシカを調べることで、自然環境を知れた。[宮崎県/男/専門学校]

●グループ活動・協働学習

- グループに分かれて、課題をみつけ、解決に向けてできることをしていく学習。[徳島県/女/就職]
- 話を聞くだけじゃわからなかったことが、自分たちでなぜそうなるのか話し合い答えをみつけることによって、知識が定着した。[奈良県/女/専門学校]
- パソコンを使う力。[東京都/女/大学]

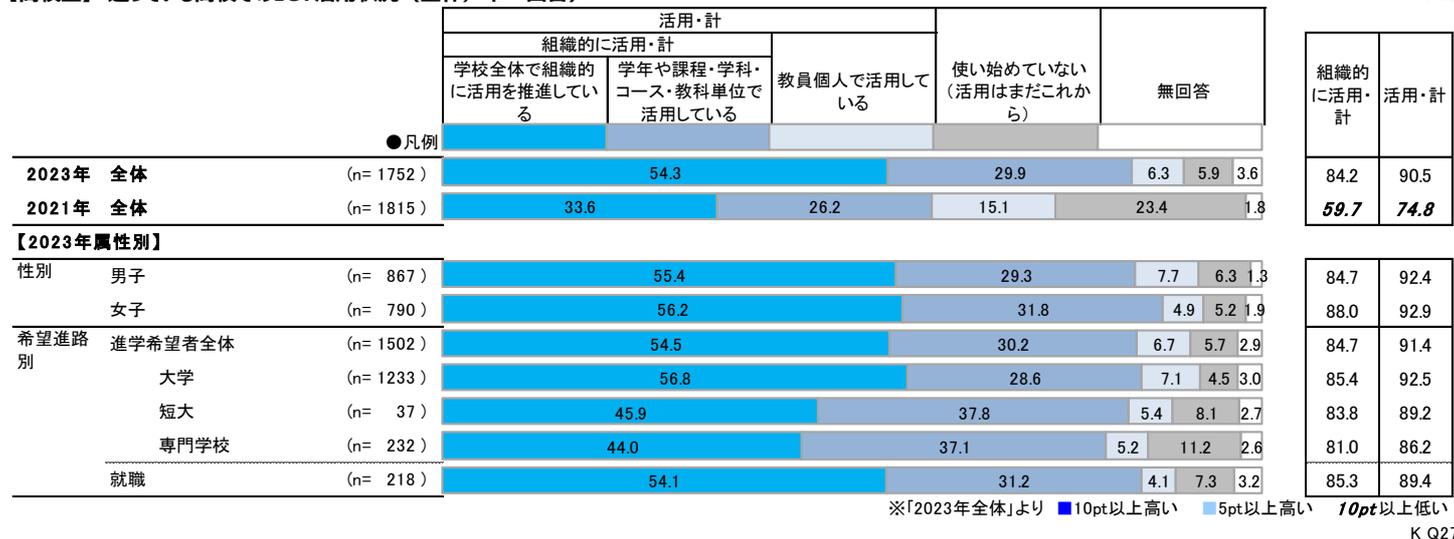
VI 教育活動へのICTの活用状況

36. 通っている高校でのICT活用状況

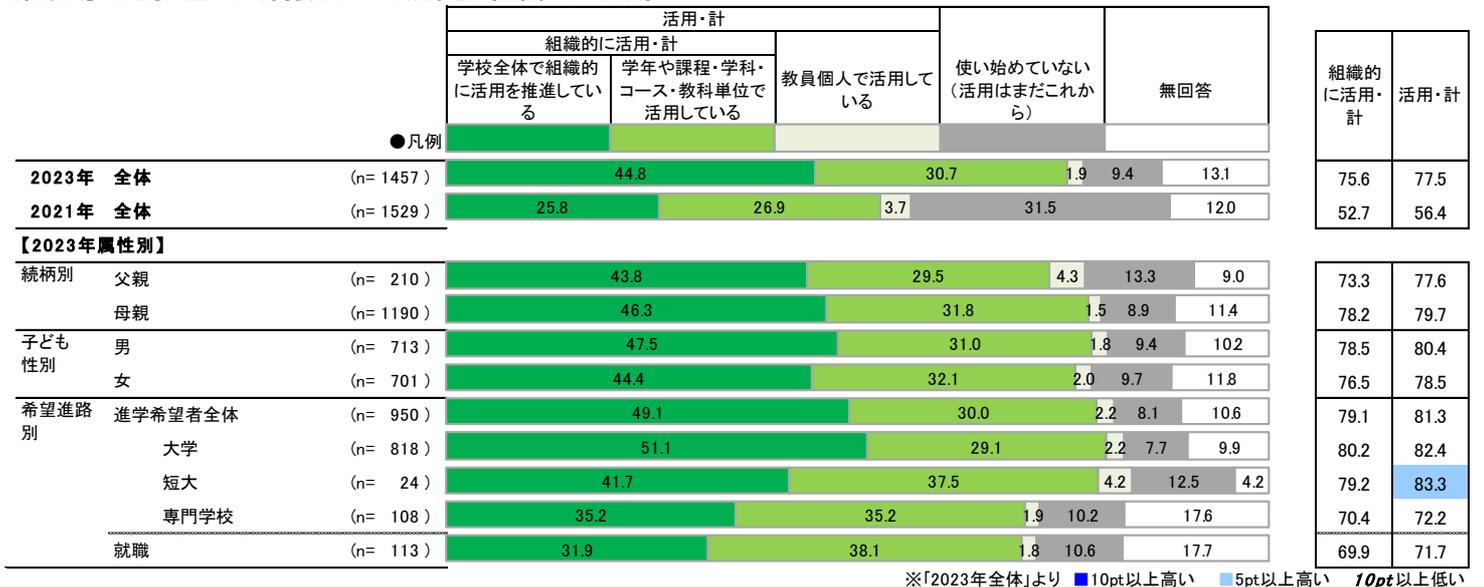
▶ 高校生の91%、保護者の78%が、通っている高校でICTが活用されていると回答。

- 高校生に対して、通っている高校で、授業、ホームルーム、探究などの教育活動にICTが活用されているかを尋ねたところ、「学校全体で組織的に活用を推進している」が54%を占めた。「学年や課程・学科・コース・教科単位で活用している」(30%)、「教員個人で活用している」(6%)を合わせると、全体の91%が活用していると回答した。
- 時系列で見ると、2021年よりも「学校全体で組織的に活用を推進している」が大幅に増加した。
- 保護者にも同様に、子どもが通っている高校でのICT活用について尋ねたところ、「活用・計」が78%。
- 高校生と同様に、「学校全体で組織的に活用を推進している」が大幅に増加し、保護者から見ても組織的な活用が増加したと認識されていることがわかる。

【高校生】 通っている高校でのICT活用状況 (全体/単一回答)



【保護者】 子どもが通っている高校でのICT活用状況 (全体/単一回答)



37. ICTの導入について良かった点・悪かった点

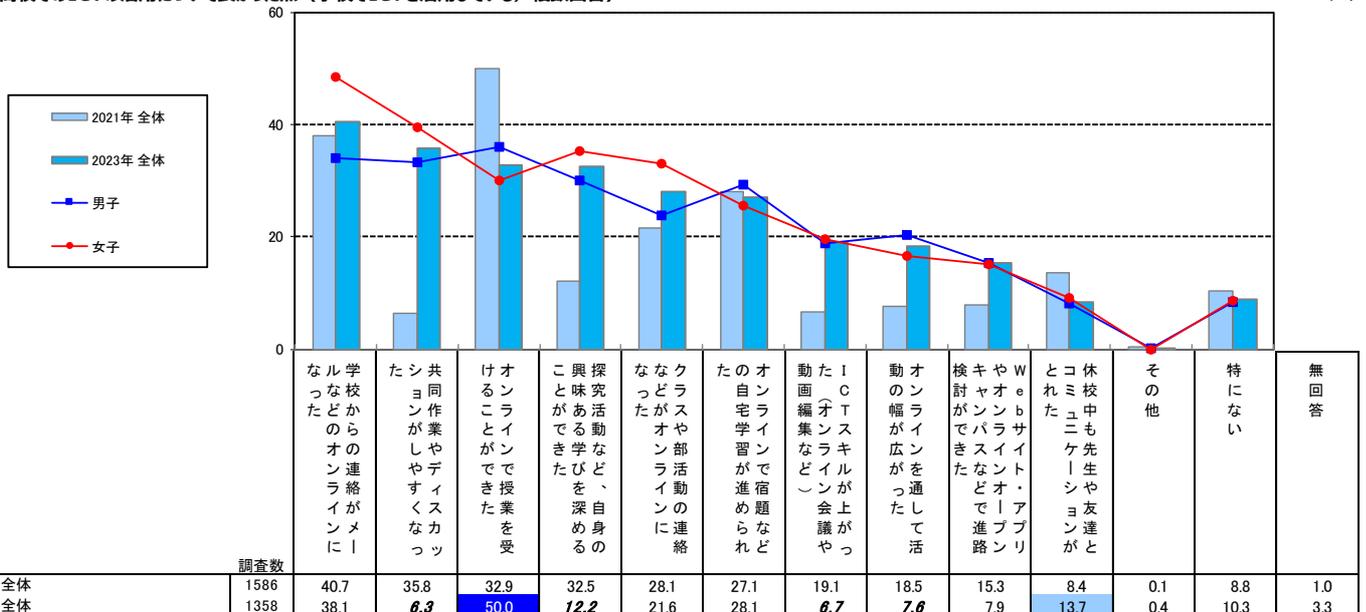
1) 高校でのICT活用について良かった点

▶ 高校生にとってICT活用で良かった点は、「学校からの連絡がメールなどのオンラインになった」がトップ。

- 通っている高校でICTを活用していると回答した高校生に対して、良かったと思う点を尋ねたところ、「学校からの連絡がメールなどのオンラインになった」(41%)が最も高く、以下、「共同作業やディスカッションがしやすくなった」(36%)、「オンラインで授業を受けることができた」(33%)、「探究活動など、自身の興味ある学びを深めることができた」(33%)が30%以上で続く。
- 時系列でみると、「オンラインで授業を受けることができた」は、コロナ禍であった2021年と比較して大幅に低下した。逆に、「共同作業やディスカッションがしやすくなった」「探究活動など、自身の興味ある学びを深めることができた」や、「ICTスキルが上がった(オンライン会議や動画編集など)」「オンラインを通して活動の幅が広がった」など下位の項目でもスコアが上昇。一方向の連絡や授業への利用だけでない活用が広がっている。

【高校生】 高校でのICTの活用について良かった点 (学校でICTを活用している/複数回答)

(%)



【2023年 属性別】

属性	調査数	学校からの連絡がメールなどのオンラインになった	共同作業がしやすくなった	オンラインで授業を受けることができた	探究活動など、自身の興味ある学びを深めることができた	クラブ活動などのつながり	オンライン学習が進められた	動画編集などICTスキルが上がった	オンラインを通して活動の幅が広がった	検讨ができた	Webサイト・アプリ	休校中も先生や友達とコミュニケーションがとれた	その他	特にない	無回答
性別															
男子	801	34.1	33.2	36.0	30.1	23.7	29.2	18.9	20.2	15.4	8.0	0.1	8.2	1.4	
女子	734	48.6	39.5	30.1	35.3	33.1	25.5	19.5	16.6	15.0	9.1	—	8.7	0.7	
希望進路別															
進学希望者全体	1373	41.4	37.1	34.2	33.4	28.6	26.7	20.1	18.9	16.2	8.8	0.1	8.2	1.1	
大学	1140	43.0	38.3	36.1	34.6	30.7	25.8	21.1	19.4	16.7	8.8	0.1	6.8	1.1	
短大	33	36.4	36.4	33.3	36.4	12.1	24.2	12.1	6.1	18.2	21.2	—	12.1	—	
専門学校	200	33.0	30.5	23.5	26.0	19.0	32.5	16.0	18.0	13.0	7.0	—	16.0	1.5	
就職	195	36.4	26.2	25.6	27.7	23.6	30.8	11.3	16.4	9.2	6.2	—	12.8	0.5	
ICT教育活用状況別															
学校全体で組織的に活用	952	43.2	39.4	35.7	36.3	30.8	29.6	21.3	21.4	18.1	9.5	0.1	6.0	0.5	
学年や課程・学科・コース・教科単位で活用	523	36.1	31.9	28.9	26.6	25.2	24.3	15.3	14.1	10.7	7.1	—	11.7	1.7	
教員個人で活用	111	40.5	22.5	27.9	27.9	18.0	18.9	18.0	13.5	12.6	6.3	—	18.9	1.8	

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以下低い

K_Q28

▶保護者でも、ICT活用で良かった点は「学校から保護者への連絡がメールなどのオンラインになった」がトップ。

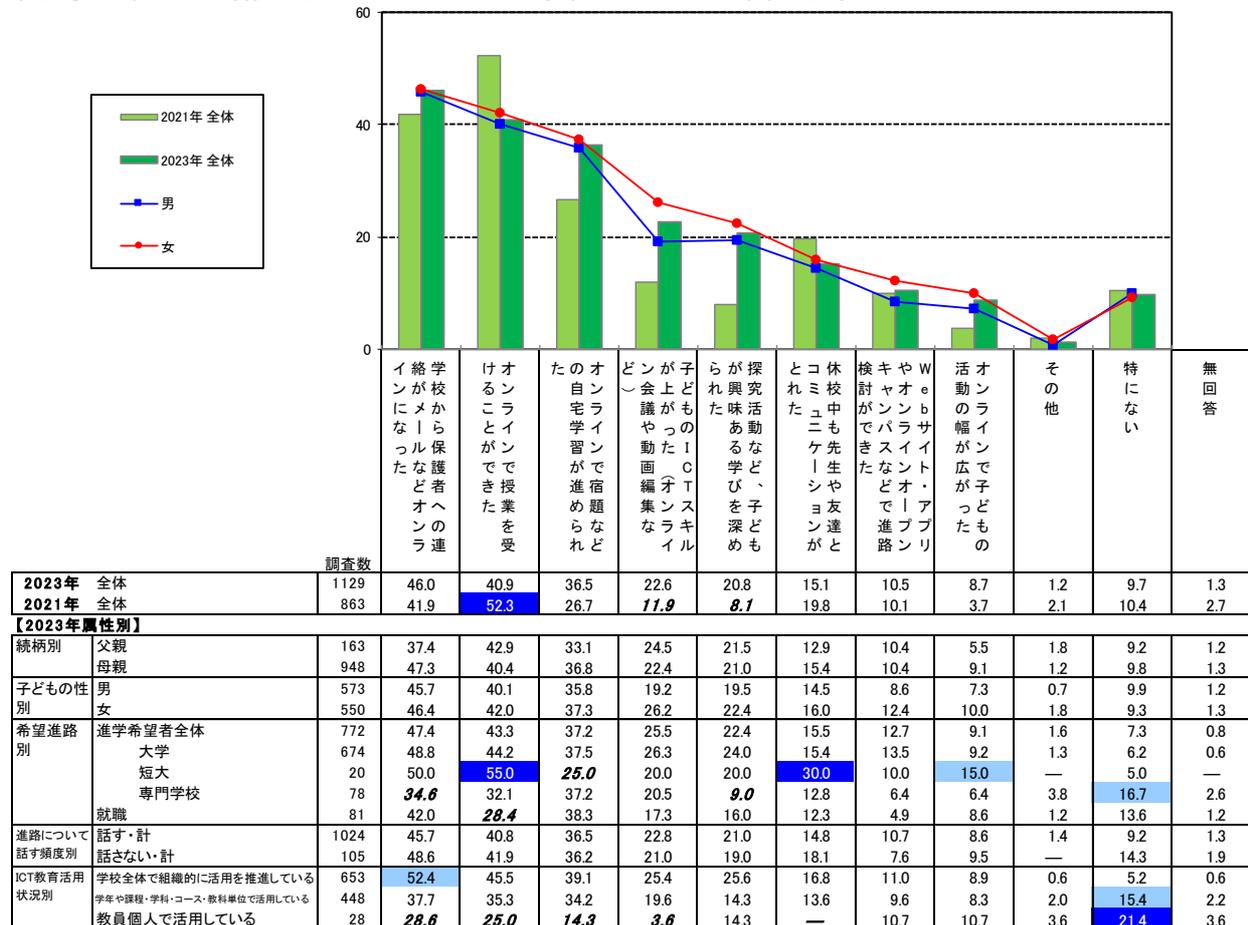
▶時系列では、「子どものICTスキルが上がった」が11ポイント上昇し第4位に。

●子どもが通っている高校でICTを活用していると回答した保護者に対して、良かったと思う点を尋ねたところ、「学校から保護者への連絡がメールなどのオンラインになった」（46%）が最も高く、以下「オンラインで授業を受けることができた」（41%）、「オンラインで宿題などの自宅学習が進められた」（37%）が30%以上で続く。

●時系列でみると、「オンラインで宿題などの自宅学習が進められた」「子どものICTスキルが上がった（オンライン会議や動画編集など）」「探究活動など、子どもが興味ある学びを深められた」が10ポイント前後上昇。メールでの連絡やオンライン授業などだけでなく、幅広い学習への活用が進み、さらに利用によって子どものスキルが向上していることが保護者からも認識されていることがわかる。

【保護者】子どもが通っている高校でのICTの活用について良かった点（学校でICTを活用している／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

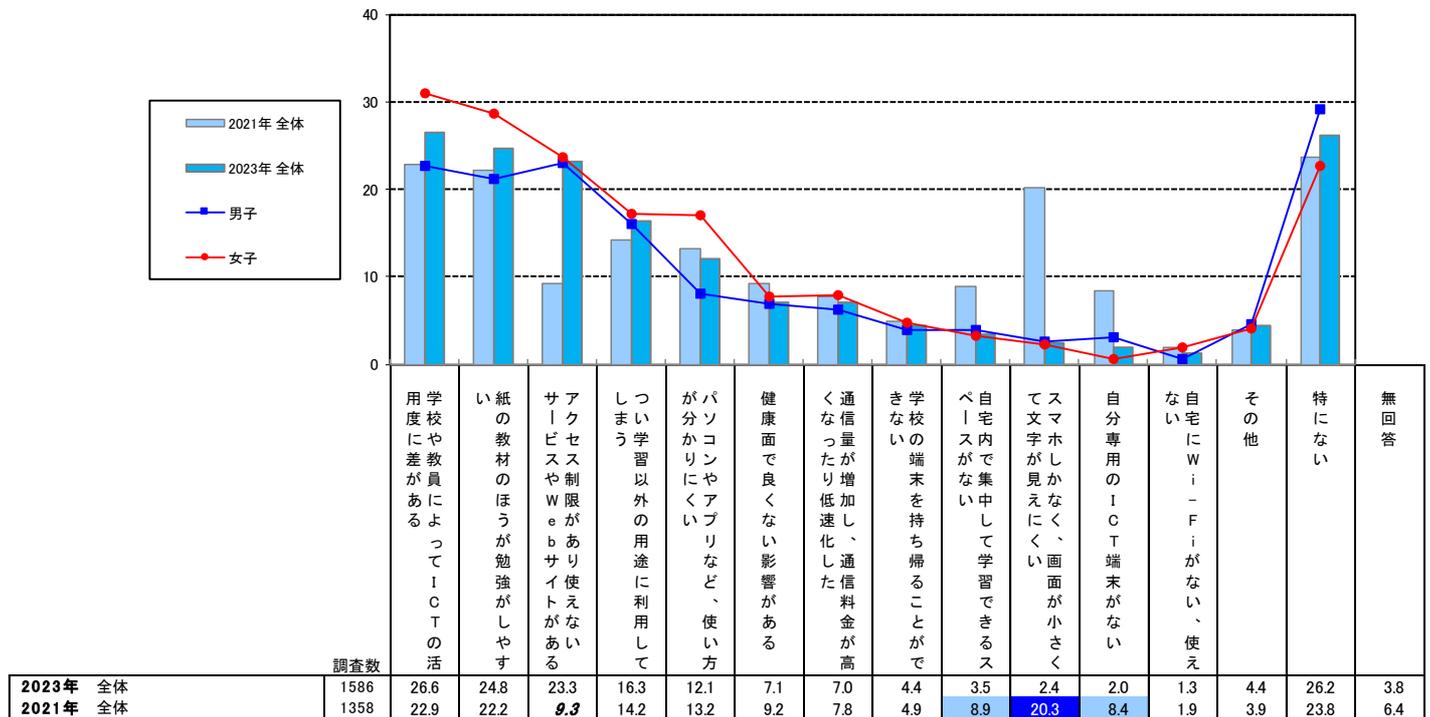
H.Q28

2) 高校でのICT活用について困った・問題だと思った点

- ▶ 高校生にとってのICT活用の問題点は、「学校や教員によって活用度に差がある」。次いで「紙の教材のほうが勉強がしやすい」。
- ▶ 「スマホしかなく、画面が小さくて文字が見えにくい」などの“ハード面”の問題点は解消しつつある。
 - 通っている高校でICTを活用していると回答した高校生に対して、困った点・問題だと思った点を尋ねたところ、「特にない」が26%と高いが、それ以外では「学校や教員によってICTの活用度に差がある」(27%)、「紙の教材のほうが勉強がしやすい」(25%)、「アクセス制限があり使えないサービスやWebサイトがある」(23%)が20%以上で上位。
 - 時系列でみると、上位2項目がやや上昇したほか、「アクセス制限があり使えないサービスやWebサイトがある」が14ポイント上昇。逆に「スマホしかなく、画面が小さくて文字が見えにくい」は18ポイント低下。また「自分専用のICT端末がない」「自宅内で集中して学習できるスペースがない」が5ポイント以上低下しており、端末やスペースなどの“ハード面”での問題点を感じる人は2021年よりも減少している。
 - 性別にみると、全体的に女子のスコアが高い。
 - 「スマホしかなく、画面が小さくて文字が見えにくい」(2%)、「自分専用のICT端末がない」(2%)などは残るものの、課題の多くは端末や通信といったハードよりも、教員による活用差や自らの勉強のしやすさ、学習以外の用途に利用してしまう、健康への影響など使い方に関するものとなっている。

【高校生】 高校でのICTの活用について困った・問題だと思った点（学校でICTを活用している／複数回答）

(%)



【2023年属性別】

性別	男子	女子	進学希望者全体	大学	短大	専門学校	就職	ICT教育活用状況別	学校全体で組織的に活用	学年や課程・学科・コース・教科単位で活用	教員個人で活用
性別	801	734	1373	1140	33	200	195	学校全体で組織的に活用	952	523	111
希望進路別	22.7	31.1	28.6	30.1	27.3	20.0	15.4	学校全体で組織的に活用	23.6	27.9	45.9
	21.2	28.7	25.8	27.7	18.2	16.0	17.4	学年や課程・学科・コース・教科単位で活用	24.6	24.1	29.7
	23.0	23.7	23.3	23.9	15.2	21.0	23.6	教員個人で活用	22.6	24.1	25.2
	16.0	17.2	17.1	18.4	18.2	9.5	11.3		16.4	15.3	20.7
	8.0	17.0	12.6	12.3	9.1	15.0	8.7		11.9	13.2	9.0
	6.9	7.8	7.6	8.4	9.1	3.0	3.6		7.1	6.5	9.9
	6.2	7.9	7.6	8.0	3.0	6.0	2.6		7.0	6.1	10.8
	3.9	4.8	4.4	4.3	3.0	5.0	4.1		3.7	5.2	6.3
	3.9	3.3	3.5	3.8	—	2.5	3.6		3.5	3.3	4.5
	2.5	2.3	2.5	2.5	—	1.0	2.1		2.1	2.9	2.7
	3.1	0.5	2.0	2.3	—	1.0	1.0		2.3	1.5	0.9
	0.6	1.9	1.2	1.1	6.1	1.0	2.1		1.2	1.7	—
	4.6	4.1	4.5	4.9	—	3.0	3.1		3.9	4.8	6.3
	29.2	22.8	24.6	22.1	39.4	36.5	36.9		26.6	27.5	16.2
	5.2	2.2	4.1	4.0	—	5.0	2.1		4.4	2.5	5.4

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

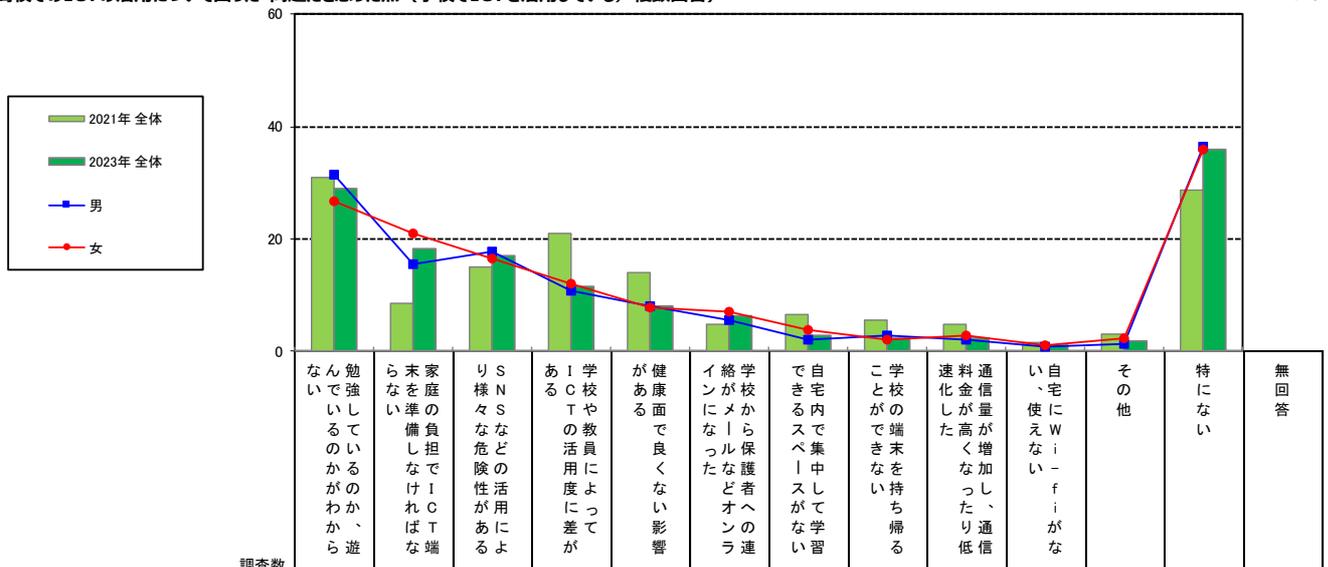
K_Q29

▶保護者にとってのICT活用の問題点は、「勉強しているのか、遊んでいるのかわからない」がトップ。

- 子どもが通っている高校でICTを活用していると回答した保護者に対して、困った点・問題だと思った点を尋ねたところ、「特にない」が36%と高い。それ以外では、「勉強しているのか、遊んでいるのかわからない」(29%)が最も高い。以下「家庭の負担でICT端末を準備しなければならない」(18%)、「SNSなどの活用によりさまざまな危険性がある」(17%)が続く。
- 時系列でみると、「家庭の負担でICT端末を準備しなければならない」が10ポイント上昇した。逆に、学校での組織的な活用が進んだ背景から、「学校や教員によってICTの活用度に差がある」は2021年より低下した。

【保護者】高校でのICTの活用について困った・問題だと思った点（学校でICTを活用している／複数回答）

(%)



調査数		なんも困らない	勉強しているのかわからず遊んでいるのか	家庭の負担で準備しなげれば端末	SNSなどの危険性があるよ	学校や教員によって差がある	健康面で良くない影響	インターネットから保護者への連絡	自宅内での集中して学習	学校の端末を持ち帰る	通信料が高くなり、通信	自宅にWi-Fiがない	その他	特にない	無回答
2023年 全体	1129	29.0	18.2	17.0	11.4	7.9	6.2	2.8	2.4	2.3	1.0	1.8	35.9	5.3	
2021年 全体	863	30.9	8.6	14.9	20.9	13.9	4.9	6.5	5.6	4.9	1.5	3.0	28.7	6.8	
【2023年属性別】															
続柄別	父親	163	32.5	12.9	20.2	11.7	11.7	5.5	3.1	3.1	1.8	0.6	1.8	33.7	4.3
	母親	948	28.5	19.0	16.4	11.3	7.4	6.4	2.8	2.2	2.3	0.9	1.8	36.3	5.3
子どもの性別	男	573	31.4	15.5	17.6	10.8	8.0	5.6	1.9	2.8	1.9	0.9	1.2	36.3	4.9
	女	550	26.7	20.9	16.4	12.0	7.8	6.9	3.8	2.0	2.7	1.1	2.4	35.8	5.3
希望進路別	進学希望者全体	772	30.6	16.8	18.8	12.2	8.2	5.8	2.6	2.6	2.3	0.6	1.7	35.2	5.6
	大学	674	31.6	15.9	19.1	12.6	8.8	5.6	2.7	2.5	2.5	0.6	1.9	34.7	5.5
	短大	20	40.0	25.0	10.0	20.0	5.0	10.0	10.0	—	—	—	—	35.0	5.0
	専門学校	78	19.2	23.1	17.9	6.4	3.8	6.4	—	3.8	1.3	1.3	—	39.7	6.4
	就職	81	22.2	23.5	7.4	3.7	1.2	7.4	3.7	2.5	1.2	1.2	—	43.2	3.7
進路について話す頻度別	話す・計	1024	28.7	17.4	17.3	11.9	7.8	6.1	2.8	2.6	2.1	1.0	1.9	35.4	5.5
	話さない・計	105	31.4	25.7	14.3	6.7	8.6	7.6	2.9	—	3.8	1.0	1.0	41.0	3.8
ICT教育活用状況別	学校全体で組織的に活用を推進している	653	27.6	18.1	17.9	9.5	8.0	6.1	2.9	2.0	2.3	0.9	1.4	37.5	6.4
	学年や課程・学科・コース・教科単位で活用している	448	31.3	18.8	16.1	13.6	7.6	6.5	2.7	2.9	2.5	0.7	2.2	33.7	3.8
	教員個人で活用している	28	25.0	10.7	10.7	21.4	10.7	3.6	3.6	3.6	—	7.1	3.6	32.1	3.6

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H_Q29

38. 高校や自宅での今後のICT活用

1) 高校や自宅での今後のICT活用意向

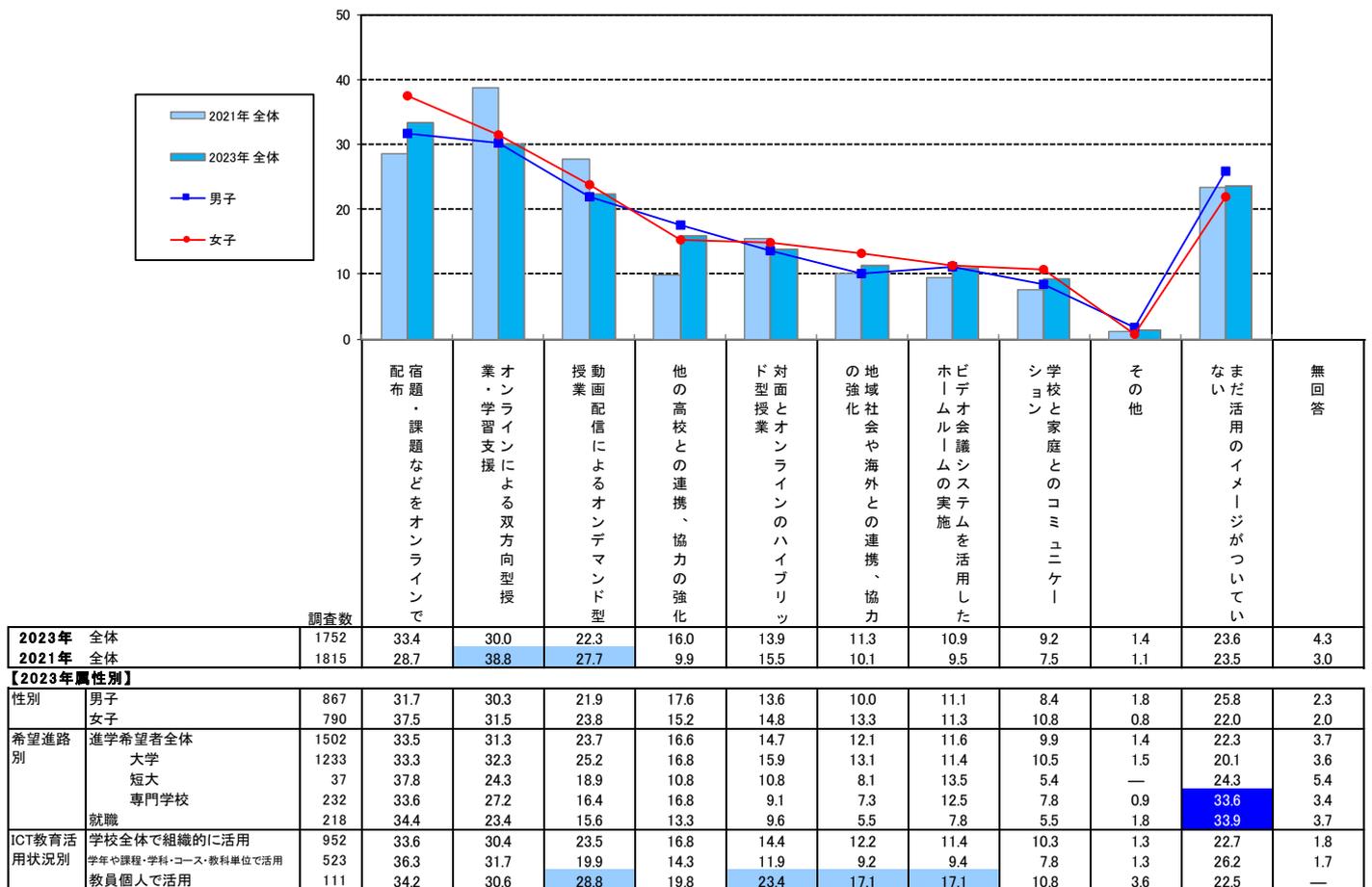
▶ 今後のICTの活用意向は、「宿題・課題などをオンラインで配布」がトップ。

▶ 時系列では「他校との連携」への期待感が上昇した。

- 高校生に対して、今後高校や自宅でのどのようにICTを活用していきたいと考えているかを尋ねたところ、「宿題・課題などをオンラインで配布」(33%)、「オンラインによる双方向型授業・学習支援」(30%)が30%以上で並び、次いで「動画配信によるオンデマンド型授業」(22%)が高い。
- 時系列でみると、「オンラインによる双方向型授業・学習支援」「動画配信によるオンデマンド型授業」など、授業への活用は5ポイント以上低下。逆に「宿題・課題などをオンラインで配布」「他の高校との連携、協力の強化」が5ポイント以上上昇した。

【高校生】 高校や自宅での今後のICT活用についての考え (全体/複数回答)

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

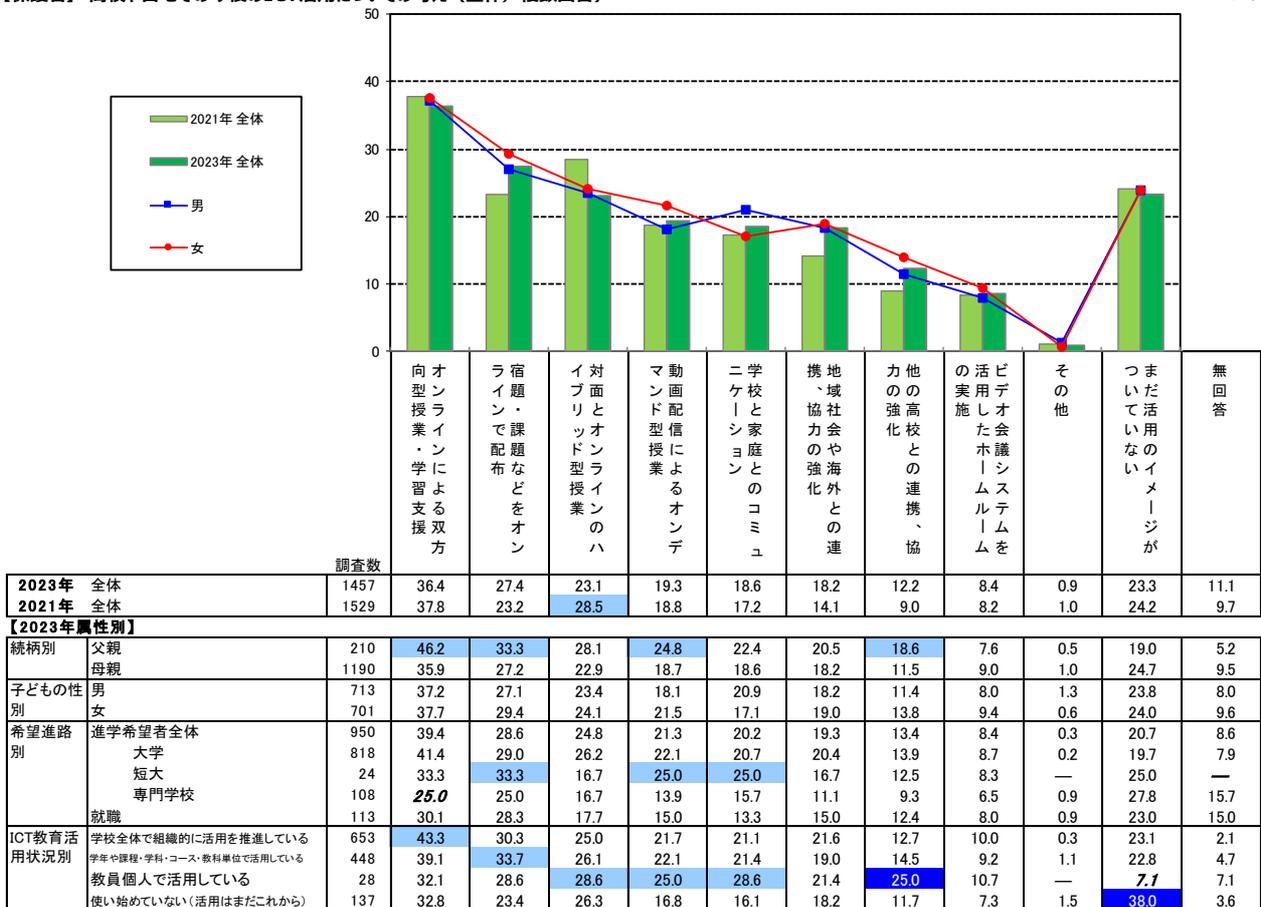
K_Q30

- ▶ 今後のICTの活用意向は、「オンラインによる双方向型授業・学習支援」がトップ。
- ▶ 時系列では、「他校との連携」の他、「地域社会や海外との連携・協力の強化」が上昇。

- 保護者に対しても同様に、今後高校や自宅でもどのようにICTを活用していきたいと考えているかを尋ねたところ、「オンラインによる双方向型授業・学習支援」(36%)で最も高く、以下「宿題・課題等をオンラインで配布」(27%)、「対面とオンラインのハイブリッド型授業」(23%)などが続く。授業への活用に関しての意向が上位となっている。
- ただし時系列で見ると、高校生と同様に「オンラインによる双方向型授業・学習支援」「対面とオンラインのハイブリッド型授業」など、授業への活用意向は低下。逆に「宿題・課題などをオンラインで配布」「地域社会や海外との連携、協力の強化」「他の高校との連携、協力の強化」が3~4ポイント上昇した。

【保護者】 高校や自宅での今後のICT活用についての考え (全体/複数回答)

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H.Q30

2) ICT活用によって期待できる変化や効果

▶高校生では「学ぶことへの興味がわき、学習へのモチベーションが上がる」「一人ひとりが自分に合った方法やスピードで学習できる」が40%近くで並ぶ。

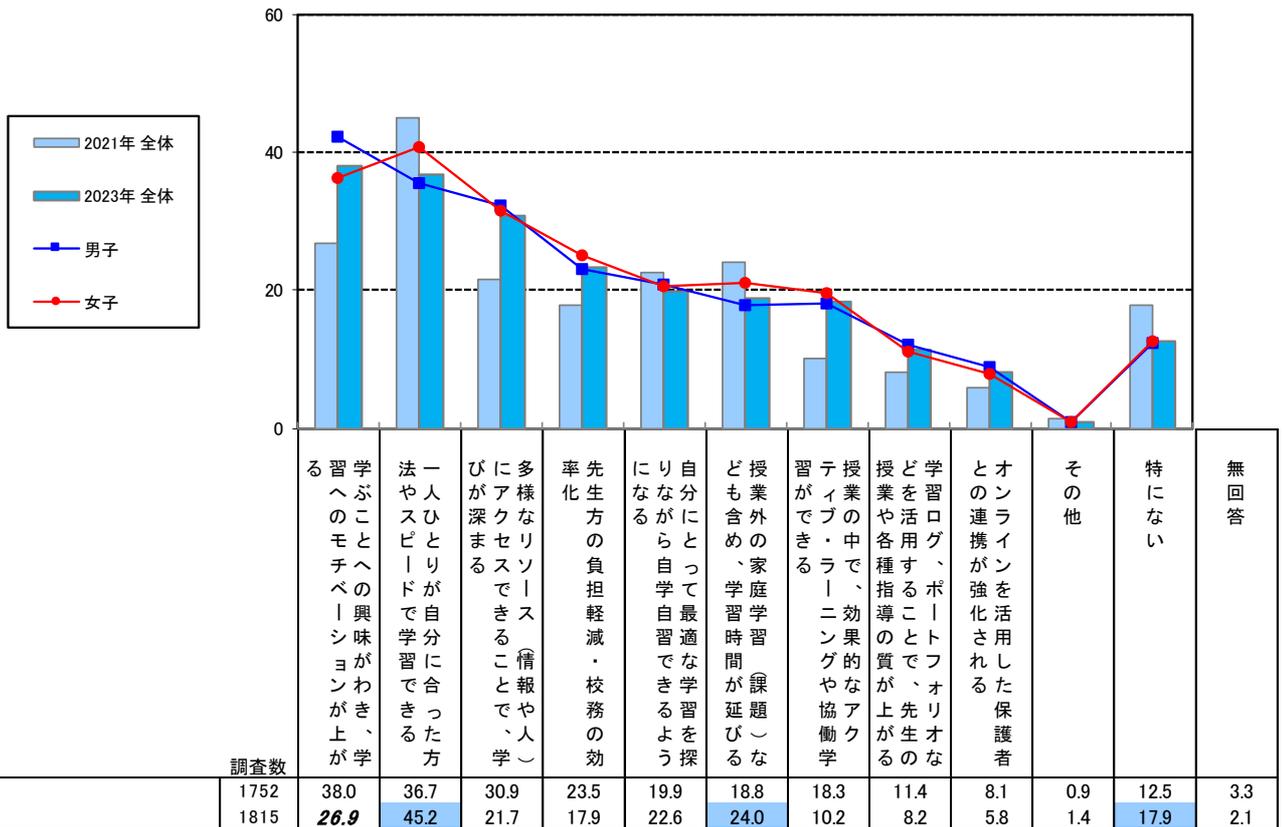
▶時系列では「学ぶことへの興味がわき、学習へのモチベーションが上がる」が10ポイント以上上昇。

●高校生に対して、ICT活用によってどのような変化や効果が期待できるかを尋ねたところ、「学ぶことへの興味がわき、学習へのモチベーションが上がる」(38%)、「一人ひとりが自分に合った方法やスピードで学習できる」(37%)が40%近くで並び、次いで「多様なリソース(情報や人)にアクセスできることで、学びが深まる」(31%)が高い。

●時系列でみると、上位項目のうち「一人ひとりが自分に合った方法やスピードで学習できる」は2021年より10ポイント近く低下したが、逆に「学ぶことへの興味がわき、学習へのモチベーションが上がる」「多様なリソース(情報や人)にアクセスできることで、学びが深まる」が10ポイント近く上昇した。個別学習の利便性だけでなく、モチベーションアップや学びの深化に期待する高校生が増加した。

【高校生】ICT活用によって期待できる変化や効果(全体/複数回答)

(%)



【2023年属性別】		調査数	2023年 全体	男子	女子
性別	男子	867	42.2	35.5	32.3
	女子	790	36.2	40.8	31.6
希望進路別	進学希望者全体	1502	38.3	37.0	32.9
	大学	1233	37.4	36.5	34.7
	短大	37	40.5	29.7	16.2
	専門学校	232	42.7	40.5	25.9
	就職	218	39.0	38.1	20.2
ICT教育活用状況別	学校全体で組織的に活用	952	42.3	36.1	34.3
	学年や課程・学科・コース・教科単位で活用	523	34.6	39.0	28.9
	教員個人で活用	111	27.9	45.0	35.1

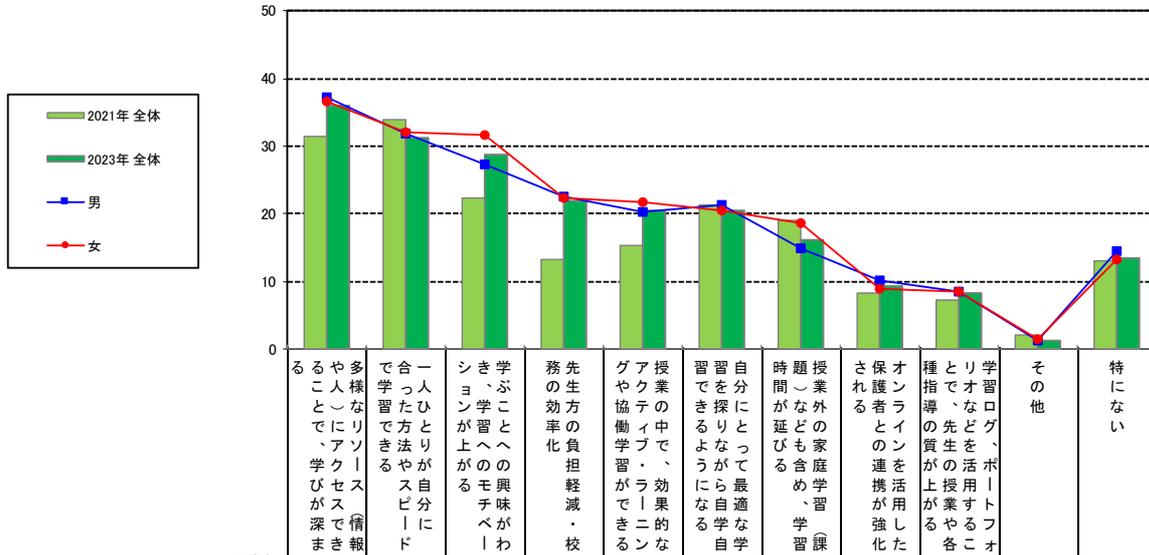
※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

- ▶保護者では「多様なリソース（情報や人）にアクセスできることで、学びが深まる」がトップ。
- ▶時系列では「先生方の負担軽減・校務の効率化」の上昇幅が大きい。

- 保護者にも同様に、ICT活用によってどのような変化や効果が期待できるかを尋ねたところ、「多様なリソース（情報や人）にアクセスできることで、学びが深まる」（36%）が最も高く、以下「一人ひとりが自分に合った方法やスピードで学習できる」（31%）、「学ぶことへの興味がわき、学習へのモチベーションが上がる」（29%）が30%前後で続く。
- 時系列でみると、高校生と同様に「多様なリソース（情報や人）にアクセスできることで、学びが深まる」「学ぶことへの興味がわき、学習へのモチベーションが上がる」などの上位項目が上昇したほか、「先生方の負担軽減・校務の効率化」も9ポイント近く上昇した。

【保護者】 ICTの活用によって期待できる変化や効果（全体／複数回答）

(%)



		調査数	多様なリソース（情報や人）にアクセスできることで、学びが深まる	一人ひとりが自分に合った方法やスピードで学習できる	学ぶことへの興味がわき、学習へのモチベーションが上がる	先生方の負担軽減・校務の効率化	授業の中で、効果的な学習ができるようになる	自分にとって最適な学習方法を探りながら学ぶ	授業外も含めた学習（課題など）が延びる	保護者との連携が強化される	オンラインの活用が広がる	学習ログ、ポートフォリオなど先生が活用できる	その他	特になし	無回答
2023年	全体	1457	36.1	31.3	28.8	22.0	20.5	20.5	16.3	9.3	8.4	1.4	13.5	8.6	
2021年	全体	1529	31.5	34.0	22.3	13.3	15.3	21.3	19.0	8.4	7.3	2.1	13.0	10.1	
【2023年真性別】															
続柄別	父親	210	41.0	31.9	28.6	24.8	18.1	23.3	13.8	10.5	10.5	3.3	12.4	4.8	
	母親	1190	36.1	32.1	29.6	21.9	21.5	20.7	17.1	9.3	8.2	1.1	14.2	6.4	
子どもの性別	男	713	37.3	32.0	27.3	22.6	20.3	21.3	14.9	10.2	8.6	1.3	14.4	5.8	
	女	701	36.7	32.1	31.7	22.4	21.8	20.5	18.5	8.8	8.6	1.6	13.3	6.4	
希望進路別	進学希望者全体	950	39.2	32.6	30.6	24.0	23.7	22.6	17.6	10.3	9.2	1.4	9.8	6.5	
	大学	818	40.1	32.8	30.3	25.2	25.6	23.1	17.5	10.3	9.7	1.5	9.0	6.6	
	短大	24	37.5	41.7	33.3	16.7	25.0	33.3	8.3	12.5	—	—	8.3	—	
	専門学校	108	32.4	29.6	32.4	16.7	9.3	16.7	14.8	11.1	4.6	0.9	15.7	7.4	
	就職	113	26.5	27.4	33.6	15.9	12.4	15.9	18.6	7.1	6.2	—	21.2	9.7	
ICT教育活用状況別	学校全体で組織的に活用を推進している	653	43.0	35.1	29.9	26.3	25.4	23.0	17.3	12.4	8.9	1.1	9.5	1.7	
	学年や課程・学科・コース・教科単位で活用している	448	36.4	32.4	32.1	21.0	20.3	20.8	18.3	8.3	10.3	1.3	17.2	2.0	
	教員個人で活用している	28	32.1	35.7	21.4	21.4	28.6	25.0	17.9	7.1	17.9	3.6	21.4	—	
	使い始めている（活用はまだこれから）	137	29.2	31.4	30.7	24.1	16.1	21.2	16.8	9.5	6.6	2.9	23.4	2.2	

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以下低い

H.Q31

VII 家庭と高校の役割

39. 日常のコミュニケーションや行動と教育改革を踏まえて特に心がけたいこと

1) 日頃のコミュニケーションや行動

▶ **高校生が感じている保護者との日常のコミュニケーションや行動の上位は下記のとおり。**

- 1位：「あなたはどうしたい」「あなたはどう思う」とあなたの意見が尊重されている (74%)
- 2位：「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言われている (66%)
- 3位：あなたが悩んでいた、うまくいっていないときに励ましてくれる (63%)

▶ **保護者が実施している子どもとの日常のコミュニケーションや行動の上位は下記のとおり。**

- 1位：「あなたはどうしたい」「あなたはどう思う」とお子さんの意見を尊重している (81%)
- 2位：「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言っている (76%)
- 3位：お子さんが悩んでいた、うまくいっていないときに励ます (72%)

高校生、保護者それぞれに、日常のコミュニケーション・行動について14項目を提示し、それぞれの実施状況を尋ねた。上位の顔ぶれは高校生、保護者で共通するが、スコアは保護者の方が高く、高校生の認識とのギャップがみられる。

【高校生】 保護者との日常のコミュニケーションや行動 (全体/各単一回答)

項目	あてはまる・計 (%)			あてはまらない・計 (%)		無回答 (%)	あてはまる・計	あてはまらない・計	
	とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	まったくあてはまらない				
(n=1752)	●凡例								
D 「あなたはどうしたい」「あなたはどう思う」とあなたの意見が尊重されている	32.6	41.0	16.8	3.8	1.7	4.1	73.6	5.5	
C 「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言われている	28.9	36.6	22.5	5.0	2.7	4.3	65.5	7.8	
E あなたが悩んでいた、うまくいっていないときに励ましてくれる	27.3	35.7	24.1	5.9	2.7	4.2	63.0	8.7	
L 高校で何を学んでいるのかなど、高校での生活に関して会話している	24.0	35.9	19.9	11.1	4.7	4.5	59.9	15.8	
F あなたと意見が異なるとき、頭ごなしに否定しない	24.2	34.2	26.0	8.7	2.9	4.1	58.4	11.6	
A 保護者に褒められている	18.9	38.1	29.3	6.8	3.0	3.9	57.0	9.8	
B 保護者に「夢や目標を大切にしない」と言われている	22.6	32.8	27.1	9.4	4.0	4.2	55.4	13.4	
H あなたがすることを保護者が決めたり手伝ったりする	13.8	32.7	28.7	14.8	5.5	4.5	46.5	20.3	
J ニュースや社会の動きなどについて一緒に考えたり会話している	17.0	28.4	23.1	17.6	9.5	4.3	45.4	27.2	
M チャレンジできる機会を創ったり、増やすようにしてくれる	15.6	28.0	34.4	11.9	5.6	4.5	43.6	17.5	
G あなたが失敗をしないように、保護者ができることを先回りして考えてくれる	15.1	28.2	34.3	13.8	4.2	4.4	43.3	18.0	
I あなたの行動に口出しや干渉をしない	14.7	27.2	32.3	17.4	4.1	4.4	41.9	21.4	
N 保護者がチャレンジしている姿を見る	13.8	22.8	33.0	16.0	10.2	4.3	36.5	26.1	
K 地域とのかかわりについて会話したり、行事に参加したりしている	9.6	19.8	25.6	24.3	16.1	4.6	29.5	40.4	

※「あてはまる・計」降順ソート

K_Q32マトリクス

【保護者】 子どもとの日常のコミュニケーションや行動 (全体/各単一回答)

項目	あてはまる・計 (%)			あてはまらない・計 (%)		無回答 (%)	あてはまる・計	あてはまらない・計	
	とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	まったくあてはまらない				
(n=1457)	●凡例								
D 「あなたはどうしたい」「あなたはどう思う」とお子さんの意見を尊重している	22.7	58.1	13.9	1.3	0.5	3.4	80.9	1.9	
C 「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言っている	23.7	52.6	16.9	2.8	0.7	3.3	76.3	3.5	
E お子さんが悩んでいた、うまくいっていないときに励ます	19.1	53.3	21.8	1.6	0.6	3.6	72.4	2.2	
A お子さんを褒めている	14.0	48.0	30.1	3.7	1.0	3.3	62.0	4.7	
L 高校で何を学んでいるのかなど、高校での生活に関して会話している	11.3	49.3	25.9	7.7	2.3	3.4	60.7	10.0	
B お子さんに「夢や目標を大切にしない」と言っている	13.0	43.7	31.8	6.1	1.9	3.5	56.7	8.0	
F お子さんとは意見が異なるとき、頭ごなしに否定しない	13.3	42.3	35.3	4.5	0.8	3.8	55.6	5.3	
J ニュースや社会の動きなどについて一緒に考えたり会話している	9.2	42.6	30.1	11.5	3.2	3.4	51.8	14.6	
M お子さんがチャレンジできる機会を創ったり、増やしたりしている	7.4	35.3	42.9	9.3	1.6	3.4	42.8	10.9	
N 保護者もチャレンジしている姿を見せる	7.8	28.2	41.0	15.3	4.3	3.4	36.0	19.6	
K 地域とのかかわりについて会話したり、行事に参加したりしている	4.9	23.1	35.6	26.4	6.8	3.3	28.0	33.2	
G お子さんが失敗をしないように、保護者ができることを先回りして考える	4.0	22.9	44.4	20.7	4.5	3.6	26.8	25.2	
I お子さんの行動に口出しや干渉をしない	3.8	21.1	52.4	17.5	1.9	3.3	24.8	19.4	
H お子さんがすることを保護者が決めたり手伝ったりする	2.5	19.0	41.0	27.9	6.2	3.4	21.6	34.0	

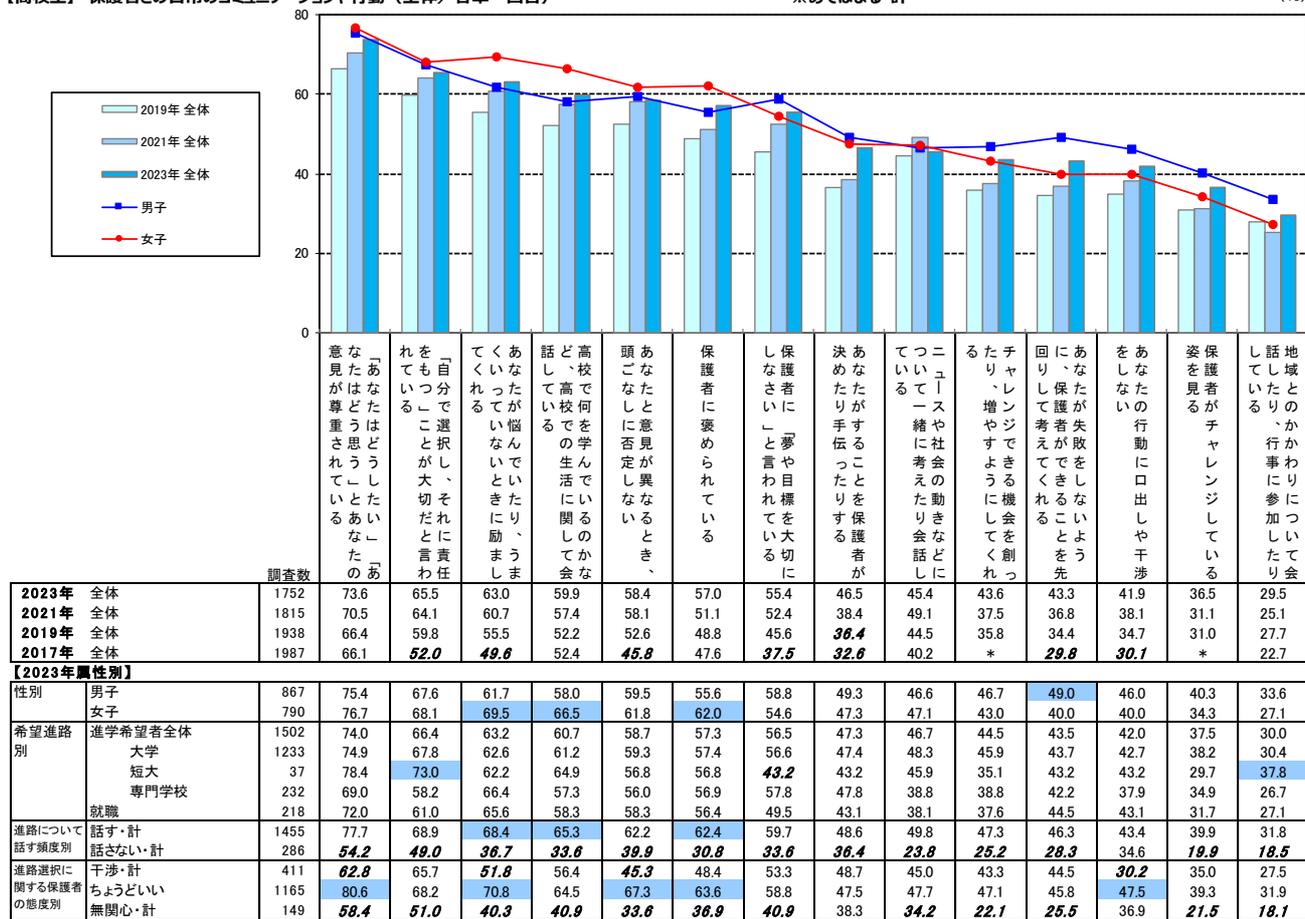
※「あてはまる・計」降順ソート

H_Q32マトリクス

【高校生】 保護者との日常のコミュニケーションや行動 (全体/各単一回答)

※あてはまる・計

(%)

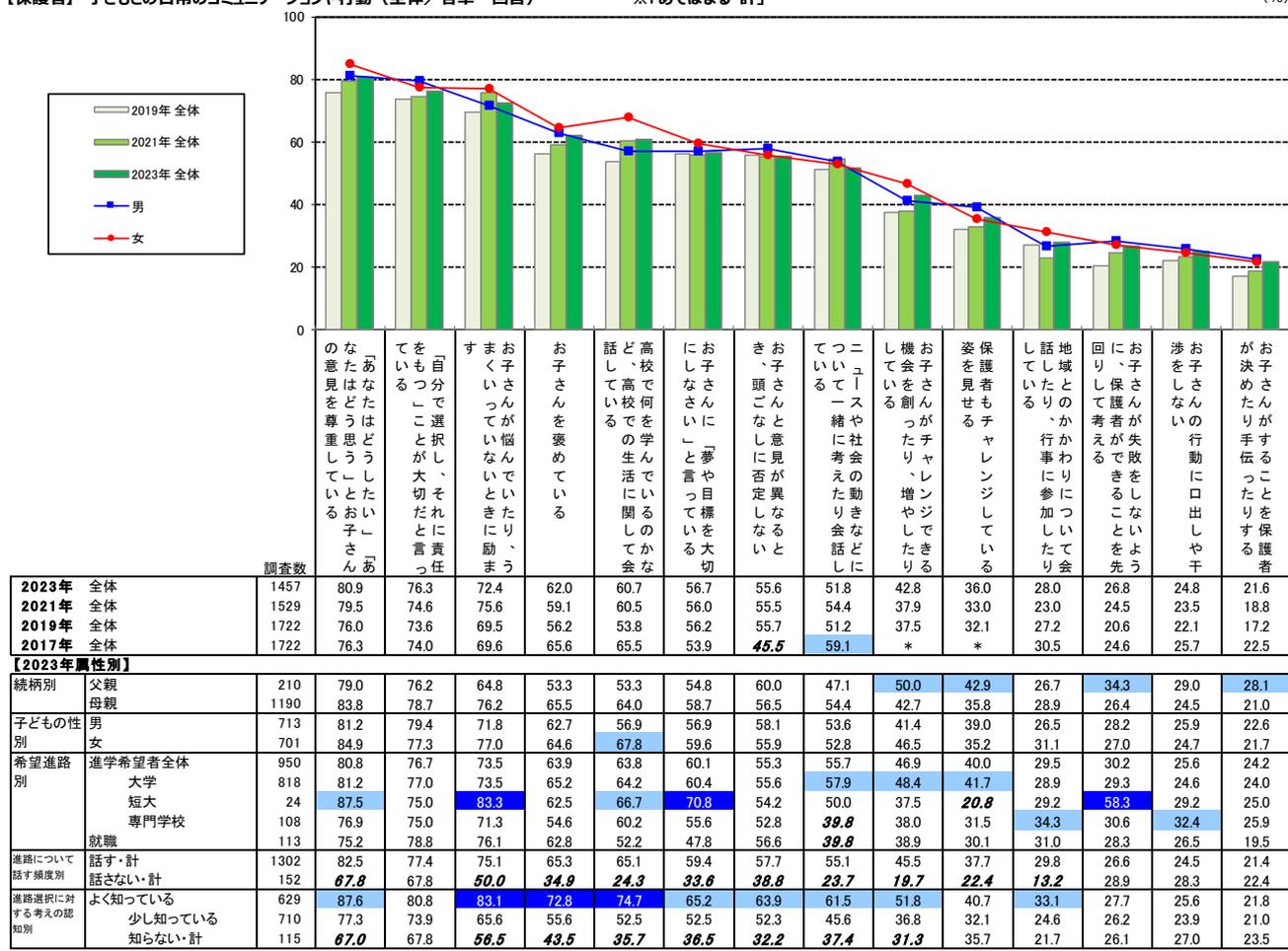


※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

【保護者】 子どもの日常のコミュニケーションや行動 (全体/各単一回答)

※「あてはまる・計」

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

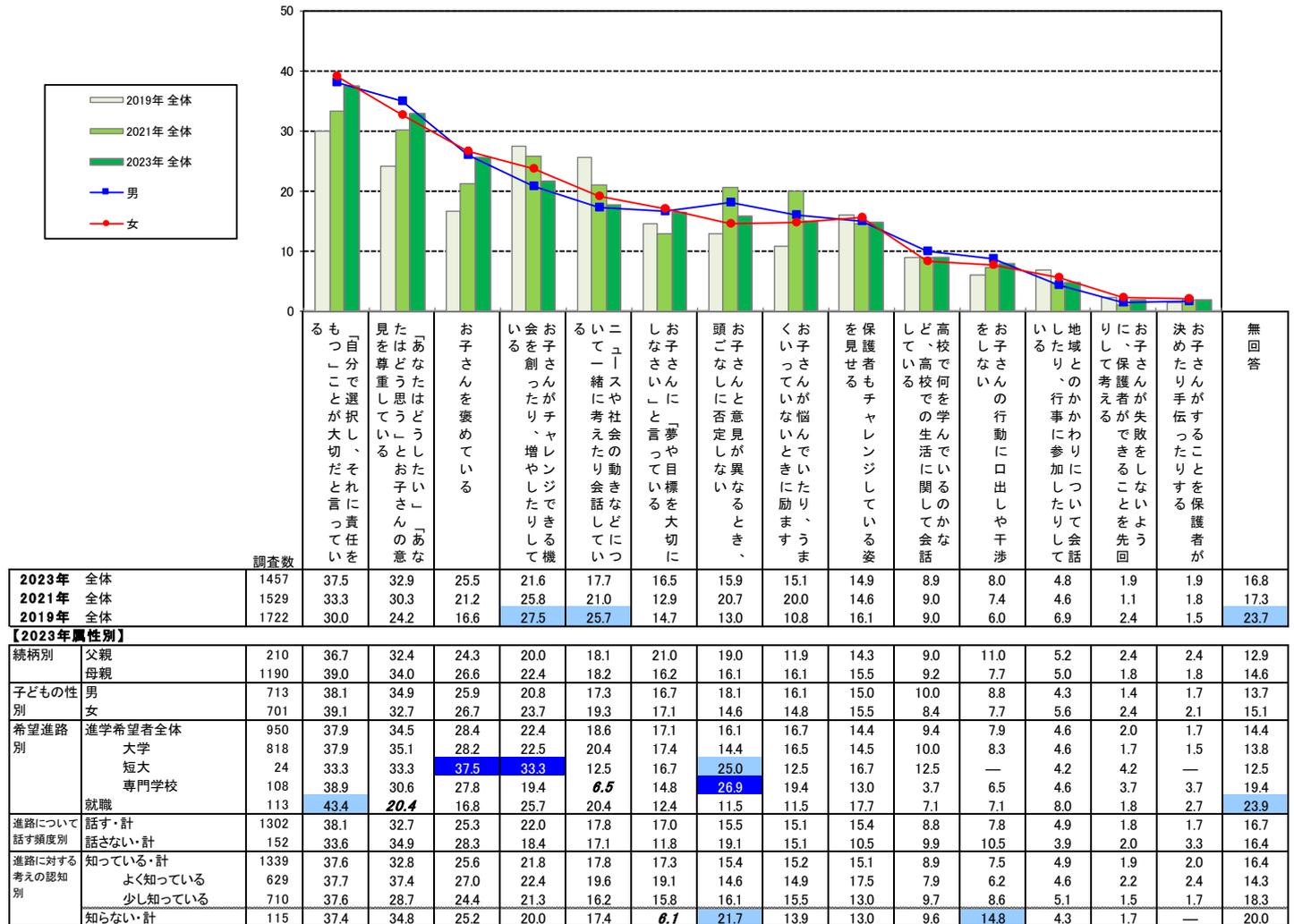
2) 子どもとのコミュニケーションや行動のうち教育改革を踏まえて特に心がけたいこと

▶保護者が、教育改革を踏まえて特に心がけたいと考えていることは、「『自分で選択し、それに責任を持つ』ことが大切だと言っている」（38%）がトップ。

- 保護者に対して、子どもとのコミュニケーションや行動のうち、教育改革を踏まえて特に心がけたいことについて尋ねた。トップは「『自分で選択し、それに責任をもつ』ことが大切だと言っている」（38%）で、次いで「『あなたはほしい』『あなたは思う』とお子さんの意見を尊重している」（33%）で続く。
- 時系列でみると、上位3項目はすべて2019年から連続して上昇。4位以下の項目の多くは2021年より低下しており、特に「お子さんがチャレンジできる機会を作ったり増やしたりしている」「ニュースや社会の動きなどについて一緒に考えたり会話したりしている」は連続して低下した。

【保護者】子どもとのコミュニケーションや行動のうち教育改革を踏まえて特に心がけたいこと（全体／3つまでの複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H_Q32_1

▶【保護者】子どもとのコミュニケーションで心がけていること 自由回答

- ・何に興味をもっているのかを知ること やりたいことをやれる環境を整えること。[北海道/母親/女/大学]
- ・「いつも応援している」と口に出して支援しています。[秋田県/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・毎日、規則正しい生活リズムを作り、居心地の良い場所を保つ。[東京都/母親/男/大学]
- ・ポジティブな声かけ。[東京都/母親/女/大学]
- ・自分が親が手本になるようにしている。[福井県/父親/女/子の希望なら何でも]
- ・スマホ情報だけに偏っているため、同世代の子どもたちが載っている新聞を切り抜いて見せたり、ニュースの話題を共有するようにしている。[静岡県/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・～しなさいの命令口調をしない。[静岡県/母親/男/就職]
- ・音楽を聞いたり映画を見たり、リラックスする。[徳島県/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・将来に希望がもてるように、自分の成功体験や楽しかった経験を話す。[宮崎県/母親/女/大学]

40. 家庭と高校の役割に関する認識

▶保護者は、「働く意義について教える」「将来の目標を持たせる」のは家庭、「学力をつけさせる」「人間関係を築く力をつける」のは学校の役割と認識。

●高校生の教育に関する11項目を提示し、それぞれ「家庭」「学校」「その他」のうち誰の役割だと思うかを項目ごとに選んでもらい、回答状況を分類した。

●「家庭のみ」の役割としてスコアが高いものは以下のとおりで、将来の社会生活に向けて働く意義を教えたり目標をもたせる役割があると考えている保護者が多い。

- ・1位：働く意義について教える (61%)
- ・2位：将来の目標を持たせる (54%)
- ・3位：長所や個性を見つけて伸ばす (47%)

●「家庭と学校」の両方が担うのは以下のとおり。3割を超えるものは「進路選択に迷ったとき相談に乗る」のみで、それ以外は20%台が多く、「家庭のみ」か「学校のみ」かいずれかのスコアが高くなっている。

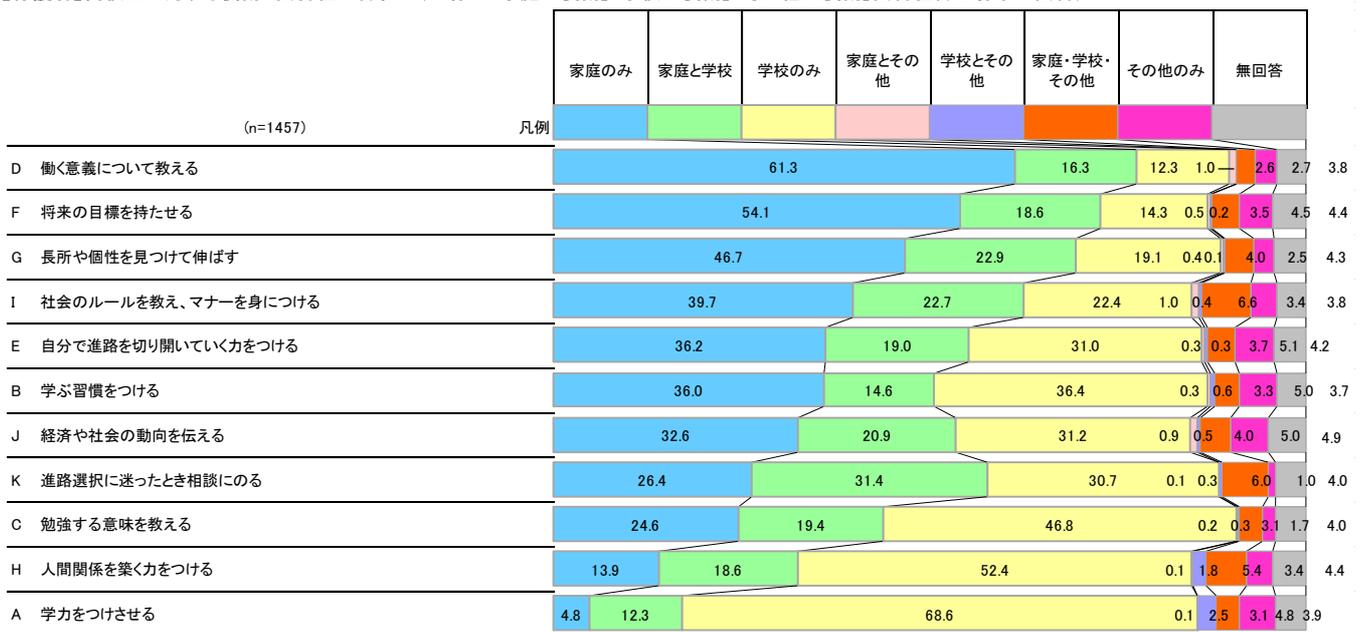
- ・1位：進路選択に迷ったとき相談にのる (31%)
- ・2位：長所や個性を見つけて伸ばす (23%)
- ・3位：社会のルールを教え、マナーを身につける (23%)

●「学校のみ」の役割は以下のとおりで、学習に関する項目でスコアが高いものの、人間関係構築についての指導も期待されている。

- ・1位：学力をつけさせる (69%)
- ・2位：人間関係を築く力をつける (52%)
- ・3位：勉強する意味を教える (47%)

【保護者】高校生に対する役割 回答組み合わせ(全体/「家庭の役割」「学校の役割」「その他の役割」回答組合せ各単一回答)

(%)



※「家庭のみ」のスコアを降順ソート

H.Q34

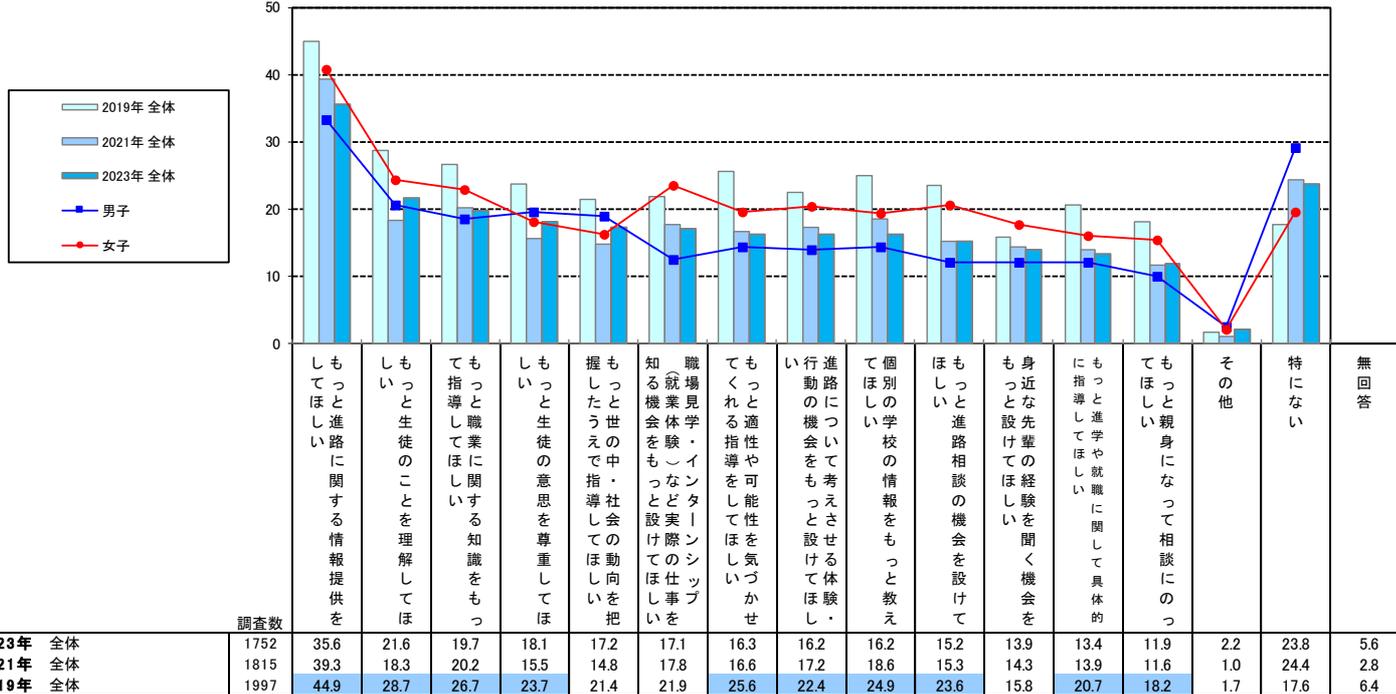
41. 進路指導への要望

- ▶ 高校の進路指導に対する高校生の要望は、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」が突出。
- ▶ 保護者でもトップは「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」。僅差で「進路について考えさせる体験・行動の機会をもっと設けてほしい」が続く。

- 高校生に対して、高校の進路指導について要望することを尋ねたところ、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」（36%）が最も高く、以下「もっと生徒のことを理解してほしい」（22%）、「もっと職業に関する知識をもって指導してほしい」（20%）などが20%前後で続く。
- 時系列で見ると、2019年から2021年にかけてすべての項目でスコアが低下したが、今回は「もっと生徒のことを理解してほしい」「もっと生徒の意思を尊重してほしい」「もっと世の中・社会の動向を把握したうえで指導してほしい」などが2021年よりもやや上昇。第1位の「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」や、6位以下の項目については、さらにスコアが低下しており、「生徒を理解してほしい」という要望以外の、情報提供などの要望は減少する傾向をみせている。
- 保護者に対して、子どもの通う高校の進路指導について要望することを尋ねたところ、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」（41%）、「進路について考えさせる体験・行動の機会をもっと設けてほしい」（39%）が40%前後で並んだ。以下「職場見学・インターンシップ（就業体験）など実際の仕事を知る機会をもっと設けてほしい」などが続く。
- 時系列で見ると、全体的にスコアが低下しており、「特に要望がない」が増加した。

【高校生】 高校の進路指導について要望すること (全体/複数回答)

(%)



【2023年属性別】

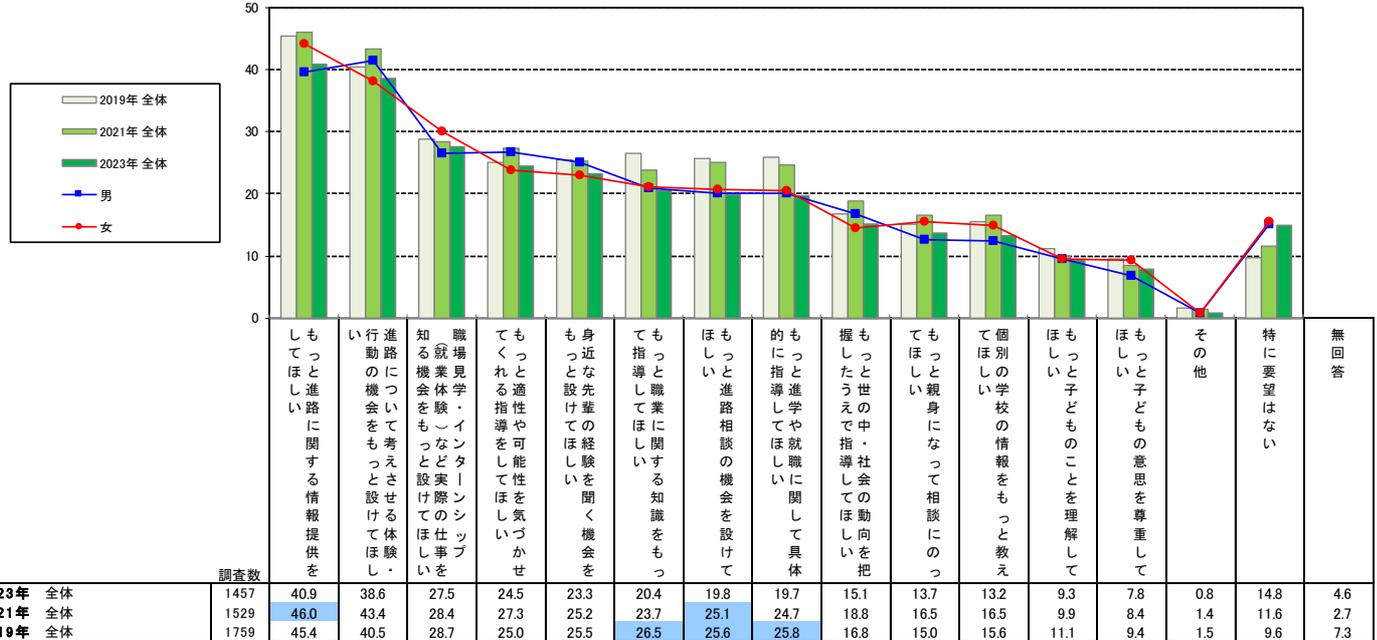
性別	男子	867	33.3	20.5	18.5	19.5	18.9	12.5	14.4	14.0	14.3	12.0	12.0	9.9	2.4	29.1	2.5	
	女子	790	40.8	24.4	22.9	18.1	16.3	23.4	19.6	20.4	19.4	20.5	17.6	16.1	15.4	2.0	19.5	2.5
希望進路別	進学希望者全体	1502	36.4	22.7	20.3	19.1	17.3	17.6	16.2	16.2	17.9	16.0	14.2	12.6	12.3	2.3	22.6	5.2
	大学	1233	37.6	22.9	20.8	18.4	17.8	18.2	17.1	16.4	18.4	16.1	14.1	13.3	11.8	2.8	20.8	5.4
	短大	37	35.1	27.0	21.6	18.9	10.8	16.2	16.2	27.0	10.8	21.6	16.2	13.5	10.8	—	21.6	5.4
	専門学校	232	30.2	21.1	17.2	22.8	15.9	14.7	11.6	13.4	16.4	14.7	14.2	9.1	15.1	—	32.3	4.3
	就職	218	31.2	16.1	17.9	11.9	17.9	14.7	17.9	5.5	10.6	13.8	20.2	10.1	1.4	33.0	4.6	

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

K.Q34

【保護者】 子どもの通う高校の進路指導について要望すること (全体/複数回答)

(%)



【2023年属性別】

続柄別	父親	210	34.8	34.3	20.0	22.9	25.7	19.5	13.3	18.6	20.0	10.0	11.4	10.0	9.5	1.0	19.5	1.0
	母親	1190	43.0	40.5	29.4	25.5	23.8	21.2	21.4	20.4	14.6	14.8	13.9	9.4	7.6	0.8	14.6	2.1
子どもの性別	男	713	39.7	41.4	26.5	26.6	25.0	20.9	20.1	20.1	16.7	12.6	12.5	9.4	6.9	0.8	15.1	2.1
	女	701	44.2	38.1	30.1	23.8	23.0	21.1	20.7	20.4	14.4	15.4	14.8	9.6	9.3	0.9	15.4	1.7
希望進路別	進学希望者全体	950	44.2	38.4	24.2	23.5	23.7	17.9	22.6	18.9	14.3	13.5	16.0	9.4	7.4	1.3	13.1	3.7
	大学	818	44.0	37.4	22.0	23.8	24.3	17.8	23.5	19.3	14.3	13.7	15.8	9.0	7.5	1.3	13.4	3.5
	短大	24	50.0	58.3	54.2	20.8	25.0	16.7	45.8	25.0	8.3	12.5	25.0	8.3	4.2	—	12.5	—
	専門学校	108	44.4	41.7	34.3	21.3	18.5	18.5	11.1	14.8	15.7	12.0	15.7	12.0	7.4	0.9	10.2	5.6
	就職	113	35.4	38.9	46.9	30.1	25.7	38.9	18.6	24.8	22.1	14.2	5.3	9.7	—	13.3	2.7	

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H.Q35

